

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第7集

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群6

2011,10

ふじみ野市教育委員会

はじめに

ふじみ野市は平成 17 年 10 月の合併により新たな歴史を歩みはじめました。

市内には、権現山古墳群や福岡河岸記念館、復元大井戸跡や旧大井村役場庁舎など、多くの文化財が存在し、2 万数千年前の旧石器時代から現代までの永い歴史をみることが出来ます。それぞれに特色のある地域の歴史も、一つの大きな流れとして捉えると、改めてこの地域の繋がりや関係の深さを感じます。そして、現在のふじみ野市も歴史的に大きな画期にあるといえます。

ふじみ野市は、都心から 30km 圏内という立地条件にあるため、昭和 30 年代ごろから急激な開発の波が押し寄せ、企業の工場や研究所の進出、住宅の建設ラッシュ、大規模都市基盤整備事業が計画・実施されました。人口の増加も伴って周辺の自然・社会の環境は大きな変化をしてきました。そして今、合併により更なる変貌を遂げようとしています。

今回、市内で発掘調査された成果を一冊の冊子にまとめることが出来ました。発掘調査の成果は、近年の開発ラッシュに伴う店舗や住宅建設によるものが主体です。永い歴史の中で繰り返し住まいの地として利用されるということは、いつの時代でも、ふじみ野の地が住み良い土地であることの証明ともいえます。

本書は、民間の開発事業者からの委託を受けて実施した、「市内遺跡発掘調査」の成果を記録した報告書です。将来にわたってこれらの資料を、地域の文化・歴史を学ぶ糧として広く皆様方に活用していただければ幸いです。

おわりに、土地所有者、開発関係者の皆様には多大なご負担と、ご協力を賜りました。地域の文化財保護・保存についてのご理解をいただいたことに対し深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

また、調査から本書刊行に至るまで、文化庁・埼玉県教育委員会生涯学習文化財保護課・市関係各課・調査関係者の多くの皆様から、ご指導やご協力をいただきました。誌上をもって厚くお礼と感謝を申し上げます。

ふじみ野市教育委員会
教育長 矢島 秀一

例 言

1. 本書は、埼玉県ふじみ野市内に所在する遺跡群の、試掘調査 38 件と発掘調査 9 件の報告書である。
2. 2008 年度に行なった試掘調査、個人住宅の本調査及び整理作業は、総経費 13,002,657 円に対し、国庫(6,500,000 円)、県費(3,2500,000 円)の補助金の交付を受け、2008(平成 20)年 4 月 7 日から 2009(平成 21)年 3 月 31 日まで実施したものである。

3. 調査組織

調査主体者	ふじみ野市教育委員会	文化財保護係調査担当者	高崎直成
担当課	生涯学習課文化財保護係		鍋島直久
教育長	松下勇司(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 11 月 30 日) 矢島秀一(平成 22 年 3 月 19 日～)	庶務担当	松原靖子(～平成 21 年 3 月 31 日) 國分英良(平成 21 年 4 月 1 日～)
生涯学習課長兼参事	田中節子(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日) 綾部誠(平成 21 年 4 月 1 日～)	発掘調査員補	柳澤健司(平成 23 年 4 月 1 日～) 越村 篤
文化財保護係長	坪田幹男(～平成 23 年 3 月 31 日) 橋本鶴人(平成 23 年 4 月 1 日～)	嘱託員	藤牧守絵
		臨時的任用職員	高橋京子

4. 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。

本書の執筆は高崎が行なった。まとめについては文末に記した。

遺物接合・復元：中田藤子 石器実測：大久保明子、鈴木千恵子

土器実測：石垣ゆき子、大久保明子、鈴木千恵子、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子

遺構・遺物図トレース：小林登喜枝

図版作成：青山奈保美、大久保明子、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子

遺構写真：高崎直成、越村篤 遺物写真：高崎直成

図版作成の一部を(有)アルケリサーチ、石器実測の一部を(有)文化財 COM に委託した。放射性炭素年代測定に関しては(株)加速器分析研究所、自然化学分析に関してはパリノ・サーヴェイ(株)に委託した。

5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。(敬称略)

会田明、阿部常樹、天ヶ嶋岳、荒井幹夫、上田寛、越前谷理、大久保淳、大柴英雄、岡田賢治、加藤秀之、梶原勝、梶原喜世子、神木繁嘉、國見徹、隈本健介、小出輝雄、駒井潔、酒井智晴、桜井信枝、佐藤啓子、佐藤良博、塩野賀一、鈴木清、高木文夫、田中信、丹治剛、角田史雄、中村愛、原口雅樹、早坂廣人、比嘉洋子、一木絵理、平野寛之、藤波啓容、堀善之、松本富雄、水村孝行、柳井章宏、和田晋治

埼玉県教育局生涯学習文化財課、大井郷土資料館、(有)文化財 COM、(有)アルケリサーチ、

6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略) 明石千とせ、新井和枝、飯塚泰子、井川弘、壹岐ヒサ子、井上晴江、井上麻美子、岩城英子、白井孝、内田潔、大久保明子、大曾根キク子、大野英理子、長田弘毅、金子君子、川中ひろみ、菊口繁子、小林こずい、西城満期子、坂本民子、佐久間ひろ子、佐竹里佳、篠崎忠三、清水公子、杉本佳久、鈴木勝弘、関田成美、高貝しづ子、高橋智也、滝沢久嘉、張民愛、寺井美和子、沼澤岩男、野岡由紀子、比嘉洋子、福田美枝子、増沢勝実、宮崎達夫、山内康代、山田陽子、米田昇三、若林紀美代

〈整理作業参加者〉(敬称略) 青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、鈴木千恵子、須藤さち子、高橋けい子、高橋智也、丹治つや子、寺井美和子、中田藤子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。


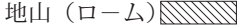



(1)縮尺は原則として

遺構配置図 1:300 遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30 炉などの詳細図 1:30

土器実測図 1:4 土器拓影図 1:4 石器実測図 1:4、2:3 銭 1:1

(2)遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3)遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

攪乱  地山 (ローム)  焼土  粘土  焼粘土 

土器 ● 石器 ★ 黒曜石・チャート ▲ 礫 ○

(4)土器断面図は、■が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

(5)土器・陶磁器実測図の中心線が破線の場合は、180度回転させて復元実測したことを示す。

(6)遺物図版における screen-tone の指示。

スス付着  タール状付着  塗彩部分  釉薬 

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括してふじみ野市教育委員会生涯学習課に保管してある。

市内遺跡群6 目次

はじめに	i	第10章 亀久保堀跡遺跡の調査	115
例言	ii	I 遺跡の立地と環境	115
凡例	iii	II 亀久保堀跡遺跡第31地点	115
目次	iv	第11章 駒林遺跡の調査	119
挿図目次	v	I 遺跡の立地と環境	119
表目次	viii	II 駒林遺跡第5地点	121
写真図版目次	viii	III 駒林遺跡第6地点	121
		IV 駒林遺跡第7地点	122
第1章 遺跡と調査の概要	1	第12章 西ノ原遺跡の調査	125
I 調査に至る経過	1	I 遺跡の立地と環境	125
II ふじみ野市の立地と環境	3	II 西ノ原遺跡第142地点	127
III 市内の遺跡	4	III 西ノ原遺跡第143地点	127
第2章 川崎遺跡の調査	10	第13章 神明後遺跡の調査	128
I 遺跡の立地と環境	10	I 遺跡の立地と環境	128
II 川崎遺跡第25地点	14	II 神明後遺跡第33地点	128
III 川崎遺跡第26地点	19	III 神明後遺跡第34地点	140
IV 川崎遺跡第27地点	35	IV 神明後遺跡第35地点	140
V 川崎遺跡第28地点	37	V 神明後遺跡第36地点	141
VI 川崎遺跡第29地点	45	第14章 小田久保遺跡の調査	142
VII 川崎遺跡第30地点	54	I 遺跡の立地と環境	142
第3章 ハケ遺跡の調査	68	II 小田久保遺跡第7地点	142
I 遺跡の立地と環境	68	第15章 本村遺跡の調査	144
II ハケ遺跡C区第8地点	68	I 遺跡の立地と環境	144
第4章 権現山遺跡の調査	72	II 本村遺跡第119地点	147
I 遺跡の立地と環境	72	III 本村遺跡第120地点	147
II 権現山遺跡第23地点	73	第16章 東台遺跡の調査	149
第5章 亀居遺跡の調査	76	I 遺跡の立地と環境	149
I 遺跡の立地と環境	76	II 東台遺跡第50地点	153
II 亀居遺跡第63地点	76	III 東台遺跡第51地点	154
III 亀居遺跡第64地点	86	第17章 石塔畑遺跡の調査	184
第6章 松山遺跡の調査	87	I 遺跡の立地と環境	184
I 遺跡の立地と環境	87	II 石塔畑遺跡第1地点	184
II 松山遺跡第44地点	90	III 石塔畑遺跡第2地点	184
III 松山遺跡第45地点	91	IV 石塔畑遺跡第3地点	184
IV 松山遺跡第46地点	104	V 石塔畑遺跡第4地点	186
第7章 東久保遺跡の調査	105	VI 石塔畑遺跡第5地点	186
I 遺跡の立地と環境	105	第18章 まとめ	187
II 東久保遺跡第66地点	105	附編 自然化学分析	189
第8章 東久保西遺跡の調査	110	写真図版	194
I 遺跡の立地と環境	110	抄録	239
II 東久保西遺跡第19地点	110		
第9章 東中学校西遺跡の調査	112		
I 遺跡の立地と環境	112		
II 東中学校西遺跡第32地点	112		
III 東中学校西遺跡第33地点	113		

挿 図 目 次

第 1 図	ふじみ野市の位置と周辺の地形	4
第 2 図	周辺の遺跡 (1/50,000)	6
第 3 図	ふじみ野市遺跡分布図 (1/30,000)	8
第 4 図	川崎遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	10
第 5 図	川崎遺跡遺構分布図 (1/2,500)	13
第 6 図	川崎遺跡第 25 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)	14
第 7 図	川崎遺跡第 25 地点掘立柱建物跡・ピット (1/60)	15
第 8 図	川崎遺跡第 25 地点溝・地下室 (1/60)	16
第 9 図	川崎遺跡第 25 地点出土遺物 (1/1・1/4)	18
第 10 図	川崎遺跡第 26・28・29・30 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)	19
第 11 図	川崎遺跡第 26 地点 H 52 号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)	22
第 12 図	川崎遺跡第 26 地点 H 52 号住居跡掘方 (1/60)、竈 (1/30)	23
第 13 図	川崎遺跡第 26 地点 H 53 号住居跡・掘方・遺物出土状況図 (1/60)	24
第 14 図	川崎遺跡第 26 地点 H 53 号住居跡竈 (1/30)	25
第 15 図	川崎遺跡第 26 地点 H 54 号住居跡・掘方 (1/60)	26
第 16 図	川崎遺跡第 26 地点 H 54 号住居跡遺物出土状況図 (1/60)、竈 (1/30)	27
第 17 図	川崎遺跡第 26 地点土坑・ピット (1/30・1/60)	28
第 18 図	川崎遺跡第 26 地点 H 52 号住居跡出土遺物① (1/4)	31
第 19 図	川崎遺跡第 26 地点 H 52 号住居跡出土遺物②・H 53 号住居跡出土遺物 (1/4・2/3)	32
第 20 図	川崎遺跡第 26 地点 H 54 号住居跡出土遺物 (1/2・1/4)	33
第 21 図	川崎遺跡第 26 地点土坑・ピット・遺構外出土遺物 (1/4)	34
第 22 図	川崎遺跡第 27 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、出土遺物 (1/4)	35
第 23 図	川崎遺跡第 27 地点溝 1・土坑 1 (1/60)	36
第 24 図	川崎遺跡第 28 地点 H 55・H56 号住居跡・掘方 (1/60)	38
第 25 図	川崎遺跡第 28 地点 H 55 号住居跡竈 (1/30)	39
第 26 図	川崎遺跡第 28 地点 H 57 号住居跡・掘方・遺物出土状況図 (1/60)	40
第 27 図	川崎遺跡第 28 地点 H 57 号住居跡竈 (1/30)	41
第 28 図	川崎遺跡第 28 地点土坑 1 (1/60)、土坑 2 (1/30)	42
第 29 図	川崎遺跡第 28 地点 H 55・H 56・H 57 号住居跡出土遺物 (1/4)	43
第 30 図	川崎遺跡第 28 地点土坑・遺構外出土遺物 (1/4)	44
第 31 図	川崎遺跡第 29 地点 H 58 号住居跡・掘方・遺物出土状況図 (1/60)	46
第 32 図	川崎遺跡第 29 地点 H 58 号住居跡竈 (1/30)	47
第 33 図	川崎遺跡第 29・30 地点 H 59 号住居跡 (1/60)	48
第 34 図	川崎遺跡第 29・30 地点 H 59 号住居跡竈 (1/30)	49
第 35 図	川崎遺跡第 29・30 地点 H 59 号住居跡掘方・遺物出土状況図 (1/60)	50
第 36 図	川崎遺跡第 29 地点溝 1・2 (1/60)	51
第 37 図	川崎遺跡第 29 地点 H 58・H 59 号住居跡・溝・遺構外出土遺物 (1/1・1/4)	53
第 38 図	川崎遺跡第 30 地点 H 60 号住居跡・掘方・遺物出土状況図 (1/60)、微細図 (1/30)	55
第 39 図	川崎遺跡第 30 地点 H 60 号住居跡竈 (1/30)	56
第 40 図	川崎遺跡第 30 地点 H 61 号住居跡 (1/60)	57
第 41 図	川崎遺跡第 30 地点 H 61 号住居跡掘方・遺物出土状況図 (1/60)	58
第 42 図	川崎遺跡第 30 地点 H 61 号住居跡竈 (1/30)	59
第 43 図	川崎遺跡第 30 地点 H 62 号住居跡・掘方 (1/60)	60
第 44 図	川崎遺跡第 30 地点溝・土坑・ピット (1/60)	61
第 45 図	川崎遺跡第 30 地点土坑 (1/60)	62

第 46 図	川崎遺跡第 30 地点井戸 (1/60)	64
第 47 図	川崎遺跡第 30 地点 H 60・H 61・H 62 号住居跡出土遺物 (1/4)	66
第 48 図	川崎遺跡第 30 地点土坑・溝・遺構外出土遺物 (1/4・2/3・1/1)	67
第 49 図	ハケ遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	68
第 50 図	ハケ遺跡遺構分布図 (1/2,000)	70
第 51 図	ハケ遺跡 C 区第 8 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/60)、出土遺物 (1/4)	71
第 52 図	権現山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	72
第 53 図	権現山遺跡遺構分布図 (1/2,000)	74
第 54 図	権現山遺跡第 23 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、出土遺物 (1/4)	75
第 55 図	亀居遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	76
第 56 図	亀居遺跡遺構分布図 (1/1,500)	77
第 57 図	亀居遺跡第 63 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)	79
第 58 図	亀居遺跡第 63 地点 16 号住居跡・不明遺構 (1/60)	80
第 59 図	亀居遺跡第 63 地点トレンチ 1 溝 (1/60)	81
第 60 図	亀居遺跡第 63 地点トレンチ 2 ピット (1/60)	82
第 61 図	亀居遺跡第 63 地点トレンチ 3・4 ピット (1/60)	83
第 62 図	亀居遺跡第 63 地点トレンチ 5 ピット (1/60)、不明遺構 1・土坑・ピット・溝・遺構外出土遺物 (1/4・1/2)	84
第 63 図	亀居遺跡第 64 地点調査区域図 (1/300)、土層図 (1/150)、出土遺物 (1/4)	86
第 64 図	松山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	87
第 65 図	松山遺跡遺構分布図 (1/3,000)	89
第 66 図	松山遺跡第 44 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)	90
第 67 図	松山遺跡第 45 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)	92
第 68 図	松山遺跡第 45 地点 H 34 号住居跡 (1/60)	93
第 69 図	松山遺跡第 45 地点 H 34 号住居跡掘方 (1/60)	94
第 70 図	松山遺跡第 45 地点 H 34 号住居跡竈 (1/30)	95
第 71 図	松山遺跡第 45 地点 H 35 号住居跡・掘方 (1/60)	96
第 72 図	松山遺跡第 45 地点 H 35 号住居跡遺物・炭化物出土状況図 (1/60)	97
第 73 図	松山遺跡第 45 地点 1 号掘立柱建物跡 (1/60)	98
第 74 図	松山遺跡第 45 地点 3 号掘立柱建物跡 (1/60)	99
第 75 図	松山遺跡第 45 地点溝 1～6 (1/60)	100
第 76 図	松山遺跡第 45 地点溝 7 (1/100)	101
第 77 図	松山遺跡第 45 地点溝 8～10・ピット (1/60)	102
第 78 図	松山遺跡第 45 地点 H 34・H 35 号住居跡・遺構外出土遺物 (1/2・1/4)	104
第 79 図	松山遺跡第 46 地点遺構区域図 (1/300)	104
第 80 図	東久保遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	105
第 81 図	東久保遺跡第 66 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)	107
第 82 図	東久保遺跡第 66 地点溝 1～3 (1/60)、出土遺物 (1/4)	108
第 83 図	東久保西遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	110
第 84 図	東久保西遺跡第 19 地点調査区域図 (1/300)	111
第 85 図	東中学校西遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	112
第 86 図	東中学校西遺跡第 32・33 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、ピット (1/60)	114
第 87 図	亀久保堀跡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	115
第 88 図	亀久保堀跡遺跡遺構分布図 (1/2,500)	116
第 89 図	亀久保堀跡遺跡第 31 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150・1/60)、堀跡 (1/120)	118
第 90 図	駒林遺跡の地形と調査区 (1/5,000)	119
第 91 図	駒林遺跡遺構分布図 (1/2,000)	121

第 92 図	駒林遺跡第 5～7 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、出土遺物 (1/2)	123
第 93 図	駒林遺跡第 7 地点溝 1～3 (1/60)、出土遺物 (1/2)	124
第 94 図	西ノ原遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	125
第 95 図	西ノ原遺跡第 142・143 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、ピット (1/60)	127
第 96 図	神明後遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	128
第 97 図	神明後遺跡遺構分布図 (1/1,500)	130
第 98 図	神明後遺跡第 33 地点遺構配置図 (1/300)、トレンチ 1 溝 (1/60)	132
第 99 図	神明後遺跡第 33 地点トレンチ 1 溝・土坑・ピット (1/60)	133
第 100 図	神明後遺跡第 33 地点トレンチ 1 井戸・溝・土坑・ピット (1/60)	134
第 101 図	神明後遺跡第 33 地点トレンチ 2 落とし穴・溝・土坑・ピット (1/60)	135
第 102 図	神明後遺跡第 33 地点トレンチ 2 溝・土坑・ピット (1/60)	136
第 103 図	神明後遺跡第 33 地点トレンチ 3 溝・土坑・ピット (1/60)	137
第 104 図	神明後遺跡第 33 地点トレンチ 3・4 溝・土坑・ピット (1/60)	138
第 105 図	神明後遺跡第 33 地点井戸・土坑・溝・ピット・遺構外出土遺物 (1/1・1/2・2/3・1/4・1/6)	139
第 106 図	神明後遺跡第 34～36 地点遺構配置図 (1/500・1/300)、土層図 (1/150)、ピット (1/60)	141
第 107 図	小田久保遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	142
第 108 図	小田久保遺跡第 7 地点調査区域図 (1/300)、土層図 (1/150)	143
第 109 図	本村遺跡の地形と調査区 (1/5,000)	144
第 110 図	本村遺跡遺構分布図 (1/3,000)	145
第 111 図	本村遺跡第 119・120 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、溝状遺構 (1/60)	148
第 112 図	東台遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	149
第 113 図	東台遺跡遺構分布図 (1/2,000)	150
第 114 図	東台遺跡第 50 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150・1/80)、出土遺物 (1/4・1/2)	153
第 115 図	東台遺跡第 51 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)	154
第 116 図	東台遺跡第 51 地点 177 号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)、炉 (1/30)	155
第 117 図	東台遺跡第 51 地点 178・181 号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)	156
第 118 図	東台遺跡第 51 地点 178 号住居跡炉 (1/30)、ピット (1/60)	157
第 119 図	東台遺跡第 51 地点 179 号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)、炉 (1/30)	159
第 120 図	東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡 (1/60)	160
第 121 図	東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡遺物出土状況図 (1/60)	162
第 122 図	東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡炉、遺物出土状況図 (1/30)	163
第 123 図	東台遺跡第 51 地点 182 号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)	165
第 124 図	東台遺跡第 51 地点土坑・ピット (1/60)	166
第 125 図	東台遺跡第 51 地点 177 号住居跡出土遺物① (1/4)	174
第 126 図	東台遺跡第 51 地点 177 号②・74 号・182 号住居跡出土遺物 (1/4)	175
第 127 図	東台遺跡第 51 地点 178 号住居跡出土遺物① (1/4・2/3)	176
第 128 図	東台遺跡第 51 地点 178 号②・179 号住居跡出土遺物 (1/4・2/3)	177
第 129 図	東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物① (1/4)	178
第 130 図	東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物② (1/4)	179
第 131 図	東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物③ (1/4)	180
第 132 図	東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物④ (1/4・1/2)	181
第 133 図	東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物⑤ (1/4・2/3)	182
第 134 図	東台遺跡第 51 地点土坑・ピット・遺構外出土遺物 (1/4・2/3)	183
第 135 図	石塔畑遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	184
第 136 図	石塔畑遺跡第 1～4 地点調査区域図 (1/300)、土層図 (1/150)	185
第 137 図	石塔畑遺跡第 5 地点調査区域図 (1/500)、土層図 (1/60)	186

表 目 次

第 1 表 過去 3 年間の調査件数と面積一覧表・・・・・・・・	1	第 32 表 松山遺跡調査一覧表・・・・・・・・	88
第 2 表 2008 (平成 20) 年度埋蔵文化財調査一覧表・・	2	第 33 表 松山遺跡古代住居跡一覧表・・・・・・・・	90
第 3 表 2008 (平成 20) 年度立会い調査一覧表・・	3	第 34 表 松山遺跡第 45 地点遺構一覧表・・・・・・・・	103
第 4 表 周辺の遺跡一覧表・・・・・・・・	7	第 35 表 松山遺跡第 45 地点出土遺物観察表・・・・・・・・	103
第 5 表 ふじみ野市遺跡一覧表・・・・・・・・	9	第 36 表 東久保遺跡調査一覧表・・・・・・・・	106
第 6 表 縄文時代中期時期細対比較表・・・・・・・・	9	第 37 表 東久保遺跡第 66 地点遺構一覧表・・・・・・・・	107
第 7 表 川崎遺跡調査一覧表・・・・・・・・	11	第 38 表 東久保遺跡第 66 地点出土遺物観察表・・	109
第 8 表 川崎遺跡古代住居跡一覧表・・・・・・・・	12	第 39 表 東久保西遺跡調査一覧表・・・・・・・・	111
第 9 表 川崎遺跡第 25 地点遺構一覧表・・・・・・・・	17	第 40 表 東中学校西遺跡調査一覧表・・・・・・・・	113
第 10 表 川崎遺跡第 25 地点出土遺物観察表・・・・・・・・	17	第 41 表 亀久保堀跡遺跡調査一覧表・・・・・・・・	117
第 11 表 川崎遺跡第 26 地点遺構一覧表・・・・・・・・	21	第 42 表 亀久保堀跡遺跡第 31 地点遺構一覧表・・	117
第 12 表 川崎遺跡第 26 地点出土遺物観察表・・・・・・・・	29	第 43 表 駒林遺跡調査一覧表・・・・・・・・	120
第 13 表 川崎遺跡第 27 地点遺構一覧表・・・・・・・・	35	第 44 表 駒林遺跡第 7 地点遺構一覧表・・・・・・・・	122
第 14 表 川崎遺跡第 28 地点出土遺物観察表・・・・・・・・	39	第 45 表 駒林遺跡第 6・7 地点出土遺物観察表・・	122
第 15 表 川崎遺跡第 28 地点遺構一覧表・・・・・・・・	42	第 46 表 西ノ原遺跡調査一覧表・・・・・・・・	126
第 16 表 川崎遺跡第 29 地点遺構一覧表・・・・・・・・	45	第 47 表 神明後遺跡調査一覧表・・・・・・・・	129
第 17 表 川崎遺跡第 29 地点出土遺物観察表・・	52	第 48 表 神明後遺跡住居跡一覧表・・・・・・・・	130
第 18 表 川崎遺跡第 30 地点遺構一覧表・・・・・・・・	60	第 49 表 神明後遺跡第 33 地点遺構一覧表・・	131
第 19 表 川崎遺跡第 30 地点出土遺物観察表・・	65	第 50 表 神明後遺跡第 33 地点出土遺物観察表・・	140
第 20 表 ハケ遺跡調査一覧表・・・・・・・・	69	第 51 表 小田久保遺跡調査一覧表・・・・・・・・	143
第 21 表 ハケ遺跡縄文時代住居跡一覧表・・・・・・・・	69	第 52 表 本村遺跡調査一覧表・・・・・・・・	146
第 22 表 ハケ遺跡古代住居跡一覧表・・・・・・・・	69	第 53 表 東台遺跡調査一覧表・・・・・・・・	151
第 23 表 ハケ遺跡 C 区第 8 地点出土遺物観察表・・	71	第 54 表 東台遺跡住居跡一覧表・・・・・・・・	152
第 24 表 権現山遺跡調査一覧表・・・・・・・・	73	第 55 表 東台遺跡第 50 地点出土遺物観察表・・	153
第 25 表 権現山遺跡第 23 地点遺構一覧表・・・・・・・・	73	第 56 表 東台遺跡第 51 地点 178 号住居跡ビット一覧表・・	158
第 26 表 権現山遺跡第 23 地点出土遺物観察表・・	75	第 57 表 東台遺跡第 51 地点 179 号住居跡ビット一覧表・・	158
第 27 表 亀居遺跡調査一覧表・・・・・・・・	78	第 58 表 東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡ビット一覧表・・	164
第 28 表 亀居遺跡住居跡一覧表・・・・・・・・	78	第 59 表 東台遺跡第 51 地点 181 号住居跡ビット一覧表・・	164
第 29 表 亀居遺跡第 63 地点遺構一覧表・・・・・・・・	81	第 60 表 東台遺跡第 51 地点遺構一覧表・・・・・・・・	164
第 30 表 亀居遺跡第 63 地点出土遺物観察表・・	85	第 61 表 東台遺跡第 51 地点出土遺物観察表・・	168
第 31 表 亀居遺跡第 64 地点出土遺物観察表・・	86		

写真図版目次

写真図版 1 川崎遺跡第 25 地点・・・・・・・・	194	写真図版 25 東久保遺跡第 66 地点、東久保西遺跡第 19	218
写真図版 2 川崎遺跡第 26 地点 (1)・・・・・・・・	195	地点、東中学校西遺跡第 32・33 地点・・	
写真図版 3 川崎遺跡第 26 地点 (2)・・・・・・・・	196	写真図版 26 亀久保堀跡遺跡第 31 地点、駒林遺跡第	219
写真図版 4 川崎遺跡第 26 地点 (3)・・・・・・・・	197	5～7 地点 (1)・・・・・・・・	
写真図版 5 川崎遺跡第 26 地点 (4)・・・・・・・・	198	写真図版 27 駒林遺跡第 7 地点(2)、西ノ原遺跡第	220
写真図版 6 川崎遺跡第 26 地点 (5)・・・・・・・・	199	142・143 地点・・・・・・・・	
写真図版 7 川崎遺跡第 26 地点 (6)、27 地点・・	200	写真図版 28 神明後遺跡第 33 地点 (1)・・・・・・・・	221
写真図版 8 川崎遺跡第 28 地点 (1)・・・・・・・・	201	写真図版 29 神明後遺跡第 33 地点 (2)・・・・・・・・	222
写真図版 9 川崎遺跡第 28 地点 (2)・・・・・・・・	202	写真図版 30 神明後遺跡第 33 地点 (3)・・・・・・・・	223
写真図版 10 川崎遺跡第 28 地点 (3)・・・・・・・・	203	写真図版 31 神明後遺跡第 33 地点 (4)・・・・・・・・	224
写真図版 11 川崎遺跡第 29 地点 (1)・・・・・・・・	204	写真図版 32 神明後遺跡第 34～36 地点・・・・・・・・	225
写真図版 12 川崎遺跡第 29 地点 (2)・・・・・・・・	205	写真図版 33 小田久保遺跡第 7 地点、本村遺跡第	226
写真図版 13 川崎遺跡第 29 地点 (3)・・・・・・・・	206	119・120 地点、東台遺跡第 50 地点・・	
写真図版 14 川崎遺跡第 30 地点 (1)・・・・・・・・	207	写真図版 34 東台遺跡第 51 地点 (1)・・・・・・・・	227
写真図版 15 川崎遺跡第 30 地点 (2)・・・・・・・・	208	写真図版 35 東台遺跡第 51 地点 (2)・・・・・・・・	228
写真図版 16 川崎遺跡第 30 地点 (3)・・・・・・・・	209	写真図版 36 東台遺跡第 51 地点 (3)・・・・・・・・	229
写真図版 17 川崎遺跡第 30 地点 (4)・・・・・・・・	210	写真図版 37 東台遺跡第 51 地点 (4)・・・・・・・・	230
写真図版 18 川崎遺跡第 30 地点 (5)・・・・・・・・	211	写真図版 38 東台遺跡第 51 地点 (5)・・・・・・・・	231
写真図版 19 ハケ遺跡 C 区第 8 地点、権現山遺跡第	212	写真図版 39 東台遺跡第 51 地点 (6)・・・・・・・・	232
23 地点、亀居遺跡第 63 地点 (1)・・		写真図版 40 東台遺跡第 51 地点 (7)・・・・・・・・	233
写真図版 20 亀居遺跡第 63 地点 (2)、64 地点・・	213	写真図版 41 東台遺跡第 51 地点 (8)・・・・・・・・	234
写真図版 21 松山遺跡第 44 地点、45 地点 (1)・・	214	写真図版 42 東台遺跡第 51 地点 (9)・・・・・・・・	235
写真図版 22 松山遺跡第 45 地点 (2)・・・・・・・・	215	写真図版 43 東台遺跡第 51 地点 (10)・・・・・・・・	236
写真図版 23 松山遺跡第 45 地点 (3)・・・・・・・・	216	写真図版 44 東台遺跡第 51 地点 (11)・・・・・・・・	237
写真図版 24 松山遺跡第 45 地点 (4)、46 地点・・	217	写真図版 45 石塔畑遺跡・・・・・・・・	238

第1章 遺跡と調査の概要

I 調査に至る経過

埼玉県ふじみ野市は、首都圏 30 km 圏内の県南西部に位置する。2005(平成 17)年 10 月 1 日に、上福岡市と大井町が合併して誕生した。面積 14.67 km²、人口は 2010(平成 22)年 2 月末現在 106,601 人である。

旧上福岡市地域では明治・大正時代頃までは畑作と稲作、旧大井町地域では畑作を中心とする農村地帯であった。また、近世以降は川越街道(大井宿)や新河岸川(福岡河岸)、東武東上線(上福岡駅)などの交通網が発達した交通の要所でもあった。

昭和初期の太平洋戦争時には、福岡に通信施設や火工廠(造兵廠)が建設され、戦後の昭和 30 年代以降には各市町で中・小の宅地開発や大規模な団地が誕生し人口が急増した。また企業の工場や研究所も多数進出してきた。昭和 60 年代以降、旧大井町地域では大規模な土地区画整理事業が進み、埋蔵文化財の発掘調査も活発に行なわれた。現在は上福岡駅周辺の再開発とふじみ野駅周辺の民間開発が活発に行なわれている。

ふじみ野市では平成 17 年から国庫・県費の補助を受けて、「市内遺跡群発掘調査事業」(旧上福岡市、旧大井町では昭和 53 年度から合併まで)として試掘・確認調査及び個人住宅建設に伴う発掘調査を実施してきた。また民間の開発に伴う本調査も原因者と協議の上、協定書並びに契約書を締結し原因者負担のもと、市教育委員会が主体となって本調査を実施している。

埋蔵文化財の調査は、庁内関係各課と連絡調整を行ない、農業委員会事務局からの農地転用許可申請段階、建設課からの建築確認申請段階、都市整備課から

の開発行為の事前申請段階等でそれぞれチェックされる。その後、教育委員会では開発主体者または土地所有者から「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」の提出を受けて事前協議を行なった。埋蔵文化財包蔵地内及びその縁辺部の申請に対して遺跡地図と照合のうえ、現地踏査を実施し現地の状況を確認の上、遺跡に影響を及ぼすとみなされる開発行為に対して申請者に連絡をし、協議を行なった。

協議後、文化財保護法第 99 条第 5 項にもとづき、民間・公共事業を問わず確認調査については全て公費で対応し、埋蔵文化財包蔵地の詳細な範囲の把握を積極的に実施してきている。また専その個人の用に供する住宅(個人住宅)の建設に伴う発掘調査についても、教育委員会が発掘調査主体者となって調査を実施した。

2008 年度は、国庫・県費補助対象の調査を 25 件、市単独費対象の調査 13 件を合わせ 38 件の試掘及び発掘調査を実施した。試掘調査の結果本調査を行なうことになったのは、個人住宅建設に伴う本調査が 8 件、公共事業に伴う本調査が 1 件、民間開発に伴う本調査は 3 件である。開発面積は 18,016 m²で、そのうち実質調査面積は 5,167 m²である。

過去 3 年間の調査件数と調査面積を第 1 表にあげてみる。また、2008 年度に行なった調査は第 2 表のとおりである。2008 年の 10 月以降、開発申請は急減しており、経済情勢を如実に示している。

今後、中小規模の再開発を含む民間開発の増加が見込まれる中で、埋蔵文化財の保存及び調査体制の強化が求められるところである。

第 1 表 過去 3 年間の調査件数と面積一覧表

年度	件数・内訳		調査原因の内訳	
	試掘件数 開発面積m ²	個人住宅 本調査件数 開発面積m ²	原因者負担 本調査件数 開発面積m ²	
2006(平成 18)年度	54 件	8 件	9 件	個人住宅 23、共同住宅 7、集合住宅・店舗 1、分譲住宅 5、店舗 4、園舎改築 1、建物解体 1、宅地造成 8、学生寮 1、保育所 1、小学校 1、コンテナボックス設置 1
	59,934	1,340	26,988	
2007(平成 19)年度	33 件	4 件	9 件	個人住宅 11、共同住宅 6、分譲住宅 4、共同住宅及び分譲住宅 1、消防分団車庫 1、変電所 1、公民館分館 1 小学校 2、寺院・庫裏 2、駐車場 1、学習塾 1 店舗兼事務所 1、道路築造 1
	69,902	1,580	55,564	
2008(平成 20)年度	38 件	8 件	4 件	個人住宅 24、共同住宅 1、分譲住宅 5、分譲及び店舗 1、モテールーム 1、道路築造 2、寄宿舍 2、プール 1、公園整備 1
	18,016	3,208	2,592	

第2表 2008(平成20)年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地住所	調査面積 (㎡)	開発面積 (㎡)	原因	試掘期間	調査期間	備考
1	川崎 25	川崎字宅地添 203 番 1 の一部,203 番 3 の一部	55	1,033	個人住宅建設	4/14	4/15 ~ 17	奈良時代の掘立柱建物跡 1、溝、 近代以降の地下室 1、本調査
2	川崎 26	川崎字宅地添 230 番 5	228	228	個人住宅建設	4/21	4/22 ~ 5/17	奈良・平安時代竪穴住居跡 4、土坑、ピット、 近代以降の井戸 1、本調査
3	川崎 27	川崎 1-7-1	112	350	分譲住宅建設	5/15 ~ 21		時期不明の溝 1、土坑 1、工事立会
4	川崎 28	川崎字宅地添 230-7	160	434	個人住宅建設	7/4,8,9	7/10 ~ 8/8	奈良・平安時代竪穴住居跡 2、土坑、ピット、 本調査
5	川崎 29	川崎字宅地添 230 番 1	108	203	個人住宅建設	7/9,10,11	7/14 ~ 8/22	奈良・平安時代竪穴住居跡 2、溝 3、本調査
6	川崎 30	川崎字宅地添 230 番 6	200	200	個人住宅建設	7/17	7/18 ~ 9/5	奈良・平安時代竪穴住居跡 4、井戸 3、土坑、溝 5、 本調査
7	ハケ C 区 8	福岡 3 丁目 2069-9	11	99	個人住宅建設	3/17		住居跡確認、工事立会
8	権現山 23	滝 1 丁目 6 番 7	12	1,576	古墳整備	10/23 ~ 29		土坑、集石、工事立会
9	亀居 63	亀久保 2 丁目 13 番 5	312	998	モデルルーム	9/17 ~ 10/3,14,15		縄文時代竪穴住居跡 1、土坑、ピット、 近世以降の溝 1、工事立会
10	亀居 64	鶴ヶ岡 2 丁目 28 番 19	56	907	分譲住宅建設	9/1,2		遺構・遺物無し、慎重工事
11	松山 44	築地 3 丁目 2-10,2-14	35	132	個人住宅建設	6/9 ~ 11		遺構・遺物無し、慎重工事
12	松山 45	築地 3 丁目 4-7 の一部 外 6 筆	390	390	道路(上下水道含 む)築造	9/4 ~ 30	10/1 ~ 23	奈良・平安時代竪穴住居跡 2、掘立柱建物跡 2、 竪穴状遺構 1、時期不明の溝 10、土坑、ピット、 本調査
13	松山 46	築地 3 丁目 1-33 の一 部,1-35 の一部	28	309	個人住宅建設	2/17		遺構・遺物無し、慎重工事
14	東久保 66	ふじみ野 2 丁目 19 番 4,19 番 5	261	862	分譲住宅建設	5/22 ~ 6/11		溝 3、慎重工事
15	東久保西 19	ふじみ野 2 丁目 11- 3,11-4	186	824	個人住宅建設	7/2,3		遺構・遺物無し、慎重工事
16	東中学校西 32	ふじみ野 3 丁目 10 番 12	302	1,231	分譲及び店舗建設	6/13 ~ 25		遺構・遺物無し、慎重工事
17	東中学校西 33	ふじみ野 4 丁目 3-8 の 一部	37	215	個人住宅建設	10/3		遺構・遺物無し、慎重工事
18	亀久保堀跡 31	ふじみ野 2 丁目 15-4	240	661	個人住宅建設	2/6 ~ 10	2/12,13	古代~中世の堀跡 1、本調査
19	駒林 5	大字駒林字新田前 256(仮換地指定 30 街区 2)	509	509	分譲住宅建設	4/9 ~ 16	5/30 ~ 6/28	縄文時代集石 3、中近世の地下式坑 1、竪穴状 遺構 25、溝 4、柵列、ピット、本調査
20	駒林 6	大字駒林字新田前 248-2(仮換地 1 街区 27 符号 1)	40	257	個人住宅建設	8/27		遺構無し、工事立会
21	駒林 7	駒林土地区画整理事業 地内 28 街区 5 画地	54	152	個人住宅建設	2/3	2/4,5	時期不明の堀、溝 2、本調査
22	西ノ原 142	うれし野 1 丁目 6-2	63	296	寄宿舎(24 戸)	4/4 ~ 7		遺構・遺物無し、慎重工事
23	西ノ原 143	うれし野 2 丁目 1 7-3	47	287	寄宿舎(25 戸)	3/23		遺構・遺物無し、慎重工事
24	神明後 33a	苗間 240-2	209	298	個人住宅建設	4/25 ~ 5/16		時期不明の落とし穴 1、中世以降の溝 6、井戸 2、 土坑、ピット、工事立会
25	神明後 33b	苗間 240-2		357	分譲住宅建設			
26	神明後 34	苗間字神明後 283- 1,284-1 の一部	357	1,693	分譲住宅建設	4/30 ~ 5/15	5/16 ~ 28	縄文時代住居跡 1、落とし穴 1、集石 3、ピット、 本調査
27	神明後 35	苗間字神明後 293 番 6,20	26	247	個人住宅建設	8/1		遺構・遺物無し、慎重工事
28	神明後 36	苗間字神明後 293-3	37	165	個人住宅建設	9/2		ピット 1、遺物無し、慎重工事
29	小田久保 7	大井字西原 1023-9,8	108	333	個人住宅建設	5/19 ~ 21		遺構遺物無し、慎重工事
30	本村 119	市沢 3 丁目 4-24 の一部	245	559	鉄共同住宅建設	5/27 ~ 6/4	6/4 ~ 19	中世の地下式坑 2、土坑 16、ピット 58、本調査
31	本村 120	市沢 2 丁目 2 番 2	15	141	個人住宅建設	12/18		遺構遺物無し、慎重工事
32	東台 50	大井字東台 716-1 の一部	208	646	小学校プール建設	7/14 ~ 22		遺構遺物無し、慎重工事
33	東台 51	大井字東台 648-2	297	297	個人住宅建設	3/10 ~ 17	3/18 ~ 5/7	縄文時代住居跡 6、土坑、ピット、本調査
34	石塔畑 1	大井字東台 769 番 9	58	200	個人住宅建設	11/17 ~ 20		遺構・遺物無し、慎重工事
35	石塔畑 2	大井字東台 769 番 11,22	42	235	個人住宅建設	11/18 ~ 21		遺構・遺物無し、慎重工事
36	石塔畑 3	大井字東台 769 番 13,14	46	204	個人住宅建設	11/19 ~ 25		遺構・遺物無し、慎重工事
37	石塔畑 4	大井字東台 769 番 17	48	200	個人住宅建設	11/19 ~ 25		遺構・遺物無し、慎重工事
38	石塔畑縁辺	大井字東台 763-4,6	22	289	個人住宅建設	1/13,14		遺構・遺物無し、慎重工事
	合計		5,164	18,016				

第3表 2008（平成20）年度立会い調査一覧表

	遺跡名	申請地住所	開発面積 (㎡)	原因	立会い日	備考
1	鶴ヶ岡外	亀久保字三角 1703-7	325	木造平屋建工場建設	7/22	現地表面下 40 cmで地山ロ-M層確認、建物基礎は地下掘削がなく、工事立会
2	鶴ヶ岡外	亀久保大野原 1643 番 3	201	個人住宅建設	10/16	現地表面下 150 cmで地山ロ-M層確認、保護層有、工事立会い
3	北野	北野 1-3110-2	217	集合住宅建設	5/15	地表面下 30 cmまで遺構遺物無し、慎重工事
4	北野	大原 2 丁目 2076 番 29	101	分譲住宅建設	6/17	現地表面下 70 cmで地山ロ-M層確認、遺構遺物無し、慎重工事
5	北野	北野 2 丁目 1818- 1,5,22,28	105	個人住宅建設	6/20	現地表面下 110 cmで地山ロ-M層確認、保護層有、慎重工事
6	滝	滝 3-23,3-141	369	個人住宅建設	6/6	現地表面下 30 cmは褐色土の客土、その下 60 ~ 70 cmは灰色の砂層客土し、慎重工事
7	長宮	中丸 1 丁目 5-17	87	個人住宅建設	8/4	盛土 50 cm、さらに 30 cm下で地山ロ-M層確認、保護層有、工事立会
8	長宮	西原 2 丁目 5-30	120	個人住宅建設	7/23	現地表面下 90 cmで地山ロ-M層確認、保護層有、工事立会
9	長宮	西原 2 丁目 5-23	120	個人住宅建設	11/5	現地表面下 80 cmで地山ロ-M層確認、保護層有、工事立会い
10	亀居	鶴ヶ岡 2 丁目 28-14,15	298	個人住宅建設	7/24	現地表面下 55 cmで地山ロ-M層確認、保護層有、工事立会
11	江川東	東久保 1 丁目 172 番 6	107	個人住宅建設	7/24	40 ~ 90cmの客土、保護層有、工事立会
12	東久保	ふじみ野 2-3-17	100	個人住宅建設	7/28	現地表面下 80 cmで地山ロ-M層確認、保護層有、工事立会
13	東久保南	ふじみ野 1 丁目 5-5	427	個人住宅建設	7/29	現地表面下 50 cmで地山ロ-M層確認、15 cm客土、保護層有、工事立会
14	駒林	駒林字新田前 259-4 ~ 7,260-1	284	区画整理事業に伴う 換地の造成	12/25	50 cm以上盛土有、工事立会
15	神明後	苗間字神明後 272- 2,271-1の一部	152	仮住宅木造 2 階建て 建設	7/8,22	現地表面下 70 cmで地山ロ-M層確認、保護層有、工事立会
16	神明後	苗間 281 番 12,16	100	個人住宅建設	8/6	現地表面下 90 cmで地山ロ-M層確認、保護層有、工事立会
17	神明後	苗間 236-1	148	個人住宅建設	8/8	盛土 30 cm、さらに 30 cm下で地山ロ-M層確認、保護層有、工事立会
18	神明後	苗間 374-19	97	個人住宅建設	10/30	現地表面下 90 cmで地山ロ-M層確認、保護層有、工事立会
19	神明後	苗間 271-1	1,518	個人住宅建設	1/23	現地表面下 90 ~ 130 cmで地山ロ-M層確認、50 ~ 60 cm客土、保護層有、工事立会
20	本村	大井 2 丁目 8 番 4	320	個人住宅建設	5/19	地表下 70 ~ 130 cmでロ-M層保護層有、工事立会
	合計		5,195			

II ふじみ野市の立地と環境

ふじみ野市は埼玉県の南西部に位置し、市内には国道 254 号バイパス、東武東上線、川越街道（国道 254 号線）、関越自動車道といった、交通の幹線が北西から南東方向に平行して存在する。市内の開発はこうした幹線沿いや、東武東上線上福岡駅周辺、ふじみ野駅周辺を中心に進んでいるが、郊外には畑地や田園風景も多くみられる。

ふじみ野市を地形的にみると、武蔵野台地縁辺部と荒川低地の沖積地に大きく分かれる。

武蔵野台地は古多摩川が形成した扇状地で、扇頂部で標高 180 m、扇端部は標高 15 ~ 20 mで比高差 10 m前後の急斜面となって荒川低地と接している。台地には柳瀬川、黒目川、石神井川等の中河川が荒川低地へ向かって流れ、深い谷と沖積地を形成し、河川に沿って多くの遺跡が分布している。他にも多数の小河川が流れ、台地縁辺を鋸歯状に開析することが多いが、中には急崖もなく、緩斜面のまま低地に接していくことがある。この緩斜面はもともと低位の段丘面で、低位台地と呼ばれる。旧大井町地域を南北方向の断面図で見ると、北と南に高台が続き、その中間に低位台地

（大井台）がある。この大井台の中を 3 本の河川が東流し、河川の流域に遺跡が集中している。中でも砂川堀は狭山丘陵に流れを発する中河川で、本来大井台はこの砂川の段丘面と捉えることができる。また、福岡江川や富士見市との境を流れるさかい川、浄禅寺川などの小河川は市内に湧水源をもつ。湧水源は浅い窪地から発しており、こうした窪地の形成は従来から伏流水が再湧出したことによるものと、宙水からの流出によるものとの二通りが考えられている。

荒川低地は、荒川により形成された沖積地で、ふじみ野市の北東部から東部にかけて広がる。荒川の支流であった新河岸川は川越市周辺に水源を発しその流れはふじみ野市、富士見市、志木市、朝霞市を経て東京都にまたがる。武蔵野台地縁辺部を縫うように流れ、不老川、九十川、福岡江川、砂川堀、柳瀬川、黒目川、越戸川、白子川などの支川と合流し、現在は東京都北区で隅田川に合流する。低地部は平坦に見えるが、荒川や新河岸川の河川改修等で取り残された沼や、氾濫でできた旧河道（埋没河川）、自然堤防、後背湿地などの地形が存在する。

Ⅲ 市内の遺跡

ふじみ野市の遺跡分布をみると、台地上の中小河川沿いと荒川低地部を望む縁辺部、低地部分に分かれる。

市内の主な遺跡を時代順に河川ごとに概観する。

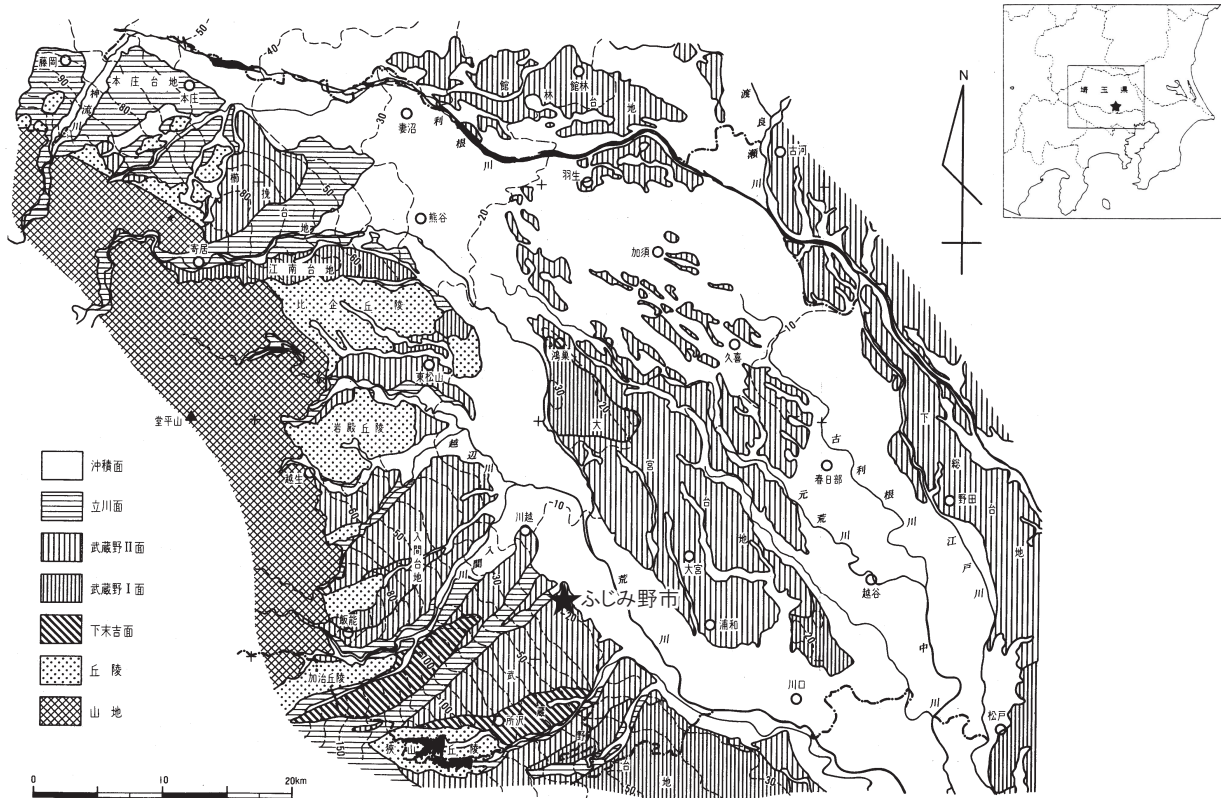
【旧石器時代・縄文時代】市の北側を流れる川越江川では、右岸高台に鶴ヶ岡外遺跡、鶴ヶ岡遺跡、八幡神社遺跡（川越市）が位置し、縄文時代中期の集落である西遺跡へ続く。鶴ヶ岡外遺跡では旧石器時代の石器群と礫群が出土し、八幡神社遺跡では縄文時代中期の住居跡などが検出されている。

藤間江川・川越江川が新河岸川に合流する部分、荒川低地に張り出した舌状台地上に、川崎貝塚として著名な川崎遺跡が立地する。本遺跡ではローム層中からではないが旧石器時代の石器が出土し、縄文時代早期から後期の住居跡などを検出する。新河岸川は川崎遺跡を回り込み、低地部で台地東縁を沿うように流れる。台地東端は急峻を成し、崖線上には縄文時代中期のハケ遺跡、学史上著名な前期集落の上福岡貝塚が形成され権現山遺跡へと続く。台地の南端、市立福岡中学校周辺はかつて「熊野山」と呼ばれ、湧出した水が丘上から流れ落ち滝となっていたため「滝地区」の名称が付いたとされる。清水は長宮氷川神社の裏手（北

側）を北に流れていたが現在は道路となっており、新河岸川との合流部でその面影を残すのみである。滝遺跡、長宮遺跡はこの小河川に対峙して立地し、滝遺跡では前期の遺構と遺物を、長宮遺跡では前期関山期の集落跡が確認されている。

川越江川の1 km南には福岡江川が流れ、新河岸川へ注ぐ。福岡江川の湧水地周辺域に縄文時代中期前半の集落である亀居遺跡が存在し、対岸にも中期前半の江川南遺跡がある。この2遺跡と鶴ヶ岡遺跡では、旧石器時代立川ローム第IV層の礫群と石器群を検出している。さらに市立亀久保小学校周辺では福岡江川に注ぐ埋没谷がみられ、東久保遺跡、亀久保掘跡遺跡、東久保西遺跡、東中学校西遺跡で旧石器時代から縄文時代中期の遺構と遺物が確認されている。川越江川最下流の新河岸川との合流部域には、前期集落の鷺森遺跡が存在する。

福岡江川の900 m南には、富士見市との境にさかい川が流れ、3 km下流で砂川堀と合流する。流域には縄文時代中期の拠点集落である西ノ原遺跡の他、10遺跡が存在する。旧石器時代の遺跡は西ノ原遺跡、中沢前遺跡、中沢遺跡・外塚遺跡（富士見市）で立川ロームⅢ層～Ⅹ層の遺物が確認されている。縄文時代中期～後期の集落は時代を追うごとに、上流から下流



(原図 堀口1980に一部加筆)

第1図 ふじみ野市の位置と周辺の地形

域へ集落の拠点を移していく傾向がみられる。

さかい川の800 m南に、都市下水道と化した砂川堀が流れる。砂川流域は大きく3ヶ所の地域で遺跡分布がみられる。砂川最上流域の狭山丘陵裾部、伏流水となりはじめる中流域、一旦地中に姿を消したあと再び湧水してくる下流域である。下流域のふじみ野市地域では、砂川右岸が段丘となり5～6 mの急崖を形成する。この高台上には縄文時代中期の拠点集落である東台遺跡があり、旧石器時代の遺跡も西台遺跡から東台遺跡まで連綿と続く。一方砂川左岸の低位台地では、市内で最古の時期であるA T降灰前（立川ローム第Ⅶ層）の石器を本村遺跡の微高地上から検出する。縄文時代中期には上流の小田久保遺跡で小規模な集落がみられ、本村遺跡では炉穴、落とし穴が散在するのみである。

【弥生・古墳時代】荒川低地を流れる新河岸川の自然堤防上に、弥生時代後期の環濠集落である伊佐島遺跡が立地する。新河岸川右岸、舌状台地崖線上の東端に立地する権現山遺跡は、縄文時代から中世までの複合遺跡で、縄文時代の住居跡も存在するが、主体は遺跡北東部と北西端に築造された古墳群と、古墳時代前期から奈良・平安時代にかけての集落跡である。北東部に築造された古墳時代前期の古墳群（埼玉県指定史跡権現山古墳群）は、方墳11基の他に古墳時代初期の前方後方墳（2号墳）1基である。また権現山古墳群北西端の台地縁辺部には、古墳時代中期の古墳群（通称権現山北古墳群）3基がある。他に古墳時代の集落は川崎遺跡と上福岡貝塚、滝遺跡で確認されている。

【飛鳥・奈良・平安時代】7世紀には、前述の舌状台地の西側、川崎遺跡の南西隣に川崎横穴墓群、さらに南約1.5 kmの台地南側の崖線に、富士見台横穴墓群が存在する。集落は川崎遺跡、滝遺跡、松山遺跡、長宮遺跡など一段低い段丘面に展開し、川崎遺跡は10世紀前半まで、滝遺跡、松山遺跡は9世紀後半ごろまで続く。

8世紀代には前述の他、ハケ遺跡、上福岡貝塚、権現山遺跡、神明後遺跡、東久保南遺跡などで住居跡を検出する。8世紀中葉から9世紀前半まで、砂川堀右岸の台地縁辺部に東台遺跡の大規模な製鉄遺跡が現われ、周辺の遺跡でも木炭窯などが確認されている。さらに9世紀以降10世紀までは伊佐島遺跡、東台遺跡、西ノ原遺跡などで住居跡を検出している。

またハケ遺跡からは銚帯金具が、川崎遺跡からは瓦

塔片と布目瓦などが出土しており注目される。

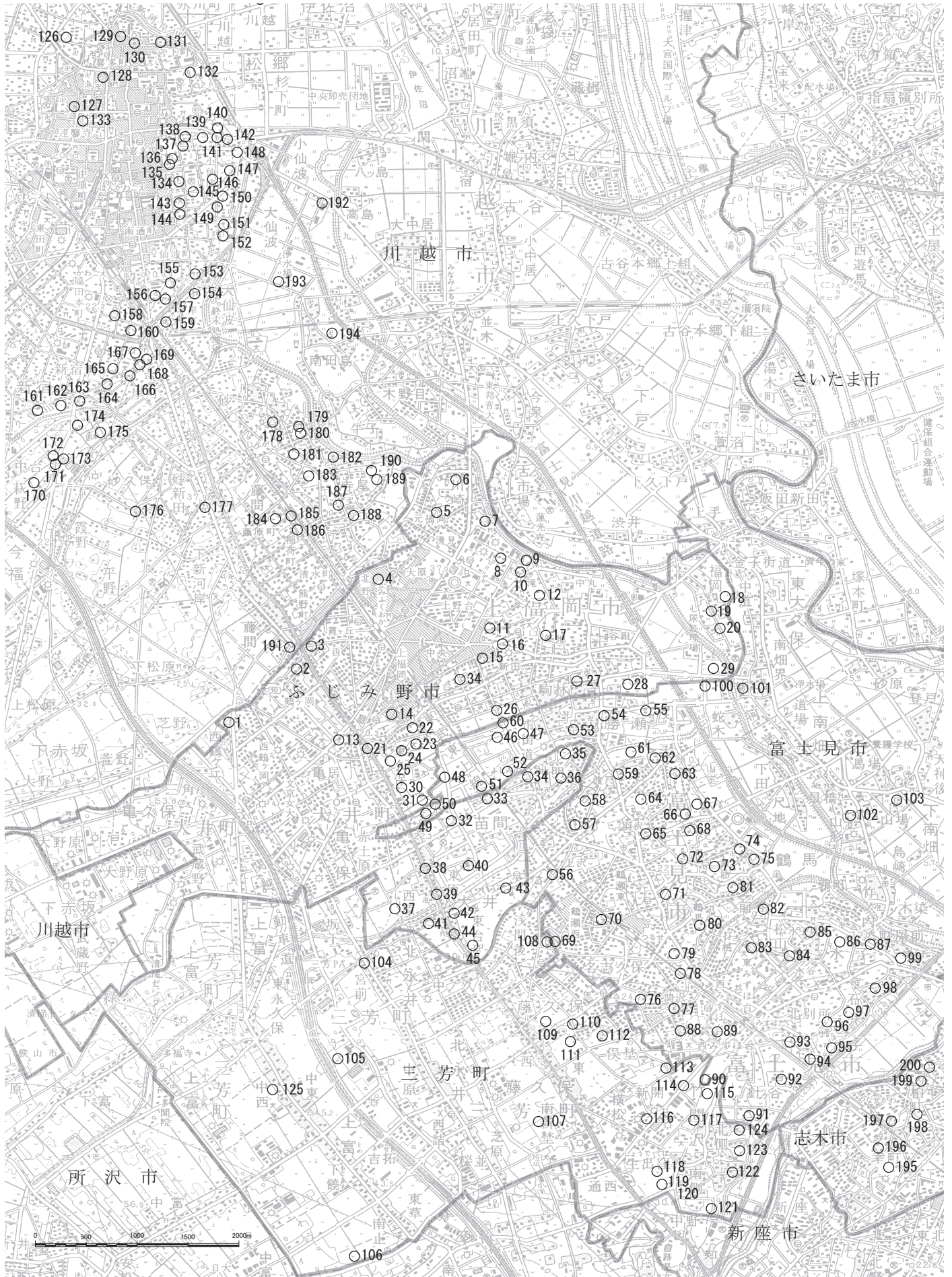
【中世】駒林遺跡では14世紀代に造立された板碑の下に、蔵骨器が埋納された葺石墳墓を検出した。また本遺跡を囲む堀跡状の溝覆土層中から、茶毘跡などが確認されている。長宮遺跡、松山遺跡、本村遺跡などでは13～16世紀代の遺物を伴う遺構を検出する。特に本村遺跡では遺構を多数検出し、15世紀以降中世集落が発展したと思われる。

16世紀後半から17世紀前半では川崎遺跡、長宮遺跡、松山遺跡、神明後遺跡、浄禅寺跡遺跡などで屋敷地とみられる遺構を検出し、「新田」といった地名と共に開発の歴史を偲ばせる。特に城山遺跡は荒川低地の自然堤防上に立地し、周囲を方形に堀跡で囲む中世から近世の居館跡と思われる。

また、松山遺跡、駒林遺跡、亀久保堀跡遺跡、神明後遺跡では時期不詳の長大な堀跡が検出されている。

【近世】近世以降の遺跡は、多数の遺跡で遺物などが確認されている。主な近世遺跡の分布は中世村落から続く集落跡や、街道沿いの宿場や新河岸川の河岸跡、寺院跡などにみられる。中でも、川越街道沿い大井宿の範囲にある大井氏館跡遺跡、大井戸上遺跡や大井宿遺跡、亀久保村地蔵院の江川南遺跡、旧苗間村の寺院跡である浄禅寺跡遺跡、長宮氷川神社周辺の長宮遺跡、新河岸舟運で栄えた福岡河岸の福田屋などでまとまった遺構と遺物が確認されている。また鷲森遺跡で、近・現代の盛り土の中から陶磁器が多数出土しているが、埋め立ての為に他から持ち込まれた可能性がある。

近世以降では、昭和初期の旧日本陸軍の軍需工場である造兵廠東京工廠福岡工場（通称火工廠）の跡地で、防爆土塁・防空壕・水溜・消火栓・排水枡などの遺構や遺物が、近年の調査で確認されている。



第2図 周辺の遺跡 (1/50,000)

第4表 周辺の遺跡一覧表

No.・市町村	遺跡名	時代				
		旧石器	縄文	弥生・古墳	奈良・平安	中世以降
ふじみ野市						
1	鶴ヶ岡外遺跡	○	○			
2	鶴ヶ岡遺跡	○	○			○
3	西遺跡		○			
4	北野遺跡		○		○	
5	川崎横穴墓群			○		
6	川崎遺跡	○	○	○	○	
7	ハケ遺跡		○	○	○	
8	上福岡貝塚		○	○	○	
9	権現山遺跡・権現山古墳群		○	○		
10	滝遺跡		○	○	○	○
11	西原遺跡		○			
12	長宮遺跡		○		○	○
13	亀居遺跡	○	○			○
14	鶴ヶ舞遺跡	○	○		○	
15	富士見台横穴群			○		
16	福遺跡			○		
17	松山遺跡			○	○	○
18	天神廻遺跡			○		
19	城山遺跡					○
20	川袋遺跡				○	
21	江川南遺跡	○	○			○
22	江川東遺跡				○	○
23	東久保遺跡	○	○			○
24	亀久保堀跡遺跡		○			○
25	東久保西遺跡	○	○			○
26	駒林遺跡・駒林中世墳墓		○		○	○
27	福岡新田遺跡		○			○
28	鷺森遺跡					○
29	伊佐高遺跡			○	○	○
30	東中学校西遺跡		○			○
31	東久保南遺跡	○	○			○
32	西ノ原遺跡	○	○		○	○
33	中沢前遺跡	○	○			○
34	神明後遺跡	○	○		○	○
35	苗間東久保遺跡	○	○			
36	浄禪寺跡遺跡	○	○			○
37	小田久保遺跡	○	○			○
38	大井宿遺跡					○
39	大井氏館跡遺跡 大井戸遺跡	○	○			○
40	本村遺跡	○	○			○
41	西台遺跡	○	○		○	○
42	大井戸上遺跡	○	○			○
43	東台遺跡	○	○		○	○
44	大井宿遺跡木戸跡					○
45	石塔畑					○
富士見市						
46	稲荷久保南遺跡					
47	市街道遺跡					
48	南武蔵野遺跡					
49	西ノ原遺跡	○				
50	オトウカ山・東久保南遺跡				○	○
51	中沢遺跡	○	○			
52	外記塚	○			○	○
53	稲荷前遺跡					
54	鍛冶海戸遺跡					○
55	宮廻遺跡	○	○			○
56	上沢遺跡	○				
57	西渡戸遺跡	○				
58	渡戸遺跡		○			
59	東渡戸遺跡					
60	稲荷久保北遺跡		○			
61	薬師前遺跡					
62	貝塚山遺跡	○	○	○		
63	大谷遺跡					
64	羽沢遺跡	○	○			
65	羽沢前遺跡	○	○			
66	山室遺跡	○				
67	山室谷遺跡		○			

No.・市町村	遺跡名	時代				
		旧石器	縄文	弥生・古墳	奈良・平安	中世以降
68	平塚遺跡		○			
69	浅間後遺跡	○				
70	権平沢遺跡		○			
71	谷津遺跡	○	○		○	○
72	宮脇遺跡		○		○	△
73	黒貝戸遺跡		○	○	○	○
74	折戸遺跡		○			
75	宿遺跡(多門氏館跡)	○				○
76	本日遺跡	○	○		△	
77	節沢遺跡		○			
78	ハケ上遺跡	○	○			
79	新田遺跡		○			
80	御庵遺跡		○		○	
81	殿山遺跡		○		○	○
82	山崎遺跡					
83	打越遺跡	○	○	○		△
84	松山遺跡		○			
85	氷川前遺跡	○	○	○	○	△
86	水子貝塚		○			
87	東前遺跡				○	
88	関沢遺跡		○			
89	松ノ木遺跡	○	○			
90	新開遺跡					
91	南通遺跡		○	○	○	○
92	北通遺跡	○	○	○	○	△
93	栗谷ツ遺跡	○	○		○	
94	別所遺跡			○		○
95	正網南遺跡			○		
96	正網遺跡		○		△	△
97	東台遺跡	○	○	○	○	○
98	神明遺跡					
99	観音前遺跡			○	○	
100	伊佐島遺跡			○	○	
101	上内手遺跡			○	○	○
102	山形遺跡			○		○
103	難波田氏館跡					○
三芳町						
104	宮前遺跡					
105	中東遺跡	○				
106	南止遺跡	○				
107	南新埜遺跡	○				
108	浅間後遺跡	○	○		○	
109	藤久保東遺跡	○	○			
110	藤久保東第二遺跡	○	○			
111	藤久保東第二遺跡	○	○			
112	俣埜遺跡	○	○		○	
113	三芳唐沢遺跡	○				
114	新開遺跡	○			○	
115	北原第二遺跡					
116	新開第二遺跡	○			○	
117	北原遺跡	○				
118	生出窪北遺跡					
119	生出窪遺跡		○	○		
120	生出窪南遺跡					
121	古井戸山遺跡	○	○	○	○	○
122	本村南遺跡					○
123	本村北遺跡		○	○	○	○
124	北側遺跡		○	○	○	
125	三富開拓地割遺跡					○
川越市						
126	神明町遺跡				○	
127	末広町1丁目遺跡					○
128	元町2丁目遺跡			○		○
129	東明寺南遺跡					○
130	宮下町2丁目遺跡					○
131	氷川神社遺跡			○	○	
132	川越城跡			○		○
133	仲町遺跡				○	○

No.・市町村	遺跡名	時代				
		旧石器	縄文	弥生・古墳	奈良・平安	中世以降
134	中院遺跡					○
135	小仙波堀ノ内遺跡					○
136	慈眼堂古墳			○		
137	多宝塔古墳			○		
138	喜多院境内遺跡				○	○
139	小仙波2丁目D遺跡		○	○		
140	小仙波2丁目A遺跡		○	○	○	
141	小仙波2丁目B遺跡		○	○	○	
142	小仙波2丁目C遺跡			○	○	
143	仙波古代集落遺跡			○	○	
144	弾正屋敷					○
145	弁天西遺跡			○	○	○
146	三変稲荷神社古墳			○		
147	小仙波4丁目遺跡		○	○	○	
148	小仙波貝塚跡		○			
149	弁天南遺跡		○	○		
150	弁天上遺跡		○	○	○	
151	堀ノ内遺跡		○			
152	仙波氏館跡					○
153	氷川神社古墳			○		
154	愛宕神社古墳			○		
155	仙波小東遺跡			○		
156	仙波小南遺跡			○		
157	浅間神社古墳			○		
158	熊野神社西遺跡		○	○		○
159	浅間神社南遺跡		○		○	
160	新宿2丁目遺跡				○	
161	土赤遺跡		○			
162	新宿小南遺跡		○		○	○
163	中台山古墳			○		
164	新宿4丁目遺跡		○		○	
165	新宿3丁目遺跡		○		○	
166	岸町山下の横穴			○		
167	熊野神社西遺跡			○	○	
168	岸町の一横穴			○		
169	岸町1~4号横穴墓			○	○	
170	中台C遺跡			○		○
171	はた塚古墳			○	○	
172	中台B遺跡		○	○		
173	中台A遺跡		○			
174	八雲神社古墳			○		
175	八雲東遺跡				○	
176	砂久保陣場					○
177	吉田神社古墳					
178	漆谷遺跡				○	
179	寺尾城					○
180	寺尾鹿寺		○			
181	河岸原遺跡		○		○	
182	河岸遺跡		○		○	○
183	原遺跡		○			
184	藤原町西遺跡		○		○	
185	藤原町遺跡		○			
186	稲荷町遺跡		○			
187	中原遺跡		○	○		
188	多成遺跡		○		○	○
189	後原寺側遺跡		○		○	
190	寺尾貝塚		○		○	
191	八幡神社遺跡		○		○	
192	高島遺跡				○	
193	大仙波遺跡		○		○	
194	南田島遺跡		○		○	○
志木市						
195	西原大塚遺跡	○	○	○	○	
196	塚ノ山古墳			○		
197	新塚遺跡		○			○
198	中道遺跡		○	○	○	○
199	城山遺跡		○	○	○	○
200	城山貝塚		○	○	○	○



ふじみ野市全図

第3図 ふじみ野市遺跡分布図 (1/30,000)

第5表 ふじみ野市遺跡一覧表

No.	遺跡名	主な時代	遺跡番号	No.	遺跡名	主な時代	遺跡番号
1	鶴ヶ岡外遺跡	旧石器、縄文早期の集落跡	30-036	25	東久保西遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-042
2	鶴ヶ岡遺跡	旧石器、縄文早期・中期の集落跡	30-047	26	駒林遺跡	近世の堀跡・中世の墳墓	25-013
3	西遺跡	縄文中期の集落跡	25-001	27	福岡新田遺跡	縄文時代の散布地、中・近世寺院	25-015
4	北野遺跡	縄文中期、奈良・平安の集落	25-002	28	鷺森遺跡	縄文前期の集落跡	25-017
5	川崎横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-004	29	伊佐島遺跡	古墳前期、平安の集落跡	25-021
6	川崎遺跡	旧石器、縄文前期・中期、古墳前期・中期、奈良・平安の集落跡	25-003	30	東中学校西遺跡	縄文早期・中期、近世の集落跡	30-008
7	ハケ遺跡	縄文中期の集落跡、奈良・平安の集落跡	25-005	31	東久保南遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-032
8	上福岡貝塚	縄文前期、古墳前期、奈良・平安の集落跡	25-006	32	西ノ原遺跡	旧石器、縄文早期・中期・後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-001
9	権現山遺跡群(古墳群)	古墳前期の集落跡・古墳群、縄文中期、奈良・平安の集落	25-007	33	中沢前遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-044
10	滝遺跡	縄文時代、古墳前期・中期、奈良・平安、近世の集落跡	25-008	34	神明後遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-041
11	西原遺跡	縄文の散布地	25-025	35	苗間東久保遺跡	旧石器、縄文早期～後期	30-020
12	長宮遺跡	縄文前期、中・近世の集落跡	25-009	36	浄禅寺跡遺跡	旧石器、縄文早期・中期、中・近世の集落跡、近世寺院跡	30-022
13	亀居遺跡	旧石器、縄文前期・中期の集落跡	30-030	37	小田久保遺跡	旧石器、縄文早期～中期、中・近世の集落跡	30-040
14	鶴ヶ舞遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安の集落跡	30-046	38	大井宿遺跡	近世～近代の宿場跡	30-010
15	富士見台横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-011	39	大井氏館跡遺跡・大井戸遺跡	旧石器、縄文前期・中期、中・近世の集落跡	30-037
16	福遺跡	古墳後期の横穴墓	25-023	40	本村遺跡	旧石器、縄文早期～後期、中・近世の集落跡	30-034
17	松山遺跡	奈良・平安、中・近世の集落跡	25-010	41	西台遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安、近世の集落跡	30-039
18	天神廻遺跡	古墳中期の散布地	25-018	42	大井戸上遺跡	旧石器、縄文前期・中期、近世の集落跡	30-014
19	城山遺跡	中・近世の館跡	25-019	43	東台遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡、製鉄遺跡	30-024
20	川袋遺跡	奈良・平安の散布地	25-020	44	大井宿木戸跡	近世～近代の宿場跡	30-048
21	江川南遺跡	旧石器、縄文中期、中・近世の集落跡	30-007	45	石塔畑	中世の散布地	30-027
22	江川東遺跡	奈良・平安、近世の集落跡	30-045				
23	東久保遺跡	旧石器、縄文中期、近世の集落跡	30-009				
24	亀久保堀跡遺跡	中世の堀跡	30-006				

第6表 縄文時代中期時期細分対比表

本書 2011 ①	安孫子昭二 1988 鈴木・山本 1988 ②	植木 弘 ③ 1994	黒尾和久 ④ 1995	谷井 他 ⑤ 1982	考古学協会 ⑥ 1981		
猪沢・阿玉台 I b 古	猪沢・阿玉台 I b 古	猪沢・阿玉台 I b	中 前 期 半 葉 勝 後 坂 半 a b c 1 2 3 4 半 1 2 3 會 利 E	1a 中 1a 新 1b 2a 古 2a 新 2b 3a 3b 古 3b 新	阿玉台 I b 前 IV b 阿玉台 I b 前 Va V b VI VII VIII IX a IX b X XI XI a XI b XIII XIV	II 期 阿玉台出現期 III 期 (勝坂最古段階) IV 期 (勝坂盛時段階) V 期 (勝坂終末) 加曾利 E I 古 加曾利 E I 新 加曾利 E II 加曾利 E III 加曾利 E IV	
勝坂 I 古・新道古・阿玉台 I b 新 勝坂 I 新・新道新・阿玉台 II 古 勝坂 II 古・藤内古・阿玉台 II 新 勝坂 II 新・藤内新 勝坂 III 古・井戸尻・阿玉台 III 古 勝坂 III 新・阿玉台 III 新	勝坂第 I 様式 II 様式 III 様式 IV 様式 V 様式 VI 様式	勝坂 I 様式 II 様式 III 様式 IV 様式 V 様式 VI 様式		1 2 3 4 半 1 2 3 會 利 E	1a 中 1a 新 1b 2a 古 2a 新 2b 3a 3b 古 3b 新	阿玉台 I b 前 IV b 阿玉台 I b 前 Va V b VI VII VIII IX a IX b X XI XI a XI b XIII XIV	II 期 阿玉台出現期 III 期 (勝坂最古段階) IV 期 (勝坂盛時段階) V 期 (勝坂終末) 加曾利 E I 古 加曾利 E I 新 加曾利 E II 加曾利 E III 加曾利 E IV
加曾利 E I 古	加曾利 E 1 様式	加曾利 E I 直前		a b c 1 2 3 4 半 1 2 3 會 利 E	1a 中 1a 新 1b 2a 古 2a 新 2b 3a 3b 古 3b 新	阿玉台 I b 前 IV b 阿玉台 I b 前 Va V b VI VII VIII IX a IX b X XI XI a XI b XIII XIV	II 期 阿玉台出現期 III 期 (勝坂最古段階) IV 期 (勝坂盛時段階) V 期 (勝坂終末) 加曾利 E I 古 加曾利 E I 新 加曾利 E II 加曾利 E III 加曾利 E IV
加曾利 E I 新 古相 中相 新相	加曾利 E 2 様式	加曾利 E I 式		1 2 3 4 半 1 2 3 會 利 E	1a 中 1a 新 1b 2a 古 2a 新 2b 3a 3b 古 3b 新	阿玉台 I b 前 IV b 阿玉台 I b 前 Va V b VI VII VIII IX a IX b X XI XI a XI b XIII XIV	II 期 阿玉台出現期 III 期 (勝坂最古段階) IV 期 (勝坂盛時段階) V 期 (勝坂終末) 加曾利 E I 古 加曾利 E I 新 加曾利 E II 加曾利 E III 加曾利 E IV
加曾利 E II 古相 中相 新相	加曾利 E 3 様式	加曾利 E II 式		1 2 3 會 利 E	1a 中 1a 新 1b 2a 古 2a 新 2b 3a 3b 古 3b 新	阿玉台 I b 前 IV b 阿玉台 I b 前 Va V b VI VII VIII IX a IX b X XI XI a XI b XIII XIV	II 期 阿玉台出現期 III 期 (勝坂最古段階) IV 期 (勝坂盛時段階) V 期 (勝坂終末) 加曾利 E I 古 加曾利 E I 新 加曾利 E II 加曾利 E III 加曾利 E IV
加曾利 E III	加曾利 E 4 様式 a	加曾利 E III 式		1 2 會 利 E	1a 中 1a 新 1b 2a 古 2a 新 2b 3a 3b 古 3b 新	阿玉台 I b 前 IV b 阿玉台 I b 前 Va V b VI VII VIII IX a IX b X XI XI a XI b XIII XIV	II 期 阿玉台出現期 III 期 (勝坂最古段階) IV 期 (勝坂盛時段階) V 期 (勝坂終末) 加曾利 E I 古 加曾利 E I 新 加曾利 E II 加曾利 E III 加曾利 E IV
加曾利 E IV	b			E E4	1a 中 1a 新 1b 2a 古 2a 新 2b 3a 3b 古 3b 新	阿玉台 I b 前 IV b 阿玉台 I b 前 Va V b VI VII VIII IX a IX b X XI XI a XI b XIII XIV	II 期 阿玉台出現期 III 期 (勝坂最古段階) IV 期 (勝坂盛時段階) V 期 (勝坂終末) 加曾利 E I 古 加曾利 E I 新 加曾利 E II 加曾利 E III 加曾利 E IV

第2章 川崎遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。台地の幅は400～500m、台地の基部から先端へ1kmにわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で18m、最北部では8mを測る。遺跡の範囲は南北600m、東西500m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に川崎横穴墓群が隣接し、東側基部に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917年（大正6年）台地の先端部で貝層が確認され1928年（昭和3年）の調査では川崎貝塚として報告された。1967年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、1980年以來36ヶ所で調査が行われ、21ヶ所で遺構が確認されている。主たる時代と遺構は縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑である。



第4図 川崎遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第7表 川崎遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
予備発掘調査	川崎 160	(1974.3.25～4.4)	84	事前調査	炉穴3、土坑2、ピット群、縄文土器、石器	上福岡市遺跡調査報告書
1次	川崎 162～176	1974.7.20～9.19	1,800	事前調査	住居跡11(縄文前期3、古墳前期1、国分7)、溝3、堀2、土坑5、地下式坑6、集石1	川崎遺跡第1次調査概報
緊急発掘調査	大字川崎字宮後 168-3	1975.3.30～5.10	198	個人住宅	溝3、縄文土器、石器、平安土師器・須恵器・灰釉陶器・布目瓦・瓦塔	上福岡市遺跡調査報告書
宅地添1次(A地区)	大字川崎字宅地添 122	1975.6.8～29	50	個人住宅	縄文早期住居跡1、縄文土器、石器、礫	上福岡市遺跡調査報告書
2次	川崎 137～174	1975.9.4～12.5	3,055	事前調査	縄文住居跡9、古墳住居跡6、奈良平安住居跡10、中世遺構他	川崎遺跡第2次調査概報
3次	川崎 149-6	1977.11.1～12.3	300	住宅建設	縄文住居跡2(7.8)、奈良平安住居跡6(1.2,4～6.9)、焼土散布、柱穴、溝	川崎遺跡(第3次)・長宮遺跡
宅地添2次(B地区)	川崎 198	1978.5.15～25	170	宅地造成	土坑3、ピット	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)
宅地添3次(C地区)	川崎 230	1978.5.23～31	130	宅地造成	井戸跡2、地下坑1、溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)
4次	川崎 2-5-2	1979.4.19～5.11	304	宅地造成	縄文前期住居跡1、溝1、黒浜式土器、貝類	埋蔵文化財の調査(Ⅱ) 埋蔵文化財の調査(Ⅳ)
5次	川崎 1-1-4	1979.9.26～10.10	152	宅地造成	溝状遺構	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
1979年度試掘(清見)	清見 4-3-11	(1979.11.12～19)	260	宅地造成	溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
6次	川崎 102-5	1979.12.3～8	30	プレハブ家屋	縄文前期住居跡2、縄文土器片、平安住居跡2	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
7次	川崎 124-3	1981.11.27～30	316	個人住宅	遺構無し、平安土器片	埋蔵文化財の調査(Ⅳ)
8次	大字川崎字宮脇 148-1	1984.1.17～26	400	住宅建設	溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅵ)
宅地添4次	川崎宅地添 219	1984.9.25～10.9	301	住宅建設	縄文住居跡1、平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)
9次	川崎字宮後口 172-1,2	1986.9.11～20	495	個人住宅	溝2、縄文後・晩期、平安土器散布	埋蔵文化財の調査(Ⅸ)
10次	川崎 224-1	1987.11.24～30	603	個人住宅	溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅹ)
11次	川崎 2-6-2	1988.5.10～17	289	住宅建設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅺ)
1988年度試掘	市道 402号線	(1988.9.19～21)	60	下水道設置	住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅺ)
1989年度試掘(1)	川崎字宅地添 196-1	(1989.4.10～18)	1,045	住宅建設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅻ)
1989年度試掘(2)	川崎字宮前 98-2	(1989.10.3～6)	264	住宅建設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅻ)
12次	川崎字宮前 149-4,5	1990.4.20～27	311	住宅建設	溝2	埋蔵文化財の調査(Ⅼ)
13次	大字川崎字宮前 122	1990.5.1～17	480	住宅建設	奈良住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅼ)
1990年度試掘(1)	大字川崎字宮前 122	(1990.5.18～23)	530	範囲確認調査	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅼ)
14次	大字川崎字宮前 145	1990.10.1～31	499	住宅建設	縄文前期住居跡1、貝塚、平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅼ)
15次	川崎字宮後口 160-1	1991.10.23～11.20	499	個人住宅	平安住居跡7、土坑1	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
1992年度試掘(1)	大字川崎字山向 9-5	(1993.2.18～19)	168	店舗併用住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅾ)
1993年度試掘(1)	川崎 2-2-10,11	(1993.8.24)	131	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅾ)
1993年度試掘(2)	川崎 1-1-1の一部	(1993.9.10～13)	422	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅾ)
1994年度試掘(1)	川崎字宅地添 258他1筆	(1994.11.17～24)	230	機械置場敷設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅰ)
1995年度試掘(1)	川崎 2-7-2,3	(1995.10.13～16)	1,126	消防署	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅰ)
16次	川崎字宮脇 150-2,3	1995.12.11～1996.3.8	828	駐車場及び資材置場敷設	縄文前期(黒浜期)大形住居跡1、同期住居跡2・土坑2、平安住居跡4・掘立柱建物跡6、中世竪穴状遺構2	7年度教育要覧
17次	川崎字宅地添 204の一部	1996.7.15～23	779	個人住宅	平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(ⅱ)
18次	川崎字宮脇 148-3	1996.11.18～25	198	個人住宅	平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(ⅱ)
1997年度試掘(1)	川崎字山向 21	(1997.4.14)	367	宅地造成	溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
1997年度試掘(2)	川崎字宮後口 165-6	(1997.10.20)	204	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
1997年度試掘(3)	川崎字宅地添 199-1,2,5	(1998.2.12～16)	780	個人住宅	遺構・遺物無し	9年度教育要覧
1998年度試掘(1)	川崎字宅地添 197-1	(1998.10.27～11.6)	996	宅地造成	縄文前期土坑1ほか	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
市道 402号線 2次	川崎字宮前、宮脇地内	2000.2.21～25	496	道路築造	縄文前期住居跡1	11年度教育要覧
2000年度試掘(1)	川崎大字宅地添 209の一部	(2000.6.19～22)	123	個人住宅	貝塚の一部	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
範囲確認調査	川崎字宅地添 209	(2001.6.12～25)	100	車庫	溝1	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
19次	川崎字宮脇 157の一部	2001.9.18～10.4	289	個人住宅	平安初頭住居跡1	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2001年度試掘(1)	川崎字宅地添 204-1	(2001.10.29.30)	825	宅地造成	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2002年度試掘(1)	川崎 249-1の一部	(2002.5.13)	341	倉庫	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2002年度試掘(2)	川崎 210-1,2の一部	(2002.10.28.29)	551	共同住宅	溝1【盛土保存】	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2002年度試掘(3)	川崎 2-4-16	(2002.12.24)	228	個人住宅	遺構・遺物無し	14年度教育要覧
2002年度試掘(4)	川崎 2-2-12	(2003.3.13)	165	個人住宅	遺構・遺物無し	14年度教育要覧
2002年度試掘(5)	川崎字宮脇 155先	(2003.3.26)	164	道路築造	遺構・遺物無し	14年度教育要覧
2003年度試掘(1)	川崎 137-1の一部	(2003.8.6.7)	257	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2003年度試掘(2)	川崎字宅地添 226-14	(2003.12.8.19)	381	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
宅地添地区 5次	川崎字宅地添 222-3先	2004.2.16～18	88		古墳初頭竪穴住居跡1【調査実施】	15年度教育要覧
2004年度試掘(1)	川崎字宮脇 157-1の一部	(2004.6.14.15)	421	個人住宅	平安時代竪穴住居のカマドの一部	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2004年度試掘(2)	川崎 2-5-1	(2004.11.1～4)	881	宅地造成	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
20次	川崎字宮脇 153-5	2005.11.28～12.2(11.22～27)	257	個人住宅	古墳住居跡1	市内遺跡群 1
21	川崎 1-6-10	(2006.4.11) 2006.4.14～20	298	個人住宅	奈良住居跡1、溝	市内遺跡群 3
22	川崎 171-1,174-10	(2007.4.16～23)	104	消防分団倉庫	炉穴4、地下式坑2、穴蔵1、土坑2	市内遺跡群 4
23	川崎字宮前 102-4,6	(2007.6.4)	240	個人住宅	工事着工済みのため工事立会い	市内遺跡群 4
24	川崎字宅地添 225-3	(2007.10.4)	319	共同住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡群 4
25	川崎字宅地添 203番1の一部、203番3の一部	(2008.4.14) 2008.4.15～17	1,033	個人住宅	奈良時代掘立柱建物跡1、溝、近代以降の地下室1	市内遺跡群 6
26	川崎字宅地添 230番5	(2008.4.21) 2008.4.22～5.17	228	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡4、土坑、ピット、近代以降の井戸1	市内遺跡群 6
27	川崎 1-7-1	(2008.5.15～5.21)	350	分譲住宅	時期不明の溝1、土坑1	市内遺跡群 6
28	川崎字宅地添 230-7	(2008.7.4～7.9) 2008.7.10～8.8	434	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡2、土坑、ピット	市内遺跡群 6
29	川崎字宅地添 230番1	(2008.7.9～7.11) 2008.7.14～8.22	203	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡2、溝3	市内遺跡群 6
30	川崎字宅地添 230番6	(2008.7.17) 2008.7.18～9.5	200	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡4、井戸3、土坑、溝5	市内遺跡群 6
31	川崎字宮後 161番5の一部、161番地6	(2009.10.28) 2009.10.28～11.27	304	個人住宅	縄文時代中期住居跡2、奈良・平安時代竪穴住居跡2、ピット12	未報告
32	川崎字宮脇 140の一部	(2011.2.24～25) 2011.3.2～25	396	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡3、土坑2、建物部分本調査	未報告

第8表 川崎遺跡古代住居跡一覧表 (単位 cm)

住居 番号	調査 年度	調査名	調査率	平面形() は推定	規模	炉		カマド 規模 cm	周溝	主軸方位	時期	備考	文献
						カマドK	設置壁						
1	1974	第1次LN72	完掘	隅丸方形	760×730×40	炉	地床炉	60×50	○	N-60-E	3C終末	市指定文化財	川崎遺跡第1次概報
2	1974	第1次LN05	完掘	方形	390×320×	K			○	N-5-E	国分		〃
3	1974	第1次LN06	完掘	歪んだ方形	320×320×	K	東			N-13-W	9C 4半期		〃
4	1974	第1次LN07	完掘	方形	320×320×	K	東	80×90	○	N-83-W	9C 中葉		〃
5	1974	第1次LN24	完掘	長方形	470×340×50	K	北	120×75	○	N-5-E	10C 1半期		〃
6	1974	第1次LN25	完掘	方形	320×300×	K	北	40×40		N-42-E	9C 1半期		〃
7	1974	第1次LN28	西側未掘	(長方形)	×300	K	東	50×60	○	N-69-W	9C 3半期		〃
8	1974	第1次LN71	東側7割未掘	(方形)	×600								〃
9	1975	第2次LN75	部分	(長方形)									川崎遺跡第2次概報
10	1975	第2次LN92	部分	(長方形)							10C 1半期		〃
11	1975	第2次LN72	完掘	隅丸方形	250×250×13	K	南	50×80		N-18-E	国分		〃
12	1975	第2次LN07	完掘	方形	720×720	K	北		○	N-32-E	6C後半	ビット多数 土鍾	〃
13	1975	第2次LN04	完掘	方形	390×350	K	東	60×70	○	N-64-E	6C前半	貯蔵穴有り	〃
14	1975	第2次LN05	完掘	長方形	450×370	K	北	100×80	○	N-1-E	10C 2半期		〃
15	1975	第2次LN19	14倍に切られる			K	東				9C 4半期	支脚が立脚	〃
16	1975	第2次LN14	完掘	長方形	370×260	K	北	90×80	○	N-4-E	9C 3半期		〃
17	1975	第2次LN12	南側未掘	長方形	700×						6C	紡錘車	〃
18	1975	第2次LN33		17住と大きく重複し全体不明									〃
19	1975	第2次LN06	完掘	隅丸方形	410×420	K	北東		○	N-45-E	6C後半	良好	〃
20	1975	第2次LN22	完掘	長方形	410×330	K	北	120×120	○	N-29-W			〃
21	1975	第2次LN53	完掘	長方形	350×280	K	東	70×60	○	N-87-E	10C 2半期	22住を切る	〃
22	1975	第2次LN54	部分	方形	330×320	炉	地床炉				五領		〃
23	1975	第2次LN20	3/5	(長方形)	×350	K	北		○	N-23-E	9C 2半期	鍛冶工房跡	〃
24	1975	第2次LN21	ほぼ完掘	正方形	580	K	北西	50×70	○	N-43-W	鬼高		〃
25	1977	第3次1号住居	南東隅のみ	(長方形)		K	東	途中で廃絶	○				川崎遺跡第3次
26	1977	第3次2号住居	完掘	長方形	350×330	K	北	×70	○		国分	鉄製品多い	〃
27	1977	第3次4号住居	(完掘)	長方形	350×400	K	東	170×110	○		国分		〃、埋文調査19
28	1977	第3次5号住居	(完掘)	長方形	350×320	K	東	120×90	○		国分		〃、埋文調査19
29	1977	第3次6号住居	4/5	正方形	440×	K	北	155×90	○		9C 4半期	焼失家屋	〃
30	1977	第3次9号住居	1/2	(方形)	415×				○		国分		〃
31	1979	第6次1B住居			340×				○		9C 2半期		埋蔵文化財の調査II
32	1979	第6次2号住居	1/3		340×	K	北→東	140×80	○		9C 1半期	鉄製品多い	〃
33	1984	宅地添第4次3住	完掘	正方形	340×340	K	東	120×100	○		8C 3半期		埋蔵文化財の調査VII
34	1990	第13次1号住居	1/2～1/3		390×	K			○		7C後半		埋蔵文化財の調査13
35	1990	第14次2号住居	南1/2		340×	K	東		○		9C 1半期		〃
36	1991	第15次1号住居			395×285	K	北東				9C～10C		埋蔵文化財の調査14
37	1991	第15次2号住居		正方形	380×380	K	東				9C中葉		〃
38	1991	第15次3号住居	完掘	長方形	265×430	K	南東		○		9C初頭		〃
39	1991	第15次4号住居	1/2	正方形	580×	K	東		○		8C末～9C初頭		〃
40	1991	第15次5号住居	3/4		280×	K	北		○		9C前半～中		〃
41	1991	第15次6号住居		正方形	425×270	K	北		○		8C後半	35,36住と重複	〃
42	1991	第15次7号住居	1/2	正方形	570×	K	北		○		9C前半	緑釉陶器、 焼失家屋	〃
43	1994	第16次1号住居	1/2		450×				○		9C前半～後半		未報告
44	1994	第16次2号住居	北西隅のみ								9C前半～後半		〃
45	1994	第16次5号住居	2/3		440×	K	東		○		9C前半～後半		〃
46	1994	第16次6号住居	カマドのみ			K	東						〃
	1994	第16次1号掘立	2/3	長方形									〃
	1994	第16次2号掘立	西側柱のみ	長方形	南北2間						9C前半～後半	42住と隣接	〃
	1994	第16次3号掘立	完掘	長方形	南北3間 東西2間						〃	〃	〃
	1994	第16次4号掘立	完掘	長方形	南北3間 東西2間						〃	〃	〃
	1994	第16次5号掘立	1/2	長方形	南北2間						〃	〃	〃
	1994	第16次6号掘立	完掘	長方形	南北3間 東西2間						〃	〃	〃
47	1996	第17次1号住居	完掘	長方形	400×400	K	東		○		国分	墨書土器	埋蔵文化財の調査19
48	1996	第18次2号住居	完掘	長方形	300×300	K	東		○		国分		埋蔵文化財の調査19
49	2001	第19次1号住居	1/2		360×	K					9C前半		埋蔵文化財の調査24
50	2005	第20次1号住居	完掘	長方形	320×350	K	北西		○	N-45-W	7C前半～中		市内遺跡群1
51	2006	第21次1号住居	完掘	方形	410×365×10	K	東	145×125	○	N-106-E	9C後半		市内遺跡群3
	2008	第25地点1号掘立		長方形	南北2間 東西2間								市内遺跡群6
52	2008	第26地点H28号住居	完掘	方形	349×316×33	K	北	95×83	○	N-16-E	9C後半		〃
53	2008	第26地点H29号住居	北側のみ	(方形)	431×205×24	K	北	70×	○	N-16-E	9C後半		〃
54	2008	第26地点H30号住居	完掘	長方形	424×296×20	K	北	98×71	○	N-4-E	8C後半		〃
55	2008	第28地点H31a号住居	北側のみ	(方形)	(390)×(233)×15	K	北	88×84		N-19-E	8C中～後半		〃
56	2008	第28地点H31b号住居	北側のみ	(方形)	(404)×325×2				○	N-18-E			〃
57	2008	第28地点H32号住居	完掘	長方形	357×295×24	K	東	108×80	○	N-105-E	8C中～後半		〃
58	2008	第29地点H33号住居	北東のみ	(方形)	(214)×(205)×16	K	東	(65)×(65)	○	N-98-E	8C後半～9C 初頭		〃
59	2008	第29地点H34号住居	完掘	方形	(378)×372×12	K	北	71×90	○	N-16-E	9C後半	墨書土器	〃
60	2008	第30地点H35号住居	完掘	長方形	294×232×26	K	東	141×88	○	N-104-E	9C前半		〃
61	2008	第30地点H37号住居	完掘	方形	415×414×21	K	北	88×140	○	N-16-E	9C後半	灰釉陶器	〃
62	2008	第30地点H38号住居	1/2	(方形)	375×(105)×17				○	N-5-E	9C後半	墨書土器	〃



第5図 川崎遺跡遺構分布図 (1/2,500)

II 川崎遺跡第25地点

(1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より2008年3月12日付で「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」(以下「埋蔵文化財事前協議書」)がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地の北端に近い台地上に立地しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年4月14日に幅約2mのトレンチを2本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、奈良・平安時代の遺構・遺物を確認したが、遺構確認面まで40~50cmと浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

本調査は2008年4月15日から同年4月17日まで、試掘調査で確認した遺構の場所を人力で表土除去後調査を行なった。調査の結果、平安時代の掘立柱建物跡、溝跡1条、近世の地下室を検出し、写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

①掘立柱建物跡

【位置】調査区の北東側に位置する。遺跡全体の分布では北側に位置する。

【形状】2間×2間の長方形で、主軸方位はN-11°-Eである。P1(土坑1)からP8(土坑8)の7基で構成されるが、土坑5も土坑4と対称の中心軸上にあり、その場合は2間×3間となる。規模は柱穴中心間の距離で桁行4.3m、梁行3.2mを測る。各柱穴は隅丸方形、覆土はローム粒を多量に含む暗褐色土で、特にP1, 2, 3は柱痕と版築された層が認められ、柱穴の中心部も一段低くなる。

P3の柱痕から灰釉陶器皿が出土した。

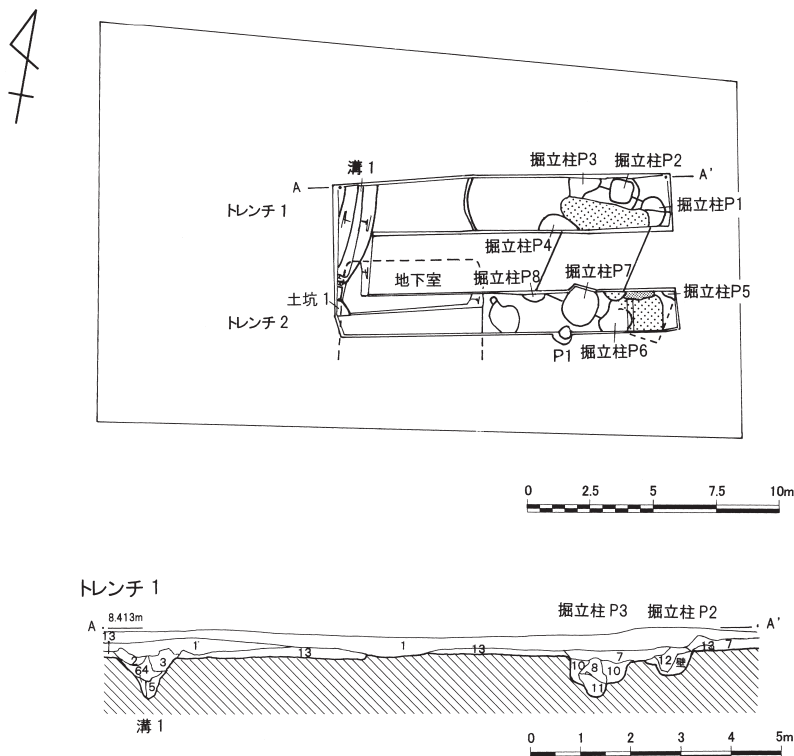
出土遺物から時期は平安時代。

②溝

調査区西側に南北方向の溝を検出した。断面形態は「V」字形を呈する。検出した溝の長さは4m、上端幅は1.28m、下端幅は0.2~0.45m、確認面からの深さ0.9mである。磁器碗、瓦、火鉢破片が出土した。出土遺物から、時期は近世。

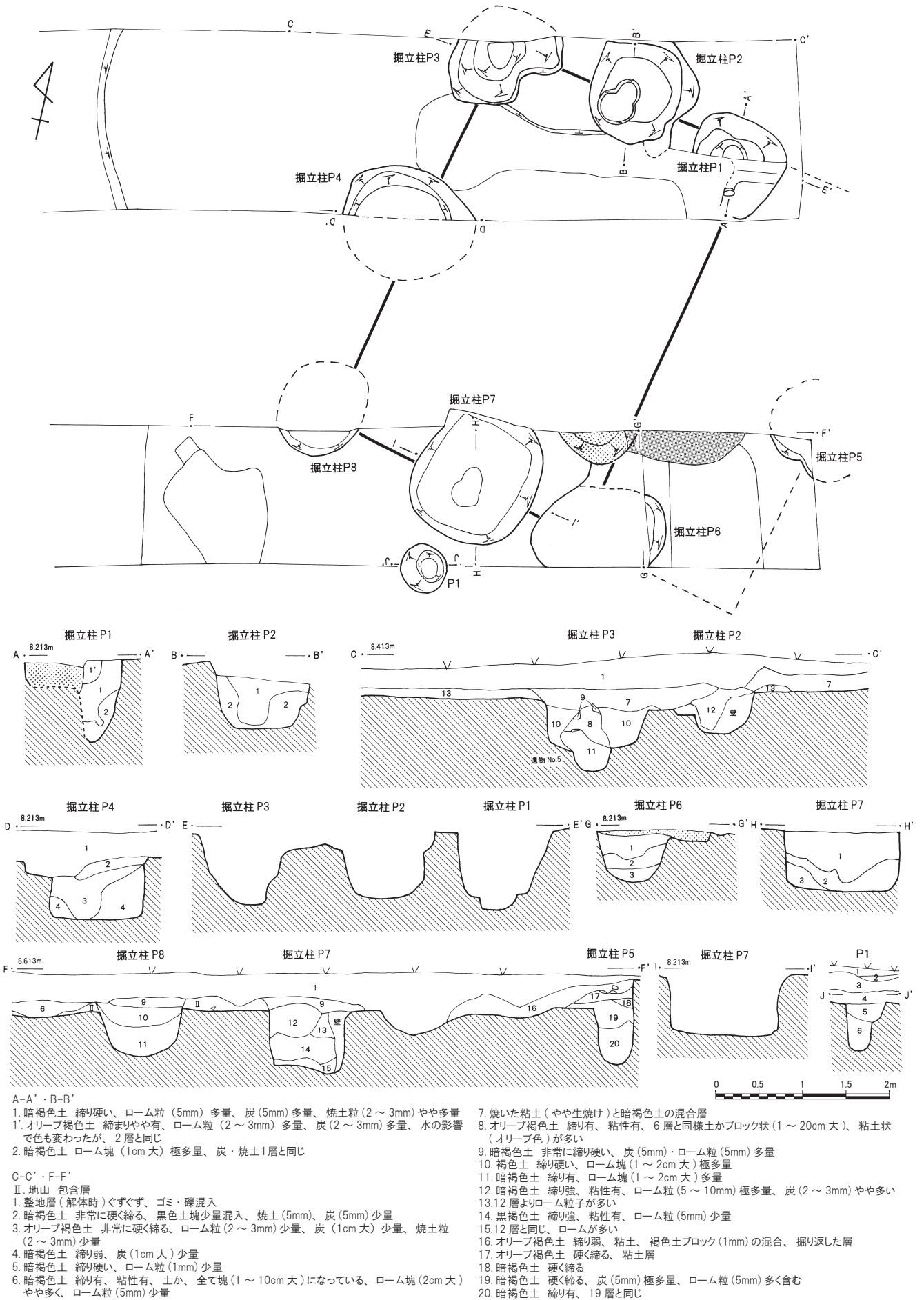
③地下室

調査区南西に地下室状の遺構を検出した。

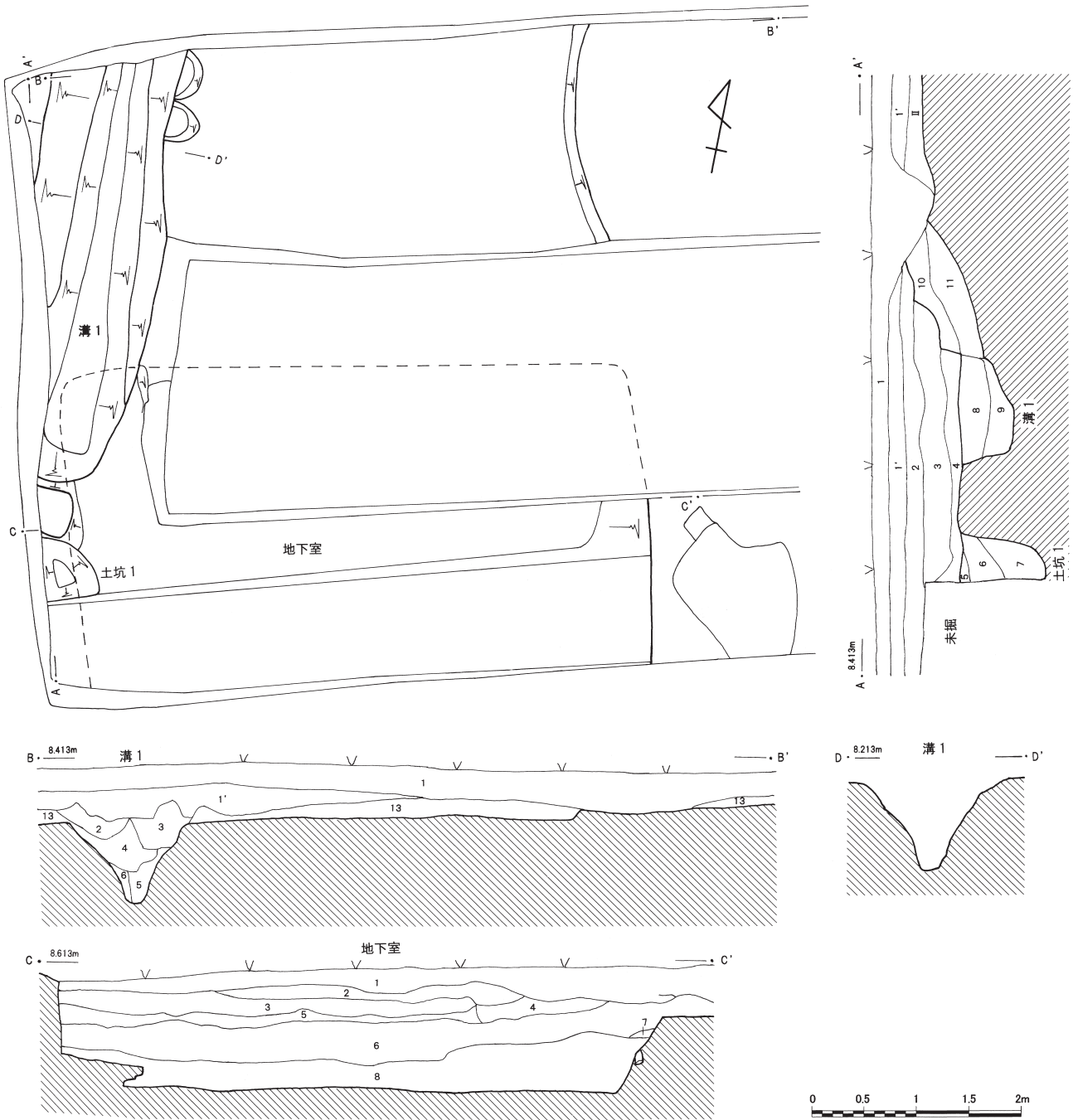


- 1. 整地層(解体時)
- 1'. オリーブ褐色土 非常に締り硬い、ローム粒(2~3mm)少量、炭(1cm大)少量、焼土粒(2~3mm)少量
- 2. 暗褐色土 締り硬い、ローム粒(2~3mm)少量
- 3. 暗褐色土 締り硬い、ローム粒(2~3mm)少量
- 4. 暗褐色土 締り有、赤さび多量、炭少量
- 5. 暗褐色土 締り有、ローム粒(5mm)多量
- 6. 暗褐色土 締り硬い、ローム粒(2~3mm)極多量
- 7. 暗褐色土 非常に締り硬い、炭(5mm)・ローム粒(5mm)多量
- 8. 褐色土 非常に締り硬い、粘性有、ローム塊(1~3cm)少量、炭(5mm)多く
- 9. 褐色土 非常に締り硬い、粘性有、炭極多量
- 10. 褐色土 非常に締り硬い、粘性有、ローム塊(1~3cm)多量、炭少量
- 11. 暗褐色土 締り有、炭(2~5mm)ローム粒(5mm)多量
- 12. 暗褐色土 締り硬い、ローム粒(5mm)多量、炭(5mm)多量、焼土粒(2~3mm)やや多く
- 13. 包含層 暗褐色土 縄文前期の遺物出土、炭・焼土含む

第6図 川崎遺跡第25地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)



第7図 川崎遺跡第25地点掘立柱建物跡・ピット (1/60)



- 掘立柱ピット4 D-D'
1. 整地層 (解体時) くずぐず
 2. オリーブ褐色土 締り強、粘性有、炭(10mm大)少量、粘土含む
 3. オリーブ褐色土 非常に締り硬い、粘性有、ローム塊(10~30mm)多量、炭少量
 4. 暗褐色土 締り有、ローム粒(5mm)多量
- 掘立柱ピット6 G-G'・掘立柱ピット7 H-H'
1. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5~10mm)極多量、炭(2~3mm)やや多い
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm)少量
 3. 1層と同じ、ロームが多い
- ピット1 J-J'
1. 整地層 暗褐色土 硬い、粘土、砂利混じり
 2. 白黄色粘土 締り硬い、粘性有、整地
 3. 整地層 オリーブ褐色土 締り強、粘性有、粘土混入、ローム・炭多量
 4. 整地層 暗褐色土 締り有、ローム粒(5mm)・炭(5mm)多量
 5. オリーブ褐色土 締り硬い、ローム塊(10mm大)多量、粘土混入
 6. 暗褐色土 締り弱、もろい、ローム塊(10mm大)多量

- 土坑1・溝1 A-A'
- II. 地山 包含層
1. 整地層 (解体時)
 - 1'. オリーブ褐色土 非常に硬く締る、ローム粒(2~3mm)少量、炭(10mm大)少量、焼土粒(2~3mm)少量
 2. 暗褐色土 締り硬い、ローム粒(1mm)少量
 3. 暗褐色土 締り有、粘性有、土か全て塊(10~100mm大)になっている、ローム塊(20mm大)やや多く、ローム粒(5mm)少量
 4. オリーブ褐色土 締り有、粘性有、6層と同様土かブロック状(10~200mm大)、粘土状(オリーブ色)が多い
 5. オリーブ褐色土 締り硬い、ローム粒(2~3mm)少量、水溶性の赤錆が入る
 6. 暗褐色土 締り硬い、ローム粒(5mm)・赤錆多量、炭(5mm)やや多量
 7. 暗褐色土 締り有、6層と同じ、ローム塊少量
 8. 暗褐色土 締り有、赤錆多量、炭少量
 9. 暗褐色土 締り有、ローム粒(5mm)多量
 10. 暗褐色土 締り硬い、ローム粒(2~3mm)少量
 11. 暗褐色土 締り硬い、ローム粒(2~3mm)極多量

第8図 川崎遺跡第25地点溝・地下室 (1/60)

第9表 川崎遺跡第25地点遺構一覧表 (単位cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
掘立柱 P1	隅丸方形下段円形	108 × 105 36 × (18)	70 × 70 23 × 15	74 90	旧土坑 1
掘立柱 P2	隅丸方形下段瓢箪	115 × 101 55 × 45	74 × 73 50 × 38	76 79	旧土坑 2
掘立柱 P3	矩形下段(楕円)	(125) × 70 56 × (44)	116 × (68) 32 × 30	55 82	旧土坑 3、 緑釉皿出土
掘立柱 P4	(楕円形)	(145) × (60)	(102) × (37)	70	旧土坑 4
掘立柱 P5		(42) × (42)	(40) × (35)	67	旧土坑 5
掘立柱 P6	(楕円形)	153 × (82)	× (52)	51	旧土坑 6
掘立柱 P7	隅丸方形硬化面瓢箪	145 × 134 45 × 34	122 × 108	76	旧土坑 7

No.	平面形態	確認面		深さ	備考
掘立柱 P8	(楕円形)	(47) × (45)	(68) × (19)	57	旧土坑 8
粘土範囲	(楕円形)	(135) × (40)			
溝 1	4 m以上の直線。断面「V」字形	115 ~ 128	15 ~ 45	91	磁器碗、瓦、火鉢出土。地下室より旧
土坑 1	(楕円形)	(47) × (45)	(30) × (18)	119	旧土坑 9、陶磁器出土。地下室より旧
地下室		560 × (300)		65	土坑 1、溝 1より新
P1	円形	52 × 52	28 × 18	54	

第10表 川崎遺跡第25地点出土遺物観察表 (単位cm)

図版番号	掲載番号	遺構名	種別・器種	口径・長	底径・幅	器高・厚	技法/文様/その他	石材/推定生産地	推定年代・時期	残存/備考
9 図	1	1号掘立P1	縄文土器/鉢	-	-	-	貝殻背圧痕/織維含む/注No.1D-1		縄文前期前半・羽状縄文系	底部破片
	2	1号掘立P1	縄文土器/鉢	-	-	-	上帯L、下帯Rの無節羽状縄文/胎土に織維含む/注No.1D-1		縄文前期・黒浜	胴部破片
	3	1号掘立P1	縄文土器/鉢	-	-	-	上帯LR、下帯RLの結束した羽状縄文/胎土に織維含む/注No.1D-1		縄文前期・黒浜	胴部破片
	4	1号掘立P2	縄文土器/鉢	-	-	-	胎土に織維含む/注No.2D		縄文前期・黒浜	胴部破片
	5	1号掘立P3	灰釉陶器/皿	-	(6.2)	-	轆轤成形/内面灰釉、見込みにトチン跡/灰黄褐色/注No.3D-2		9C第2四	底部/k-14様式
	6	1号掘立P3	須恵器/甕	-	-	-	外面叩き目/灰色/海面骨針含む/注No.3D-1	南比企	奈良・平安	胴部破片
	7	1号掘立P4	縄文土器/鉢	-	-	-	RL縄文を縦位に施文/胎土に織維含む/注No.4D		縄文前期・黒浜	口縁部破片
	8	1号掘立P4	縄文土器/鉢	-	-	-	RL縄文を横位に施文/胎土に織維含む/注No.4D		縄文前期・黒浜	頸部破片
	9	1号掘立P5	縄文土器/鉢	-	-	-	連続爪形文を左から右に施文する/胎土に織維含む/注No.5D		縄文前期・黒浜(有尾系)	胴部破片
	10	1号掘立P7	縄文土器/鉢	-	(11.3)	-	上げ底/羽状縄文/胎土に織維含む/注No.7D-1		縄文前期・黒浜	底部
	11	1号掘立P7	石器/打製石斧	8.15	5.38	2.40	重量108.6g/注No.7D-1	ホルンフェルス	縄文時代	完形
	12	1号掘立P7	土製品/羽口	-	-	-	先端部は融解する。鍛冶用羽口/注No.7D-1		奈良・平安	先端部破片
	13	1号掘立P8	縄文土器/鉢	-	-	-	無節のR縄文を横位に施文/胎土に織維含む/注No.8D		縄文前期・黒浜	頸部破片
	14	1号掘立P8	土師器/甕	-	(4.2)	-	胴部及び底部へラ削り/赤褐色/角閃石含む/注No.8D		奈良・平安	底部
	15	土坑1	磁器/犬型水滴	-	-	-	型合せ成形、背中と鼻に焼成前穿孔/口と耳に赤色の後彩色/注No.9D		19C~	約1/2
	16	溝1	磁器/茶碗	8.4	4.0	4.3	轆轤成形/銅版絵付け。松竹梅の扇絵/注No.1M	瀬戸・美濃	1890年代~	口縁一部欠
	17	地下室1	縄文土器/鉢	-	-	-	羽状縄文/胎土に織維含む/注No.地下室		縄文前期・黒浜	胴部破片/外面摩滅
	18	地下室1	縄文土器/鉢	-	-	-	L R縄文を横位に施文/胎土に織維含む/注No.地下室		縄文前期・黒浜	胴部破片
	19	地下室1	縄文土器/鉢	-	-	-	無文/注No.地下室		縄文前期	胴部破片
	20	地下室1	須恵器/坏	-	(7.4)	-	轆轤成形。底部回転糸切後/灰黄褐色/砂粒(~1mm)少量、海面骨針含む/注No.地下室	南比企	奈良・平安	底部
	21	地下室1	磁器/茶碗	9.5	3.4	4.2	轆轤成形/銅版絵付け。百人一首/注No.地下室	瀬戸・美濃	1890年代~	口縁一部欠
	22	地下室1	磁器/皿	(9.5)	-	-	轆轤成形/注No.地下室		近世~	口縁部破片
	23	地下室1	瓦質土器/火鉢	-	-	-	轆轤成形/注No.地下室		近世~	口縁部破片
	24	地下室1	焼締陶器/播鉢	-	-	-	轆轤成形/注No.地下室		19C~	口縁部破片
	25	地下室1	ガラス製品/医療用薬瓶	1.5	3.1	7.3	型吹き成形(割型)/コルク栓用/無色・透明、気泡有/側面に目盛り線の陽刻/注No.地下室		1900~1910年代	完形
	26	地下室1	銭貨/	外径2.21	穿径0.64	0.15	重量2.67g/注No.地下室		中・近世	完形
	27	地下室1	銭貨・銅貨	外径2.23	穿径0.74	0.17	重量2.93g 鋳造/「文久永寶」、四文銭/注No.地下室		1863~1865	完形
	28	トレンチ1遺構外	縄文土器/鉢	-	-	-	胎土に織維含む/注No.1トレ-1		縄文前期・黒浜	頸部破片/外面摩滅
	29	トレンチ1遺構外	縄文土器/鉢	-	-	-	縄文/胎土に織維含む/注No.1トレ-1		縄文前期・黒浜	胴部破片/外面摩滅
	30	トレンチ1遺構外	縄文土器/鉢	-	-	-	無節L縄文を横位に施文/胎土に織維含む/注No.1トレ-1		縄文前期・黒浜	胴部破片
	31	トレンチ1遺構外	縄文土器/鉢	-	-	-	LR縄文を横位に施文/胎土に織維含む/注No.1トレ-1		縄文前期・黒浜	胴部破片
	32	トレンチ1遺構外	縄文土器/鉢	-	-	-	半載竹管による連続押引き文を施文/胎土に織維含む/注No.1トレ-1		縄文前期・黒浜(有尾系)	胴部破片
	33	トレンチ1遺構外	縄文土器/鉢	-	-	-	細線による幾何学区画と太線を充填。竹管により交互に円形刺突文/内面は条痕を磨消す/胎土に織維含む/注No.1トレ-1		縄文早期・鵜ガ島台	胴部破片
	34	トレンチ1遺構外	縄文土器/鉢	-	-	-	沈線による幾何学区画と竹管による円形刺突文/胎土に織維含む/注No.1トレ-1		縄文早期・鵜ガ島台	口縁部破片
	35	トレンチ1遺構外	縄文土器/鉢	-	-	-	扁平な隆帯上に篋状工具の刻みと竹管による円形刺突文/胎土に織維含む/注No.1トレ-2		縄文時代	胴部破片
	36	トレンチ1遺構外	縄文土器/浅鉢	-	-	-	口唇部と口縁部に一列の角押文を施文/白色粒子、砂粒多量含む/注No.1トレ-2		縄文中期・勝坂2(藤内)	口縁部破片

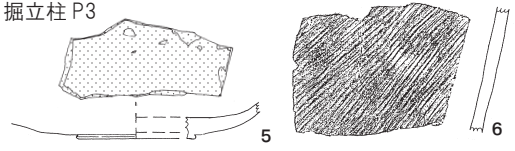
掘立柱 P1



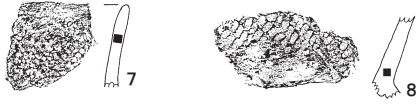
掘立柱 P2



掘立柱 P3



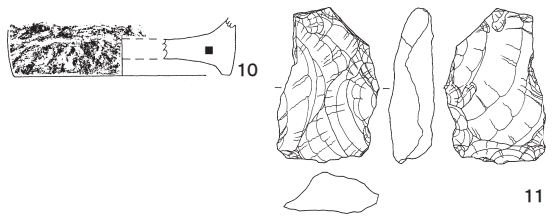
掘立柱 P4



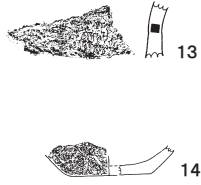
掘立柱 P5



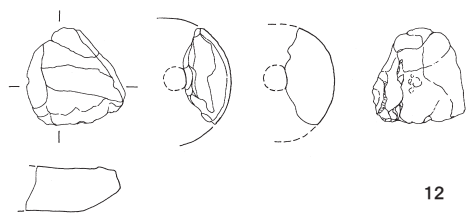
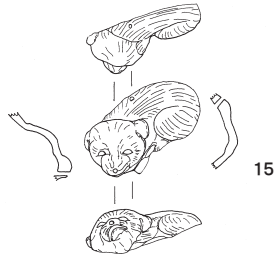
掘立柱 P7



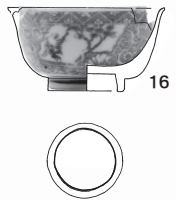
掘立柱 P8



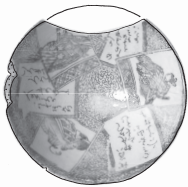
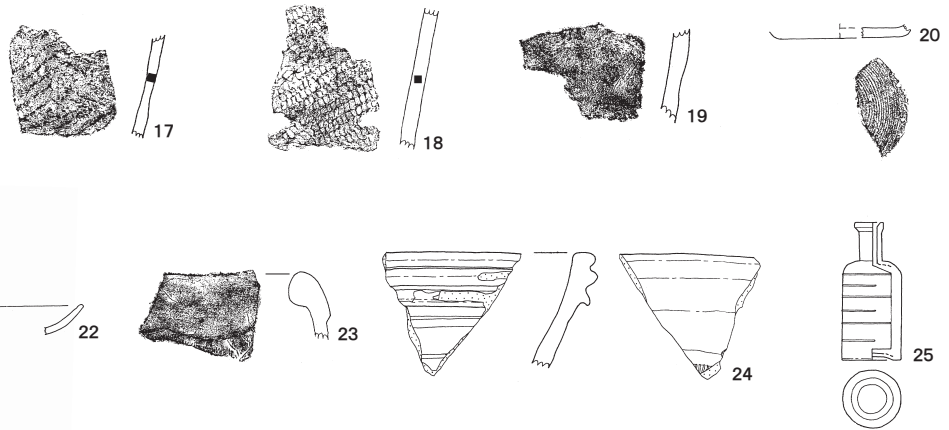
土坑 1



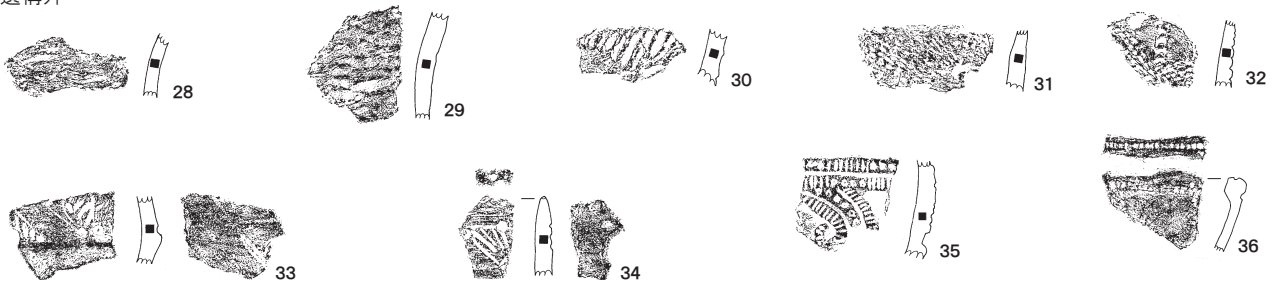
溝 1



地下室



遺構外



第9図 川崎遺跡第25地点出土遺物 (1/1・1/4)

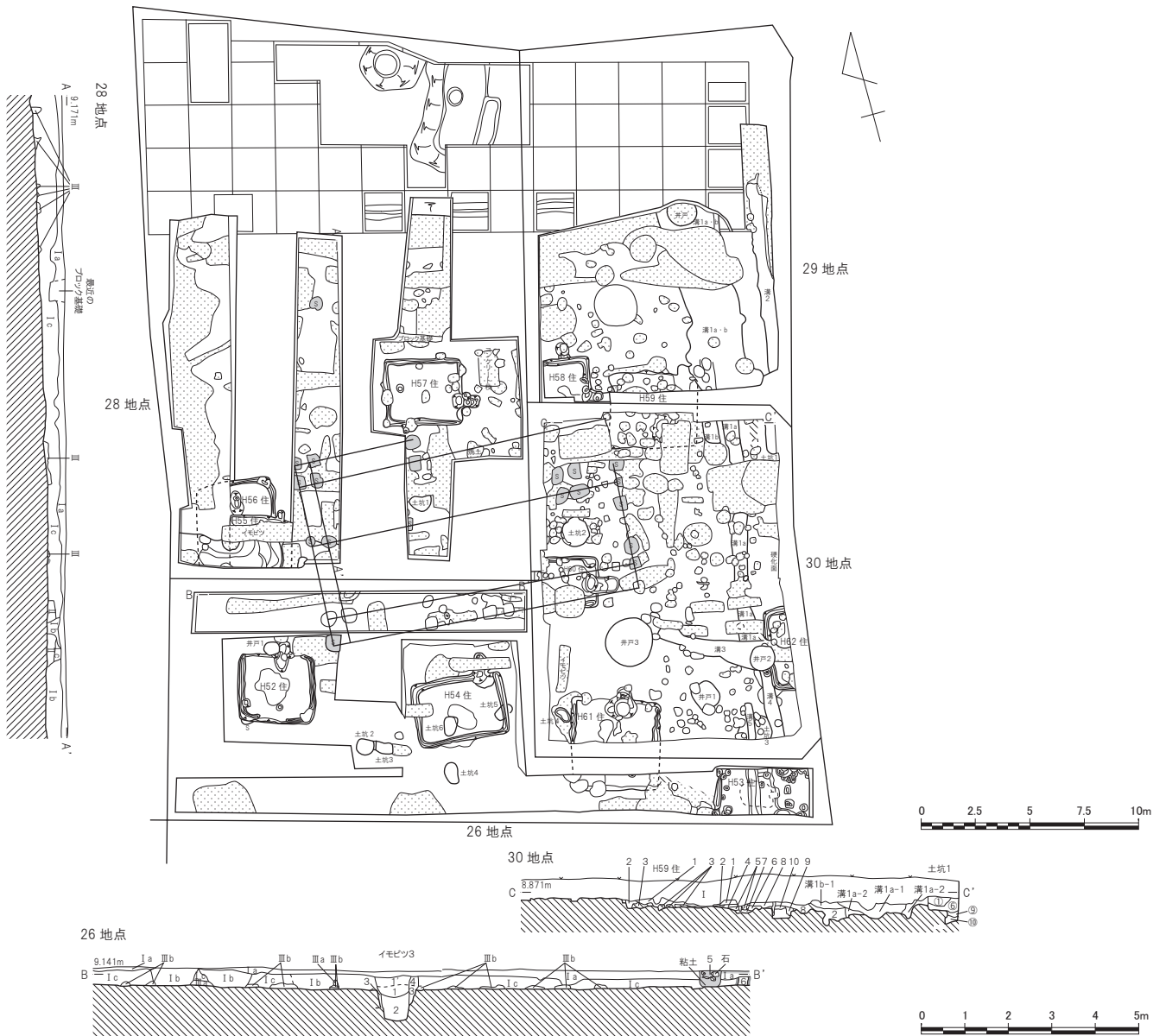
Ⅲ 川崎遺跡第26地点

(1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より2008年3月7日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地の北端に近い台地上に立地し、隣接地では古代の住居跡等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年4月21日に幅約2mのトレンチを3本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、奈良・平安時代の遺構・遺物を確認したが、遺構確認面まで40~50cmと浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

本調査は2008年4月22日から同年5月17日まで、



- A-A'
- I a. 暗褐色土 表土・盛土、砕石、10mm以下ロームブロック、黒灰色土ブロック含む、転圧受け、締り強い
 - I b. 暗褐色土 表土、40mm以下ロームブロック多く含む、締り強い
 - I c. 暗褐色土 表土・耕作土、20mm以下ロームブロック、ローム粒少し含む、締り強い
 - II. 黒褐色土 包含層、3mm以下ローム粒、10mm厚灰色粘土ブロック、2~10mm焼土少し含む、土器片含む(土器器口縁部)、締り強い
- B-B'
- I a. 黒褐色土 締り強、粘性有、盛土層、40mm厚のローム主体層をはさむ
 - I b. 暗褐色土 締り有、粘性有、耕作土、最大10cm、およそ50mm以下ロームブロックをやや多く含む、イモビツの覆土はI b層に似る

- I c. 暗褐色土 締り有、粘性有、耕作土、締り強め、3mm以下ローム粒少し、3mm以下焼土わずかに含む、礎石に切られる、ミノ状のプランの土はI c層に似る
- III a. 地山暗褐色土 3mm以下ローム粒、焼土わずかに含む
- III b. 暗褐色土 締り強、粘性有、30mm以下ロームブロック、ローム粒多く含む
- 1'. 暗褐色土 締り強、粘性有、30mm以下ロームブロック、ローム粒多く含む、I bより多め、1層土が水・転圧の影響で硬くなっただけの可能性あり
- 2. 暗褐色土 締り有、粘性やや弱、40mm以下ロームブロック、ローム粒多く含む、1層より多め
- 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、20mm以下ロームブロック、ローム粒やや多く含む
- 4. 3層が変質してボロボロしている
- 5. 暗褐色土 締り強、粘性有、15cm以下灰色粘土ブロック多く含む、3mm以下ローム粒少し含む、礎石
- 6. 暗褐色土 締り強、粘性有、10mm以下ロームブロック・焼土・灰色粘土少し含む、15mm炭化物わずかに含む、掘方壁面は焼けて赤化している

第10図 川崎遺跡第26・28・29・30地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)

試掘調査で確認した遺構の場所を重機で表土除去後、調査を行なった。調査の結果、奈良・平安時代の住居跡4軒、近世以降の溝状遺構、土坑を検出し、写真撮影・全測図作成・平板および遣り方測量による遺構図面作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H 52 号住居跡 (旧 H28 号住居跡)

【位置】調査区の西側に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。井戸1に竈西側の一部を壊されている。4.5 m 東側に H54 号住居跡、4 m 北側に H55 号住居跡、H56 号住居跡がある。

【形状】主軸方位は N - 16° - E、北壁中央に竈を備える。平面形態は方形、規模は主軸方位の南北 3.16 m、東西 3.49 m、確認面からの深さ 0.33 m である。覆土はローム粒含む黒褐色土。

【竈】 燃焼部は壁外に張り出して掘られている。両側の袖部に粘土が残る。竈の左右両壁が焼けて赤化する。奥壁は焼けていない。袖からの奥行き 0.82 m、幅 0.95 m。竈内部の幅 0.36 m。深さ 0.35 m。竈の手前に窪みがある。

【ピット】西壁と住居中央南側に小ピットがある。

【周溝】竈のある北壁と南壁中央を除き、壁際に浅い溝が巡る。幅 18 ~ 22 cm、深さ 3 ~ 6 cm。

【床・壁】住居跡中央の床面は硬化する。貼床の土層はローム主体、黒褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘り方は、中央を残して掘られ、凹凸が著しい。竈手前部分が広範囲に掘られる。

【出土遺物】住居全体から出土しているが、竈の手前と東壁際に集中箇所がある。須恵器坏・皿、土師器甕・台付甕、砥石等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から 9 世紀中葉と推定される。

② H 53 号住居跡 (旧 H 29 号住居跡)

【位置】調査区の東端に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。溝や近世以降の攪乱で床面の半分が壊されている。また、住居跡の東側と南側は調査区域外で範囲の確認はできなかった。2.6 m 西側に H61 号住居跡、3.5 m 北側に H62 号住居跡がある。

【形状】主軸方位は N - 16° - E、北壁東側に竈を備える。平面形態は方形か長方形を呈する。規模は主軸方位の南北は 2.05 m 以上、東西 4.31 m 以上、確認面からの深さ 0.24 m である。覆土はローム粒含む黒褐色土。

【竈】 燃焼部は壁外に張り出して掘られているが、北側はブロック塀の下に入り規模・形態不明。袖の粘土は崩れ、竈右側に流出する。燃焼部底面は良く焼け赤化する。幅は 0.78 m を測る。近世以降の攪乱が著しい。

【ピット】全て後世の攪乱。

【周溝】北壁と西壁際に浅い溝が巡る。幅 18 ~ 25 cm、深さ 8 ~ 12 cm。

【床・壁】住居跡中央の床面は硬化する。貼床の土層はローム主体、暗褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘り方は、凹凸がある。

【焼土】住居中央やや東寄り、36 × 29 cm の円形範囲で床面が焼け、赤化している。

【出土遺物】住居全体から出土している。須恵器坏・皿・碗、土師器甕・台付甕、鉄釘等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から 9 世紀後半代と推定される。

③ H 54 号住居跡 (旧 H 30 号住居跡)

【位置】調査区の中央に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。イモビツに竈の一部と西壁の一部を壊されている。4.5 m 西側に H52 号住居跡、3 m 東側に H61 号住居がある。

【形状】主軸方位は N - 4° - E、北壁東隅に竈を備える。平面形態は長方形、規模は主軸方位の南北 2.96 m、東西 4.24 m、確認面からの深さ 0.20 m である。覆土はローム粒を多量に含む黒褐色土。

【竈】 燃焼部は壁外に張り出して掘られている。右側の袖部に僅かに粘土が残る。両壁の一部が焼けて赤化する。袖からの奥行き 0.98 m、幅 0.71 m。竈内部の幅 0.51 m。深さ 0.27 m。

中央部分は近世以降のイモビツで壊されるが、竈の主軸延長線上に幅 0.38 m、深さ 0.11 m の浅い溝が延びる。煙道と思われる。

燃焼部の中央に支脚が上面を手前に横倒しの状態で出土した。支脚の上には長胴甕 (図版 20. No. 56) が破片となって出土している。

竈の手前に窪みがある。また、竈右手前の床は薄く粘土が広がり、硬化している。

【周溝】竈を除き全面の壁際に浅い溝が巡る。幅 15 ~ 33 cm、深さ 8 ~ 15 cm。

【床・壁】住居跡南側中央の床面が硬化する。貼床の土層はローム主体、黒褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘り方は、全体に浅く平坦に掘られている。

【出土遺物】住居全体から出土しているが、東側の竈

の手前がやや多い。須恵器坏・蓋・碗、土師器坏・甕等が出土した。須恵器坏の底部には墨書が認められる。(図版 56. No. 46.47)

【時期】出土土器の特徴から 8 世紀後半代と推定される。

④井戸

H28 号住居跡の竈西側を壊して構築される。深さ 2.35 m まで掘り、ピンポールで底面を確認したところ 0.8 m 下で礫層らしき面を確認した。

⑤土坑

土坑 1 はイモビツや礎石によって壊され、近世以前と思われる。

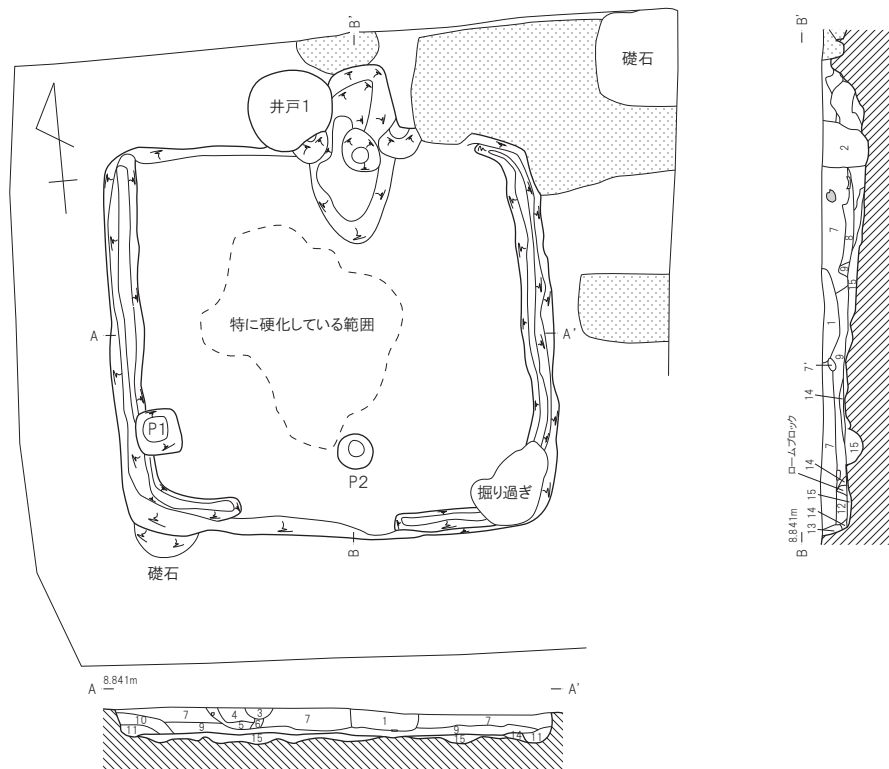
土坑 2 は動物骨が出土した。

土坑 5・6 は H30 住居跡の床下より検出し、住居より古い。

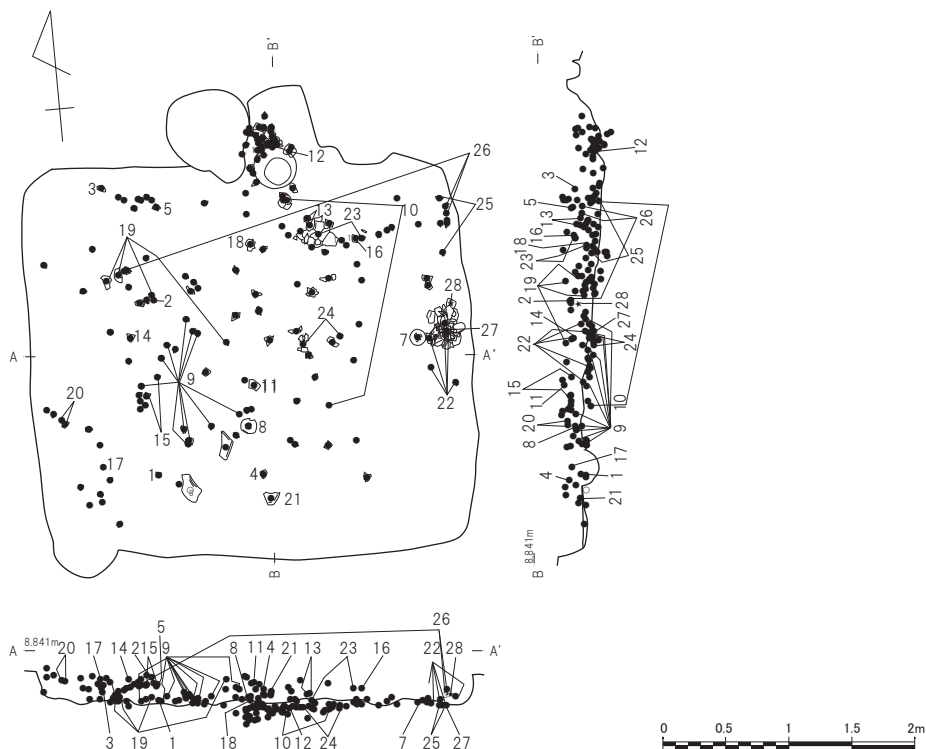
なお、土坑 4、6、30 地点の土坑 4 は掘立柱跡の可能性もある。

第 11 表 川崎遺跡第 26 地点遺構一覧表 (単位cm)

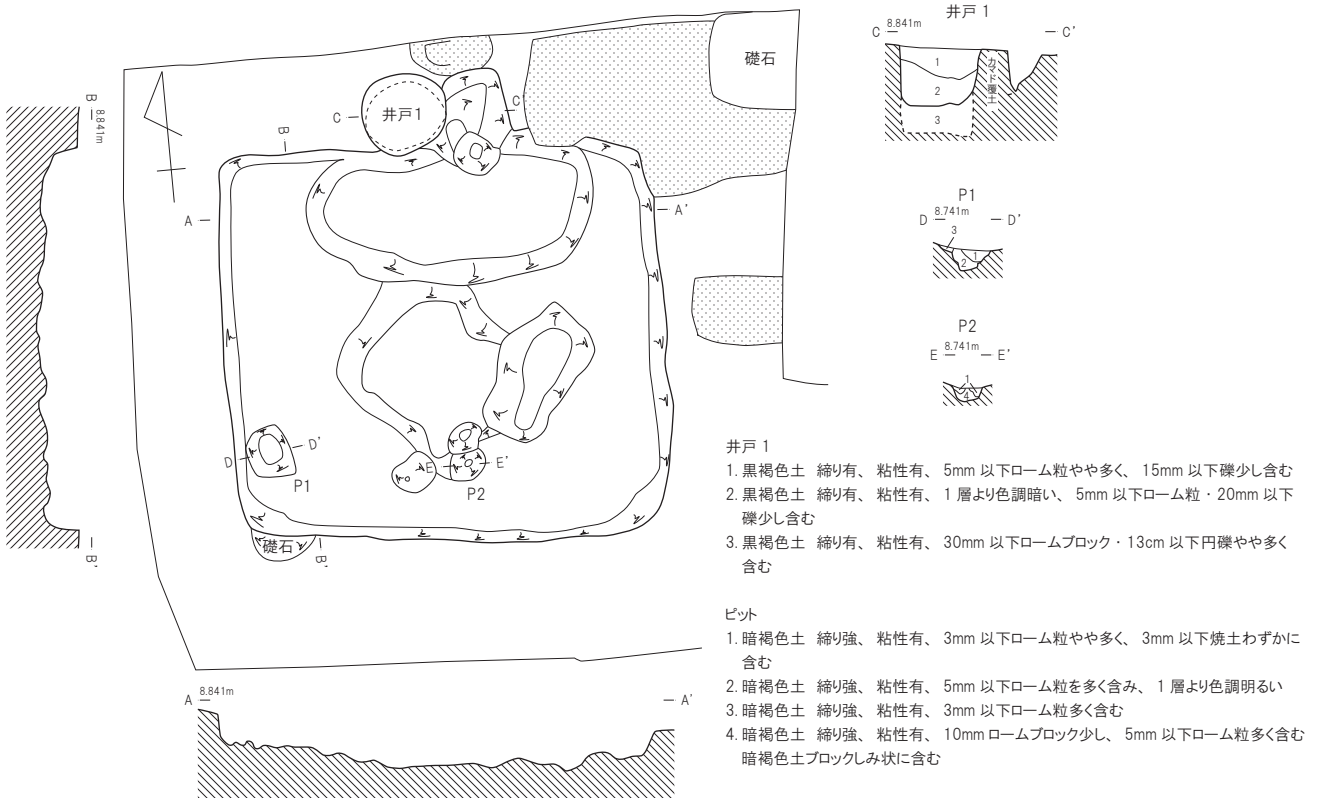
No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
H52 住 P1	隅丸方形	35 × 32	20 × 20	20	
H52 住 P2	円形	28 × 28	13 × 12	16	
井戸 1	円形	66 × 64	(63) × (63)	(235)	未完掘。ビー玉出土
土坑 1	円形	98 × (65)	72 × (60)	16	イモビツ。礎石より旧
土坑 2	隅丸長方形	78 × 68	63 × 51	14	動物骨出土
土坑 3	長方形	77 × 50	62 × 37	18	
土坑 4	隅丸長方形	99 × 63	55 × 37	48	
土坑 5	楕円形	88 × 48	60 × 35	36	H54 号住居跡より旧
土坑 6	楕円形	90 × 62	52 × 42	54	H54 号住居跡より旧
P1	円形	28 × 25	15 × 15	22	中世以前
P2	(円形)	32 × (22)	6 × 5	20	イモビツより旧
P3	隅丸方形	35 × 35	20 × 18	25	動物骨出土
P4	円形	50 × 42	25 × 19	57	
P5	円形	26 × 26	12 × 8	34	土坑 1 より新
P6		28 ×	×		
P7	楕円形	24 × 18	6 × 6	62	
P8	楕円形	23 × 20	7 × 5	40	
P9	円形	20 × 19	6 × 6	36	
P10	方形	20 × 13	15 × 5	30	
P11	円形	42 × 41	18 × 8	82	P12 より新
P12	(円形)	30 × (18)	18 × (8)	42	P11 より旧
P13	不整形	35 × 30	16 × 7	57	
P14	隅丸方形	25 × 25	11 × 9	64	
P15	楕円形	25 × 21	10 × 5	30	
P16	方形	35 × 35	15 × 7	60	
P17	長方形	37 × 25	22 × 12	54	
P18	不整形	28 × 25	10 × 10	34	
P19	(円形)	85 × (35)	25 × (8)	58	掘立柱建物?
P20	不整形	76 × 60	18 × 12	55	
溝 5	52 m 以上の直線。断面「U」字形	51 ~ 60	20 ~ 35	40	H53 号住居跡より新



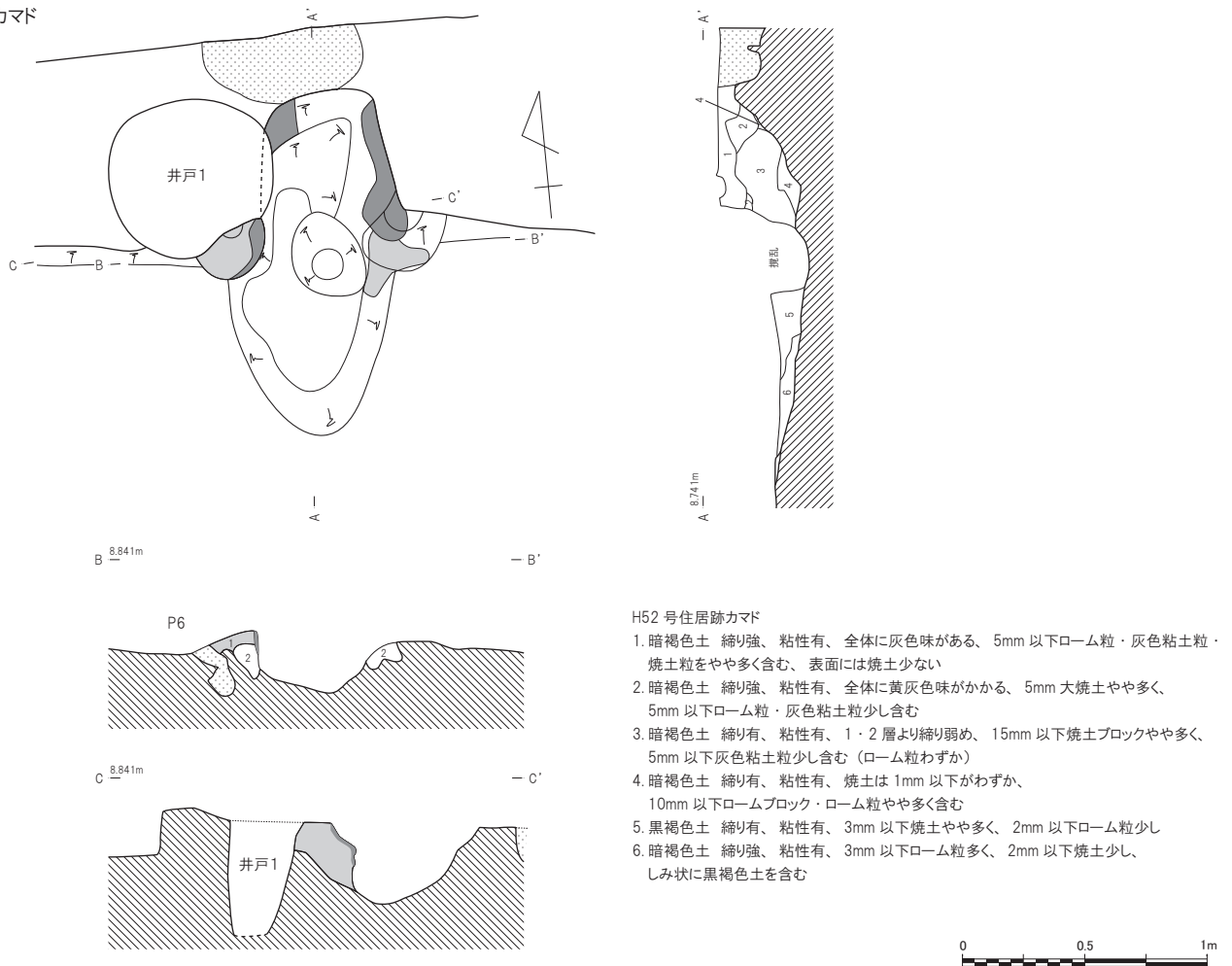
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、10mm 以下ロームブロック・ローム粒・灰色粘土少し含む、タール状物質含む、攪乱
2. 黒褐色土 締り有、粘性有、硬質の黒褐色土ブロックを多く、10mm 以下ロームブロック・ローム粒わずかに含む、攪乱
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒少し、1mm 程の炭化物・焼土わずかに含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下焼土と3mm 以下炭化物やや多く、20mm 以下ロームブロックわずか、ローム粒少し、10mm 以下黒色土ブロック少し含む
5. 赤褐色土 締り強、粘性有、焼土主体でしみ状に暗褐色土と黒褐色土を少し含む
6. 黒色土 締り強、粘性有、暗褐色土ベースに炭化物由来の黒色土を多く含む
7. 暗褐色土 締り強、粘性有、平均 10mm 以下ロームブロック少し、5mm 以下ローム粒均一にやや多く含む、北部分に最大 100mm の灰色粘土ブロック少し含む
- 7' .暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下焼土・ローム粒多く含む
8. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒少し、5mm 程の焼土わずかに含む
9. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～10mm ロームブロック少し、2mm 以下ローム粒均一にやや多く含む（7層より少ない）
10. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒均一にやや多く、2mm 以下焼土わずかに含む（9 層よりロームの粒径小さい）
11. 暗褐色土 締り強、粘性有、周溝の覆土、2mm 以下ローム粒やや多く含む、色調明るい
12. 黒褐色土 締り強い、粘性有、2mm 以下ローム粒少し（やや多め）、2mm 以下焼土わずかに含む
13. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒を多く含む、色調明るい
14. 暗褐色土 締り強い、粘性有、貼床上部の土、2mm 以下ローム粒をやや多く、炭化物わずかに含む
15. 暗褐色土 締り強い、粘性有、貼床の土、ロームブロック主体、すきまを黒褐色土がうめる、土器細片含む



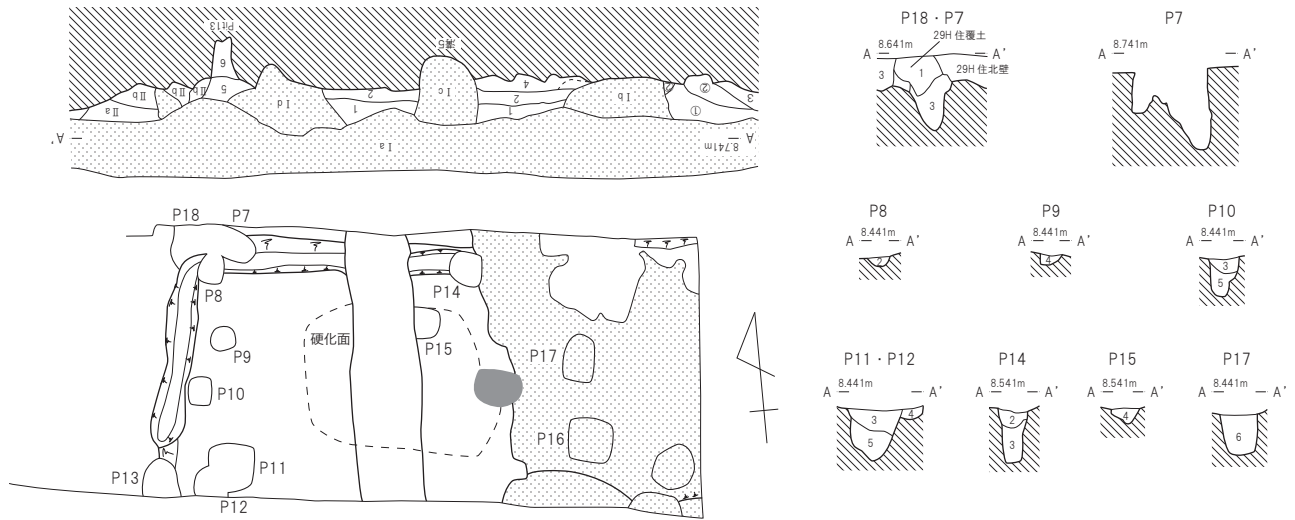
第 11 図 川崎遺跡第 26 地点 H52 号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)



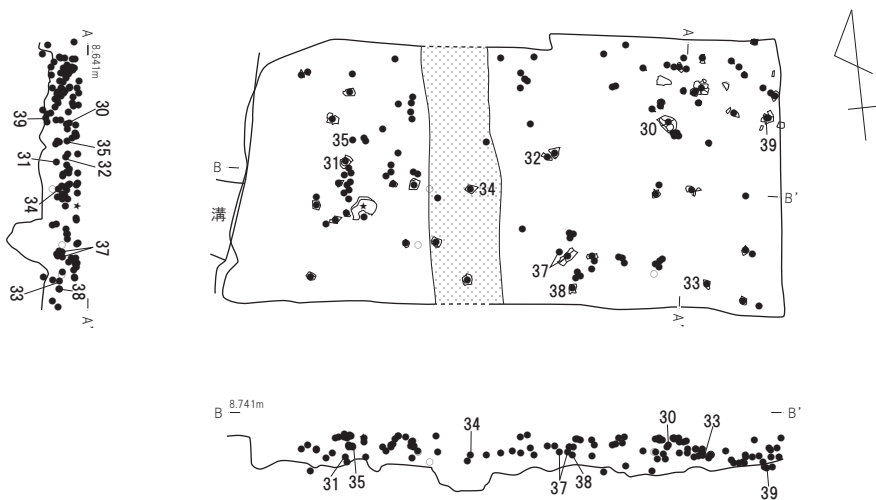
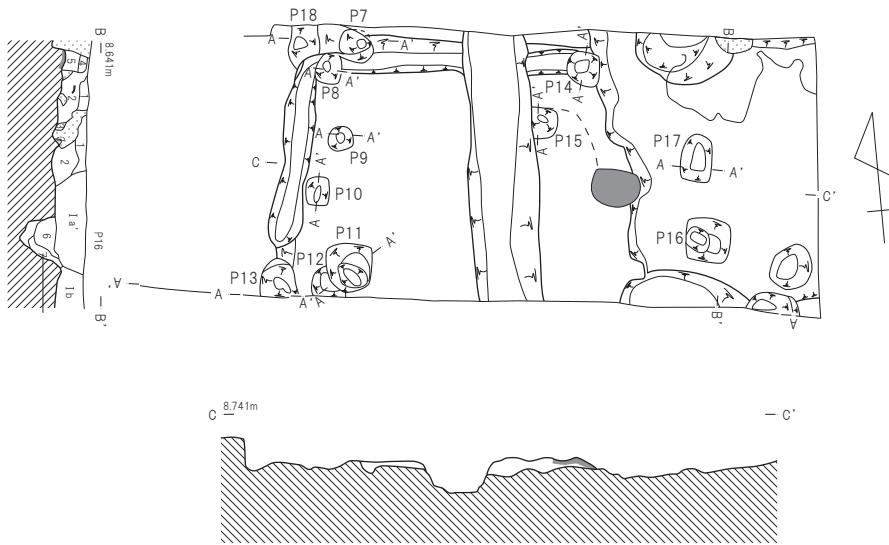
カマド



第 12 図 川崎遺跡第 26 地点 H52 号住居跡掘方 (1/60)、竈 (1/30)

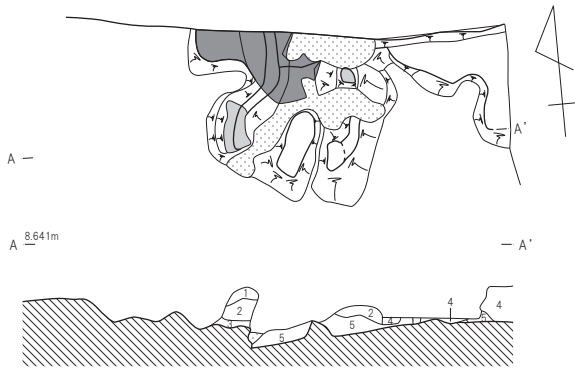


掘方

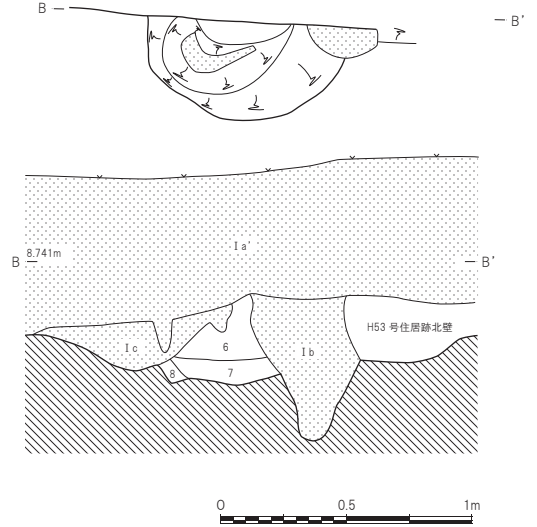


第13図 川崎遺跡第26地点H53号住居跡・掘方・遺物出土状況図 (1/60)

カマド



掘方



H53号住居跡A-A'

- ①. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒・焼土少し含む、H53住1層に比べ灰色味がある
- ②. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm以下焼土・ローム・灰色粘土やや多く含む、赤灰色味がある
- I a. 暗褐色土 締り強、粘性有、5～10mmロームブロック・2mm以下ローム粒少し、2mm以下焼土わずかに含む、表土、1グリッド1・2層に対比、礫・ロームブロック含む
- I b. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～10mmロームブロック、5mm以下ローム粒・焼土少し含む
- I c. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒・焼土少し、10mm大ロームブロック少し、下部にローム粒やや多く含む
- I d. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～40mmロームブロック、3mm以下ローム粒、5mm以下焼土少し、下部にローム粒やや多く含む
- II a. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む
- II b. 黒褐色土 締り有、粘性有、暗褐色土、ソフトロームを多く含む色調明るい
- 1. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒・焼土少し含む
- 2. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm大ロームブロック・焼土少し、3mm以下ローム粒・焼土やや多く含む
- 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒・焼土を多く含む、2mm以下炭化物少し含む、2層より、赤褐色味がある、3mm以下灰色粘土少し含む
- 4. 暗褐色土ベース 締り硬い、粘性有、15mm以下ロームブロック主体、2mm以下ローム粒・焼土をやや多く伴う暗褐色土が貫入する、貼床の土
- 5. 暗褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く、10mm程のロームブロック少し含む
- 6. 黒褐色土 締り有、粘性有、10mm以下ロームブロック・粒少し、やや多く、5mm以下焼土少し含む

カマド・掘方

- I a. 暗褐色土 締り強、粘性有、5～10mmロームブロック・2mm以下ローム粒少し、2mm以下焼土わずかに含む、表土、1グリッド1・2層に対比、礫・ロームブロック含む
- I b. 暗褐色土ベース 締り有、粘性やや弱、40mm以下ロームブロック・粒主体
- I c. 暗褐色土 締り強、粘性有、被熱・硬化したロームブロック(5～20mm)やや多く、しみ状に黒褐色土含む、5層近くに3mm以下ローム粒・焼土(最大15mm)多く含む
- 1. 灰色粘土 締り強、粘性有、5mm以下焼土・ローム粒やや多く含む
- 2. 褐灰色土 締り強、粘性有、5～10mm粘土やや多く、5～10mm焼土やや多く含む
- 3. 褐灰色土 締り強、粘性弱、被熱したロームブロック・粒を多く含む、5～10mm灰色粘土やや多く含む
- 4. 黒褐色土 締り有、粘性有、上面は硬化している、5～10mm焼土・ローム粒をやや多く含む、貼床の土
- 5. 暗褐色土 締り強、粘性有、20mm以下ロームブロック主体、すきまを暗褐色土が埋める、5mm程の焼土を少し含む
- 6. 赤褐色土 締り強、粘性有、赤味を帯びる褐灰色土主体、5～10mm焼土多く含む、しみ状の黒褐色土少し含む
- 7. 暗褐色土 締り強、粘性やや弱、被熱したロームブロック(20mm以下)多く、5～10mm焼土やや多く、10mmの灰色粘土少し含む
- 8. 暗褐色土 締り強、粘性有、被熱したロームブロック(5～20mm)やや多く、3mm焼土少し含む

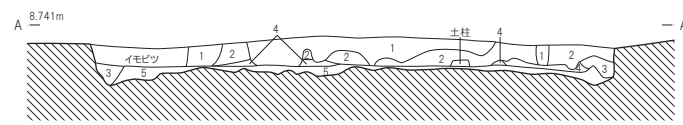
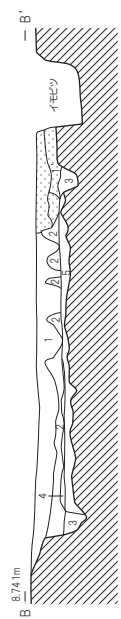
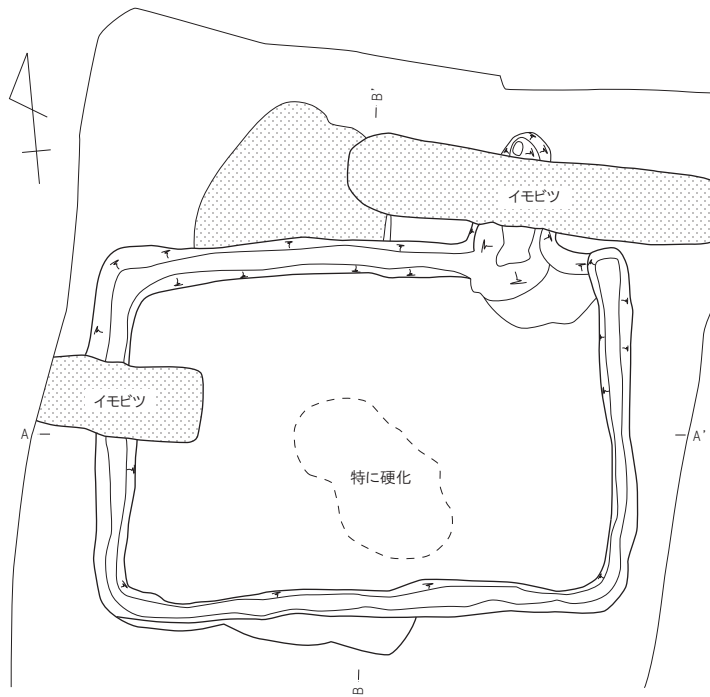
H53号住居跡カマドB-B'

- I a'. 黒褐色土 締り強、粘性有、10mm以下ロームブロック・粒やや多く、5mm以下焼土少し含む
- I b. 暗褐色土 締り有、粘性有、耕作土、最大10cm、およそ50mm以下ロームブロックやや多く含む
- 1. 赤褐色土 締り強、粘性有、30mmの焼土ブロック少し、3mm以下焼土多く、3～15mm灰色粘土少し含む、粘土混じりの褐灰色土ベース
- 2. 褐灰色土 締り強、粘性有、しみ状の灰色粘土含む、5mm以下焼土・ローム粒やや多く(南半部の焼土の粒径3mm以下と小さめ)、下部に10mm以下ロームブロック集中
- 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、10mm以下ロームブロック多く、3mm以下焼土少し含む
- 4. 灰色粘土 締り強、粘性有、しみ状の焼土・3mm以下焼土粒多く含む、しみ状の黒褐色土少し、3mm炭化物わずかに含む
- 5. 赤褐色土 締り強、粘性有、赤味を帯びる褐灰色土主体、5～10mm焼土多く含む、しみ状の黒褐色土少し含む
- 6. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く含む
- 7. 暗褐色土 締り有、粘性有、15mm以下ロームブロック少し含む、5mm以下ローム粒主体

ピット

- 1. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm以下ローム粒少し含む
- 2. 暗褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く、10mm程のロームブロック少し含む(周溝覆土も同じ)
- 3. 黒褐色土 締り有、粘性有、10mm以下ロームブロック・粒少し、5mm以下焼土少し含む(P11はロームブロック5～50mmと大きい)(P18の焼土は5～10mm)
- 4. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く、20mm以下ロームブロック少し含む、10mm程の焼土少し含む(貼床の土か)
- 5. 黒褐色土 締りやや弱、粘性有、2層の土に似るが、締り弱く、5mm以下ローム粒やや多く含む
- 6. 暗褐色土 締り強、粘性有、20mm以下ロームブロック多く含む

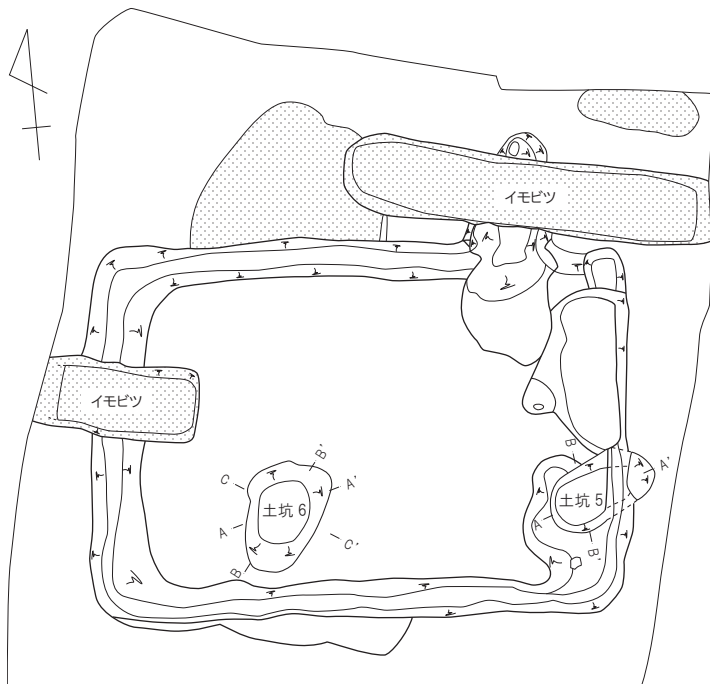
第14図 川崎遺跡第26地点 H53号住居跡竈 (1/30)



H54号住居跡

- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒少し、3mm以下焼土少し含む、2層より灰色味がる近代の陶磁器類を少し含み、攪乱を受けている
- 1' . 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒多く含む、ベースの土はやや灰色味つよい、H54住北西の攪乱の覆土
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、15～5mmロームブロック少し、5mm以下ローム粒やや多く、2mm以下焼土少し含む H54住の主体となる覆土
- 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、30～10mmロームブロック少し、5mm以下ローム粒多く含む、周溝の覆土、ベースは2層と同じく黒色味強い黒褐色土
- 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム土・ローム粒多く含む、3層より色調明るい
- 5. 黒褐色土ベース 締り硬い、粘性有、ロームブロック多く含む、2mm以下ローム粒も多く、焼土・炭化物少し含む

掘方

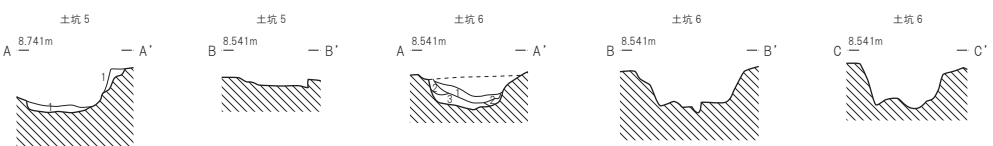


土坑5

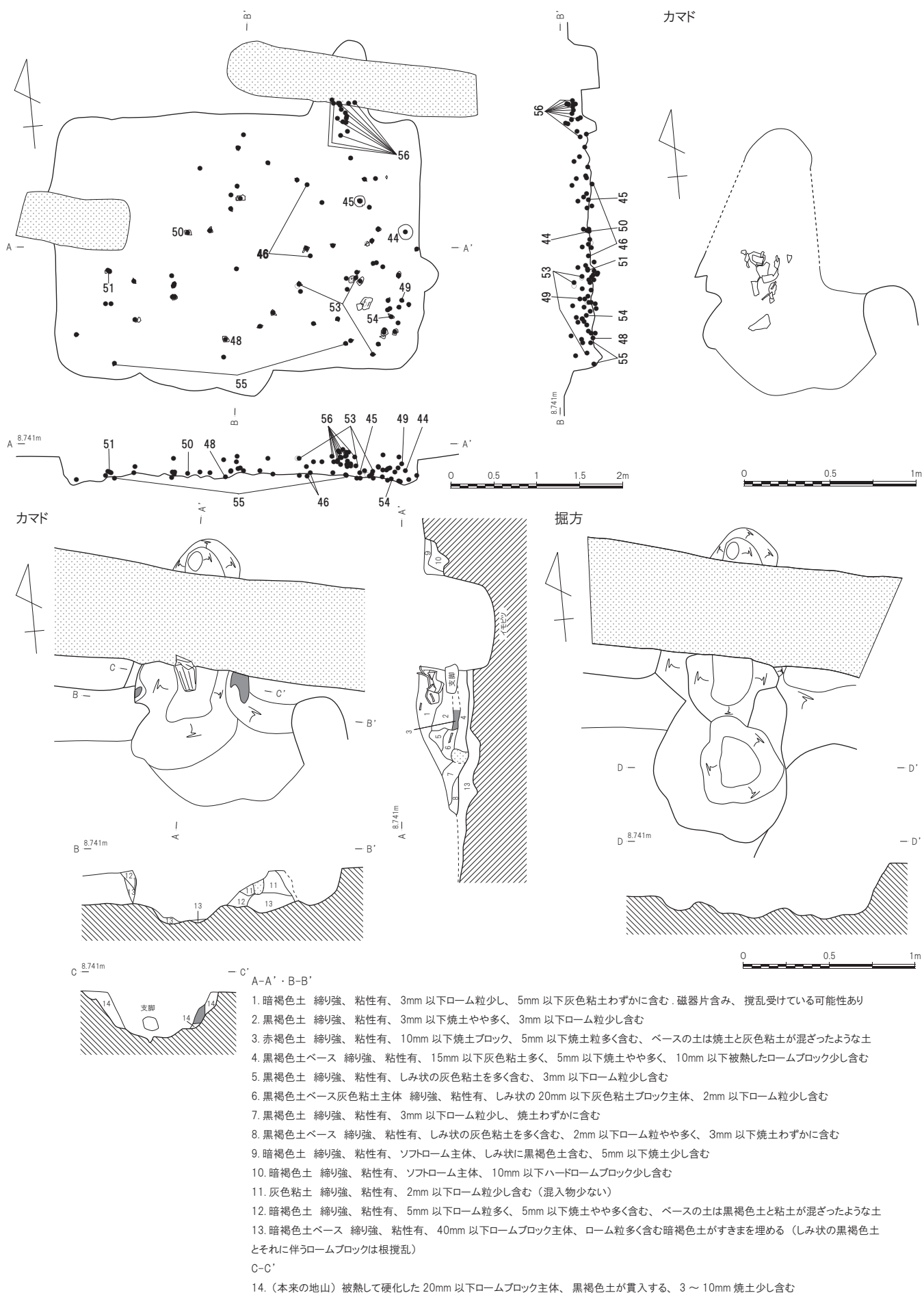
- 1. 暗褐色土 締り有、粘性有、5mm以下焼土やや多く、3mm以下ローム粒やや多く、3mm以下炭化物少し含む

土坑6

- 1. 黒褐色土 締り有、粘性有、5～40mmロームブロック少し、5mm以下ローム粒やや多く、3mm以下炭化物・焼土わずかに含む
- 2. 暗褐色土 締り有、粘性有、2mm以下ローム粒多く含む、しみ状に黒褐色土少し、1mm以下炭化物少し含む
- 3. 暗褐色土ベース 締り強、粘性有、30mm以下ロームブロック・ローム粒主体

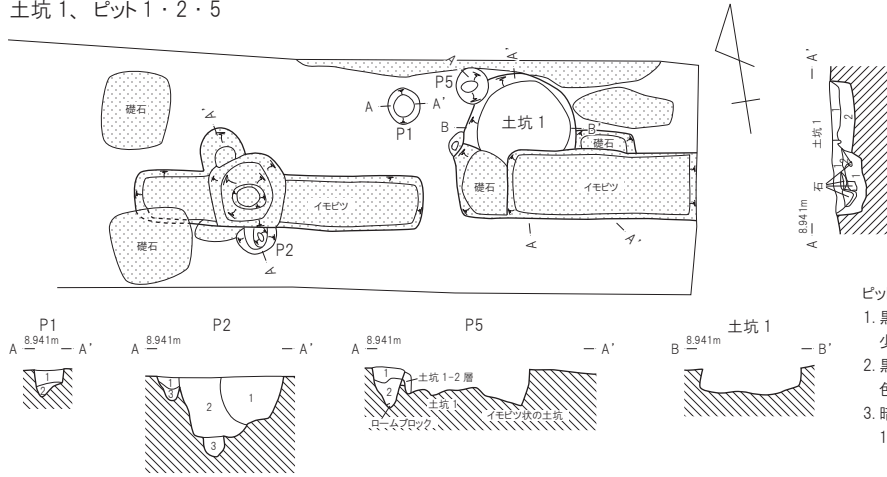


第15図 川崎遺跡第26地点 H54号住居跡・掘方 (1/60)



第16図 川崎遺跡第26地点 H54号住居跡遺物出土状況図 (1/60)、竈 (1/30)

土坑1、ピット1・2・5



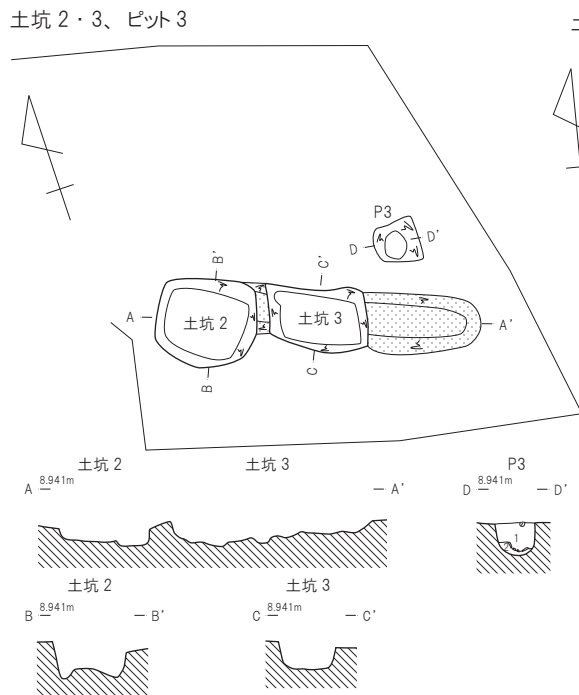
土坑1 中世以前

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒やや多く含む、2層に比べ灰色味がある
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く、3mm以下炭化物・焼土わずかに含む

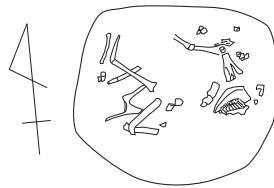
ピット1・2・5

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、10mm以下ソフトロームブロック少し、P5はロームブロック・5mm以下ローム粒やや多い
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、1層よりロームブロック少なく、色調暗い、5mm以下ローム粒少し含む、P5はローム粒やや多い
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームを多く含む、色調明るい、10mm以下ロームブロック少し含む

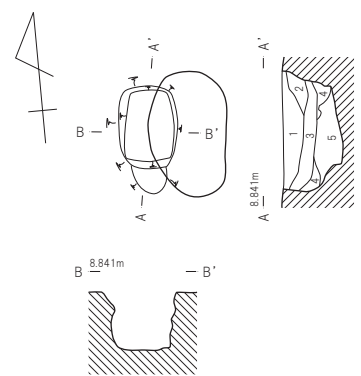
土坑2・3、ピット3



土坑2



土坑4



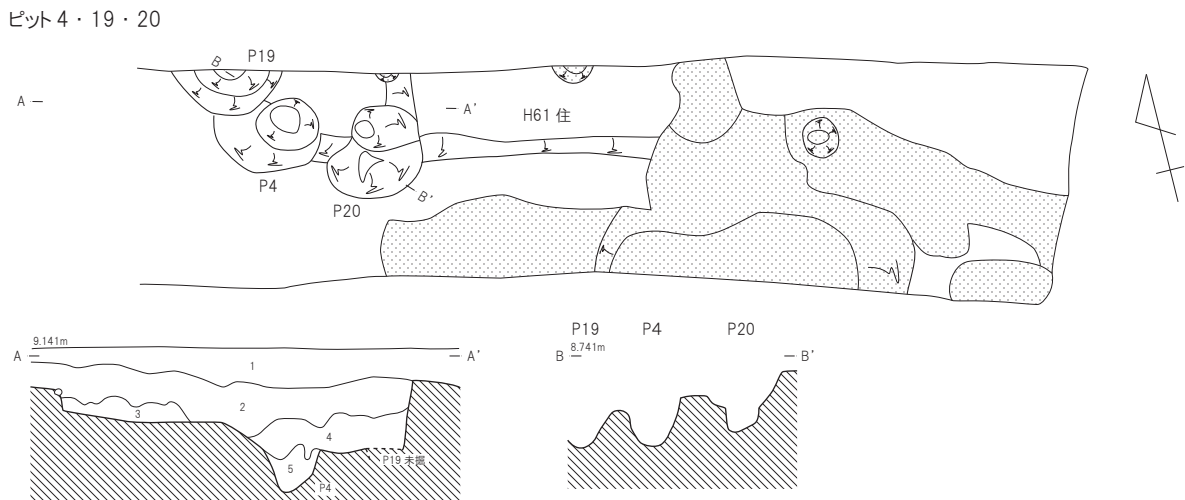
土坑4

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、5～10mmロームブロック、5mm以下ローム粒やや多く含む
2. 暗褐色土 締りやや弱、粘性有、ソフトローム粒多く含む、最大70mmロームブロック少し含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm程のロームブロック少し、2mm以下ローム粒やや多く含む
4. 暗褐色土 締りやや弱、粘性有、10mm程のロームブロック少し、3mm以下ローム粒多く含む
5. 暗黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体、5～40mmロームブロック多く含む（ブロック状の黒褐色土は植物痕）

ピット3

1. 暗褐色土 締りやや弱、粘性有、15mm以下ロームブロック・ローム粒やや多く含む
 2. 暗褐色土 締り有、粘性有、ソフトローム土多く含む、色調明るい
- ※1・2層境に動物遺体

ピット4・19・20



A-A'

1. 表土 非常に硬く締る、瓦礫等を表層に含む、ローム多量
2. 暗褐色土 硬く締る、ローム粒(2～3mm)少量、焼土粒(2～3mm)極少量、炭(5mm)極少量、表土・耕作土・粘性のある灰色塊が入る
3. 暗褐色土 締り有、ローム(ソフト)の塊との混合土
4. 暗褐色土 締り有、ローム粒(5mm)多量、焼土粒(2～3mm)少量、炭(5mm)少量
5. 暗褐色土 締り弱、ローム塊(10mm大)多量、ローム粒(5mm)多量



第17図 川崎遺跡第26地点土坑・ピット (1/30・1/60)

第12表 川崎遺跡第26地点出土遺物観察表 (単位:cm)

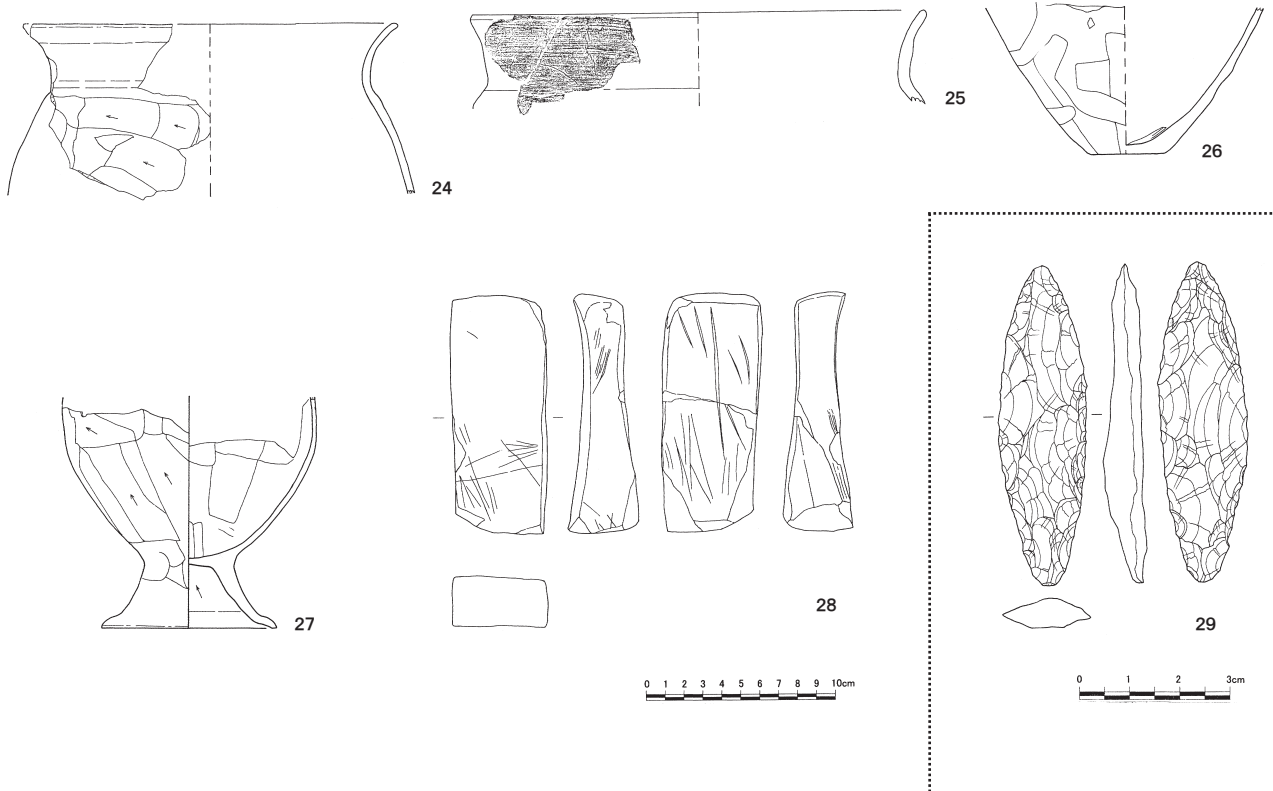
図版 番号	掲載 番号	遺構名	種別・器種	口径・ 長	底径・ 幅	器高・ 厚	技法 / 文様 / その他	推定生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
18 図	1	H52号住居跡	縄文土器	—	—	—	LR 縄文を横位に施文後、横位の沈線と波状文を施文し、沈線上に刺突文を施文する / 注No.73 (旧H28号住)		縄文中期・五領ヶ台	口縁部片
	2	H52号住居跡	縄文土器	—	—	—	RL 縄文を横位に施文 / 織維含む / 注No.47 (旧H28号住)		縄文前期後半	口縁部片
	3	H52号住居跡	縄文土器	—	—	—	RL 縄文を横位に施文 / 織維含む / 注No.40 (旧H28号住)		縄文前期後半	胴部片
	4	H52号住居跡	縄文土器	—	—	—	0段3条のLR 縄文 / 織維含む / 注No.32 (旧H28号住)		縄文前期・羽状縄文系	胴部片
	5	H52号住居跡	縄文土器	—	—	—	幅広の爪形文を施文 / 注No.37 (旧H28号住)		縄文前期・諸磯b古	胴部片
	6	H52号住居跡	縄文土器	—	—	—	輪積み成形 / 地文無節L 縄文を縦位に施文。懸垂沈線で彫り、一部沈線間の縄文を磨消す / 砂粒多量 / 注No.B区2 (旧H28号住)		加曾利E III	胴部片
	7	H52号住居跡	須恵器・環	12.3	6.1	3.8	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / 褐色 / 砂粒 (~2mm) 極多量含む / 注No.14 (旧H28号住)	東金子	9C 中葉	完形
	8	H52号住居跡	須恵器・環	12.6	6.0	4.2	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / 褐色 / 砂粒 (~5mm) 多量含む / 注No.69 (旧H28号住)	東金子	9C 中葉	完形
	9	H52号住居跡	須恵器・環	12.2	6.0	3.7	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / にぶい黄褐色 / 砂粒 (~0.5mm) 多量含む / 内面の底から口縁、外面の口縁にかけ煤付着。一部ターレット状 / 注No.51 ~ 53、55、61、74 ~ 76、98、100、108、C区1・2 (旧H28号住)	南比企?	9C 中葉	3/4 以上残存
	10	H52号住居跡	須恵器・環	11.6	6.0	3.7	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / にぶい黄褐色 / 砂粒 (~0.5mm) 多量含む / 内外面口縁の一部に煤付着 / 注No.22、163、H1、カクラン1 (旧H28号住)	南比企?	9C 中葉	3/4 以上残存
	11	H52号住居跡	須恵器・環	(11.1)	6.0	3.7	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / 灰色 / 砂粒 (~0.5mm) 多量含む / 注No.66 (旧H28号住)	南比企	9C 中葉	1/4 以上残存
	12	H52号住居跡	須恵器・環	(12.5)	6.4	4.0	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / にぶい黄褐色 / 砂粒 (~0.5mm) 多量含む / 注No.113 (旧H28号住)	東金子	9C 中葉	1/4 以上残存
	13	H52号住居跡	須恵器・環	(12.8)	6.1	3.5	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / 褐色 / 砂粒 (~0.5mm)、赤色粒、海面骨針多量含む / 注No.20、21 (旧H28号住)	南比企	9C 中葉	1/2 以上残存
	14	H52号住居跡	須恵器・環	(13.0)	(6.2)	4.3	轆轤成形 / にぶい黄褐色 / 砂粒 (~0.5mm)、海面骨針多量含む / 注No.50 (旧H28号住)	南比企	9C 中葉	1/4 以下残存
	15	H52号住居跡	須恵器・環	(12.8)	—	—	轆轤成形 / にぶい黄褐色 / 砂粒 (~0.5mm)、海面骨針多量含む / 注No.58、59 (旧H28号住)	南比企	9C 中葉	口縁部片
	16	H52号住居跡	須恵器・環	(13.2)	—	—	轆轤成形 / にぶい黄褐色 / 砂粒 (~2mm)、海面骨針多量含む / 注No.17 (旧H28号住)	南比企	9C 中葉	口縁部片
	17	H52号住居跡	須恵器・環	(12.0)	—	—	轆轤成形 / 灰白色 / 砂粒 (~0.5mm) 多量含む / 注No.88、H8 (旧H28号住)	南比企?	9C 中葉	口縁部片
	18	H52号住居跡	須恵器・環	—	5.8	—	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / にぶい黄色 / 砂粒 (~2mm) 極多量含む / 注No.34 (旧H28号住)	東金子	9C 中葉	底部破片
	19	H52号住居跡	須恵器・皿	(14.7)	5.9	3.1	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / にぶい黄色 / 砂粒 (~2mm) 多量含む / 外面底部から口縁にかけ煤付着。内面は破損後煤付着 / 注No.54、79、80、104 (旧H28号住)	南比企?	9C 中葉	1/2 以上残存
	20	H52号住居跡	須恵器・皿	(14.4)	—	—	轆轤成形 / にぶい黄褐色 / 砂粒 (~2mm) 多量含む / 外面口縁煤付着 / 注No.84、85 (旧H28号住)	南比企?	9C 中葉	口縁部片
	21	H52号住居跡	須恵器・甕	—	(14.0)	—	粘土紐積上後、轆轤調整 / 黒褐色 / 砂粒 (~3mm) 多量含む / 注No.33 (旧H28号住)	南比企	9C	底部破片
22	H52号住居跡	土師器・甕	21.0	—	—	粘土紐積上。口縁部横撫で。胴部外面斜方向のヘラ削り。胴部内面横撫で。内面には積上痕有 / 赤褐色 / 砂粒 (~1mm) 多量含む / 口縁部から胴部に煤付着 / 注No.11 ~ 13、15、110、A区1、B区2 (旧H28号住)		9C	底部欠損	
23	H52号住居跡	土師器・甕	15.0	—	—	粘土紐積上。口縁部横撫で。胴部外面斜方向のヘラ削り。胴部内面縦方向の撫で / 明赤褐色 / 砂粒 (~1mm) 極多量、輝石含む / 胴部に煤付着 / 注No.17、27、A区1 (旧H28号住)		9C	底部欠損、1/4 以上残存	
19 図	24	H52号住居跡	土師器・甕	(19.8)	—	—	粘土紐積上。口縁部横撫で。胴部外面斜方向のヘラ削り。胴部内面横方向の撫で / にぶい赤褐色 / 砂粒 (~1mm) 多量、輝石含む / 胴部に煤付着 / 注No.168、169 (旧H28号住)		9C	口縁部片
	25	H52号住居跡	土師器・甕	(24.0)	—	—	粘土紐積上。口縁部横撫で / にぶい赤褐色 / 砂粒 (~1mm) 多量 / 注No.16、96 (旧H28号住)		9C	口縁部片
	26	H52号住居跡	土師器・甕	—	4.0	—	粘土紐積上。内外面縦方向のヘラ削り / 明赤褐色 / 砂粒 (~1mm) 多量 / 胴部に焼けた粘土付着 / 注No.3、4、48、カクラン1 (旧H28号住)		9C	底部片
	27	H52号住居跡	土師器・台付甕	—	9.2	—	粘土紐積上。脚部横撫で。胴部外面斜方向のヘラ削り。胴部内面横方向の撫で / 褐色 / 砂粒 (~1mm) 極多量 / 注No.110 (旧H28号住)		9C	胴部下半~脚部
	28	H52号住居跡	石製品・砥石	12.5	5.1	3.1	重量 304.27 g / 表裏と両側面の4面を砥面として使用。中央が磨り減る / 注No.28 (旧H28号住)	凝灰岩	古代	完形
	29	H52号住居跡	石器・尖頭器	6.35	1.80	0.83	重量 8.94 g / 縦長薄片を素材に、両側面を押圧剥離で調整し成形する。基部に打点が残る / 注No.H1 (旧H28号住)	安山岩	旧石器	完形
	30	H53号住居跡	須恵器・環	(14.0)	6.4	5.8	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / 浅黄色 / 砂粒 (~5mm) 多量含む / 注No.76 (旧H29号住)	南比企	9C 後半	1/2 以上残存
	31	H53号住居跡	須恵器・環	(13.0)	5.6	4.0	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / 褐色 / 砂粒 (~5mm) 多量含む / 注No.26 (旧H29号住)	南比企	9C 後半	1/4 以上残存
	32	H53号住居跡	須恵器・環	(11.5)	(5.0)	4.0	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / 褐色 / 砂粒 (~3mm) 多量含む / 注No.61 (旧H29号住)	南比企	9C 後半	1/4 以下残存
	33	H53号住居跡	須恵器・環	(11.0)	(5.0)	2.6	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / 灰褐色 / 砂粒 (~0.5mm) 多量含む / 注No.112 (旧H29号住)	南比企	9C 後半	1/4 以下残存
	34	H53号住居跡	須恵器・環	(12.0)	(5.0)	3.2	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / 暗黄色 / 砂粒 (~0.5mm) 多量含む / 外面一部煤付着 / 注No.2、H3 (旧H29号住)	南比企	9C 後半	1/4 以下残存
	35	H53号住居跡	須恵器・皿	(14.0)	—	—	轆轤成形 / 黄褐色 / 砂粒 (~0.5mm) 多量含む / 注No.18、H3 (旧H29号住)	南比企	9C 後半	口縁部片
	36	H53号住居跡	須恵器・皿	—	(6.0)	—	轆轤成形。底部右回転糸切後、高台貼付け / 黒褐色 / 砂粒 (~2mm) 含む / 注No.H3 (旧H29号住)	南比企	9C 後半	底部片

図版 番号	掲載 番号	遺構名	種別・器種	口径・ 長	底径・ 幅	器高・ 厚	技法 / 文様 / その他技法 / 文様 / その他	推定生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
19 図	37	H53 号住居跡	土師器・甕	(14.0)	—	—	粘土紐積上。口縁部横撫で。頸部～胴部外面横方向のヘラ削り / 橙色 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 注No.51、52(旧 H29 号住)	南比企	9C 後半	口縁部片
	38	H53 号住居跡	土師器・甕	—	—	—	粘土紐積上。口縁部横撫で。頸部～胴部外面横方向のヘラ削り / 橙色 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 内外面一部煤付着 / 注No.59(旧 H29 号住)		9C	口縁部片
	39	H53 号住居跡	土師器・甕	—	4.4	—	粘土紐積上。内面横方向の撫で、外面縦方向のヘラ削り / 明赤褐色 / 砂粒 (～0.5mm) 多量含む / 外面一部煤付着 / 注No.106(旧 H29 号住)		9C	底部片
	40	H53 号住居跡	土師器・台付甕	—	6.7	—	粘土紐積上。脚部横撫で。胴部外面斜方向のヘラ削り。胴部内面横方向の撫で / 明赤褐色 / 砂粒 (～1mm) 含む / 注No.H1(旧 H29 号住)		9C	脚部
	41	H53 号住居跡	鉄製品・釘	5.8	—	—	注No.H1(旧 H29 号住)			
	42	H53 号住居跡	縄文土器・	—	—	—	注No.H1(旧 H29 号住)		縄文時代	
	43	H53 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	棒状工具による沈線と刺突による文様 / 注No.H1(旧 H29 号住)		縄文後期・称名寺	口縁部片
20 図	44	H54 号住居跡	須恵器・蓋	16.6	つまみ 径 21	4.4	轆轤成形。天井部糸切後、回転捺削り。つまみ貼り付け / 灰黄色 / 砂粒 (～1.0mm) 少量含む / 注No.1(旧 H30 号住)	南比企	8C 後半	完形
	45	H54 号住居跡	須恵器・環	12.8	7.2	3.8	轆轤成形。右回転糸切後未調整 / 橙色 / 砂粒 (～5mm) 多量含む / 注No.2(旧 H30 号住)	東金子	8C 後半	完形
	46	H54 号住居跡	須恵器・環	(12.0)	(7.0)	3.5	轆轤成形。右回転糸切後未調整 / 褐色 / 砂粒 (～5mm) 多量含む / 注No.33、74、カクラン (旧 H30 号住)	南比企	8C 後半	1/4 以下残存 / 底裏面に墨書有
	47	H54 号住居跡	須恵器・環	—	—	—	轆轤成形。右回転糸切 / 灰白色 / 砂粒 (～0.5mm) 少量含む / 注No.H1(旧 H30 号住)		8C 後半	底部破片 / 底裏面に墨書有
	48	H54 号住居跡	須恵器・環	(12.0)	(7.6)	3.3	轆轤成形。右回転糸切後未調整 / ぶい黄褐色 / 砂粒 (～0.5mm) 少量含む / 内外面一部煤付着 / 注No.56(旧 H30 号住)	南比企	8C 後半	1/4 以下残存 / 底裏面に墨書有
	49	H54 号住居跡	須恵器・環	(13.0)	—	—	轆轤成形 / 灰色 / 砂粒 (～1.0mm) 少量含む / 注No.14(旧 H30 号住)	南比企?	8C	口縁部片
	50	H54 号住居跡	須恵器・環	(13.0)	—	—	轆轤成形 / 灰黄色 / 砂粒 (～1.0mm) 少量含む / 注No.69、C区1、D区1(旧 H30 号住)	南比企	8C	口縁部片
	51	H54 号住居跡	須恵器・環	(13.0)	—	—	轆轤成形 / 灰黄色 / 砂粒 (～1.0mm) 多量含む / 注No.43、C区1(旧 H30 号住)	南比企	8C	口縁部片
	52	H54 号住居跡	須恵器・碗	—	7.0	—	轆轤成形。底部回転糸切後高台貼り付け / 灰黄褐色 / 砂粒 (～0.5mm) 少量含む / 注No.カクラン (旧 H30 号住)		8C	底部破片
	53	H54 号住居跡	土師器・環	(12.4)	(8.0)	3.2	外面下位から底部横位の捺削り / 橙色 / 砂粒 (～0.5mm) 少量含む / 注No.23、29、32(旧 H30 号住)	相模型	8C 中葉	1/4 以下残存
	54	H54 号住居跡	土師器・環	(13.8)	—	3.2	外面下位から底部横位の捺削り / 橙色 / 砂粒 (～0.5mm) 少量含む / 注No.20(旧 H30 号住)	相模型	8C 中葉	1/4 以下残存
	55	H54 号住居跡	土師器・甕	(19.0)	—	—	粘土紐積上。口縁部横撫で / ぶい褐色 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 注No.30、46、B区 (旧 H30 号住)		8C	口縁部片
	56	H54 号住居跡	土師器・甕	20.6	—	—	粘土紐積上。口縁部横撫で。胴部外面斜方向のヘラ削り。胴部内面横撫で / 明赤褐色 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 胴下半部に煤付着 / 注No.カマドNo.1、3～5、8～12、15、H1(旧 H30 号住)		9C	底部欠損
	57	H54 号住居跡	陶器・天目茶碗	(13.0)	—	—	轆轤成形 / 鉄釉 / 極暗褐色 / 砂粒 (～1.0mm) 少量含む / 注No.カクラン1(旧 H30 号住)	瀬戸・美濃	18C	口縁部片
	58	H54 号住居跡	磁器・皿	(11.0)	(7.0)	1.8	轆轤成形 / 型紙絵付け。コバルト釉 / 注No.カクラン1(旧 H30 号住)		1880 年代～	1/4 以下残存
	59	H54 号住居跡	磁器・紅猪口	(11.0)	(7.0)	1.8	轆轤成形 / 染付け。高台から裏面無釉 / 注No.カクラン2(旧 H30 号住)	瀬戸・美濃	1810 年代～	1/4 以下残存
	60	H54 号住居跡	磁器・急須	—	—	—	轆轤成形。茶漉し穴穿孔後、注口貼り付け / コバルト釉染付け。高台から裏面無釉 / 注No.H1(旧 H30 号住)		1870 年代～	注口破片
	61	H54 号住居跡	瓦	4.7	4.9	1.6	瓦破片を円形に打ち欠いて成形 / 注No.カクラン1(旧 H30 号住)		近世～	
	62	H54 号住居跡	土製品・人形	2.7	2.5	—	型合せ成形(前後合せ) / モチーフ:女性 / 注No.B区(旧 H30 号住)		18C 前半	頭部破片
	63	H54 号住居跡	土製品・支脚	(17.2)	8.0	—	側面縦方向のヘラ削り / 注No.カマド2(旧 H30 号住)		奈良・平安	下部欠損
	21 図	64	土坑3	土製品・五徳	—	—	1.8	環状基部の一部分 / 雲母片多量 / 注No.3D2		近世
65		土坑3	陶器・鉢	(16.0)	—	—	轆轤成形 / 灰釉 / 浅黄色 / 注No.3D2	瀬戸・美濃	18C 後～19C	口縁部片
66		土坑3	鉄製品・鎌	—	3.7	—	注No.3D2		近世～	刃部破片
67		P4	須恵器・環	(13.0)	—	—	轆轤成形 / 淡黄色 / 砂粒 (～1mm) 少量含む / 注No.P4	南比企	9C 後～10C	口縁部片
68		遺構外	土器・蚊遣り	—	—	—	粘土紐積上げ。内面横撫、接合部に指頭圧痕。側面に径 2.1cm の焼成前穿孔 / 褐色 / 外面は黒色塗料 / 内面と穿孔部に煤付着 / 注No.1トレH1		19C～	胴部片
69		遺構外	磁器・茶碗	(11.6)	4.4	4.8	轆轤成形 / 型紙絵付け。コバルト釉 / 注No.1トレH1		1880 年代～	1/2 以下残存
70		遺構外	須恵器・皿	—	(6.8)	—	轆轤成形。回転糸切後未調整 / ぶい黄褐色 / 砂粒 (～1mm)、海面骨針多量含む / 注No.3トレH4	南比企	9C～10C	底部片
71		遺構外	須恵器・甕	—	—	—	粘土紐積上、外面叩き締め / 灰白色 / 砂粒 (～3mm) 多量含む / 注No.3トレH2	南比企	奈良・平安	胴部片 / 内面滑らか。転用碗か
72		遺構外	陶器・天目茶碗	—	4.5	—	轆轤成形。高台は回転捺削りによる削り出し / 鉄釉 / 黒褐色 / 注No.3トレH2		17C 後半	底部片
73		遺構外	陶器・甕	—	—	—	粘土紐積上 / 鉄釉 / 明赤褐色 / 注No.3トレH2		近世～	口縁部片
74		遺構外	鉄製品・刀子	—	3.2	—	注No.3トレH2			
75		遺構外	鉄製品・刀子	—	1.0	—	注No.3トレH2			

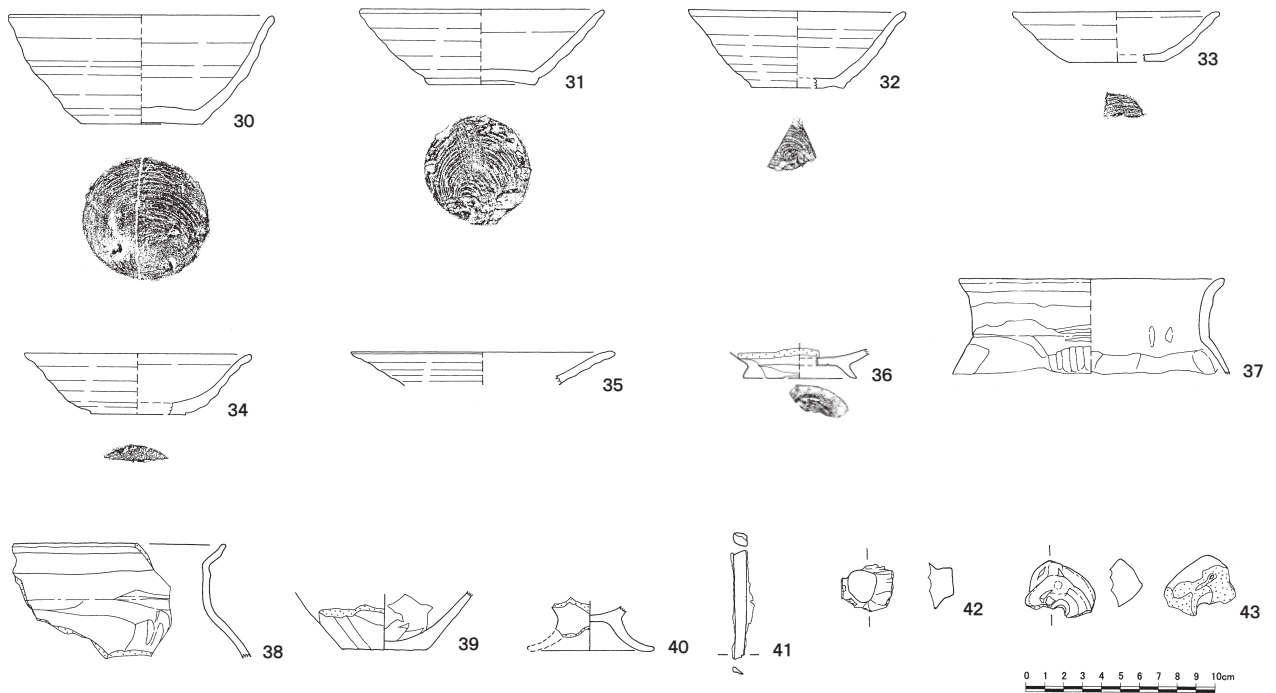


第18图 川崎遺跡第26地点 H52号住居跡出土遺物① (1/4)

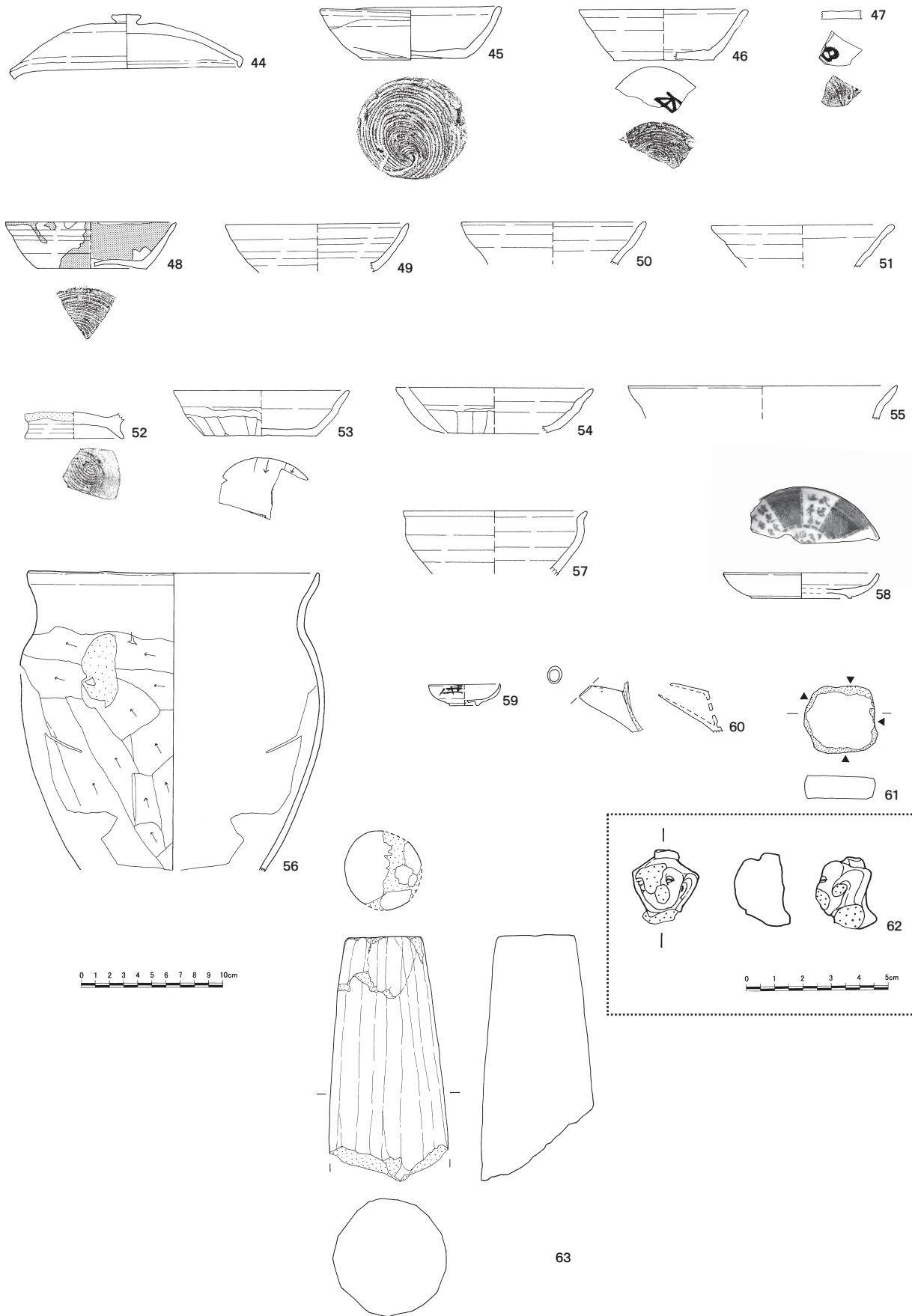
H52 号住居跡



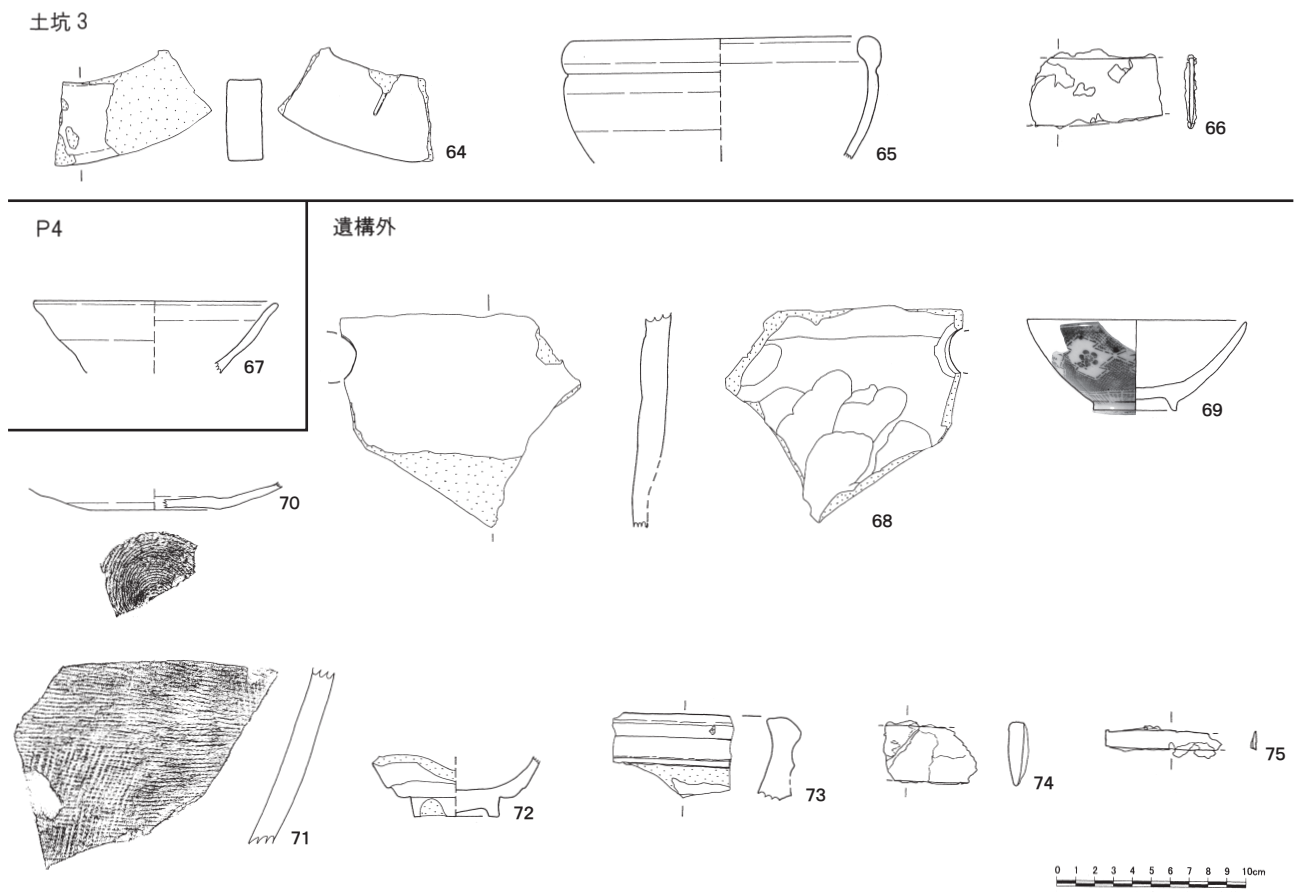
H53 号住居跡



第19図 川崎遺跡第26地点 H52 号住居跡出土遺物②・H53 号住居跡出土遺物 (1/4・2/3)



第20図 川崎遺跡第26地点H54号住居跡出土遺物(1/2・1/4)



第21図 川崎遺跡第26地点土坑・ピット・遺構外出土遺物 (1/4)

IV 川崎遺跡第 27 地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅の建設に伴うもので、原因者より 2008 年 3 月 25 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の南端、一段高い台地上に立地しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 5 月 15 日から同月 21 日まで行なった。調査区に幅約 2 m のトレンチを 3 本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、溝を検出した。遺構の性格を確認するため検出部分のみ調査した。溝を検出した北側は斜面となっており、確認面まで 90cm を測る。建築による遺構への影響がないため工事立会いとし、写真撮影・平板測量による全測図・遺構図面作成等記録保存を行ない、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

(2) 遺構と遺物

【溝】 調査区の北側は段切りされ、本調査区はコンクリートブロックで囲ったうえ斜面を盛土している。

その北端で東西方向の溝を 1 条検出した。断面形態は箱葉研形を呈する。検出した溝の長さは 11.2 m で東西ともトレンチ確認面よりも外へ延びる。締りの強い暗褐色土と黒褐色土が交互に堆積し、最下層にはロームブロック主体の層がある。本地点の 50 m 東側の第 21 地点においても東西方向の「V」字形の溝を検出している。21 地点の北側にも本地点とは一連の段切りが認められ、段切りと溝の関連が伺われる。

溝の東側第 1 トレンチで土坑と重複関係にあり、土坑 1 より新しい。

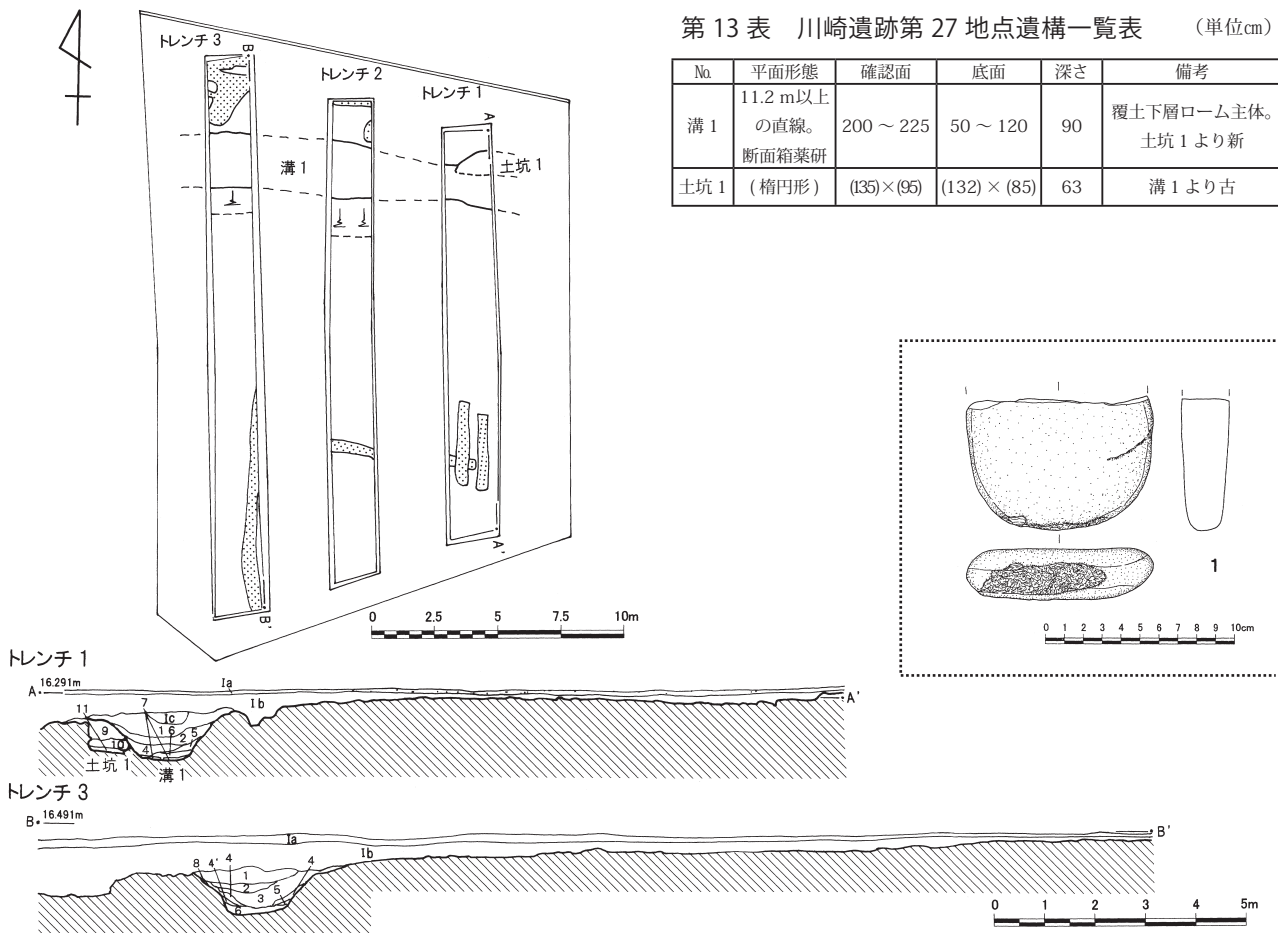
縄文土器 1 片と敲石 1 点を検出した。敲石は長 9.9 × 幅 7.0 × 厚 2.7 cm の砂岩製。その他に遺物はないが、土質から判断すると時期は古代以降と思われる。

【土坑 1】 調査区北東、トレンチ 1 内で検出。溝 1 により南側を削られ、北側はトレンチ外へ伸びるが、未調査であるため、全体の形態は不明。検出部分の平面は弧を描き、底面は平坦、壁は垂直に立ち上がる。締りの強い暗褐色土と黒褐色土で、間にソフトロームを挟む。

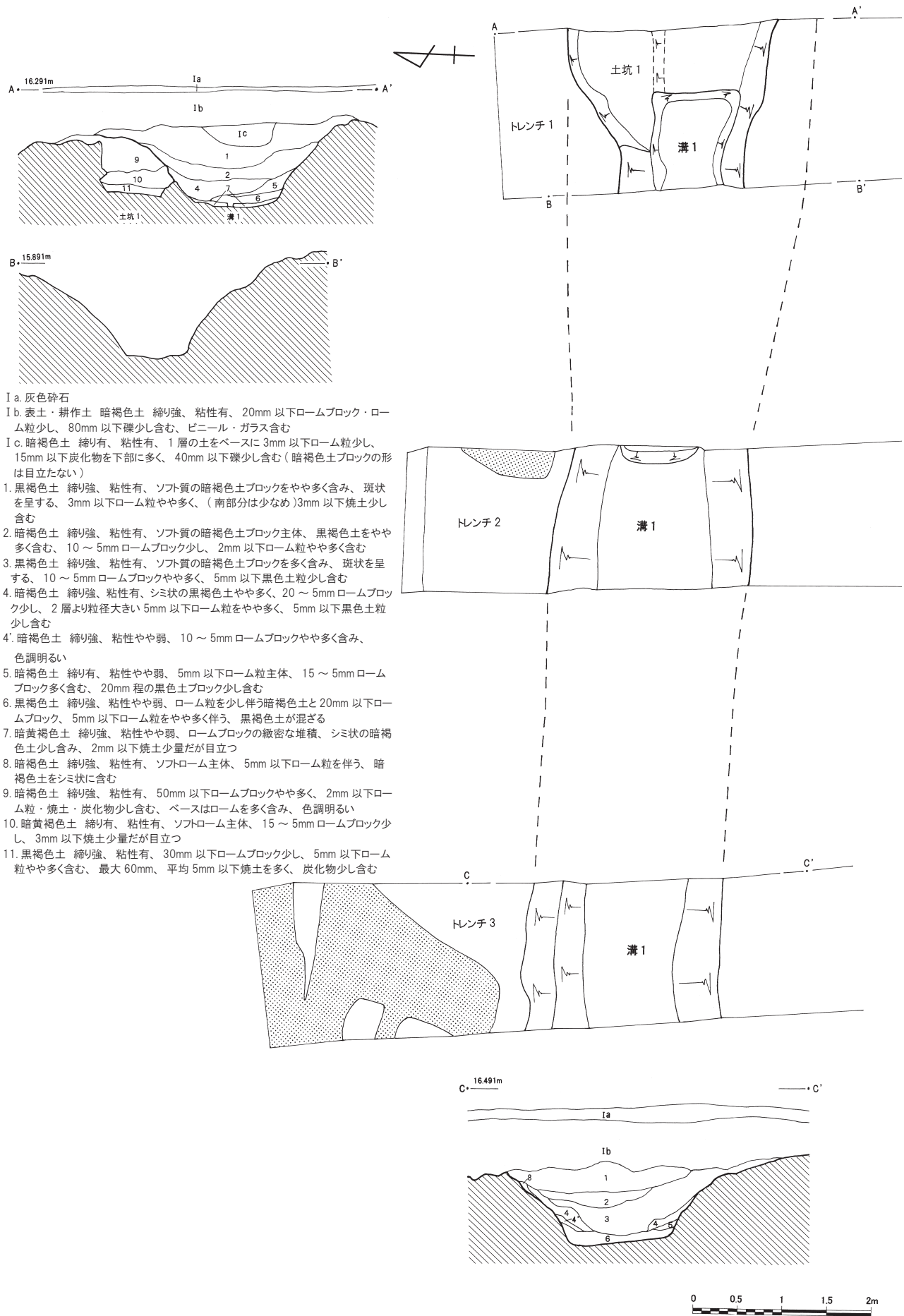
出土遺物はないが、土質から判断すると縄文時代と思われる。

第 13 表 川崎遺跡第 27 地点遺構一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
溝 1	11.2 m 以上の直線。 断面箱葉研	200 ~ 225	50 ~ 120	90	覆土下層ローム主体。 土坑 1 より新
土坑 1	(楕円形)	(135) × (95)	(132) × (85)	63	溝 1 より古



第 22 図 川崎遺跡第 27 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、出土遺物 (1/4)



- I a. 灰色碎石
 I b. 表土・耕作土 暗褐色土 締り強、粘性有、20mm 以下ロームブロック・ローム粒少し、80mm 以下礫少し含む、ビニール・ガラス含む
 I c. 暗褐色土 締り有、粘性有、1 層の土をベースに 3mm 以下ローム粒少し、15mm 以下炭化物を下部に多く、40mm 以下礫少し含む（暗褐色土ブロックの形は目立たない）
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、ソフト質の暗褐色土ブロックをやや多く含む、斑状を呈する、3mm 以下ローム粒やや多く、（南部分は少なめ）3mm 以下焼土少し含む
 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ソフト質の暗褐色土ブロック主体、黒褐色土をやや多く含む、10 ~ 5mm ロームブロック少し、2mm 以下ローム粒やや多く含む
 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、ソフト質の暗褐色土ブロックを多く含む、斑状を呈する、10 ~ 5mm ロームブロックやや多く、5mm 以下黒色土粒少し含む
 4. 暗褐色土 締り強、粘性有、シミ状の黒褐色土やや多く、20 ~ 5mm ロームブロック少し、2 層より粒径大きい 5mm 以下ローム粒をやや多く、5mm 以下黒色土粒少し含む
 - 4'. 暗褐色土 締り強、粘性やや弱、10 ~ 5mm ロームブロックやや多く含む、色調明るい
 5. 暗褐色土 締り有、粘性やや弱、5mm 以下ローム粒主体、15 ~ 5mm ロームブロック多く含む、20mm 程の黒色土ブロック少し含む
 6. 黒褐色土 締り強、粘性やや弱、ローム粒を少し伴う暗褐色土と 20mm 以下ロームブロック、5mm 以下ローム粒をやや多く伴う、黒褐色土が混ざる
 7. 暗黄褐色土 締り強、粘性やや弱、ロームブロックの緻密な堆積、シミ状の暗褐色土少し含む、2mm 以下焼土少量だが目立つ
 8. 暗褐色土 締り強、粘性有、ソフトローム主体、5mm 以下ローム粒を伴う、暗褐色土をシミ状に含む
 9. 暗褐色土 締り強、粘性有、50mm 以下ロームブロックやや多く、2mm 以下ローム粒・焼土・炭化物少し含む、ベースはロームを多く含む、色調明るい
 10. 暗黄褐色土 締り有、粘性有、ソフトローム主体、15 ~ 5mm ロームブロック少し、3mm 以下焼土少量だが目立つ
 11. 黒褐色土 締り強、粘性有、30mm 以下ロームブロック少し、5mm 以下ローム粒やや多く含む、最大 60mm、平均 5mm 以下焼土を多く、炭化物少し含む

第 23 図 川崎遺跡第 27 地点溝 1・土坑 1 (1/60)

V 川崎遺跡第 28 地点

(1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より 2008 年 6 月 20 日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地の北端に近い平坦面に立地し、隣接地では古代の住居跡等を検出している。申請地の北側の一部は個人住宅建設に伴い 1978 年 5 月に調査済みで、井戸 2 基・溝 1 条・地下坑 1 基を検出した。だが、申請地の南側は未調査のため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 7 月 4～9 日に行なわれた。幅約 2 m のトレンチを 3 本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、奈良・平安時代の遺構・遺物を確認したが、遺構確認面まで 40～50 cm と浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

本調査は 2008 年 7 月 10 日から同年 8 月 8 日まで、試掘調査で確認した遺構の場所を重機で表土除去後、調査を行なった。調査の結果、奈良・平安時代の住居跡 3 軒、近世以降の溝状遺構、土坑を検出し、写真撮影・全測図作成・平板および遣り方測量による遺構図面作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H 55 号住居跡 (旧 H 31 a 号住居跡)

【位置】調査区の南西に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。56 号住居跡と重複し、同住居跡を壊して構築する。イモビツによって一部壊され、南側もブロック塀の下に入り規模・形態不明。6.5 m 北東側に H57 号住居跡、4 m 南側に H52 号住居がある。【形状】主軸方位は N - 19° - E、北壁東端に竈を備える。平面形態は方形か長方形、規模は主軸方位の南北が 2.33 m 以上、東西 3.90 m、確認面からの深さ 0.15 m である。覆土はローム粒含む黒褐色土。

【竈】燃焼部は壁外へ僅かに張り出して掘られている。右側の袖部に粘土が僅かに残る。奥行き 0.88 m、幅 0.84 m。深さ 0.12 m。

【床・壁】住居跡西側の遺存状況は良好だが、東側は攪乱を受ける。貼床の土層はローム主体、暗褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。

【出土遺物】4 点出土したのみである。須恵器坏、土

師器甕等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から 8 世紀中～後半代と推定される。

② H 56 号住居跡 (旧 H 31 b 号住居跡)

【位置】調査区の南西に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。H55 号住居と重複し、同住居跡に壊される。イモビツによって一部壊され、南側もブロック塀の下に入り規模・形態不明。6.5 m 北東側に H57 号住居跡、4 m 南側に H52 号住居跡がある。

【形状】主軸方位は N - 18° - E、平面形態は方形か長方形、規模は南北 4.04 m 以上、東西 3.25 m、確認面と床面はほぼ同レベルである。

【周溝】北壁と東壁壁際に浅い溝が巡る。西壁際は土層断面で確認できた。幅 12～24 cm、深さ 2～7 cm。

【床・壁】住居跡中央の床面は硬化する。貼床の土層はローム主体、暗褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘方は、中央を残し、周囲が深くなる。

【出土遺物】西壁際に土師器が出土したのみである。須恵器坏、土師器甕等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から 8 世紀中～後半代と推定される。

③ H 57 号住居跡 (旧 H 32 号住居跡)

【位置】調査区の中央東側に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。6.5 m 南西側に H55 号住居跡と H56 号住居跡、11.5 m 南側に H54 号住居跡、3.5 m 東側に H58 号住居跡がある。

【形状】主軸方位は N - 105° - E、東壁南寄りに竈を備える。平面形態は長方形、規模は主軸方位の東西 3.57 m、東西 2.95 m、確認面からの深さ 0.24 m である。覆土はローム粒を含む黒褐色土。

【竈】燃焼部は壁外に張り出して掘られている。右側の袖部に粘土が残る。袖からの奥行き 1.15 m、幅 1.05 m。竈内部の幅 0.50 m。深さ 0.41 m。

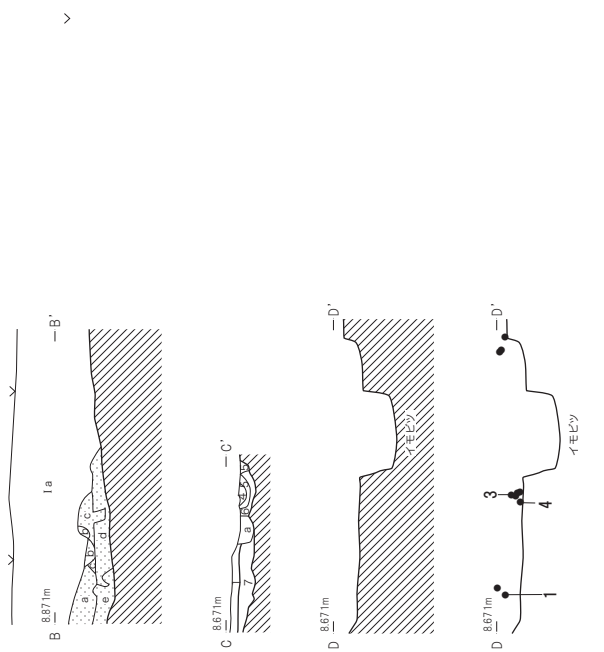
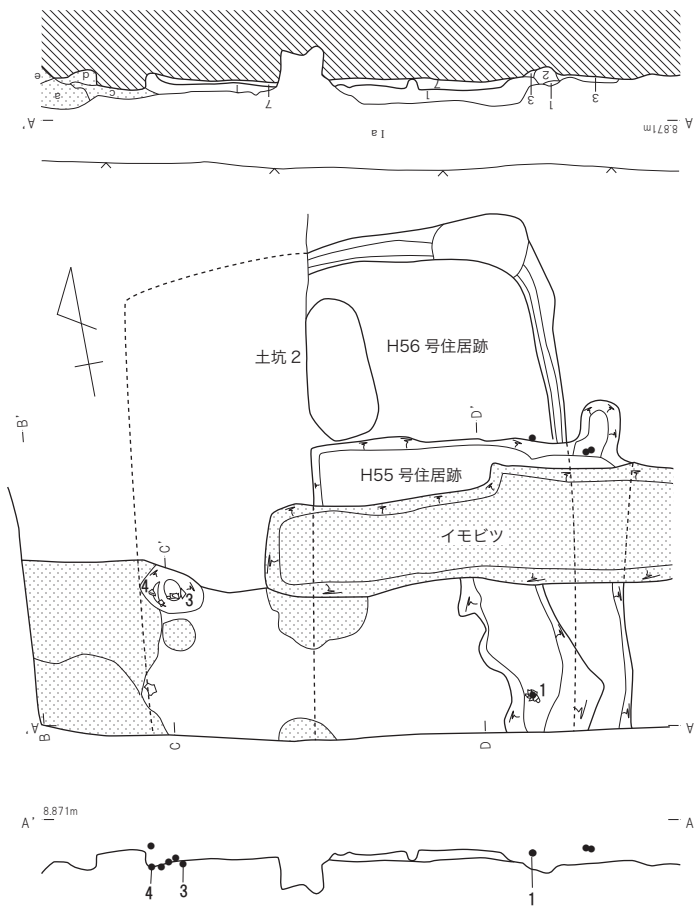
竈の手前に窪みがある。

【周溝】竈がある東壁を除き壁際に溝が巡る。幅 12～25 cm、深さ 5～10 cm。

【床・壁】貼床の土層はローム主体、黒褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘方は、中央が若干高いものの、全体に浅く平坦に掘られている。

【出土遺物】住居全体から少量出土している。須恵器坏・蓋・甕等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から 8 世紀中～後半代と推定される。



A-A'・B-B'・C-C'

1a. 黒褐色土 締り強、粘性有、表土、10mm以下ロームブロック・ローム粒やや多く含む、H55住1層より色調明るい

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く、5~20mmロームブロック少し含む

2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少し含む、1層よりロームブロックは少ない

3. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム土多く含む、色調明るい、3mm以下ハードローム粒少し含む

4. 黒褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒やや多く、色調明るめ

5. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm大ローム粒・焼土少し含む

6. 暗褐色土 締り強、粘性有、灰色粘土混じりのローム土多く含む、3mm大焼土少し含む

7. 暗褐色土 締り強、粘性有、貼床の構築土、50mm以下ロームブロック多く含む、ベースの土はローム土多く含む、色調明るい、上面は硬化

a. 黒褐色土 締り有、粘性有、平均2mm以下ローム粒やや多く、10mm大ロームブロック少し含む

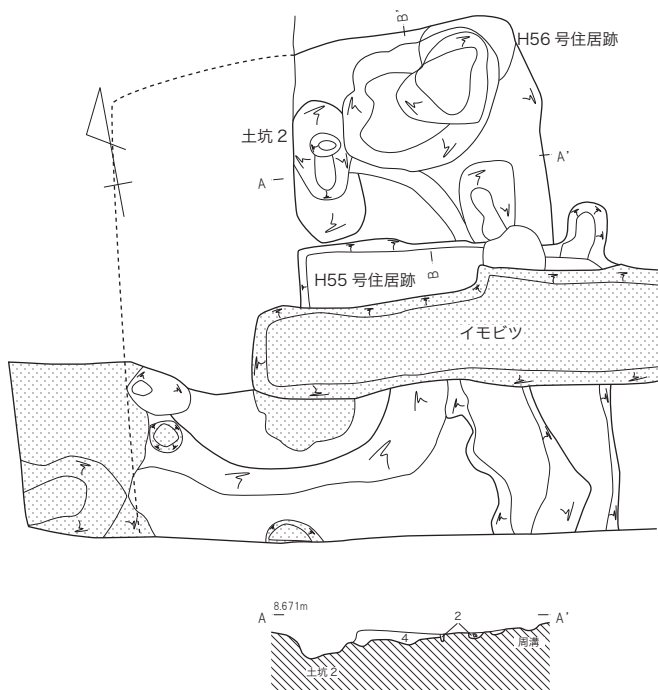
b. 褐灰色土 締り硬い、粘性有、2mm以下ローム粒やや多く、2mm以下粘土粒・黒色粒少し含む

c. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒を部分的に集中して含む、全体としては暗褐色を呈する

d. 暗褐色土ベース 締り強、粘性有、10mm以下ロームブロック・ローム粒多く含む緻密な堆積、焼土・黒色土わずかに含む

e. 暗褐色土ベース 締り強、粘性有、20mm以下ロームブロック・粒主体の緻密な堆積、2mm大黒色粒わずかに含む

掘方



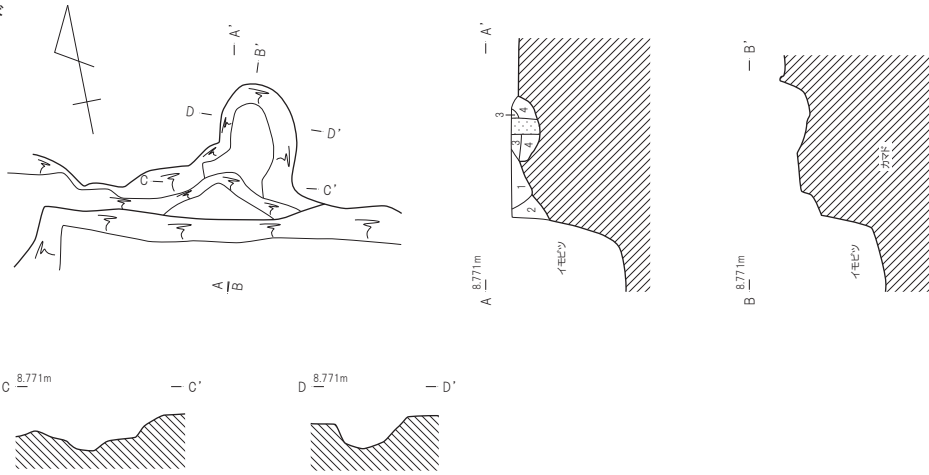
A-A'・B-B、

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、ソフトローム多く含む、5mm以下ローム粒多く含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、後世の掘り込み、5~30mmロームブロック、3mm以下ローム粒やや多く含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、5~60mmロームブロック多く含む、ローム粒は少なめ(2mm以下少し)
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、3層よりベースの土の色調は明るい、10~60mmロームブロック多く含む



第24図 川崎遺跡第28地点 H55・H56号住居跡・掘方 (1/60)

カマド



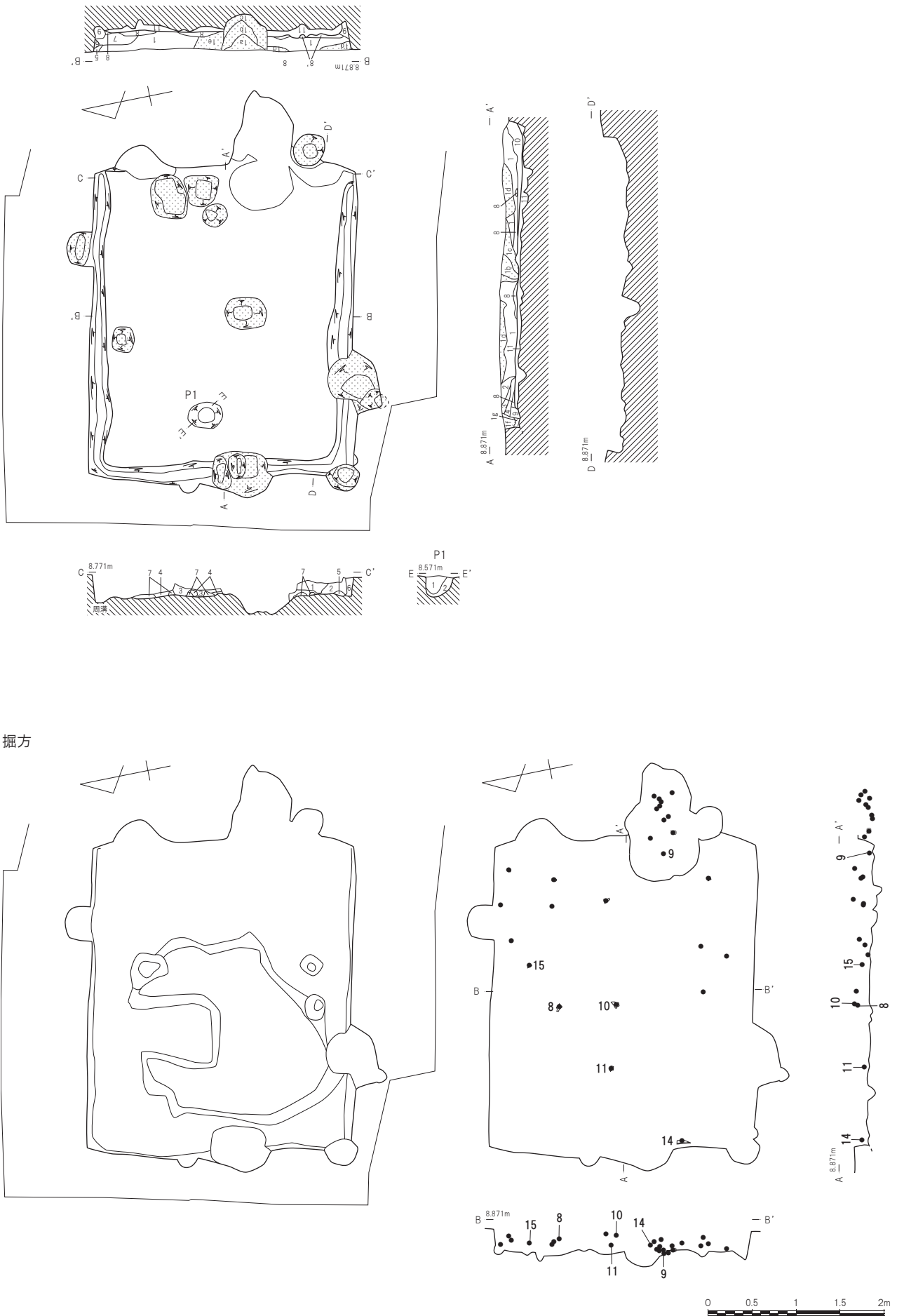
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒やや多く、5mm以下焼土少し含む、シミ状の黒色土やや多く含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少し、70mm大のロームブロック含む
3. 黄褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック主体
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒主体、10～15mm大黒色土ブロック少し含む



第25図 川崎遺跡第28地点H55号住居跡竈 (1/30)

第14表 川崎遺跡第28地点出土遺物観察表 (単位:cm)

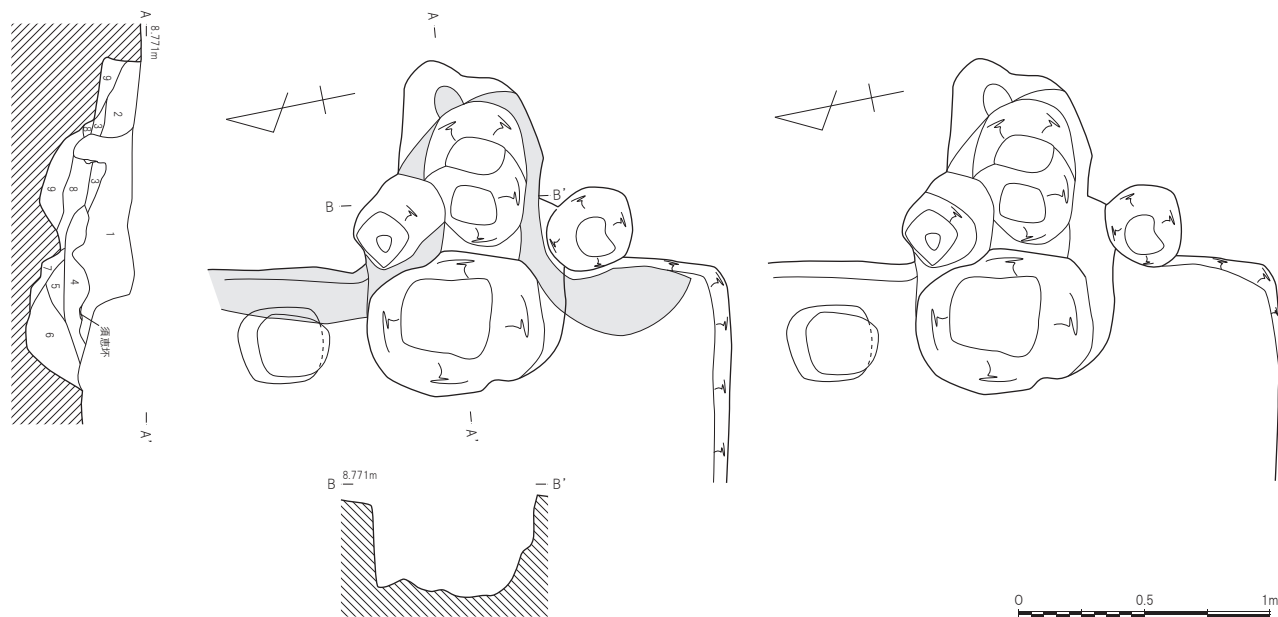
図版番号	掲載番号	遺構名	種別・器種	口径・長	底径・幅	器高・厚	技法 / 文様 / その他	石材 / 推定生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
29 図	1	H55号住居跡	須恵器・環	(12.5)	(8.0)	3.9	轆轤成形。回転糸切後外周部回転削り / 灰白色 / 砂粒 (~0.5mm) 多量含む / 注No 1 (旧H31a号住)	産地不明	8C後半	1/4以下残存
	2	H55号住居跡	須恵器・環	—	(7.0)	—	轆轤成形。回転糸切後未調整 / 砂粒 (~0.5mm) 多量含む / 浅黄褐色 / 注No H1 (旧H31a号住)	南比企?	9C	底部
	3	H55号住居跡	土師器・甕	(23.0)	—	—	粘土紐積上。口縁部横撫で / にぶい黄褐色 / 砂粒・角閃石 (~0.5mm) 多量含む / 注No 7 (旧H31a号住)		9C	口縁部片
	4	H55号住居跡	土師器・甕	(22.0)	—	—	粘土紐積上。口縁部横撫で / にぶい赤褐色 / 砂粒・角閃石 (~0.5mm) 多量含む / 外面煤付着 / 注No 3 (旧H31a号住)		9C	口縁部片
	5	H55号住居跡	瓦質土器	—	—	—	粘土紐積上。外面叩き締め / 褐色 / 砂粒・角閃石 (~0.5mm) 多量含む / 注No H 1 (旧H31a号住)			胴部破片
	6	H57号住居跡	縄文土器・鉢	—	—	—	Rを軸として細い糸を逆巻きにした付加条縄文 / 胎土に食物繊維含む / 注No D区 1 (旧H32号住)		縄文前期	胴部破片 / No 7と同一体の可能性有
	7	H57号住居跡	縄文土器・鉢	—	—	—	連続爪形文を平行に施す / 砂粒 (~1mm) 多量含む / 注No D区 1 (旧H32号住)		縄文前期・黒浜 (有尾系)	胴部破片 / No 6と同一体の可能性有
	8	H57号住居跡	須恵器・蓋	(16.0)	—	—	轆轤成形 / 口縁部は屈曲する / 黄灰色 / 砂粒 (~1mm) 少量含む / 注No 7 (旧H32号住)	南比企	8C後半	口縁部片
	9	H57号住居跡	須恵器・環	13.4	8.0	3.2	轆轤成形。右回転糸切後未調整 / 灰黄色 / 砂粒 (~0.5mm) 多量含む / 注NoカマドNo 11 (旧H32号住)	南比企	8C後半	3/4以上残存
	10	H57号住居跡	須恵器・環	(15.7)	(10.2)	3.8	轆轤成形。右回転糸切後未調整 / 灰黄色 / 砂粒 (~0.5mm) 少量含む / 注No 6 (旧H32号住)	南比企	8C後半	1/4以下残存
	11	H57号住居跡	須恵器・環	—	(7.2)	—	轆轤成形。回転糸切後未調整 / 灰黄色 / 砂粒 (~0.5mm) 少量含む、海面骨針含む / 注No 2 (旧H32号住)	南比企	8C後半	底部
	12	H57号住居跡	須恵器・環	—	(7.0)	—	轆轤成形。回転糸切後、外周部回転削り / 灰色 / 砂粒 (~0.5mm) 多量含む / 注No C区 (旧H32号住)	東金子	8C後半	底部
	13	H57号住居跡	須恵器・甕	—	—	—	粘土紐積上後、轆轤調整 / 肩部に自然釉 / 灰色 / 砂粒 (~3mm) 多量含む / 注No A区 1 (旧H33号住)	南比企	奈良・平安	肩部破片
	14	H57号住居跡	須恵器・甕	—	—	—	粘土紐積上、外面叩き締め / 灰色 / 砂粒 (~3mm) 多量含む / 注No 1 (旧H32号住)	東金子	奈良・平安	胴部片
	15	H57号住居跡	須恵器・甕	—	14.4	—	粘土紐積上後、轆轤調整 / 灰色 / 砂粒 (~3mm) 多量含む / 注No 8、D区 1 (旧H33号住)	南比企	奈良・平安	底部
30 図	16	土坑2	須恵器・環	12.2	7.5	3.6	轆轤成形。右回転糸切後未調整 / 灰オレンジ色 / 砂粒 (~5mm) 多量含む / 注No 2D付近	南比企	8C後半	完形
	17	土坑2	土器・かわらけ	—	(6.0)	—	轆轤成形。右回転糸切後未調整 / にぶい橙色 / 砂粒 (~0.5mm) 少量含む / 注No 2D付近		15・16C	底部
	18	土坑2	須恵器・甕	—	14.6	—	粘土紐積上、外面叩き締め / 褐色 / 砂粒 (~3mm) 多量含む / 注No 14、15	南比企	奈良・平安	底部
	19	土坑2	土師器・甕	(21.0)	—	—	粘土紐積上。口縁部横撫で。胴部外面斜方向のヘラ削り。胴部内面横方向の撫で / 明赤褐色 / 砂粒 (~1mm) 多量、輝石含む / 注No 2、3、5、7 ~ 13、16 ~ 18、26 ~ 32、34、35、37、38、42、43		9C	口縁部片
	20	土坑2	土師器・甕	(20.8)	—	—	粘土紐積上。口縁部横撫で。胴部外面横方向のヘラ削り。胴部内面横方向の撫で / 橙色 / 砂粒 (~1mm) 多量、輝石含む / 口縁部・胴部に煤付着 / 注No 12		8C	口縁部片
	21	遺構外	陶器・灯明皿	(10.0)	(4.4)	2.5	轆轤成形。回転糸切後、削出高台 / 灰釉、底部伊体 / オリーブ / 口縁部煤付着 / 注No H1	瀬戸・美濃	18C第3 ~ 19C第3	完形
	22	遺構外	陶器・灯明皿	10.0	4.3	2.2	轆轤成形。底部回転削り / 灰釉、全面施釉後底部の釉ふき取り。細かい貫入有 / 灰黄色 / 口縁部煤付着 / 注No H1	瀬戸・美濃	18C第3 ~ 19C第3	1/2以下残存
	23	遺構外	陶器・灯明皿	(10.2)	4.2	2.2	轆轤成形。底部回転削り / 鉄釉、口縁から内面全面施釉 / 褐色 / 見込みと外面に重ね焼痕有 / 口縁部煤付着 / 注No H5	瀬戸・美濃	18C第3 ~ 19C第3	1/2以上残存
	24	遺構外	土製品・円盤状土製品	3.8	3.8	1.4	球状粘土を板状工具に挟んで、平らに押しつぶす。板からはみ出した部分を、指で押す / 灰黄色 / 注No H1			完形
	25	遺構外	石製品・硯	—	—	—	重量 37.02g / 硯面の一部が残る。裏面は剥離 / 注No H1	凝灰岩	近世~	破片
	26	遺構外	石製品・砥石	(8.2)	3.2	1.2	重量 64.10g / 砥面は1面。両側面、裏面にタガネ痕が残る / 注No H3		近世	一部欠



第 26 図 川崎遺跡第 28 地点 H57 号住居跡・掘方・遺物出土状況図 (1/60)

カマド

掘方



A-A'・B-B'

- I a. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm ロームブロック、2mm 以下ローム粒少し含む
- I b. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～15mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒やや多く含む
- I c. 黒褐色土 締り強、粘性有、20mm 以下ロームブロック多く含む
- I d. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し～やや多く、焼土わずかに含む、灰色味がある
- I e. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒多く、10mm 大ロームブロック少し含む、灰色味がある
- I f. 黒褐色土 5mm 以下ローム粒少し含む
- I g. 黒褐色土 平均 20mm 以下ロームブロック多く含む
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、上層より色調暗く黒色味つよい、2mm 以下ローム粒少し～やや多く、3mm 以下焼土わずかに含む、5～20mm 大ロームブロック少し含む
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多く含む、灰色味がある
- 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒多く含む、灰色味がある
- 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒やや多く含む、灰色味がある
- 5. 灰色土 締り強、粘性有、15mm 程のロームブロック含む
- 6. 暗褐色土 締り硬い、粘性有、ローム土多く含み、酸化して硬化している
- 7. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多く、焼土わずかに含む
- 8. 暗黄褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒主体
- 8'. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒多く含む
- 9. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～20mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒やや多く含む、周溝の覆土
- 10. 褐灰色土 締り強、粘性有、灰色粘土含み、色調明るい、3mm 以下ローム粒多く、黒褐色土少し含む
- 11. 黄褐色土 + 黒褐色土 締り硬い、粘性有、ローム主体、貫入するように黒褐色土が混ざり、黒褐色土には 5mm 以下ローム粒やや多く含む、貼床構築土

C-C' (東壁際に、締り強い土が広く堆積していた)

- 1. 褐灰色土 締り強、粘性有、灰色粘土主体、酸化著しく、褐色味あり、15mm ロームブロック・2mm 以下焼土・5mm 大黒色土粒わずかに含む
- 2. 暗灰色土 締り強、粘性有、灰色粘土主体、酸化土(1層より色調暗い褐色)多く含む酸化した植物痕のような黒色土多く、2mm 以下焼土、5mm 以下ローム粒やや多く含む
- 3. 褐灰色土 締り強、粘性有、灰色粘土主体、3mm 以下ローム粒多く含む、5～10mm 黒褐色土少し含む
- 4. 褐灰色土 締り強、粘性有、粘土混じりのローム土主体、5mm 大黒褐色土やや多く含む、貼床の土に似る
- 5. 褐灰色土 締り強、粘性有、粘土混じりのローム土主体、5～10mm ローム土少し含む
- 6. 黒灰色土 締り強、粘性有、粘土混じりの黒褐色土、5～10mm ロームブロック、2mm 以下ローム粒やや多く含む
- 7. 地山ロームに近いが、酸化した暗～黒褐色土粒やや多く含む

P1 E-E'

- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～10mm ロームブロックやや多く含む
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、20mm 以下ロームブロック粒主体

カマド A-A'

- 1. 黒灰色土 締り強、粘性有、5～10mm ロームブロックやや多く、5mm 以下焼土少し含む、酸化土が多く、ボソボソしている
 - 2. 褐灰色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒多く、5～20mm ロームブロック少し含む
 - 3. 灰色土 締り強、粘性有、シルト質灰色粘土主体、5mm 以下ローム粒・焼土少し含む
 - 4. 褐灰色土 締り強、粘性有、シルト質灰色粘土主体、5mm 以下ローム粒・焼土多く含む
 - 5. 黒灰色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多く含む
 - 6. 褐灰色土 締り硬い、粘性有、5～50mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒多く含む
 - 7. 黒褐色土 締り強、粘性有、20～60mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒多く含む
 - 8. 褐灰色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多く含む
 - 9. 褐灰色土 締り強、粘性有、5～40mm ロームブロック多く含む
- ※1～9層、粘土混じり

第 27 図 川崎遺跡第 28 地点 H57 号住居跡竈 (1/30)

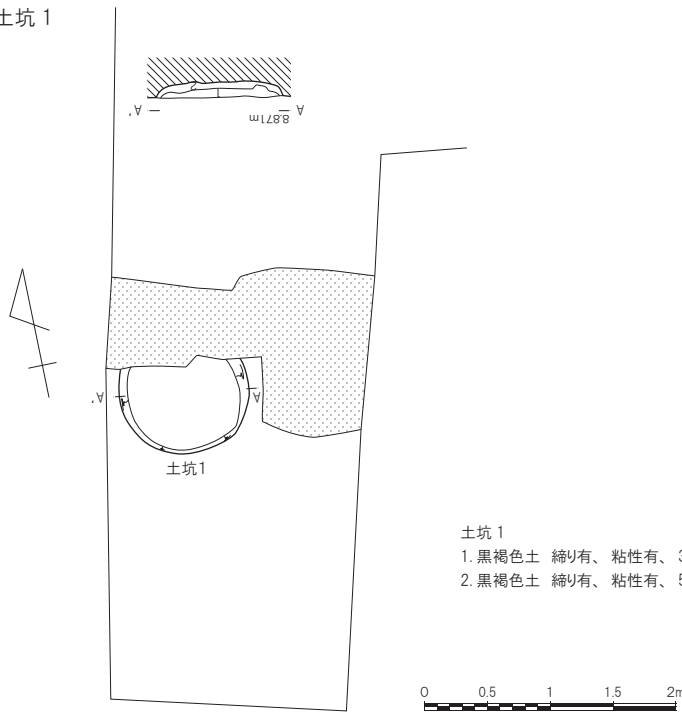
③土坑

土坑2はH 56号住居内にあり、住居に伴う貯蔵穴の可能性もある。須恵器坏・甕、土師器甕等が出土した。

第15表 川崎遺跡第28地点遺構一覧表 (単位cm)

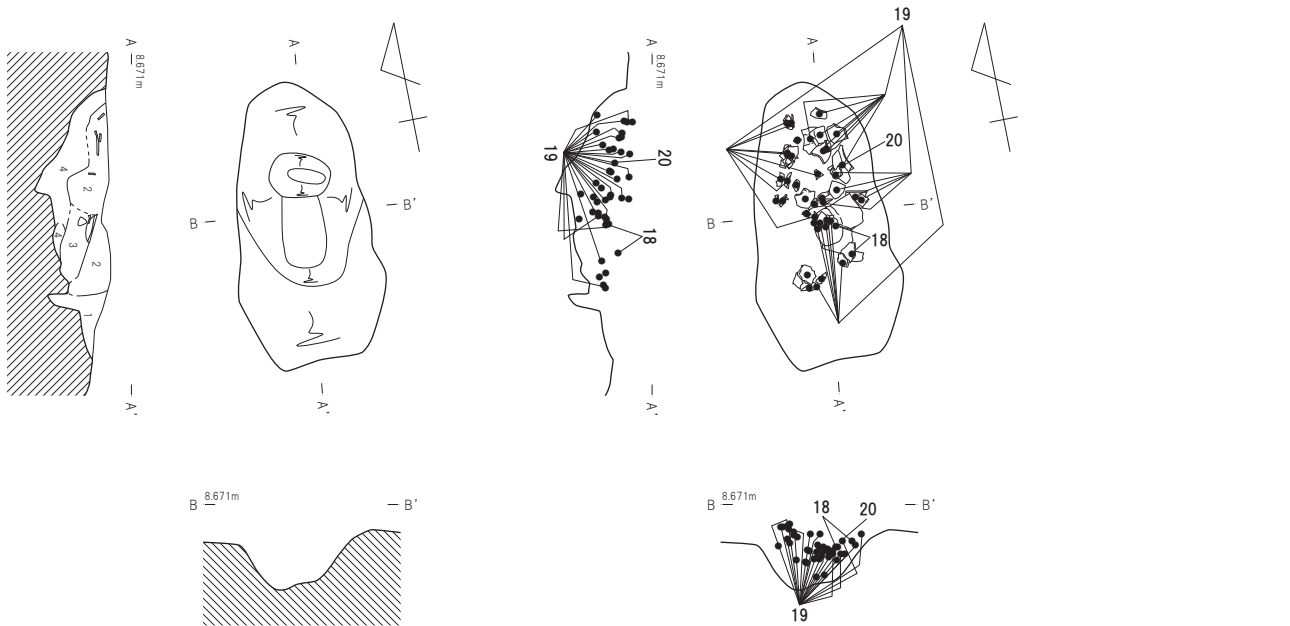
No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
土坑1	円形	104 × (70)	86 × (65)	22	
土坑2	楕円形	111 × 55	45 × 24	29	56号住居の貯蔵穴か? 土師器出土

土坑1



- 土坑1
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒少し、焼土わずかに含む、2層より色調明るい
 2. 黒褐色土 締り有、粘性有、5～10mmロームブロック、3mm以下ローム粒少し含む

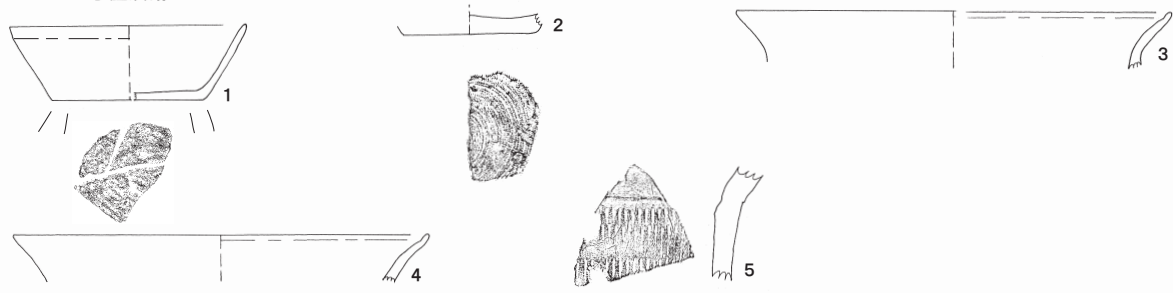
土坑2



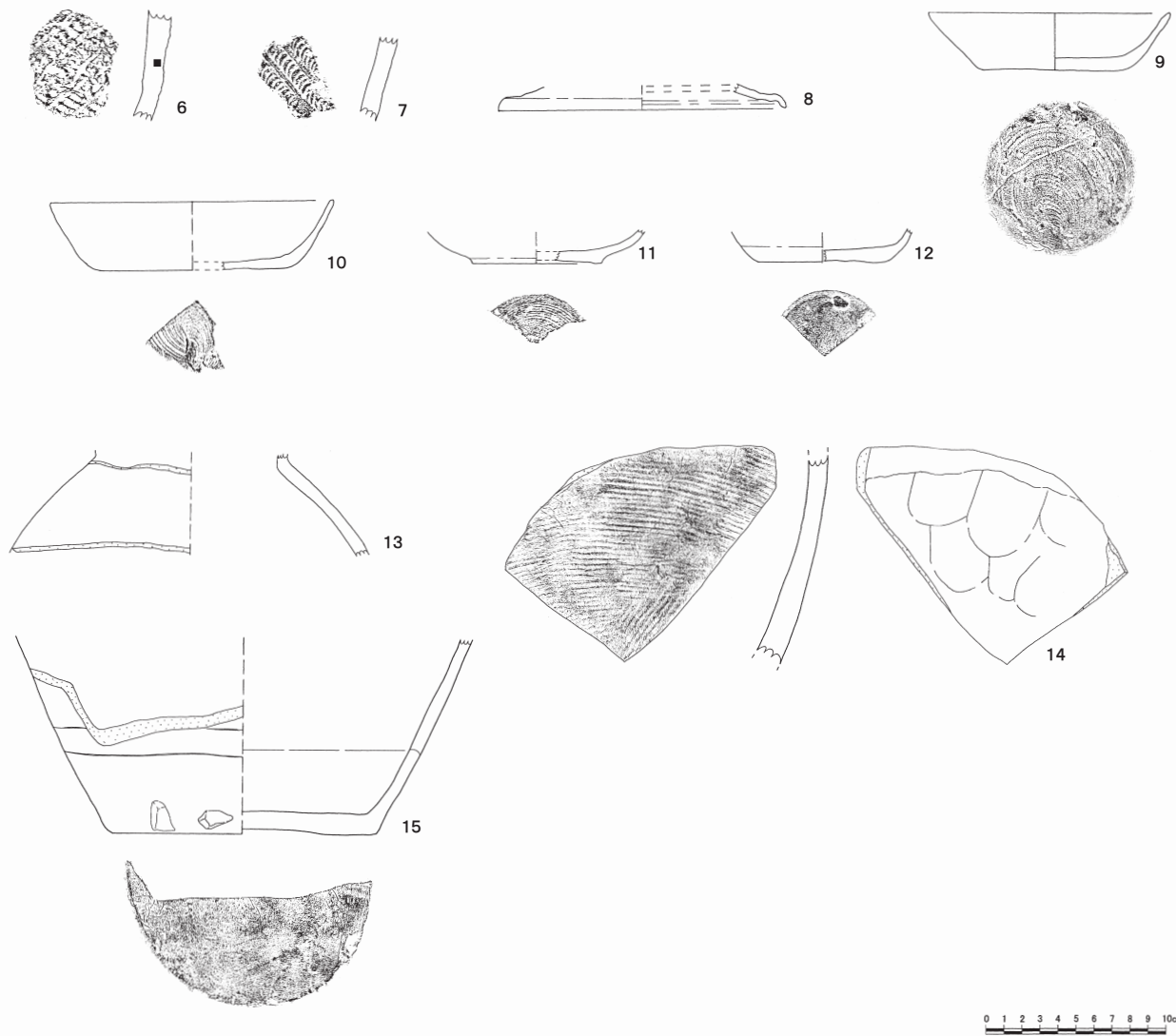
- 土坑2
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒多く、2mm以下粘土少し、根攪乱
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒・焼土やや多く、しみ状の灰色粘土含む
 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下灰色粘土粒多く、2mm以下焼土・ローム粒やや多く含む
 4. 暗黄褐色土 締り強、粘性有、10mm以下ロームブロック・ローム土多く含む

第28図 川崎遺跡第28地点土坑1 (1/60)、土坑2 (1/30)

H55・H56 号住居跡

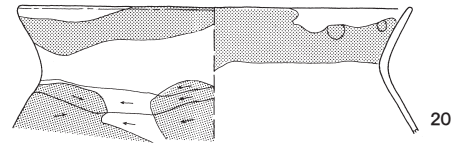
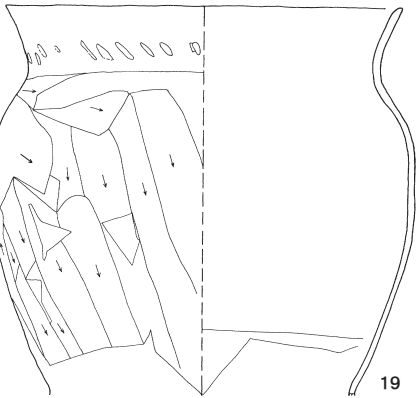
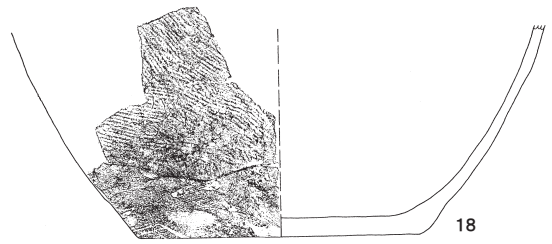
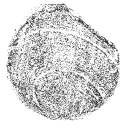
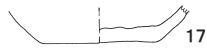
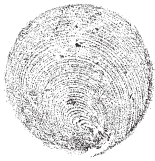
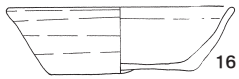


H57 号住居跡

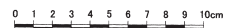
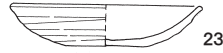
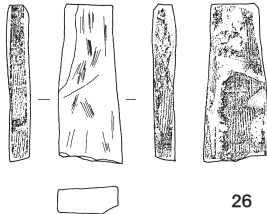
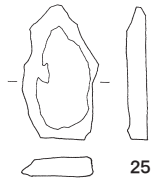
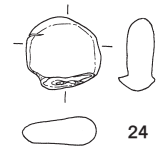
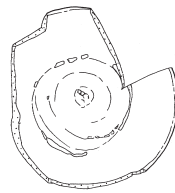
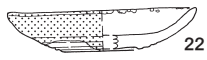


第29図 川崎遺跡第28地点 H55・H56・H57 号住居跡出土遺物 (1/4)

土坑 2



遺構外



第30図 川崎遺跡第28地点土坑・遺構外出土遺物(1/4)

VI 川崎遺跡第 29 地点

(1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より 2008 年 6 月 25 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地の北端に近い平坦面に立地し、隣接地では古代の住居跡等を検出している。申請地の北側の一部は個人住宅建設に伴い 1978 年 5 月に調査済みで、溝 1 条を検出した。だが、申請地の南側は未調査のため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 7 月 9～11 日に行なわれた。調査区南側を重機により表土除去後、人力による表面精査を行ったところ、奈良・平安時代の遺構・遺物を確認したが、遺構確認面まで 40～50 cm と浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

本調査は 2008 年 7 月 14 日から同年 8 月 22 日まで行なわれた。調査の結果、奈良・平安時代の住居跡 2 軒、溝 3 条、土坑、ピットを検出し、写真撮影・全測図作成・平板および遣り方測量による遺構図面作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H 58 号住居跡 (旧 H 33 号住居跡)

【位置】調査区の南西隅に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。住居跡の西側と南側はブロック塀の下に入り規模不明。3.5 m 西側に H57 号住居跡、0.8 m 東側に H59 号住居跡、7.0 m 南側に H60 号住居跡がある。

【形状】主軸方位は N - 98° - E、東壁南側に竈を備える。平面形態は方形か長方形を呈する。規模は主軸方位の東西は 2.14 m 以上、南北 2.05 m 以上、確認面からの深さ 0.16m である。覆土はローム粒含む黒褐色土。

【竈】燃焼部は壁外に張り出して掘られているが、奥壁から煙道部は攪乱で壊される。袖の粘土は僅かに残る。幅は 0.65 m を測る。近世以降の攪乱が著しい。

【周溝】北壁と東壁際に浅い溝が巡る。幅 22～26 cm、深さ 8～11 cm。

【床・壁】竈手前部分の床面は硬化する。貼床の土層はローム主体、黒褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘方は、周囲が深くなる。

【出土遺物】竈内から多量に出土した。須恵器坏、土師器甕・台付甕等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から 9 世紀前半と推定される。

② H 59 号住居跡 (旧 H 34 号住居跡)

【位置】調査区の南側に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。溝 1 に竈の一部や近世以降の攪乱で床面が壊されている。0.8 m 西側に H58 号住居跡、5.2 m 南側に H60 号住居跡がある。

【形状】主軸方位は N - 16° - E、北壁東端に竈を備える。平面形態は方形、規模は主軸方位の南北 3.78 m、東西 3.72 m、確認面からの深さ 0.12m である。覆土はローム粒含む黒褐色土。

【竈】燃焼部は壁外に張り出して掘られている。左側の袖部に粘土が残る。左壁が一部焼けて赤化する。奥壁は焼けていない。袖からの奥行き 0.71 m、幅 0.90 m。竈内部の幅 0.50 m。深さ 0.39 m。竈内に粘土と焼土が堆積する。竈の手前に窪みがある。

【床・壁】貼床の土層はローム主体、黒褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘り方は、凹凸が著しい。

【出土遺物】竈内に集中箇所がある。須恵器坏、土師器甕等が出土した。

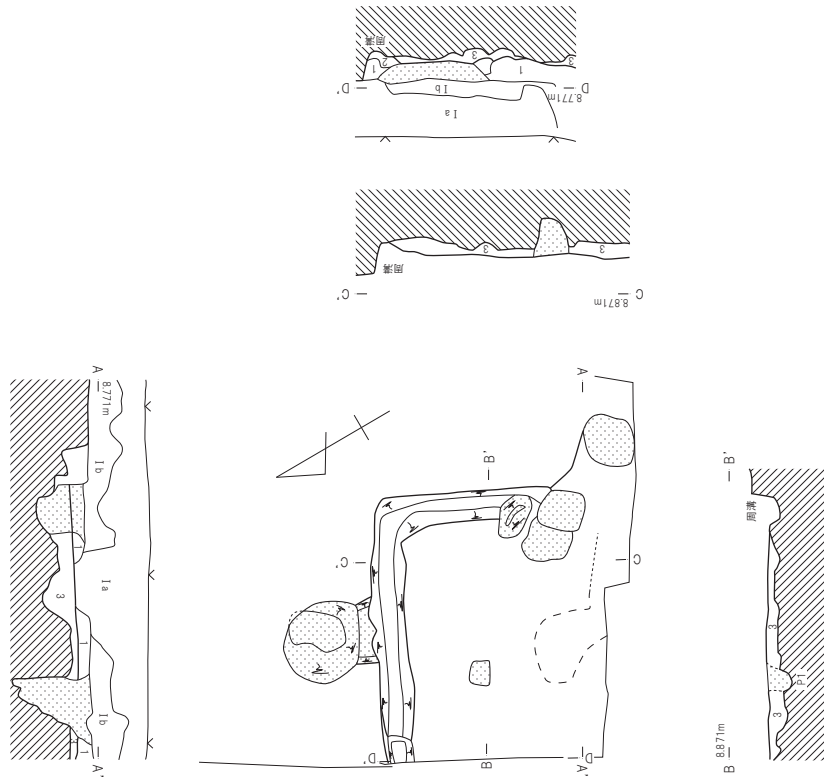
【時期】出土土器の特徴から 9 世紀前半と推定される。

③ 溝

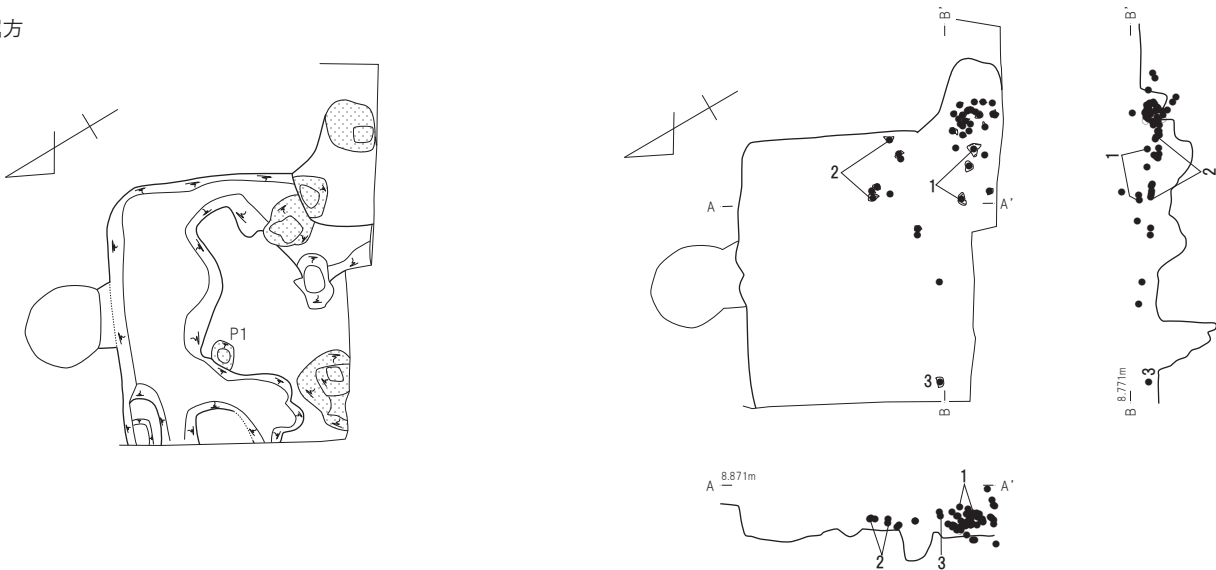
南北方向の溝が走る。溝 1 は出土物から近世以降。溝 2 は出土物から平安時代。

第 16 表 川崎遺跡第 29 地点遺構一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
溝 1a	南北方向 16.5 m 以上の直線、断面浅い鉢状	55～145	22～95	15～34	東側に掘り込みあり
溝 1b	南北方向 6.2 m 以上の直線、断面「U」字状	62～84	25～38	26～44	溝 1a より旧
溝 2	南北方向 9 m 以上の直線、断面「U」字形	50～70	15～40	15～30	南側が深い、断面「U」字形、須恵器出土、平安時代



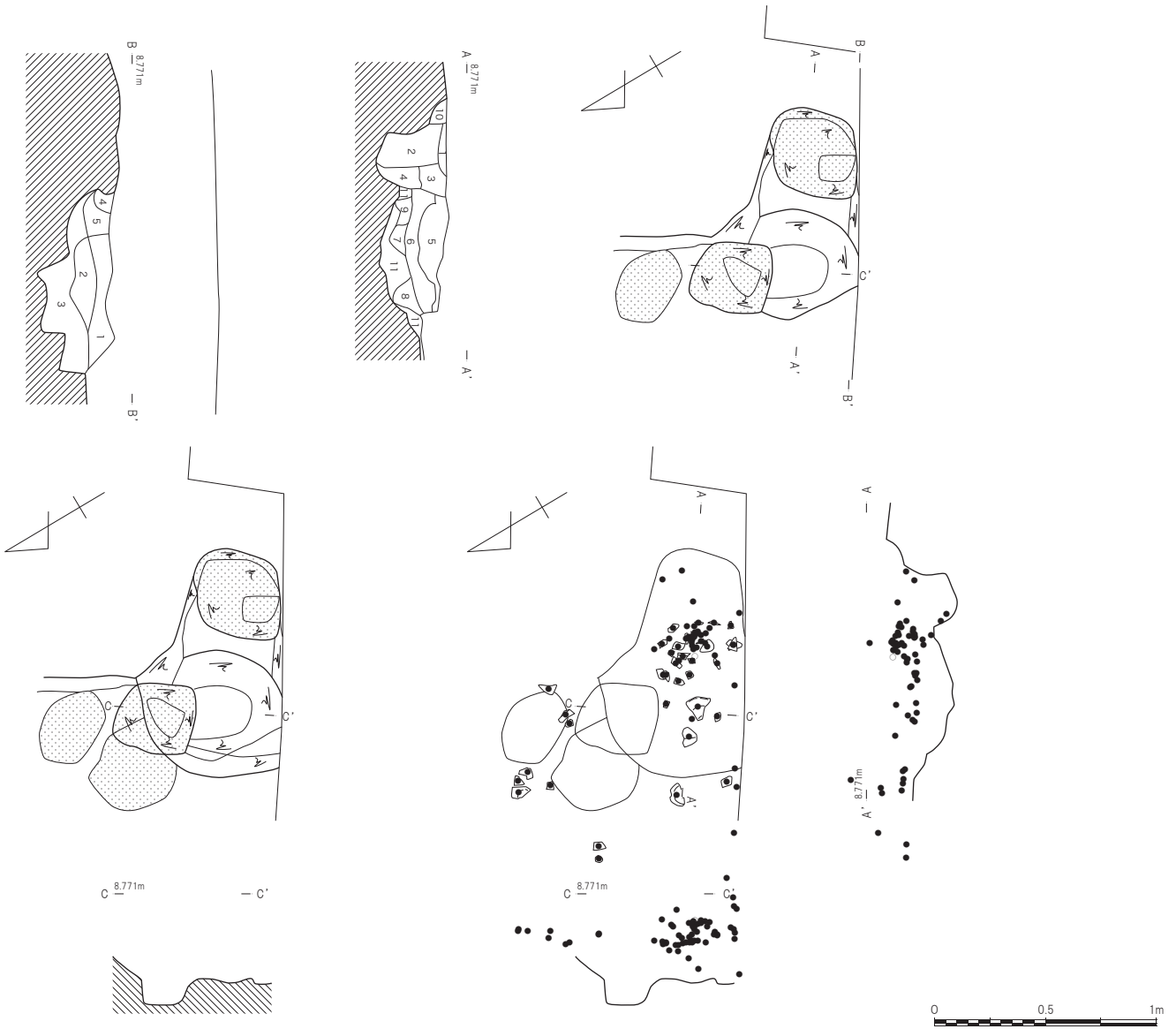
掘方



- I a. 暗褐色土 締り強、粘性有、塩粒含む、表土
- I b. 暗褐色土 締り強、粘性有、平均 3mm 以下ローム粒少し、焼土わずかに含む、表土
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、平均 2mm 以下ローム粒均一に少し含む、5 ~ 10mm ロームブロックわずかに含む
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒多く含み色調明るい、ロームブロックやや多く含む
- 3. 黒褐色土ベース 表面硬い、貼床構築土、ロームブロック主体



第 31 図 川崎遺跡第 29 地点 H58 号住居跡・掘方・遺物出土状況図 (1/60)



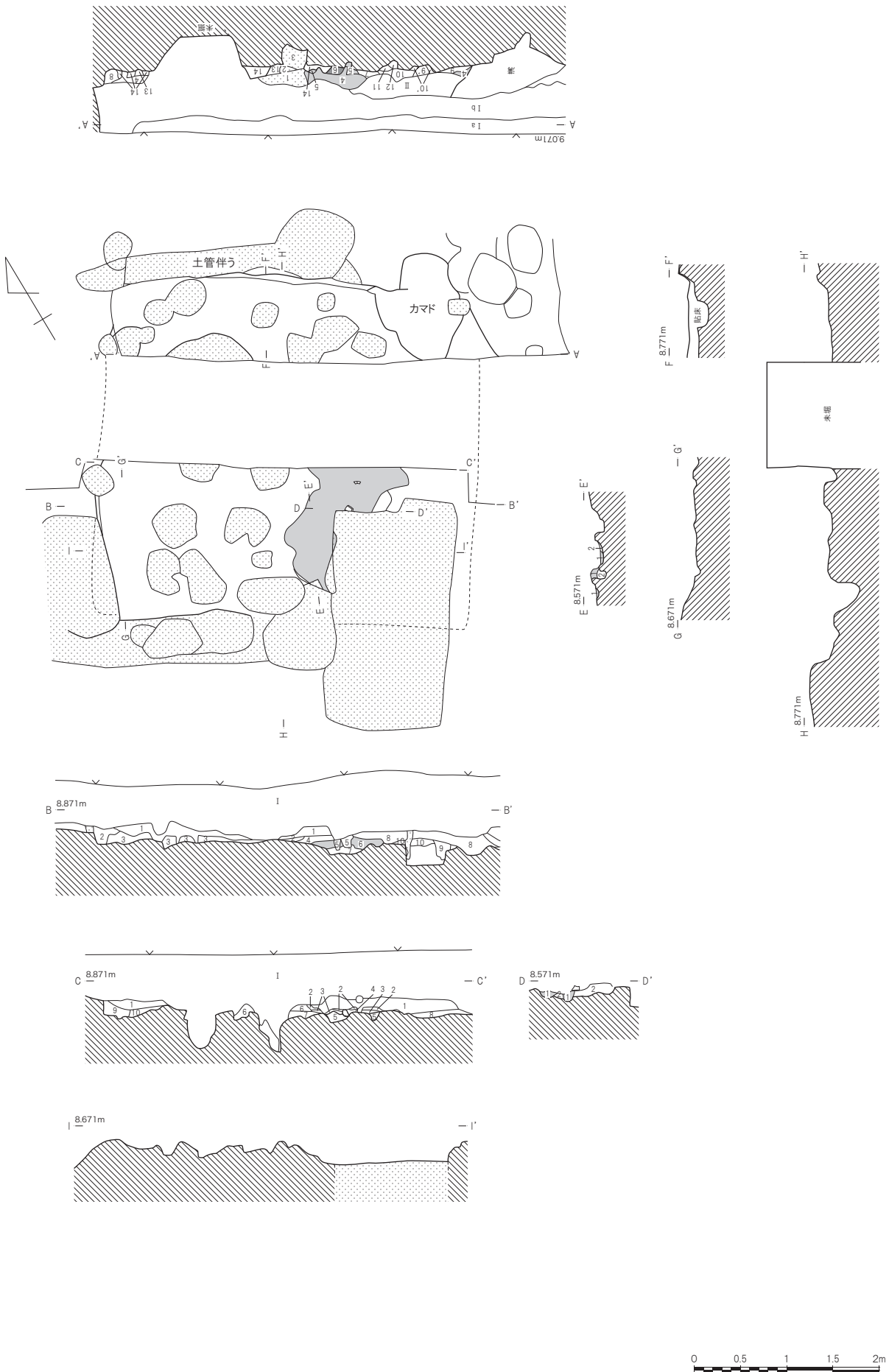
A-A'

1. 暗褐色土 締り有、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む
2. 暗褐色土 締り有、粘性やや弱、5～20mmロームブロック、3mm以下ローム粒やや多く含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、10mm大ロームブロック、2mm以下ローム粒少し、土器器片、3mm大炭化物わずかに含む
4. 黒褐色土 締り有、粘性やや弱、20mm大ロームブロック少し、5mm以下ローム粒やや多く含む
5. 暗褐色土 締り強、粘性有、粘土分を含み、色調明るめ、2～10mm焼土やや多く、5mm以下ローム粒少し含む
6. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒多く、5mm以下焼土少し、30mm大灰色粘土少し含む
7. 黒褐色土 締り強、粘性有、平均2mm以下ローム粒やや多く含む、色調明るい
8. 黒褐色土 締り硬い、粘性有、しみ状の褐灰色土含み色調明るい、5mm以下ハードローム粒少し含む
9. 黒褐色土ベース 締り強、粘性有、20mm以下ロームブロック、ローム粒主体
10. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒を多く含む黄色みがかかる、1～5mmハードローム粒やや多く含む
11. 黒褐色土ベース 締り強、粘性有、ロームブロック（大型）多く含む

B-B'

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒少し、5mm以下焼土、40mm大ロームブロックわずかに含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、粘土混じりの黒褐色土、色調明るめ、5～10mmロームブロック、2mm以下ローム粒やや多く、3mm以下焼土少し含む
3. 黒褐色土ベース 締り有、粘性有、30mm以下ロームブロック主体
4. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm以下ローム粒、5mm以下焼土やや多く含む
5. 褐灰色土 締り強、粘性有、灰色粘土主体、2～10mmソフト質ローム少し含む

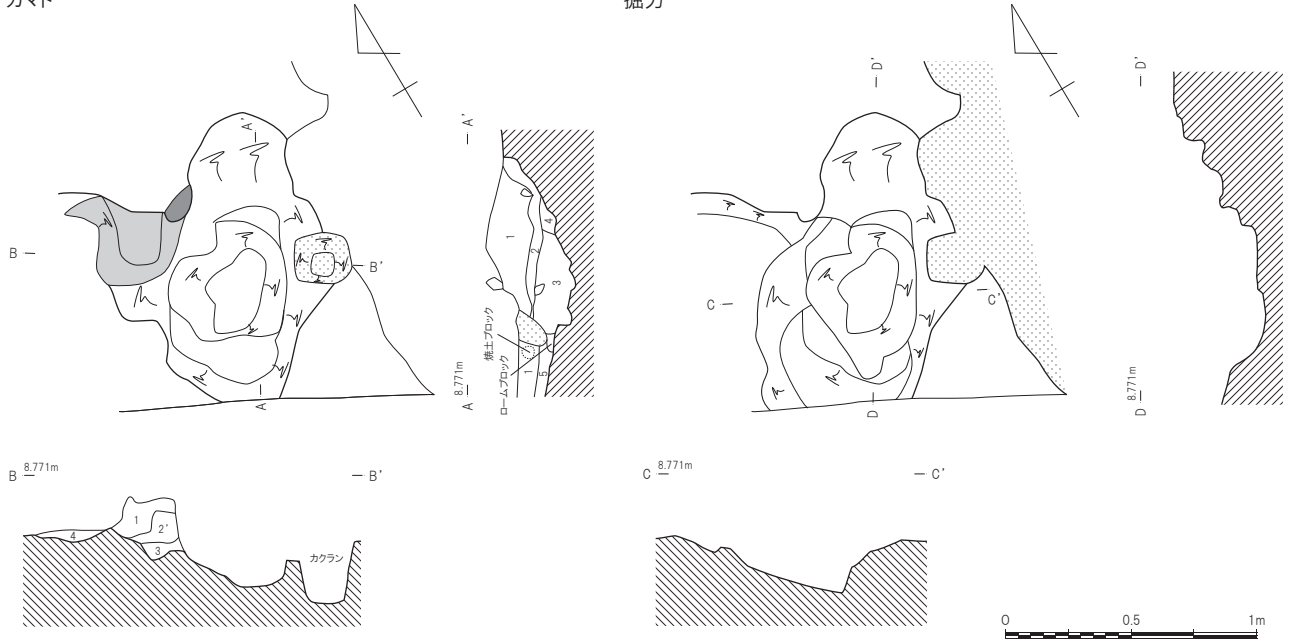
第32図 川崎遺跡第29地点 H58号住居跡竈 (1/30)



第33図 川崎遺跡第29・30地点H59号住居跡 (1/60)

カマド

掘方



カマド A-A'

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、しみ状に灰色粘土含む、3mm 以下焼土やや多く、3mm 以下ローム粒少し含む、10mm 大ロームブロック、15mm 大焼土ブロックわずかに含む
2. 赤灰色土 締り強、粘性有、灰色粘土ベースに焼土分含み、赤味帯びる、2mm 以下焼土・ローム粒やや多く含む
3. 褐灰色土 締り強、粘性有、5 ~ 20mm ロームブロック多く、5 ~ 10mm 焼土やや多く含む
4. 赤褐色土 締り強、粘性有、焼土主体、上面は硬化している
5. 黒褐色土 締り硬い、粘性有、3mm 以下ローム粒少し含む、3mm 以下焼土わずかに含む

カマド B-B'

1. 褐灰色土 締り強、粘性有、灰色粘土主体、1 ~ 5mm 焼土少し含む、焼土と 20mm 大ロームブロックをわずかに伴う、黒褐色土 (直径 50mm) は根攪乱
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、しみ状の灰色粘土含む、1 ~ 5mm 焼土やや多く含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性やや弱、被熱したローム土多く含み、黄色味がかかる、最大 30mm、平均 3mm 以下焼土多く含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性やや弱、黒褐色土混じりのローム土主体、15mm 大ロームブロック少し含む、貼床構築土

H59 号住居跡 A-A'

- I a. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム土多く含む表土
 I b. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック・灰色粘土・礫など含む表土及び攪乱
 II. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し、10mm 大ロームブロック・ローム粒・焼土わずかに含む、下部にしみ状の黒褐色土含む
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム土を下部にやや多く含み、色調明るい、2mm 以下ローム粒・15mm 大焼土少し含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多、灰色味がある
 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒・5 ~ 10mm ロームブロック少し、5mm 大焼土わずかに含む
 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、しみ状の灰色粘土少し含み、色調明るめ、2mm 以下ローム粒少し、10mm 大ロームブロック・5mm 大焼土少し含む
 5. 暗褐色土 締り強、粘性有、粘土混じりのローム土含み、黄灰色味あり、5mm 以下ローム粒・焼土やや多く含む
 6. 赤褐色土 締り強、粘性有、粘土混じりのローム土ベースに 5mm 以下焼土多く含む
 7. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm 以下ローム粒やや多く、1 ~ 3mm 焼土少し含む
 8. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒やや多く含む、周溝覆土か?
 9. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多く含む
- 9' H59 住カマド1層に同じ
 10. 褐灰色土 締り強、粘性有、しみ状の灰色粘土多く含む、2mm 以下ローム粒やや多く、2 ~ 10mm 焼土少し含む
 10' H59 住カマド5層に同じ
 11. 黒褐色土 締り強、粘性やや弱、20mm 大、もしくは 3mm 以下で被熱・硬化したローム土多く含む
 12. 暗褐色土ベース 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒主体
 13. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム混じりの黒褐色土、5mm 大ロームブロックやや多く含む、ロームブロック主体の貼床に貫入するように堆積する
 14. 黒褐色土ベース 締り硬い、粘性有、ローム混じりの黒褐色土ベースに 20mm 以下ロームブロック主体、5mm 以下焼土少し含む、貼床構築土

B-B'

- I. 暗褐色土 表土 締り強、ロームブロック少し、3mm 以下ローム粒やや多く含む
 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒均一に少し含む、10 ~ 15mm ロームブロック少し、1 ~ 10mm 焼土わずかに含む
 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多く、10mm 大ロームブロックわずかに含む
 3. 黒褐色土ベース 締り強、粘性有、ロームブロック主体、ローム粒を伴う黒褐色土がすきまを埋める、貼床の土
 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、5 ~ 10mm ロームブロック・2mm 以下ローム粒やや多く含む
 5. 黒褐色土 締り強、粘性有、1 ~ 10mm 焼土・2mm 以下ローム粒やや多く、20mm 大灰色粘土少し含む
 6. 褐灰色土ベース 締り強、粘性有、25mm 以下ロームブロック・5mm 以下焼土・しみ状の灰色粘土やや多く含む
 7. 褐灰色土 締り強、粘性有、30mm 以下ロームブロック主体、ベースの土はロームを多く含み、黄色味強い、2 ~ 3mm 焼土少し含む
 8. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒・焼土を均一に少し含む、10 ~ 15mm ロームブロック・5mm 大粘土・土師片をわずかに含む
 9. 黒褐色土 締り有、粘性有、ビット状のおちこみ、2mm 以下ローム粒多く、5mm 大ロームブロック少し含む
 10. 黒褐色土ベース 締り強、粘性強、5 ~ 10mm ロームブロック・焼土やや多く含む点で 6 層に似るが、粘土を伴わない

C-C'

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒やや多く、5 ~ 10mm ロームブロック少し、3mm 以下焼土少し、土師片含む (様相は住居跡覆土)
2. 黒褐色土ベース 締り強、粘性有、灰色粘土多く含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、5 ~ 10mm 褐色味強い、ロームブロックを多く、5mm 以下黒色土やや多く含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土混じりの粘土主体、5 ~ 10mm ロームブロック多く含む
5. 暗褐色土ベース 締り強、粘性やや弱、15mm 以下ロームブロック粒主体
6. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 大ロームブロック・2mm 以下ローム粒少し、1mm 焼土わずかに含む、1層より締り強い
7. 黄褐色土 締り強、粘性有、10mm 以下のロームブロック多く含む、ロームの緻密な堆積、10 ~ 15mm 粘土混じり黒褐色土ブロック少し含む
8. 黒褐色土 締り有、粘性有、10 ~ 20mm ロームブロックやや多く、3mm 以下ローム粒少し、焼土わずかに含む
9. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多く含む、ロームまじりの黒褐色土ベース (他遺構でみる周溝覆土に似る)
10. 黒褐色土ベース 締り強、粘性有、20mm 以下ロームブロック・ローム土多く含む

D-D'

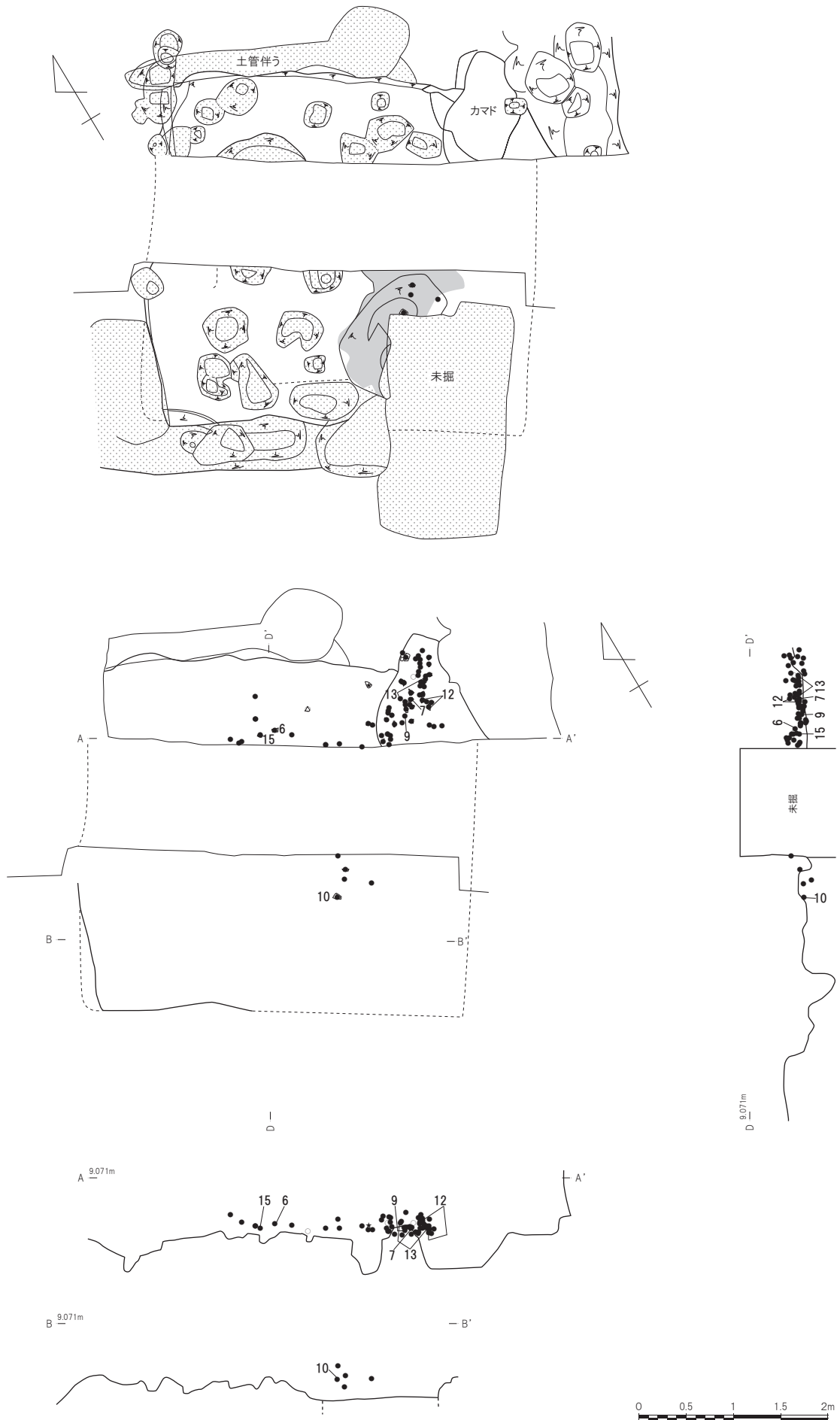
1. 褐灰色土 締り有、粘性有、灰色粘土主体、黒褐色土・ロームブロック混じり、2mm 以下焼土少し含む、ビット状の繰り返し
2. 褐灰色土 締り強、粘性有、10 ~ 30mm ロームブロック・5mm 以下ローム粒多く含む、5mm 以下焼土少し、上面に 3 ~ 10mm 焼土多く含む

E-E'

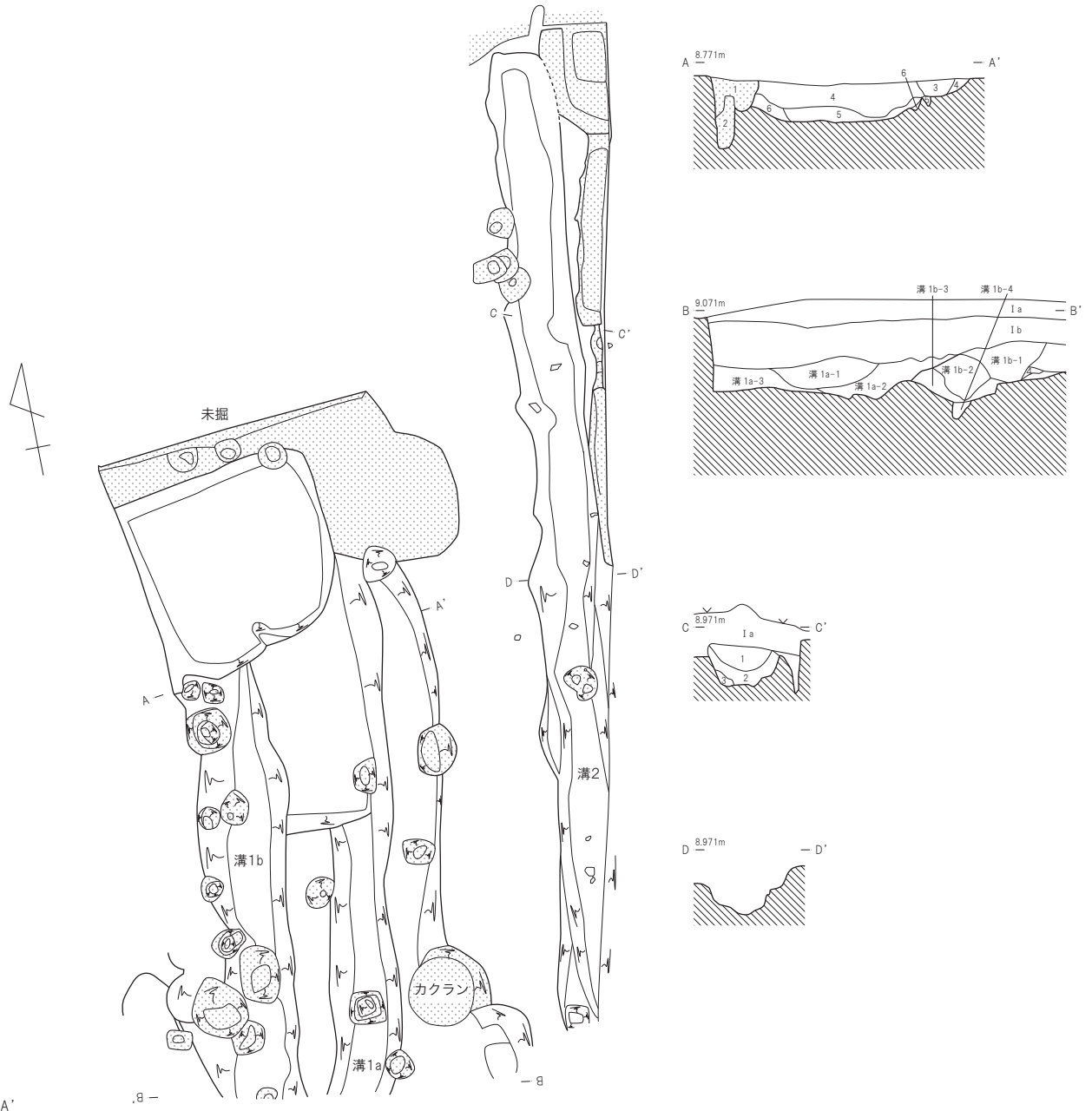
1. 褐灰色土 締り強、粘性有、しみ状の灰色粘土含み、黄灰色味あり、10mm 大焼土・3mm 以下焼土粒多く、2mm 以下ローム粒やや多く含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒やや多く、10mm 大焼土・3mm 以下焼土粒少し含む

第 34 図 川崎遺跡第 29・30 地点 H59 号住居跡竈 (1/30)

堀方



第35図 川崎遺跡第29・30地点H59号住居跡掘方・遺物出土状況図 (1/60)



A-A'

1. 暗褐色土 締り有、粘性やや弱、5mm以下ローム粒多く含む
2. 黒褐色土 締り弱、粘性やや弱、2mm以下ローム粒やや多く、10mmロームブロック少し含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性やや弱、ボソボソしている、5mm以下ローム粒少し含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、5～10mmロームブロック、3mm以下ローム粒少し含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性有、平均5～10mmロームブロックやや多く含む
6. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mmロームブロック・2mm以下ローム粒やや多く含む

B-B'

- I a. 暗褐色土 締り強、粘性有、締り強、ローム土多く含む、表土
 I b. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック・灰色粘土・礫など含む表土及びカクラン
- 溝 1a-1. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒 I b 層より多く、5～10mmロームブロック少し、2mm大焼土わずかに含む
 溝 1a-2. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒やや多く、5～10mmロームブロック少し含む
 溝 1a-3. 暗褐色土 締り強、粘性有、(底面は溝 1aと連続するが、先行する掘り込みと考えられる) 5～20mm大ロームブロックやや多く含む
 溝 1b-1. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm大ローム粒 I b 層より多く含む、溝 1a-1層に似るが、ロームブロックを含まない
 溝 1b-2. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く、5～10mmロームブロック少し含む
 溝 1b-3. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒少し、10mm大ロームブロック、5mm以下焼土わずかに含む
 溝 1b-4. 暗褐色土ベース 締り強、粘性有、ロームブロック主体で締りはよい、ピット状掘り込みの覆土

C-C'

- I a. 表土 締り強、ローム多量
 I b. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少し含む、根切溝覆土
- 溝 2-1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒少し含む、2層に比べ褐色味強い
 溝 2-2. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～10mmロームブロック・2mm以下ローム粒少し含む
 溝 2-3. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm大ロームブロック・2mm以下ローム粒やや多く含む、色調明るい

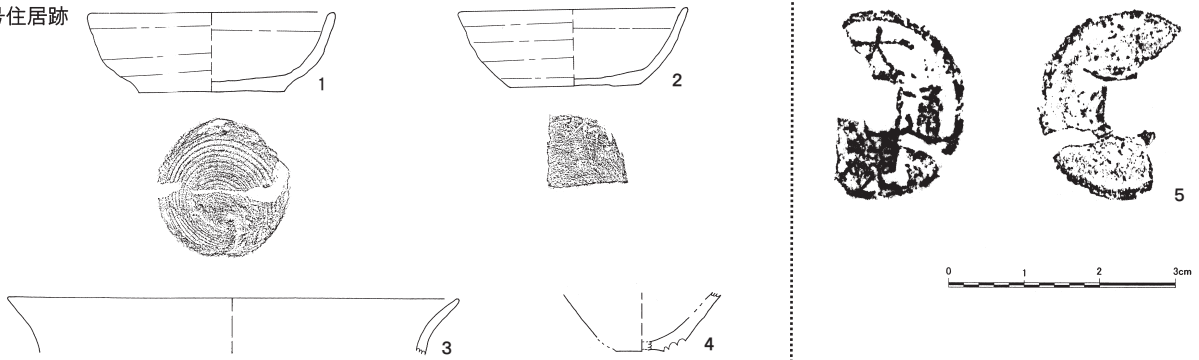


第36図 川崎遺跡第29地点溝1・2 (1/60)

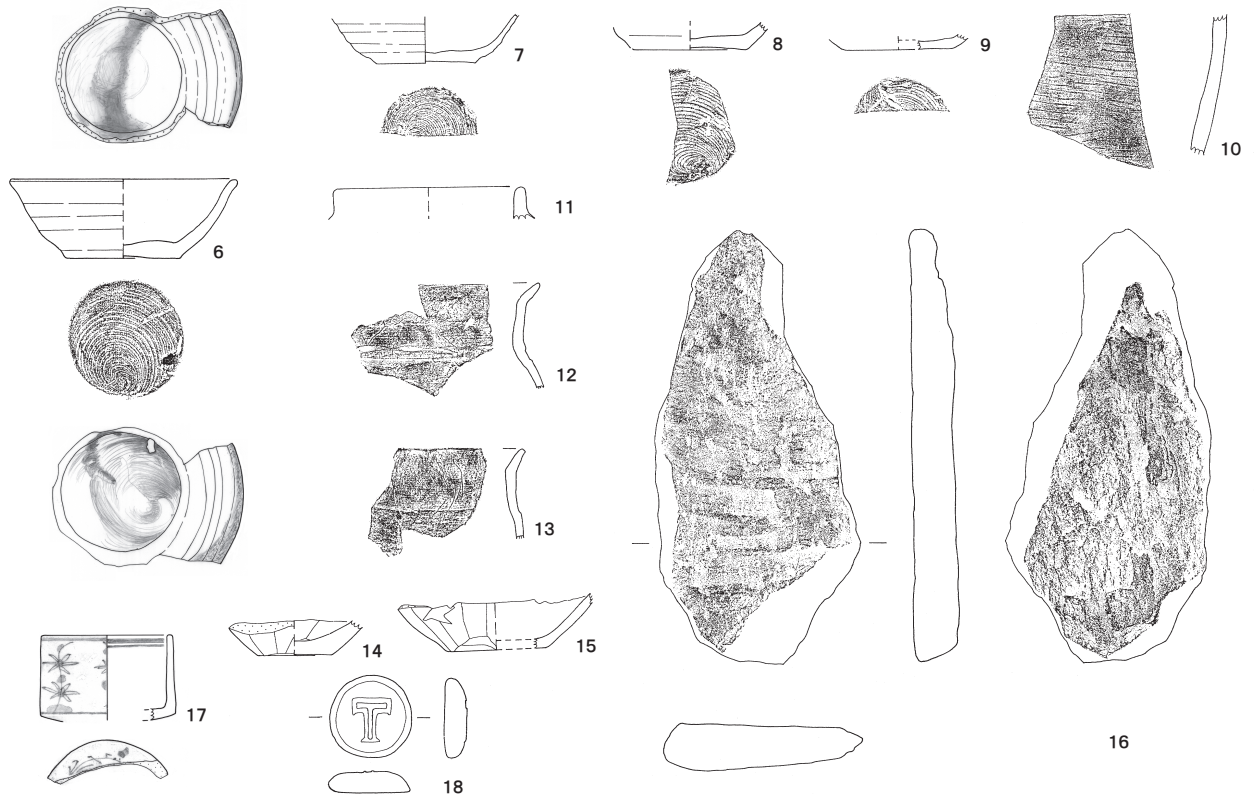
第17表 川崎遺跡第29地点出土遺物観察表 (単位cm)

図版 番号	掲載 番号	遺構名	種別・器種	口径・ 長	底径・ 幅	器高・ 厚	技法 / 文様 / その他	石材 / 推定生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
37 図	1	H58号住居跡	須恵器・坏	(13.1)	7.6	4.2	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / 暗灰黄色 / 砂粒 (~0.5mm) 多量含む / 注No 15、17 (旧H33号住)	東金子	9C前半	1/2以上残存
	2	H58号住居跡	須恵器・坏	(12.2)	6.8	4.1	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / 灰黄色 / 砂粒 (~1mm) 多量含む / 注No 6、11 (旧H33号住)	南比企	9C前半	1/4以上残存
	3	H58号住居跡	土師器・甕	(21.0)	—	—	粘土紐積上。口縁部横撫で / 橙色 / 砂粒 (~1mm) 多量、輝石含む / 注No 1 (旧H33号住)		9C	胴脚接合部
	4	H58号住居跡	土師器・ 台付甕	—	—	—	粘土紐積上。内外面窪削り / にぶい赤褐色 / 砂粒 (~1mm) 多量、輝石含む / 胴部に煤付着 / 注No H1 (旧H33号住)		9C	胴脚接合部
	5	H58号住居跡	銭貨・銅貨	外径 2.55	穿径 0.69	0.16	重1.18g。铸造 / 「大観(通)寶」、小平銭 / 注No P1 (旧H33号住)		1107年初铸	1/2以上残存
	6	H59号住居跡	須恵器・坏	(12.2)	6.8	4.1	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / 暗灰黄色 / 砂粒 (~1mm) 多量含む / 口縁部及び底部内外面の一部に煤付着 / 注No 4、H1 (旧H36号住)	東金子	9C前半	1/4以上残存
	7	H59号住居跡	須恵器・坏	—	(5.2)	—	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / 灰色 / 砂粒 (~1mm) 多量含む / 注No 28 (旧H34号住)	南比企	9C前半	底部
	8	H59号住居跡	須恵器・坏	—	(6.0)	—	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / にぶい黄褐色 / 砂粒 (~1mm) 多量含む / 注No H1 (旧H36号住)	東金子	9C前半	底部
	9	H59号住居跡	須恵器・坏	—	(5.6)	—	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / 灰色 / 砂粒 (~1mm) 多量含む / 注No 49 (旧H34号住)	東金子	9C前半	底部
	10	H59号住居跡	須恵器・甕	—	—	—	粘土紐積上、外面叩き締め / 灰黄色 / 砂粒 (~3mm) 多量含む / 注NoカマドNo 1 (旧H36号住)	南比企	奈良・平安	胴部片
	11	H59号住居跡	須恵器・ 短頸壺	(10.2)	—	—	轆轤調整 / 灰色 / 砂粒 (~1mm) 多量含む / 注Noカクラン2 (旧H34号住)	南比企	9C	胴部片
	12	H59号住居跡	土師器・甕	—	—	—	粘土紐積上。口縁部横撫で。胴部外面横方向のヘラ削り / 橙色 / 砂粒 (~1mm) 多量含む / 注No 30、40 (旧H34号住)	東金子	9C	口縁部片
	13	H59号住居跡	土師器・甕	—	—	—	粘土紐積上。口縁部横撫で。胴部外面横方向のヘラ削り / 明赤褐色 / 砂粒 (~1mm) 多量含む / 注No 24、59 (旧H34号住)		9C	口縁部片
	14	H59号住居跡	土師器・甕	—	4.0	—	粘土紐積上。内外面縦方向のヘラ削り / 橙色 / 砂粒 (~1mm) 多量 / 注No H3 (旧H36号住)		9C	底部片
	15	H59号住居跡	土師器・甕	—	5.2	—	粘土紐積上。内面縦方向、外面横方向のヘラ削り / 橙色 / 砂粒 (~1mm) 多量 / 注No 3 (旧H36号住)		9C	底部片
	16	H59号住居跡	石製品・板碑	(22.7)	(9.6)	2.0	重807g / 裏面に横方向の工具痕(幅1.4cm) / 注No H3 (旧H36号住)		中世	
	17	H59号住居跡	磁器・筒茶碗	(7.0)	—	—	轆轤成形 / 染付け。外面草花文。口縁内面二重圏線 / 注Noカクラン (旧H34号住)	肥前	1810 ~ 1840年代	1/4以下残存
	18	H59号住居跡	ガラス製品・ 石蹴り	4.4	4.4	1.2	型押成形 / 緑色半透明 / 「T」字形の型押文様 / 注No H2 (旧H36号住)		1910 ~ 1930年代	完形
	19	溝1	土師器・甕	—	(4.0)	—	粘土紐積上。内外面縦方向のヘラ削り / 明赤褐色 / 砂粒 (~1mm) 多量 / 注No 1M1		9C ~ 10C	底部片
	20	溝1	陶器・志野皿	(13.0)	—	2.7	轆轤成形 / 長石釉 / 淡黄色 / 注No 1M ベルト	瀬戸・美濃	16C末 ~ 17C代	1/4以下残存
	21	溝1	磁器・燗德利	—	(5.7)	—	轆轤成形 / コバルト染付け / 注No 1M1	肥前	1870年代 ~	底部片
	22	溝2	縄文土器・鉢	—	—	—	LR 縄文を横位に施文 / 胎土に食物繊維含む / 注No 2M2		縄文前期・羽状 縄文系	胴部片
	23	溝2	縄文土器・鉢	—	—	—	LRL 縄文を横位に施文 / 胎土に食物繊維含む / 注No 2M2		縄文前期・羽状 縄文系	胴部片
	24	溝2	須恵器・碗	—	6.8	—	轆轤成形。底部右回転糸切後、高台貼付け / 内外面割れ口含め煤付着 / 暗灰黄色 / 注No 2M No 10	不明	9C後半 ~ 10C	底部片
	25	遺構外	須恵器・皿	(17.0)	—	—	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / にぶい黄褐色 / 砂粒 (~5mm) 多量含む / 注No根切り溝	不明	9C ~ 10C	1/4以下残存
	26	遺構外	陶器・土瓶	—	5.8	—	轆轤成形 / 灰釉 / 底部煤付着 / 灰黄色 / 注No H8		近代	底部片
	27	遺構外	磁器・急須蓋	(6.0)	—	—	轆轤成形 / コバルト染付け。網目文様 / 注No H2		1870年代 ~	1/2以下残存
	28	遺構外	磁器・小杯	(6.6)	(3.0)	4.0	轆轤成形 / クロム青磁 / 明緑灰色 / 注No H2		1890年代 ~	1/2以下残存
	29	遺構外	磁器・小杯	(7.6)	(3.8)	3.5	轆轤成形 / 銅版絵付け、緑色 / 注No 1D		1890年代 ~	1/2以下残存
	30	遺構外	陶器・皿	—	(8.8)	—	轆轤成形。付高台 / 高台内側除き灰釉(黄瀬戸釉)。内面型押し。外面沈線 / 浅黄色 / 注No H3	瀬戸・美濃	17C後半 ~ 18C前半	底部片
	31	遺構外	磁器・皿	—	(8.8)	—	轆轤型打成形。輪花、蛇ノ目凹型高台 / 染付け。内面楼閣山水文 / 焼継。高台内に焼継印「Φ」有 / 注No H1	肥前	1780 ~ 1860年代	底部片
	32	遺構外	土器・鉢	—	(30.0)	—	轆轤成形 / 橙色 / 赤色粒子 (~1mm)、金雲母 (~0.5mm) 多量 / 注No 1D		近世	口縁部片
	33	遺構外	土器・焙烙	—	—	—	轆轤型打成形。底部縮緬。口縁は内頃する / にぶい橙色 / 輝石 (~0.5mm) 多量 / 外面煤付着 / 注No 1D		18C後半	口縁部片

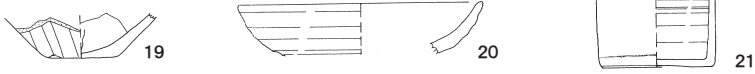
H58 号住居跡



H59 号住居跡



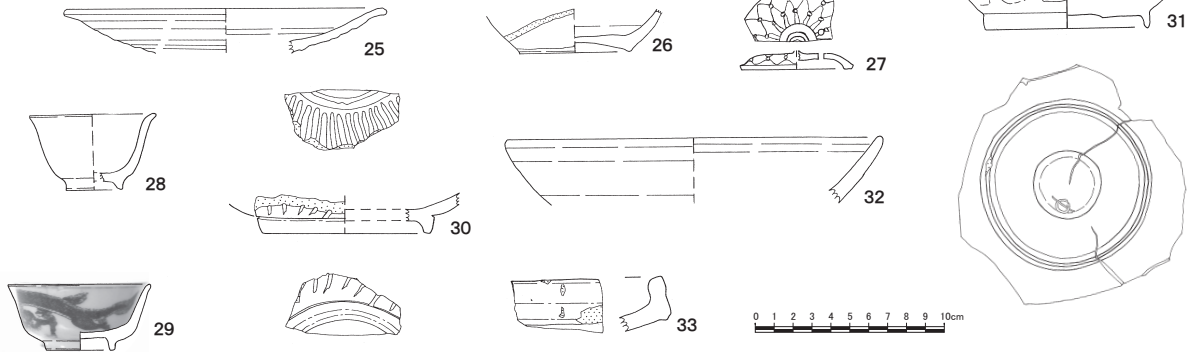
溝 1



溝 2



遺構外



第 37 図 川崎遺跡第 29 地点 H58・H59 号住居跡・溝・遺構外出土遺物 (1/1・1/4)

VII 川崎遺跡第30地点

(1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より2008年7月4日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地の北端に近い平坦面に立地し、隣接地では古代の住居跡等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年7月17日に行なった。調査区を重機により表土除去後、人力による表面精査を行ったところ、奈良・平安時代の遺構・遺物を確認したが、遺構確認面まで40～50cmと浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

本調査は2008年7月18日から同年9月5日まで行なった。調査の結果、奈良・平安時代の住居跡4軒、溝5条、井戸3基、土坑、ピットを検出し、写真撮影・全測図作成・平板および遣り方測量による遺構図面作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H 60号住居跡 (旧H 35号住居跡)

【位置】調査区の西側に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。住居跡の西側はブロック塀の下に入り南側も近世土坑で壊される。7.0m北側にH58号住居跡、4.3m南側にH61号住居跡、8.0m東側にH62号住居跡がある。

【形状】主軸方位はN-104°-E、東壁中央に竈を備える。平面形態は長方形を呈する。規模は主軸方位の東西が2.94m、南北2.32m、確認面からの深さ0.26mである。覆土はローム粒含む黒褐色土。

【竈】燃焼部は壁外に張り出して掘られているが、奥壁から煙道部は攪乱で壊される。右側の袖部に僅かに粘土が残る。袖からの奥行き1.41m、幅0.88m。竈内部の幅0.55m。深さ0.52m。

竈の手前に窪みがある。また、竈右手前の床は薄く粘土が広がり、硬化している。

【周溝】竈の右側の東壁を除き壁際に溝が巡る。幅15～22cm、深さ10cm。

【床・壁】竈手前部分の床面は硬化する。貼床の土層はローム主体、黒褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘り方は周囲が深くなる。

【出土遺物】竈内とその手前部分から多量に出土した。

須恵器坏・蓋・高台付碗、土師器甕・台付甕等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から9世紀前半と推定される。

② H 61号住居跡 (旧H 37号住居跡)

【位置】調査区の南側から26地点にかけて位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。住居跡中央をまたぐブロック塀の下は未調査である。2.6m東側にH53号住居跡、3m西側にH54号住居がある。

【形状】主軸方位はN-16°-E、北壁中央やや東寄りに竈を備える。平面形態は方形、規模は主軸方位の南北4.15m、東西4.14m、確認面からの深さ0.21mである。覆土はローム粒を多量に含む黒褐色土。

【竈】燃焼部は壁外に張り出して掘られている。右側の袖部に粘土が残る。左壁の一部が焼けて赤化する。袖からの奥行き0.88m、幅1.40m。竈内部の幅0.95m。深さ0.29m。

燃焼部の中央に支脚が直立状態で出土した。

竈の手前に窪みがある。

【焼土】竈の左手前に100×58cmの楕円形範囲で床面が焼け、赤化している。

【周溝】竈のある北壁と南壁を除き壁際に浅い溝が巡る。幅15～32cm、深さ4cm。

【床・壁】竈手前の床面が硬化する。貼床の土層はローム主体、暗褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘り方は、北西部や竈手前に深い掘りこみがある。

【出土遺物】竈内とその手前に集中する。須恵器坏・高台付碗・甕、土師器甕・台付甕等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から9世紀代と推定される。

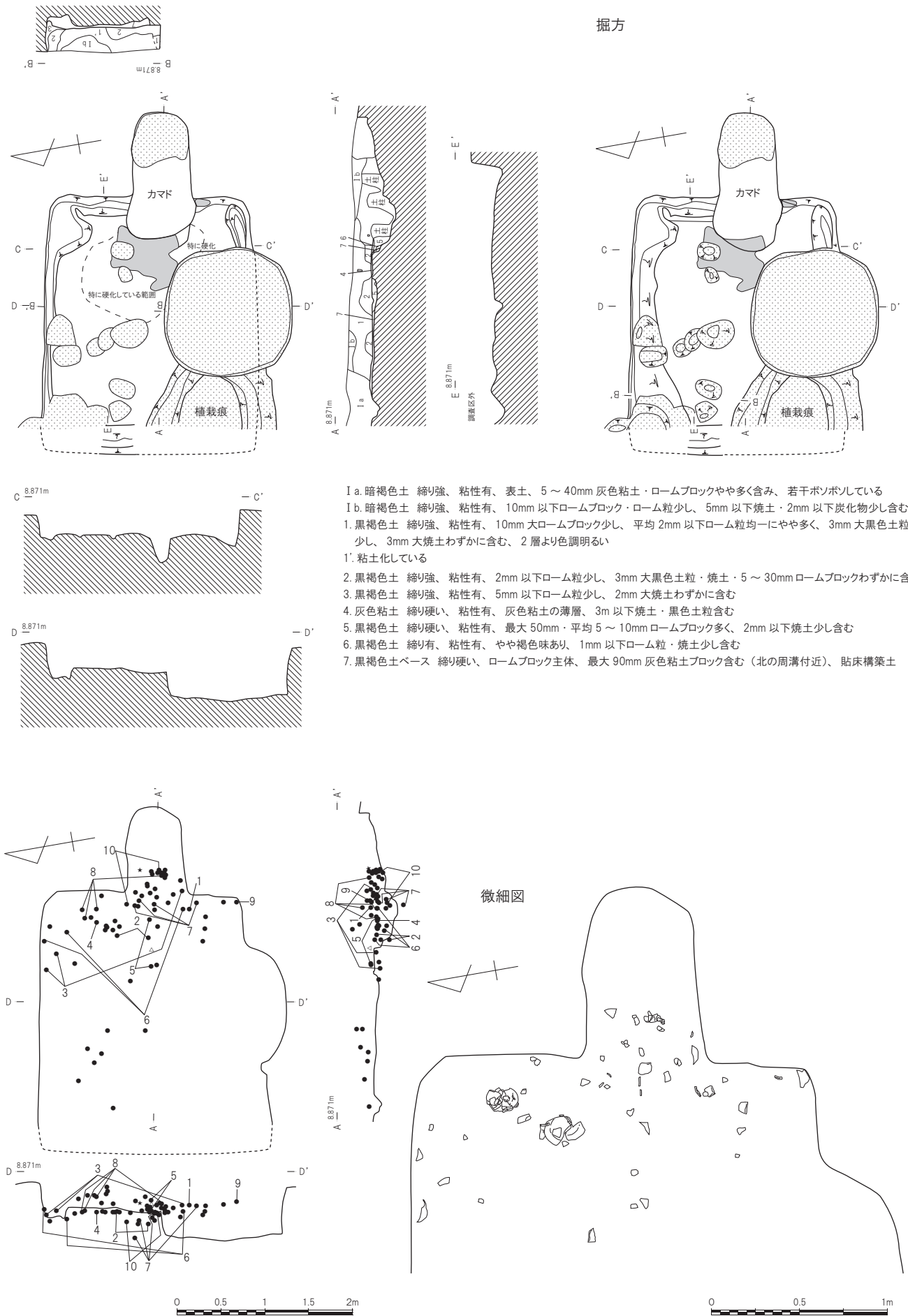
③ H 62号住居跡 (旧H 38号住居跡)

【位置】調査区の東側に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。溝3や井戸2によって壊されている。また、住居跡の東側は調査区域外で範囲の確認はできなかった。8.0m西側にH60号住居跡、3.5m南側にH53号住居跡がある。

【形状】西壁の方位はN-5°-Eである。平面形態は方形か長方形を呈する。規模は南北3.75m、東西1.05m以上、確認面からの深さ0.17mである。覆土はローム粒含む黒褐色土。

【周溝】北壁から西壁、南壁にかけて壁際に溝が巡る。幅18～25cm、深さ10cm。

【床・壁】床面の残りは攪乱のため良くない。貼床の土層はローム主体、黒褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘り方は、凹凸がある。



【出土遺物】遺物の出土は少ない。須恵器坏、土師器甕等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から9世紀前半と推定される。

④井戸

いずれの井戸も完掘していない。井戸2は溝3・4より古い。井戸3の埋土を観察すると、東側からの流れ込みが多く、西側に礫・砂が集中して堆積している。

⑤土坑

土坑1は調査区北東隅にある。周溝らしき窪みが廻るため、住居跡の可能性もある。

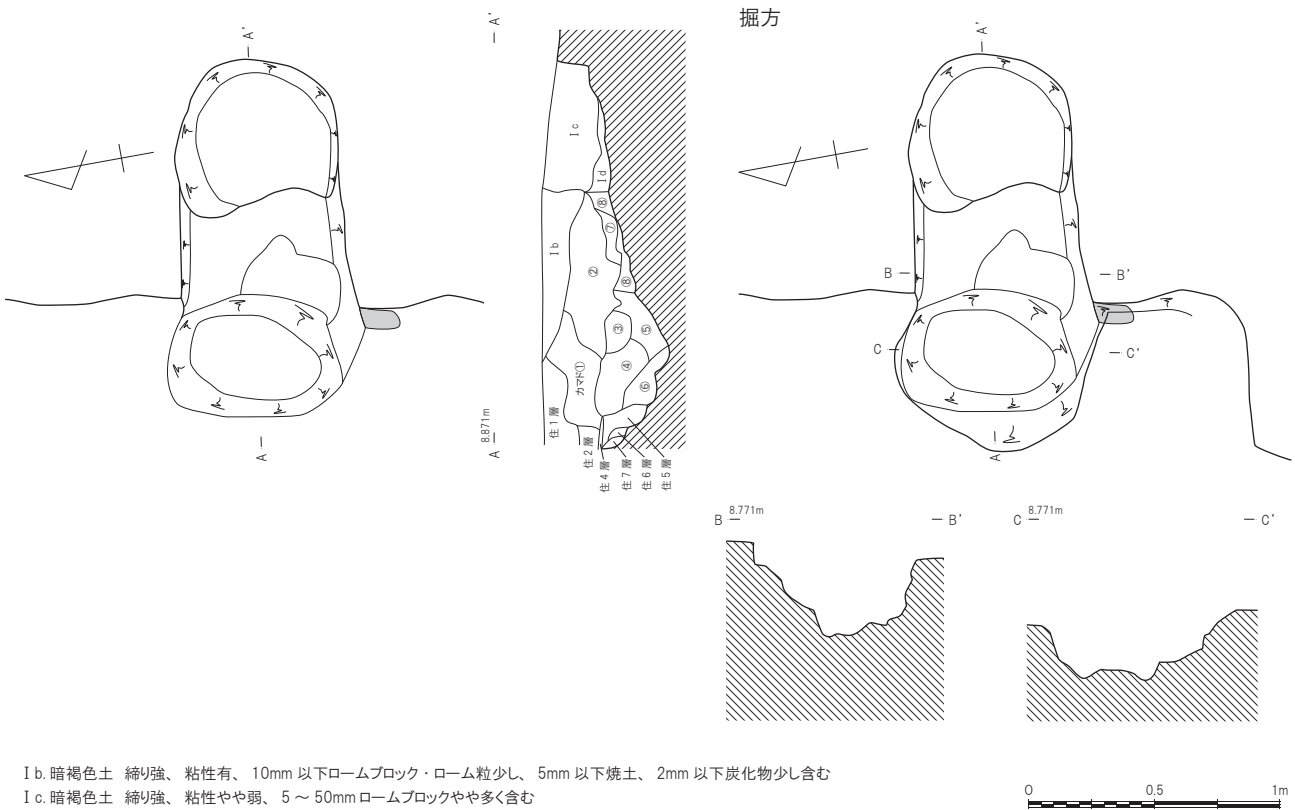
土坑2は縄文時代の土坑。壁は垂直で、足掛け穴らしき横穴もある。貯蔵穴の可能性もある。

土坑3は南壁の土層中で確認した。平面形は不明である。

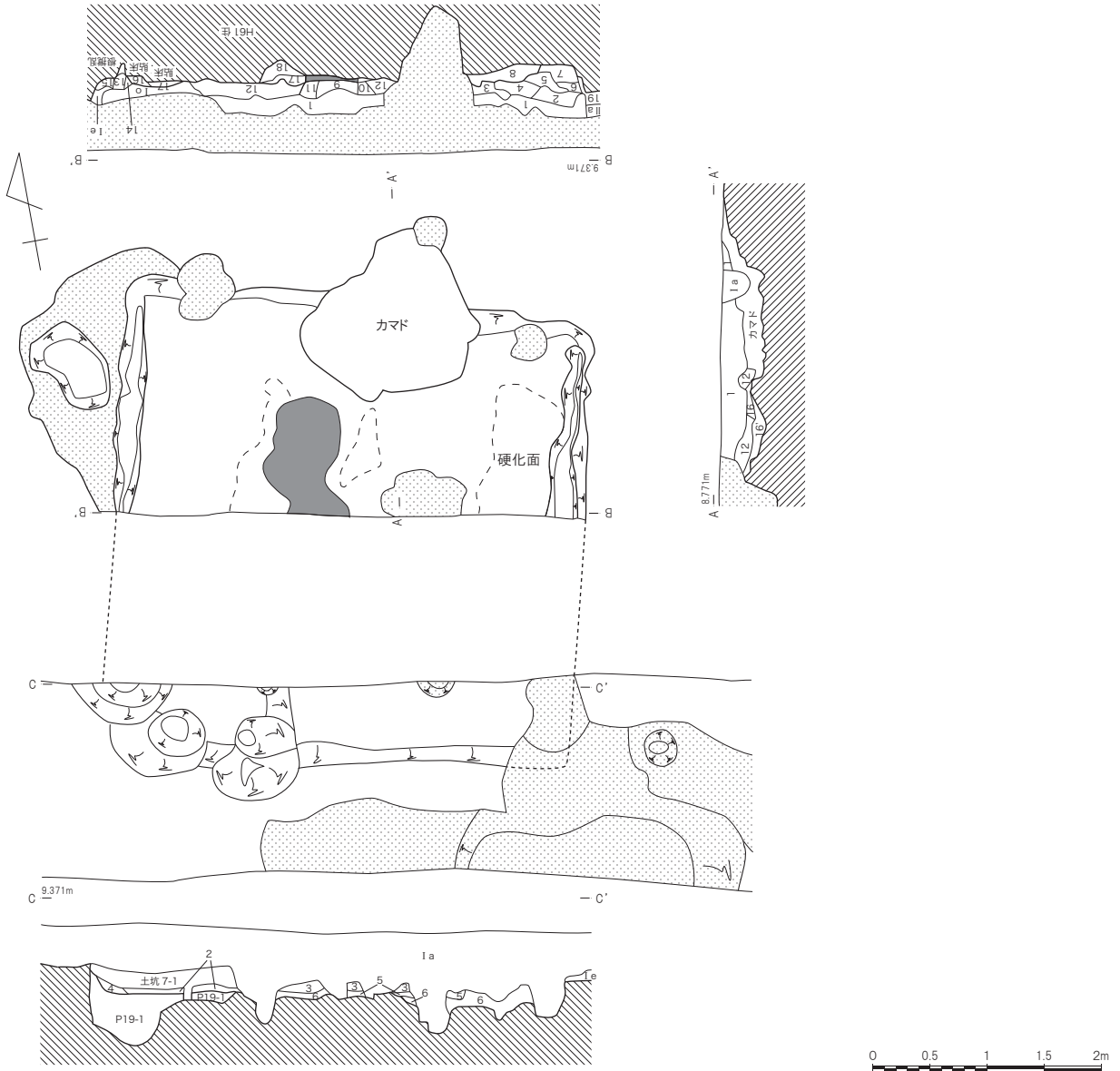
土坑4は攪乱の下から検出した。26地点の土坑4、6とあわせて掘立柱跡の可能性もある。

⑥溝

溝1、4、5は南北方向、溝3は東西方向に配置する。溝3は井戸2より新しく、井戸3から東へ向かう。溝4は溝3と井戸2より新しく、井戸2から南へ向かう。



第39図 川崎遺跡第30地点H60号住居跡竈(1/30)



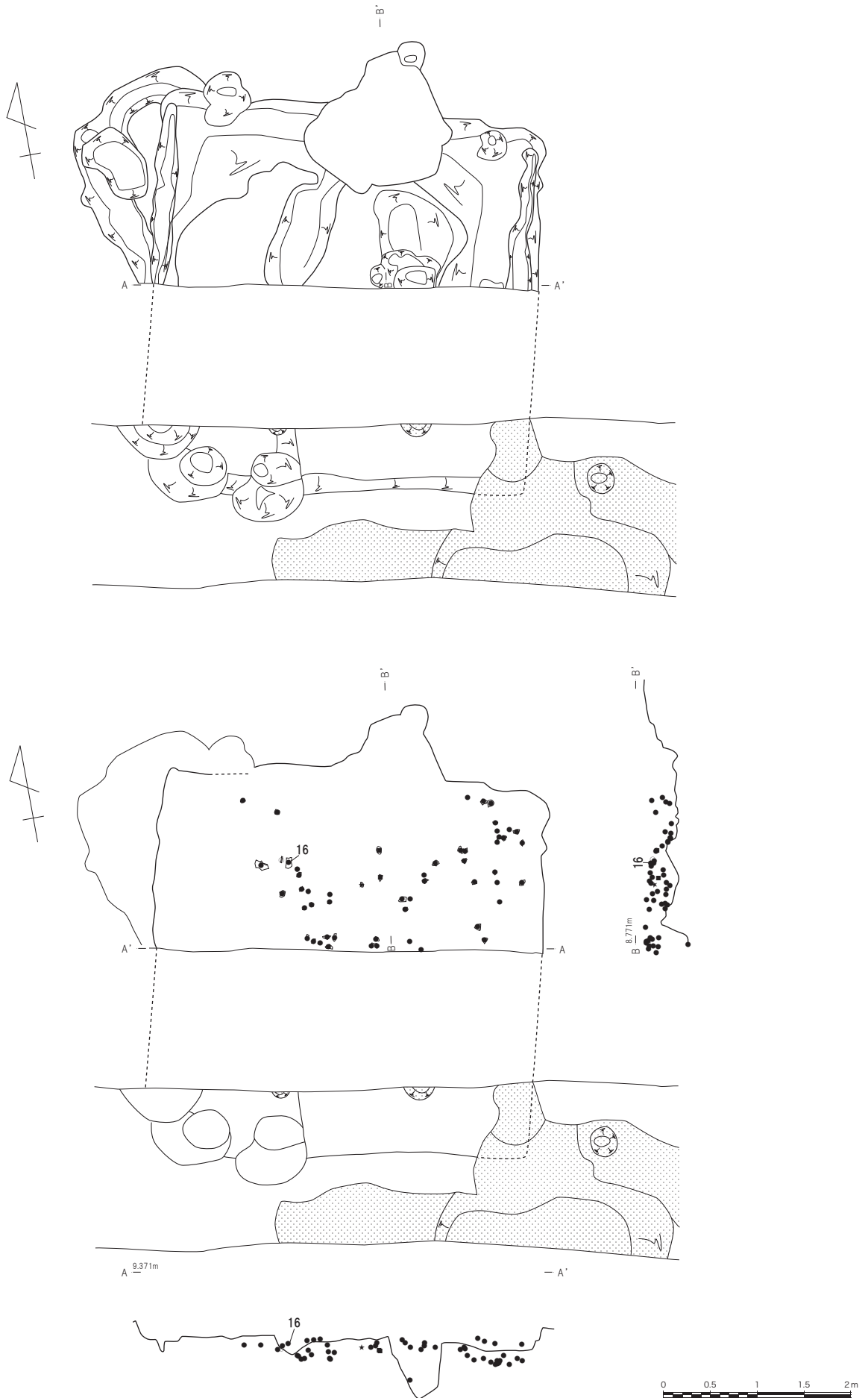
A-A'、B-B'

- I a.1 層より締り弱、ピット状の攪乱、焼土ブロックやカマド3・5層と同様な5mm以下焼土粒多く含む、焼土を伴う1層土ブロック含む
- I e. 黒褐色土 西側の地山(新移層土)と同じ土をブロック状に含む、北の攪乱の覆土
- I o. ベースはH61住1層土、締り強、5~10mm炭化物含む、北の攪乱の覆土
- II a. 黒褐色土 灰色味有り硬いブロックを多く、2mm以下ローム粒少し含む
- 1. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒・焼土やや多く、5~10mm炭化物少し含む
- 2・12 層より色調明るく、締り強い
- 1'. 黒褐色土 1層より締り弱、Pit状の攪乱、焼土ブロックやカマド3・5層と同じ様な5mm以下焼土粒を多く含む
- 2. 黒褐色土 締り有、粘性有、1層より色調暗い、3mm以下ローム粒・5mm以下焼土やや多く含む(20mm大ロームブロックわずか)
- 3. 黒褐色土 締り有、粘性有、色調は2層に似るがローム粒少ない、5mm以下焼土少し含む
- 4. 黒褐色土 締り有、粘性有、2層より黒色味強い、5mm以下焼土多く、炭化物少し含む
- 5. 黒灰色土 締り有、粘性有、硬化している、5~20mmロームブロック、扁平な灰色粘土ブロック含む、攪乱うけて再堆積した貼床の土
- 6. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒・焼土少し含む
- 7. 黒褐色土 締り弱、粘性有、10mm大ロームブロック・3mm以下ローム粒少し含む
- 8. 黒褐色土 締り有、粘性有、上面は硬化している、5~10mmロームブロックやや多く、5mm大粘土ブロック・2~10mm焼土少し含む
- 9. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒少し、5mm大炭化物・2mm大焼土少し含む
- 10. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm以下焼土やや多く含む
- 11. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm以下ローム粒やや多く、2mm以下焼土少し含む
- 12. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く、3mm以下粘土少し、炭化物やや多く、2mm以下焼土わずかに含む
- 13. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く、2mm以下焼土わずかに含む、周溝覆土、ただし攪乱を受けて締り弱め

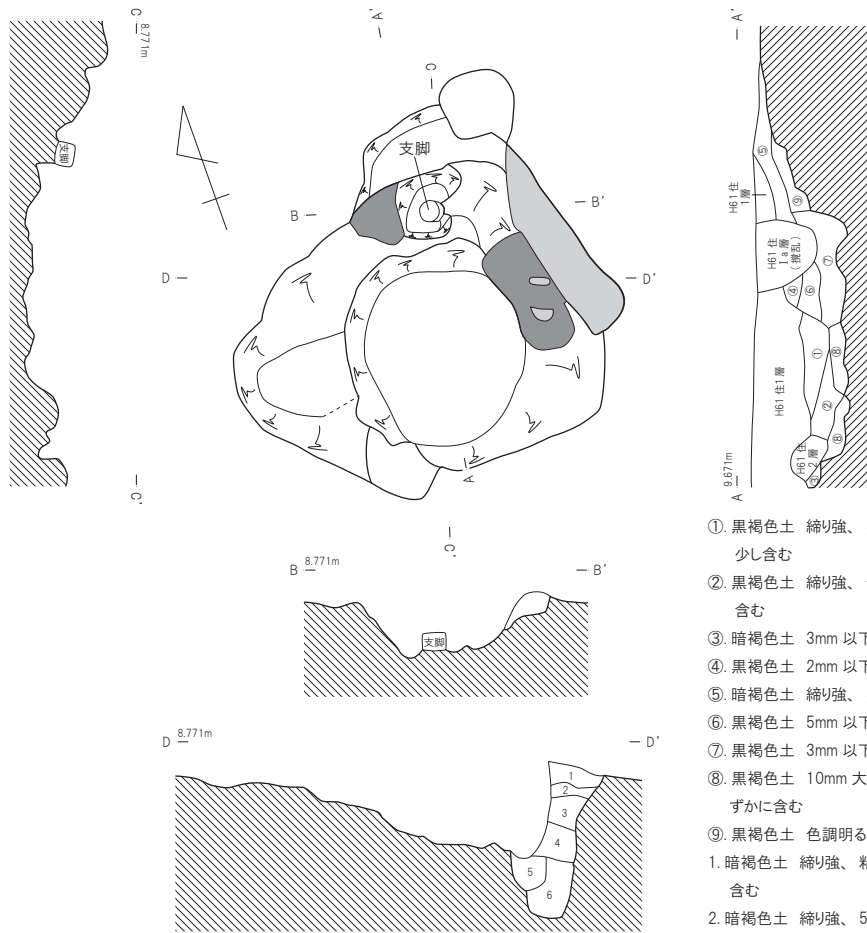
- 14. 暗褐色土 締り有、粘性有、5mm以下ローム粒やや多く含む、周溝覆土
 - 15. 黒褐色土 締り有、粘性有、灰色味あり、2mm以下ローム粒少し含む
 - 16. 暗褐色土 締り有、粘性有、硬化している、ローム混じりの黒褐色土で色調明るい、20mm以下ロームブロック含むが、粒形不明瞭、貼床の土
 - 16'. 黒褐色土ベース 締り強い貼床の構築土、最大60mmロームブロック多く含む、ベースの黒褐色土中に3mm以下ローム粒少し含む
 - 17. 暗褐色土 締り有、粘性有、硬化している、ローム粒多く含む暗褐色土・黒褐色土・ロームブロックが混ざり斑状を呈する
 - 18. 暗黄褐色土 締り有、粘性有、硬化している、ローム土主体、黄灰色味あり、ロームブロック多く含む
 - 19. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm以下ローム粒多く、1mm以下炭化物少し含む
- C-C'
- I e. 暗褐色土 締り有、粘性有、5~10mmロームブロックやや多く、3mm以下ローム粒少し、焼土わずかに含む、表土
 - 1. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く、3mm以下焼土少し含む
 - 2. 暗褐色土 締り硬化、粘性有、2mm以下ローム粒多く、2mm以下焼土やや多く含む、3mm以下炭化物少し含む
 - 3. 暗褐色土 締り硬化、粘性有、2mm以下焼土多く、3mm以下ローム粒やや多く含む
 - 4. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く含む
 - 5. 暗褐色土 締り強、粘性有、色調明るい、ローム土、5mm以下ローム粒多く含む
 - 6. 黒褐色土 締り強、粘性有、10mm以下ロームブロック・粒を多く含む、2mm以下焼土少し含む・若干ボンボシしている
- ピット 19
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、30mm以下ロームブロック、5mm以下ローム粒やや多く含む

第40図 川崎遺跡第30地点 H61号住居跡 (1/60)

掘方

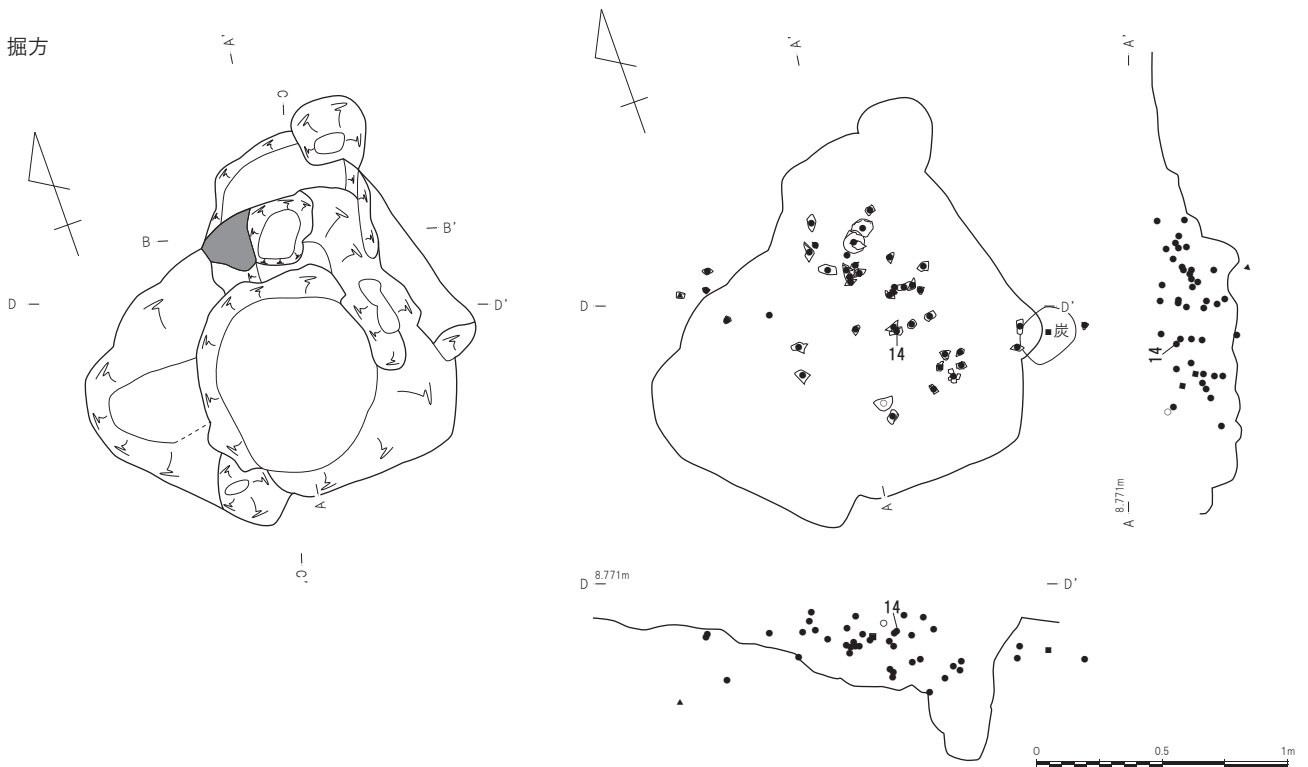


第41図 川崎遺跡第30地点H61号住居跡掘方・遺物出土状況図(1/60)



- ①. 黒褐色土 締り強、5mm以下焼土やや多く、5mm大粘土、3mm以下炭化物少し含む
- ②. 黒褐色土 締り強、色調明るめ、5mm以下ローム粒・焼土やや多く含む、炭化物含む
- ③. 暗褐色土 3mm以下焼土・ローム粒やや多く含む
- ④. 黒褐色土 2mm以下焼土少し含む
- ⑤. 暗褐色土 締り強、5mm以下焼土多く、ローム粒やや多く含む
- ⑥. 黒褐色土 5mm以下焼土・ローム粒少し含む
- ⑦. 黒褐色土 3mm以下焼土やや多く、灰色粘土少し含む
- ⑧. 黒褐色土 10mm大ロームブロック、2mm以下ローム粒少し、2mm以下焼土わずかに含む
- ⑨. 黒褐色土 色調明るめ、3mm以下ローム粒少し含む
- 1. 暗褐色土 締り強、粘土混じり、2mm以下焼土やや多く、2mm以下ローム粒少し含む
- 2. 暗褐色土 締り強、5mm以下粘土・ローム粒多く、2mm以下焼土やや多く含む
- 3. 暗褐色土 締り強、5mm以下焼土・ローム粒多く含む、4層より色調明るい
- 4. 黒褐色土 締りやや強、5mm以下焼土・ローム粒多く含む
- 5. 暗褐色土 締り弱、3mm以下ローム粒少し含む
- 6. 暗褐色土 締り弱、20mm以下ロームブロックやや多く含む

掘方

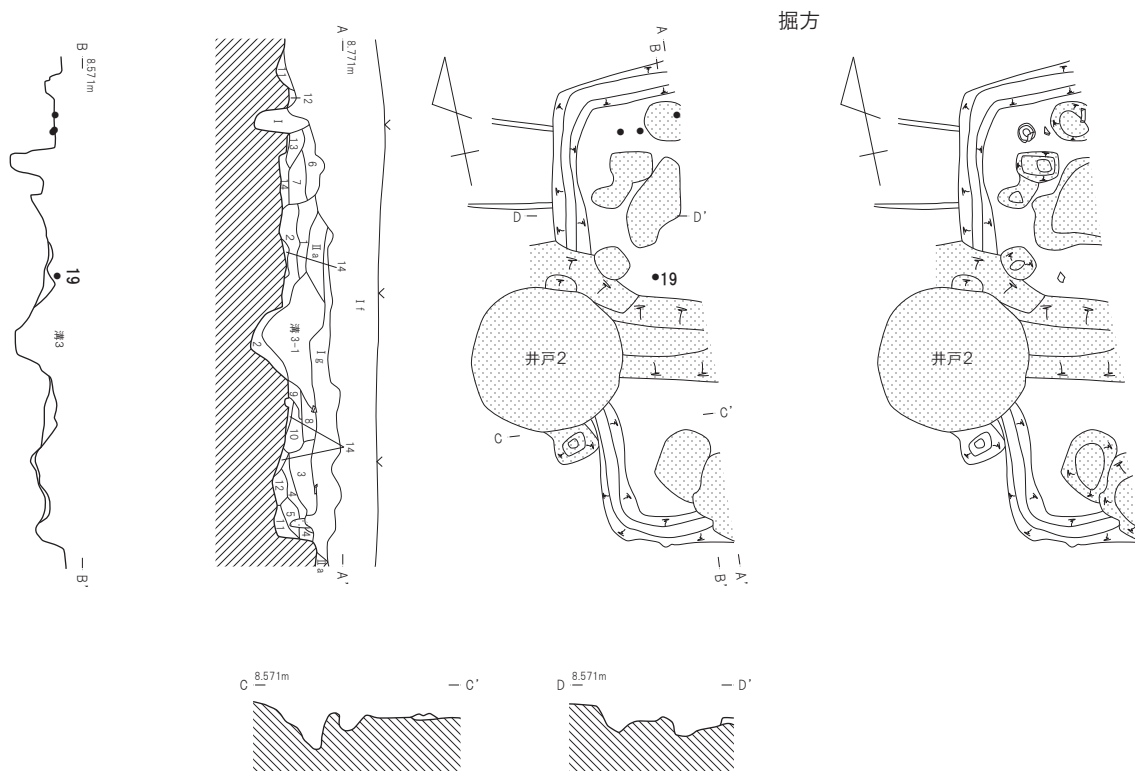


第42図 川崎遺跡第30地点 H61号住居跡竈 (1/30)

第18表 川崎遺跡第30地点遺構一覧表 (単位cm)

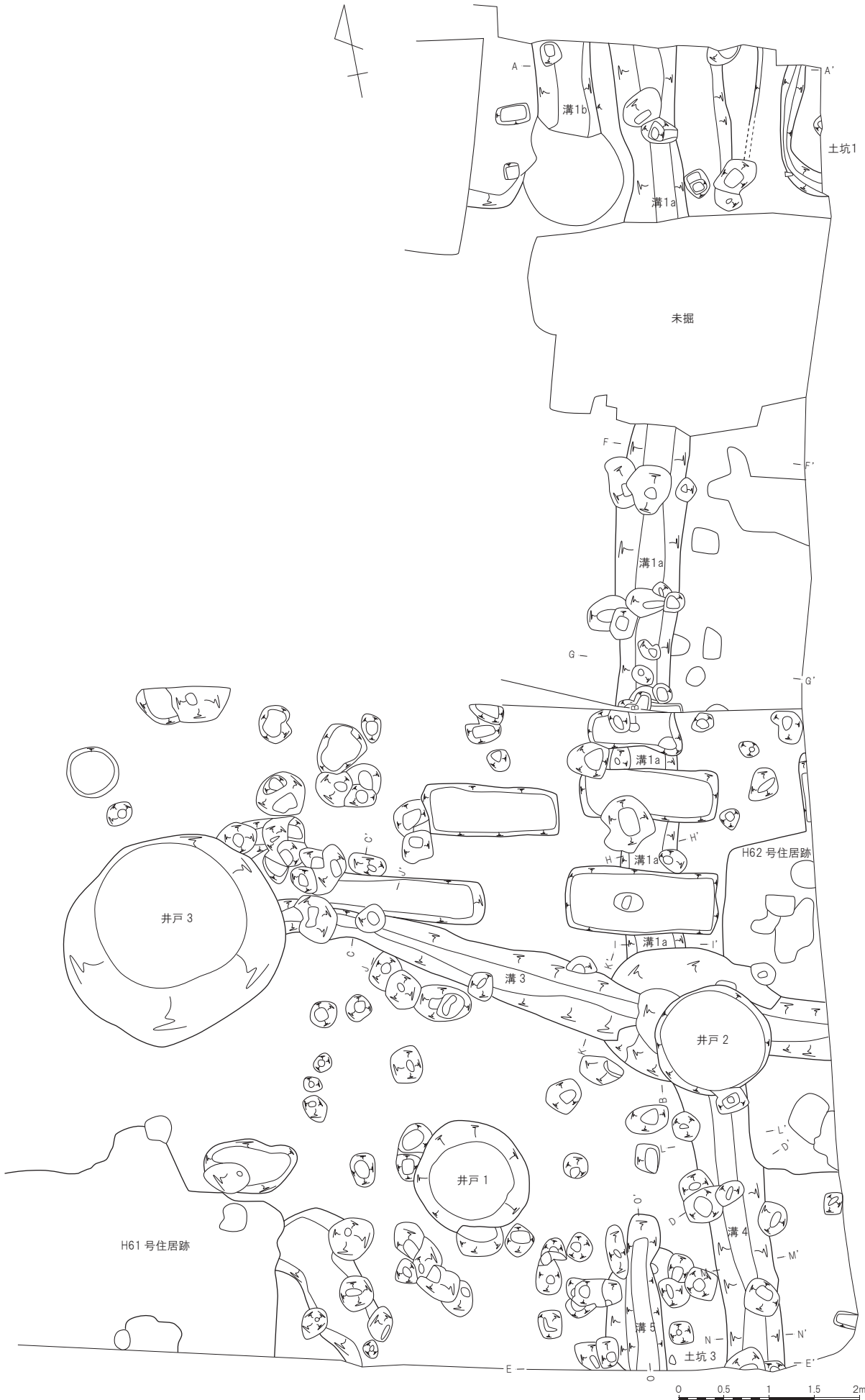
No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
井戸1	円形	128 × 120	88 × 87	(90)	未完掘
井戸2	円形	124 × 122	107 × 114	(110)	未完掘。溝3より旧。H38住より新
井戸3	円形	218 × 245	157 × 164	(90)	未完掘。東側からロームの流れ込み有
土坑1	(楕円形)	(142) × (43)	(135) × (40)	26	周溝有
土坑2	隅丸方形	131 × 117	76 × 70	122	壁に横穴有。縄文時代
土坑3		130 × -	120 × -	28	南壁の土層中に検出
土坑4	楕円形	18 × 53	56 × 31	63	攪乱下より検出

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
溝3	東西61m以上の直線。断面「V」字形	55 ~ 65	13 ~ 25	20 ~ 36	東側低い。溝4より旧。井戸2、溝1、H38住より新
溝4	南北3.2m以上の直線。断面緩やかな「V」字形	60 ~	24 ~	13 ~ 22	井戸2、溝3より新
溝5	南北5.2m以上の直線。断面「U」字形	53 ~	20 ~	40	H29号住居跡より新



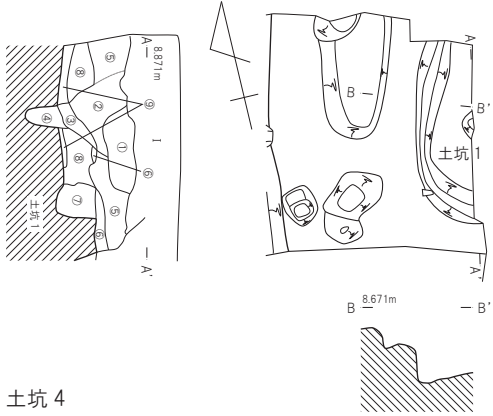
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、焼土を多く含む、色調明るめ
2. 暗褐色土 締り有、粘性有、灰色味あり、2mm以下焼土粒多く含む、炭化物わずかに含む
3. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm以下ローム粒・焼土少し含む
4. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒・焼土やや多く含む
5. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm以下ローム粒やや多く、焼土多く含む
6. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm以下ローム粒やや多く、焼土少し含む、下層(7)より灰色味強い
7. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm以下ローム粒やや多く、焼土少し含む、6層よりローム粒径小さい
8. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm以下ローム粒多く含む、下層9・10より灰色味あり
9. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm以下ローム粒やや多く含む、炭化物わずかに含む、若干灰色味あり
10. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm以下ローム粒やや多く含む、粒径小さめ、炭化物わずかに含む
11. 黒褐色土 締り有、粘性有、3~5mmローム粒やや多く含む(周溝の覆土)
12. 黒褐色土ベース 締り強、粘性有、5~30mmロームブロックやや多く、2mm以下ローム粒多く含む(貼床の土)
13. 黒褐色土ベース 締り有、粘性有、灰色粘土・焼土多く含む赤灰色味強い、焼土
14. 黒灰色土ベース 締り有、粘性有、硬化している、20mm以下ロームブロック多く含む、ベースの土は灰色粘土混じりの黒褐色土(貼床の土)
- I. 黒褐色土 締り有、粘性有、5~20mmロームブロック、3mm以下ローム粒やや多く含む
- I f. 暗褐色土 締り有、粘性有、灰色味あり、10mm以下ロームブロック・粒・粘土ブロック少し含む
- I g. 黒褐色土 締り有、粘性有、灰色味あり、3mm以下ローム粒少し含む、粘土・焼土わずかに含む
- II a. 黒褐色土 締り有、粘性有、灰色味ある硬いブロック多く、2mm以下ローム粒少し含む

第43図 川崎遺跡第30地点H62号住居跡・掘方(1/60)

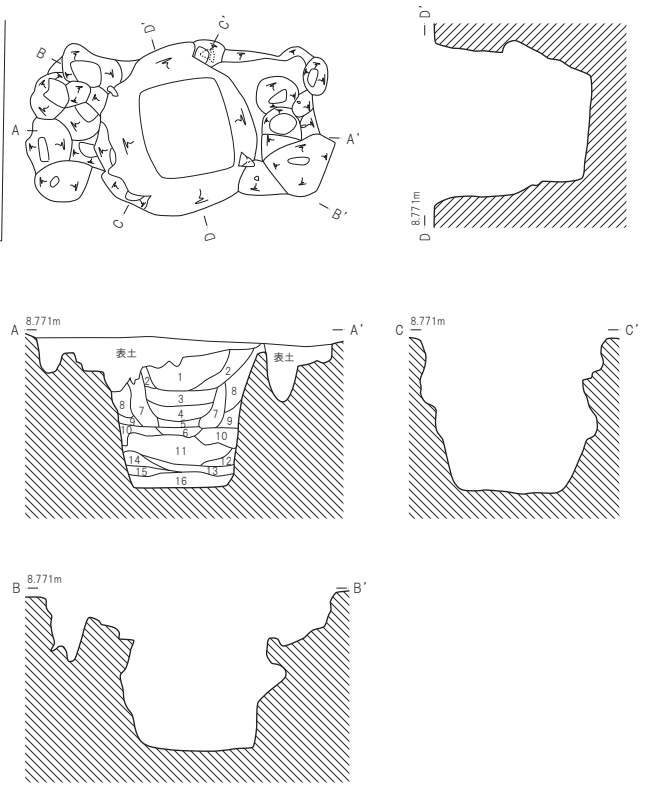


第44図 川崎遺跡第30地点溝・土坑・ピット (1/60)

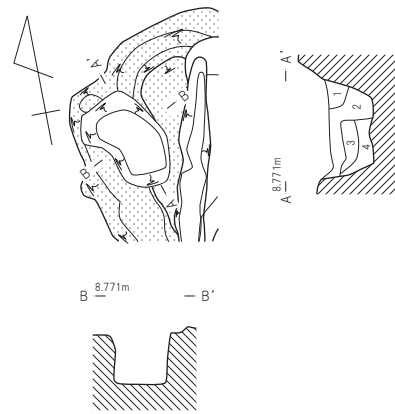
土坑 1



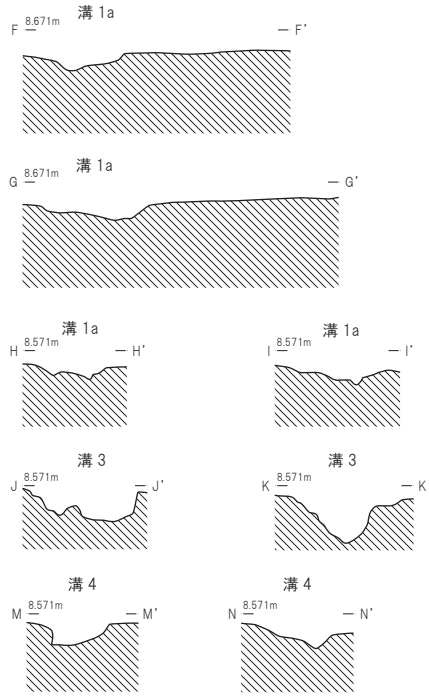
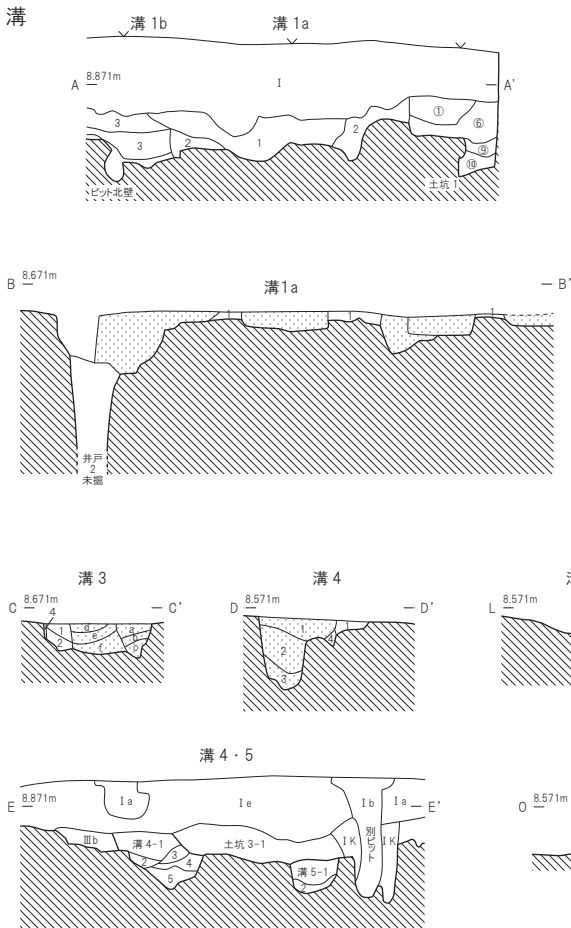
土坑 2



土坑 4



溝



第 45 図 川崎遺跡第 30 地点土坑 (1/60)

土坑1

- ①黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒少し含む
- ②黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒やや多く、10～30mmロームブロック、80mm大礫少し含む
- ③黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒少し、40mm厚ローム主体層を中程に挟む
- ④黒褐色土 締り強、粘性有、10mmロームブロック、2mm以下ローム粒少し(④より少)ソフトロームブロック含む
- ⑤黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒を均一にやや多く、5mm大ロームブロック少し含む
- ⑥暗褐色土 締り硬、粘性有、2mm以下ローム粒やや多く、黒色土粒少し含む
- ⑦暗褐色土ベース 締り硬い、粘性有、最大100mm、10～30mmロームブロック多く含む、黒褐色土少し含む
- ⑧暗褐色土ベース 締り硬い、粘性有、60mm以下ロームブロック主体、ベースの土は黄灰色みがある
- ⑨暗褐色土 締り硬い、粘性有、黒褐色土混じりで色調暗め、2mm以下ローム粒少し(ムラがある)、5～10mm以下黒色土少し、下部に10～20mmロームブロックやや多く含む

土坑2

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、縄文時代の土質、2mm以下ローム粒少し、炭化物わずかに含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く、炭化物少し含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、上層より3mm以下ローム粒多く、5～10mmロームブロック少し含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒やや多く含む
5. 暗褐色土ベース 締り強、粘性有、5～10mmロームブロック主体
6. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム土、3mm以下ローム粒多く含む、色調明るい
7. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒多く含む
8. 暗黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土ベース、3mm以下ローム粒多く含む
9. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土ベース、20mm以下ロームブロック主体、締りはよい
10. 暗褐色土 締り強、粘性有、包含物少ない、15mm以下ロームブロック少し含む
11. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体、非常に締りよい、5mm以下黒色土粒やや多く含む
12. 暗褐色土ベース 締り強、粘性有、40mm以下ロームブロック主体
13. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒含む
14. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土ベース、15mm以下ロームブロック多く含む
15. 黒褐色土 締り強、粘性有、しみ状のローム土やや多く含む
16. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム分多く含む、色調明るい、下部は黒色み強い

土坑4

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く含む
2. 暗褐色土 締り有、粘性有、最大70mm・平均5～10mmロームブロック、5mm以下ローム粒やや多く含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、5～25mmロームブロックやや多く、3mm以下ローム粒少し含む、全体にローム分含み、色調明るめ
4. 暗褐色土 締り有、粘性有、10～30mmロームブロックを部分的に集中して含む、5mm以下ローム粒少し含む

ピット

1. 暗褐色土 締り強、5～10mmロームブロックやや多く含む
2. 暗褐色土 締り強、5～10mmロームブロック少し含む、1層より色調暗く、締り弱め
3. 暗褐色土 粘性やや弱、5～20mmロームブロック多く含む、2層より色調明るい

溝4

1. 黒褐色土 平均1mm以下ローム粒やや多く、3～10mmロームブロック少し含む

溝1a・1b

1. 暗褐色土 締り有、粘性有、5～10mmロームブロック・粒均一に少し含む、色調暗め
2. 暗褐色土ベース 締り有、粘性やや弱、溝1aに切られる、ピット状もしくは土坑状の掘り込み覆土、最大80mmロームブロック、5mm以下ローム粒多く、ソフトローム土多く含む
3. 暗褐色土ベース 締り強、粘性有、色調暗め、5mm以下ローム粒少し含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～10mmロームブロック、2mm以下ローム粒少し含む

溝4・5

- I a. ローム土主体、30～60mm礫含む、建物基礎
- I b. 黒褐色土 締り有、粘性有、5～10mmロームブロック多く含む
- I e. 灰色粘土多く含む
- I k. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～10mmロームブロックやや多く、3mm以下焼土少し含む
- III b. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少し含む、縄文時代の土

溝4

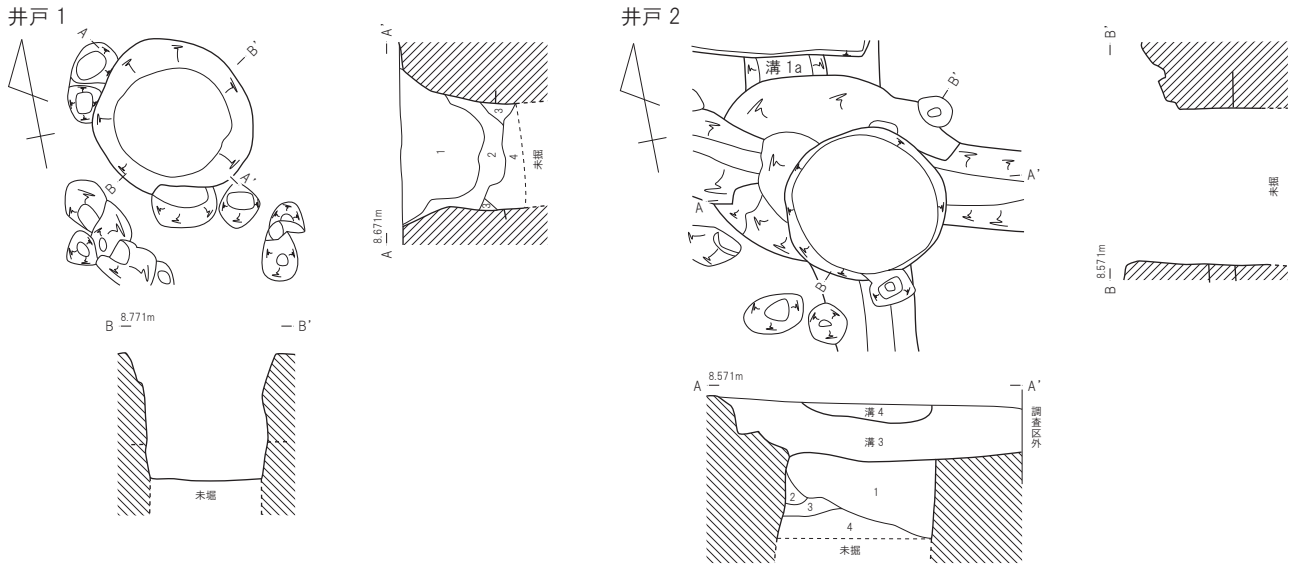
1. 黒褐色土 5～10mmロームブロック、3mm以下ローム粒少し含む
2. 黒褐色土 5mm以下ローム粒やや多く含む、1層より色調明るい
3. 暗褐色土 10～20mmロームブロック多く含む
4. 黒褐色土 最大50mm平均10mm以下ロームブロック少し含む
5. 黒褐色土ベース 締り強、60mm以下ロームブロック主体

溝5

1. 黒褐色土 2mm以下ローム粒少し、焼土わずかに含む(土坑3に比べ色調黒み強い)
2. 黒褐色土 5～20mmロームブロック少し含む、1層より色調暗い

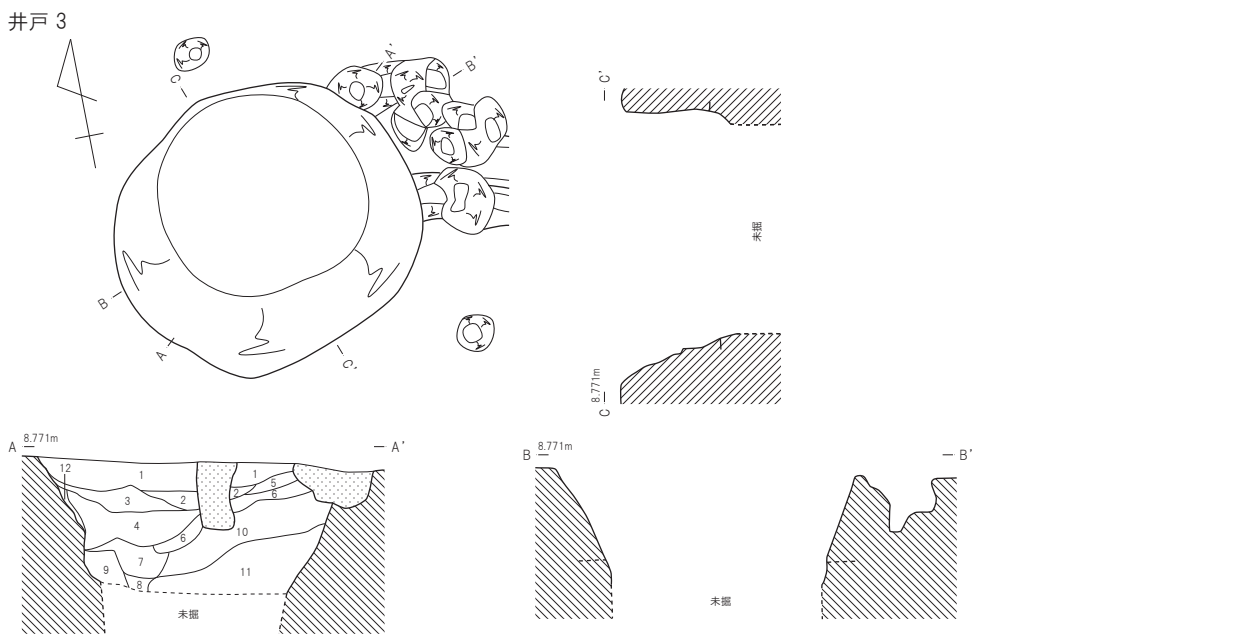
土坑3

1. 黒褐色土 5mm以下ローム粒やや多く、3mm以下焼土少し含む



- 井戸 1
1. 暗褐色土 締り強、粘性有、5～10mm ロームブロック少し、5～10mm 焼土わずかに含む
 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、5～30mm ロームブロック、5mm 以下ローム粒多く含む
 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒少し含む
 4. 黒褐色土 締り有、粘性有、含有物少なく、2mm 以下ローム粒わずかに含む

- 井戸 2
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、5～40mm ソフトロームブロック・5mm 以下ローム粒少し含む、10～50mm 礫少し含む
 2. 黒褐色土 締り弱、粘性有、しみ状のソフトローム土少し含む
 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、しみ状の10mm 以下ソフトローム・暗褐色土ブロックやや多く含む
 4. 暗褐色土 締り強、粘性有、10～70mm 以下ソフトロームブロック少し含む



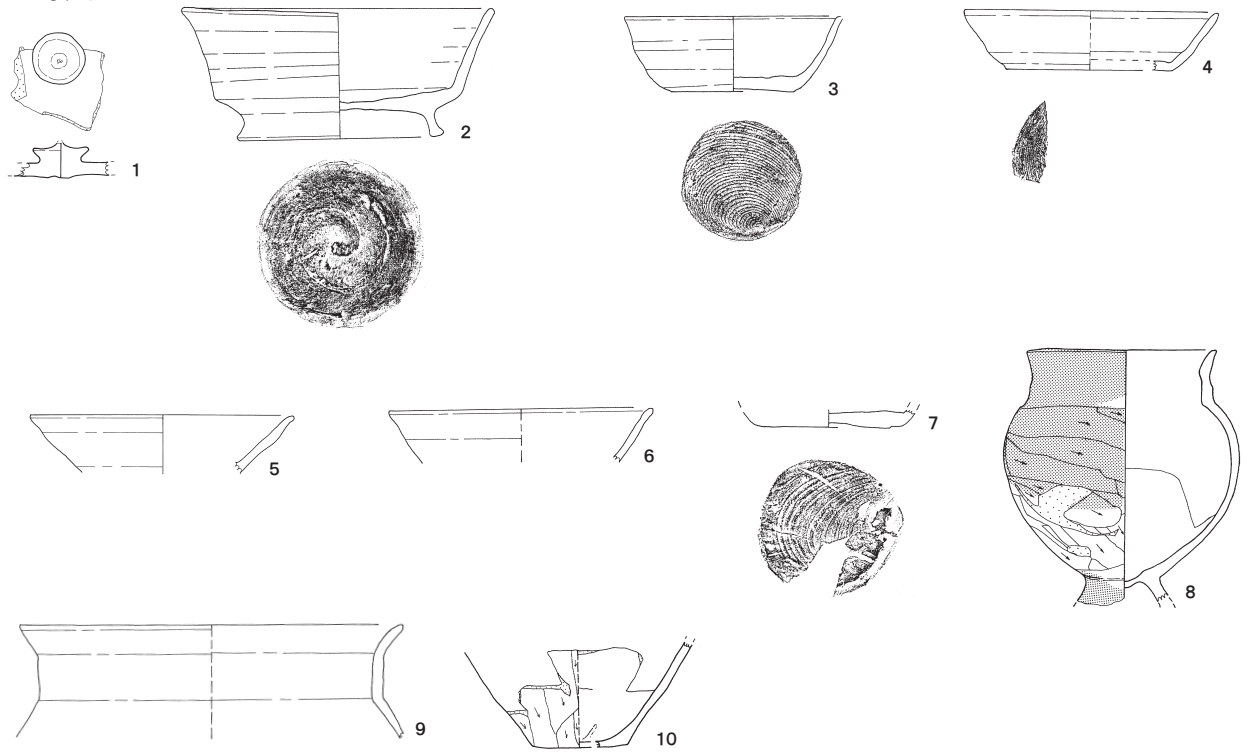
- 井戸 3
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm 以下ローム粒・25mm 以下礫やや多く、10mm 大ロームブロック少し含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、60mm 以下礫、5mm 以下ローム粒やや多く含む
 3. 暗褐色土 締り有、粘性有、5mm 以下ローム粒、50mm 以下礫多く含む
 4. 黒褐色土 締り有、粘性有、70mm 以下ロームブロック 50mm 以下礫多く含む、南壁際に70～100mm 大型の礫が集中する
 5. 暗褐色土ベース 締り有、粘性有、砂多く含み、粘性弱い、30mm 以下細かな礫主体、締り強
 6. 暗黄褐色土ベース 締り有、粘性有、砂多く含み、粘性弱い、最大60mm 平均20mm 以下細かな礫主体、ローム土を含み、全体の色調明るい
 7. 黄褐色土 締り有、粘性有、30mm 以下ロームブロック主体、40mm 以下礫やや多く含む
 8. 黄褐色土 締り弱、粘性弱、ローム土主体
 9. 黄褐色土 締り強、粘性有、大型のロームブロックが緻密に堆積する（一見地山状）
 10. 黄褐色土 締り強、粘性有、10mm 以下ロームブロック・ローム土が緻密に堆積する、20mm 礫少し含む
 11. 黄褐色土・黒褐色土 締り強、粘性有、10mm 以下ロームブロック、粒主体の層（20mm 以下礫少し含む）、層厚40～80mm と層厚10～30mm の黒褐色土層が互層をなす（4ペア以上）
 12. 黒褐色土 締り弱、粘性有、含有物少なく、1mm 以下ローム粒少し含む

第46図 川崎遺跡第30地点井戸 (1/60)

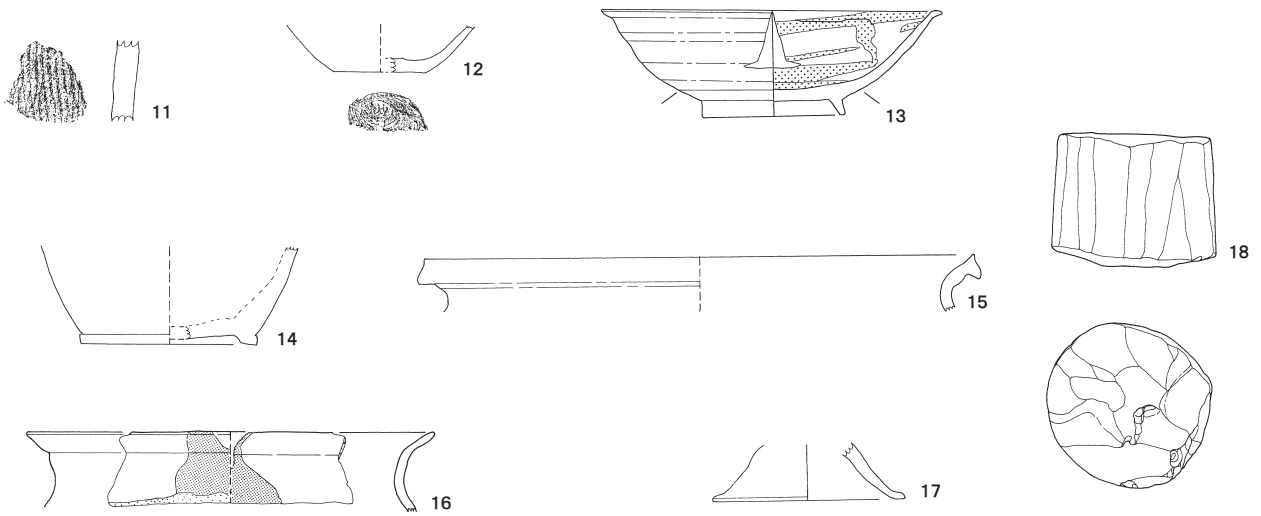
第19表 川崎遺跡第30地点出土遺物観察表 (単位cm)

図版番号	掲載番号	遺構名	種別・器種	口径・長	底径・幅	器高・厚	技法/文様/その他	石材/推定生産地	推定年代・時期	残存/備考	
19	図	1	H60 号住居跡	須恵器・蓋	—	つまみ径30	轆轤成形。天井部糸切後、回転蹴り。つまみ貼り付け/灰色/砂粒(～1mm)少量含む、海面骨針多量含む/注No.23(旧H35号住)	南比企	8C後半	つまみ部分	
		2	H60 号住居跡	須恵器・碗	16.8	11.0	7.0	轆轤成形。底部回転糸切後、高台貼り付け撫で調整。/灰黄色/砂粒(～3mm)多量含む/注No.69(旧H35号住)	南比企	8C後半～9C前半	3/4以上残存
		3	H60 号住居跡	須恵器・環	11.5	6.6	4.0	轆轤成形。右回転糸切後未調整/灰黄色/砂粒(～3mm)少量含む、海面骨針多量含む/注No.9、10、25(旧H35号住)	南比企	9C前半～中葉	完形
		4	H60 号住居跡	須恵器・環	(13.5)	(8.8)	3.1	轆轤成形。回転糸切後未調整/にぶい黄色/砂粒(～5mm)少量含む/注No.48b(旧H35号住)		9C	1/4以下残存
		5	H60 号住居跡	須恵器・環	(14.0)	—	—	轆轤成形/暗灰黄色/砂粒(～5mm)少量、海面骨針多量含む/注No.15、29、B区(旧H35号住)	南比企	9C	口縁部片
		6	H60 号住居跡	須恵器・環	(14.0)	—	—	轆轤成形/黄灰色/砂粒(～5mm)少量、海面骨針多量含む/注No.11、12、24、C区(旧H35号住)	南比企	9C	口縁部片
		7	H60 号住居跡	須恵器・環	—	7.6	—	轆轤成形。右回転糸切後未調整/灰黄色/砂粒(～1mm)少量含む/注No.22、31、60、65、カマド一括(旧H35号住)	南比企	9C	底部片
		8	H60 号住居跡	土師器・台付糞	10.2	—	—	粘土組織上。脚部横撫で。胴部外面斜方向のヘラ削り。胴部内面横方向の撫で/にぶい褐色/砂粒(～1mm)極多量/注No.51、55、56		9C	口縁部～脚部の3/4以上残存
		9	H60 号住居跡	土師器・糞	(22.0)	—	—	粘土組織上。口縁部横撫で。胴部外面斜方向のヘラ削り。胴部内面横方向の撫で/橙色/砂粒(～1mm)多量、輝石含む/注No.20(旧H35号住)		9C	口縁部片
		10	H60 号住居跡	土師器・糞	—	(5.0)	—	粘土組織上。外面縦方向のヘラ削り、内面横方向の撫で/にぶい褐色/砂粒(～1mm)多量/外面煤付着/注No.42、63(旧H35号住)		9C	底部片
		11	H61 号住居跡	縄文土器・鉢	—	—	—	条痕文/注No.H3(旧H37号住)		縄文早期	胴部片
		12	H61 号住居跡	須恵器・環	—	(5.0)	—	轆轤成形。右回転糸切後未調整/灰黄褐色/砂粒(～3mm)少量含む/注No.B区No.4(旧H37号住)	南比企	9C	底部片
		13	H61 号住居跡	陶器・灰釉陶器・碗	(17.8)	7.5	5.7	轆轤成形。底部回転糸切後、回転ヘラ削り。高台貼り付け撫で調整/内面見込みを除き灰釉を右回転→左回転(巾着型)/灰白色/砂粒(～3mm)多量含む/注No.B区No.3、B区カクラン(旧H37号住)		9C中葉～9C第4	1/2以下残存/K90様式
		14	H61 号住居跡	須恵器・壺	—	7.5	5.7	轆轤成形/黒褐色/砂粒(～3mm)多量含む/注No.カマドNo.11、B区カクラン(旧H37号住)		8C～9C	1/2以下残存
		15	H61 号住居跡	須恵器・糞	(29.0)	—	—	轆轤調整。口縁部折り返される/灰黄色/砂粒(～1mm)少量含む/注No.H5(旧H37号住)	南比企	8C～9C	口縁部片
		16	H61 号住居跡	土師器・糞	(21.5)	—	—	粘土組織上。口縁部横撫で/橙色/砂粒(～1mm)多量、輝石含む/注No.H1(旧H37号住)		9C	口縁部片
		17	H61 号住居跡	土師器・台付糞	—	(10.1)	—	粘土組織上。内外面横撫で/灰黄褐色/砂粒(～1mm)多量含む/注No.H3(旧H37号住)		9C	脚部
		18	H61 号住居跡	土製品・支脚	—	(8.8)	—	側面縦方向のヘラ削り、底部ヘラ削り/橙色/注No.カマド3(旧H37号住)		奈良・平安	上部欠損
		19	H62 号住居跡	須恵器・環	12.3	6.3	3.8	轆轤成形。右回転糸切後未調整/灰黄色/砂粒(～5mm)多量含む/見込みに「用」の墨書有。/注No.4(旧H38号住)	南比企	9C前半	完形
20	図	20	土坑1	須恵器・環	(12.1)	—	—	轆轤成形/灰黄色/砂粒(～3mm)少量、海面骨針多量含む/注No.11	南比企	9C	口縁部片
		21	土坑1	土師器・台付糞	—	—	—	粘土組織上。内外面横撫で/にぶい褐色/砂粒(～1mm)少量/外面煤付着/注No.5		9C	胴脚接合部
		22	土坑1	土師器・糞	(29.0)	—	—	粘土組織上。口縁部横撫で。胴部外面横方向のヘラ削り。胴部内面横方向の撫で/橙色/砂粒(～1mm)多量、輝石含む/注No.9、10		9C	口縁部片
		23	土坑1	須恵器・糞	(31.2)	—	—	轆轤調整。口縁部折り返される/暗灰黄色/砂粒(～3mm)少量含む/注No.1、2、H9	南比企	8C～9C	口縁部片
		24	土坑3	陶器・鉄絵皿	(11.8)	(7.2)	2.7	轆轤成形。底部回転糸切後、高台貼り付け撫で調整。見込みに重ね焼痕有。口縁は外反し端部が立ち上がる/口縁内面に灰釉。見込みに鉄絵/暗灰黄色/内外面に煤、タール付着/注No.3D	瀬戸・美濃	17C後半～18C前半	1/4以下残存
		25	土坑3	陶器・志野皿	(12.0)	(7.0)	2.1	轆轤成形。底部回転糸切後、高台削り出し/高台内の一部を除き、長石釉/灰白色/注No.3D	瀬戸・美濃	17C後半	1/2以下残存
		26	土坑3	陶器・天目茶碗	—	(4.4)	—	轆轤成形。底部回転糸切後、高台削り出し/高台を除き、鉄釉/黒色/注No.3D		17C	底部片
		27	溝1	土師器・台付糞	—	(11.2)	—	粘土組織上。内外面横撫で/にぶい褐色/砂粒(～1mm)多量含む。/内面煤付着/注No.3M		9C	脚部
		28	溝3	須恵器・環	—	(7.0)	—	轆轤成形。右回転糸切後未調整/にぶい褐色/砂粒(～1mm)少量含む/注No.3MB区	南比企	8C後半～9C前半	底部片
		29	溝3	磁器・丸碗	—	(3.6)	—	轆轤成形/染付。外面丸に梅文。見込みに二重圏線と五弁花(?)/注No.3M	肥前	1690～1780年代	底部片
		30	溝5	須恵器・糞	(50.0)	—	—	轆轤調整。口縁部折り返される/口縁部外面4本歯の櫛状工具による波状文。外面に自然釉/灰オリーブ色/砂粒(～5mm)多量含む/注No.5MB区	南比企	8C～9C	口縁部片
		31	遺構外	陶器・端反碗	(8.4)	—	—	轆轤成形/灰釉。口縁部に緑釉の流し掛け。貫入有/注No.H5・6	京都・信楽	1780～1860年代	1/2以下残存
		32	遺構外	陶器・輪壳皿	(11.5)	(4.2)	4.4	轆轤成形。底部回転糸切後、高台削り出し。口縁は外反する/口縁外面から内面に灰釉。(輪壳はされない)/浅黄色/注No.H3	瀬戸・美濃	17C後半	1/4以下残存
		33	遺構外	陶器・天目茶碗	—	(4.3)	—	轆轤成形。底部回転糸切後、高台削り出し/高台を除き、鉄釉/黒褐色/注No.H3		17C	底部片
34	遺構外	磁器・碗	—	(4.0)	—	轆轤成形/いわゆる「くらわんか手」。畳付は無釉/注No.H11	肥前	1690～1800年代	底部片		
35	遺構外	磁器・碗	—	(3.0)	—	轆轤成形/高台除き灰釉/浅黄色/注No.H10	京都・信楽	1780～1860年代	底部片		
36	遺構外	焼締め陶器・壺	—	—	—	粘土組織上。轆轤調整/肩部に耳が付く。(三耳壺か四耳壺)/褐色/注No.H12	常滑	中世	胴部片		
37	遺構外	陶器・片口鉢	—	—	—	粘土組織上。轆轤調整。方口部分を削り、注口を貼付け/底部付近を除き、内外面灰釉/明黄褐色/注No.H3	瀬戸・美濃	18C後半～19C前半	1/4以下残存		
38	遺構外	石器・ノコ	2.40	1.32	1.02	重量2.54g/注No.H8	黒曜石	旧石器			
39	遺構外	石器・打製石斧	9.10	5.30	2.25	重量116.2g 両極敵打技法/注No.H5	ホルンフェルス	縄文時代	完形		
40	遺構外	瓦・転用砥石	7.9	3.0	1.2	平瓦を転用。瓦の表面を残し、残り3面を砥面として利用/注No.H5		中世～	完形		
41	遺構外	銭貨・銅貨	外径2.50	穿径0.74	0.17	重量3.73g 鋳造/注No.H5		中世～	完形		
42	遺構外	石製品・板碑	10.8	7.3	2.9	重量368.57g/注No.H3	緑泥片岩	中世	1/4以下残存		

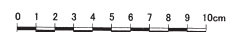
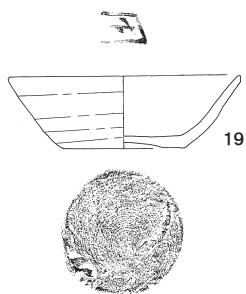
H60 号住居跡



H61 号住居跡

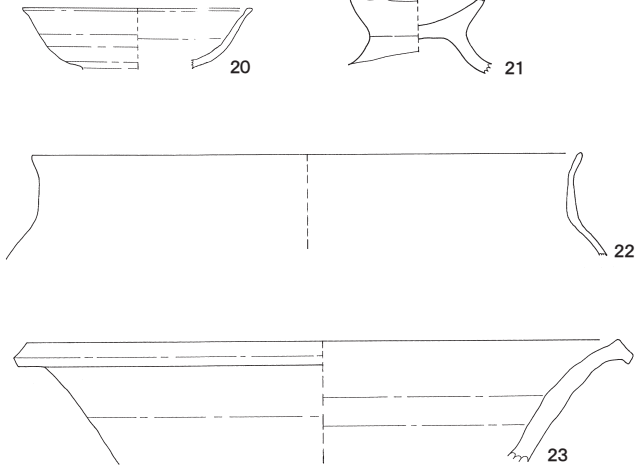


H62 号住居跡

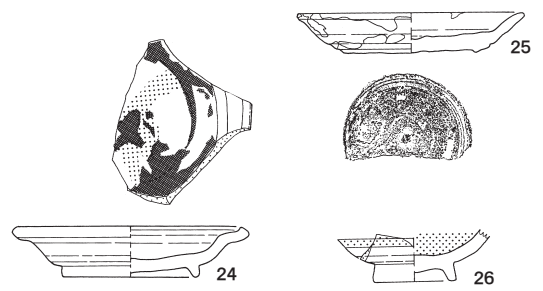


第47図 川崎遺跡第30地点 H60・H61・H62 号住居跡出土遺物 (1/4)

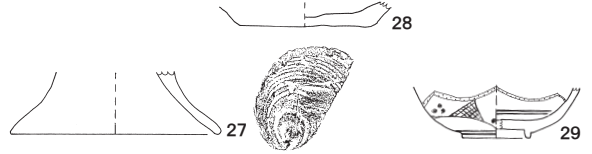
土坑 1



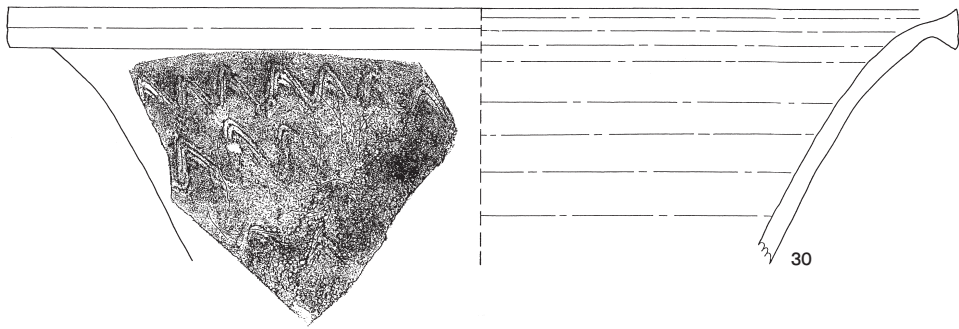
土坑 3



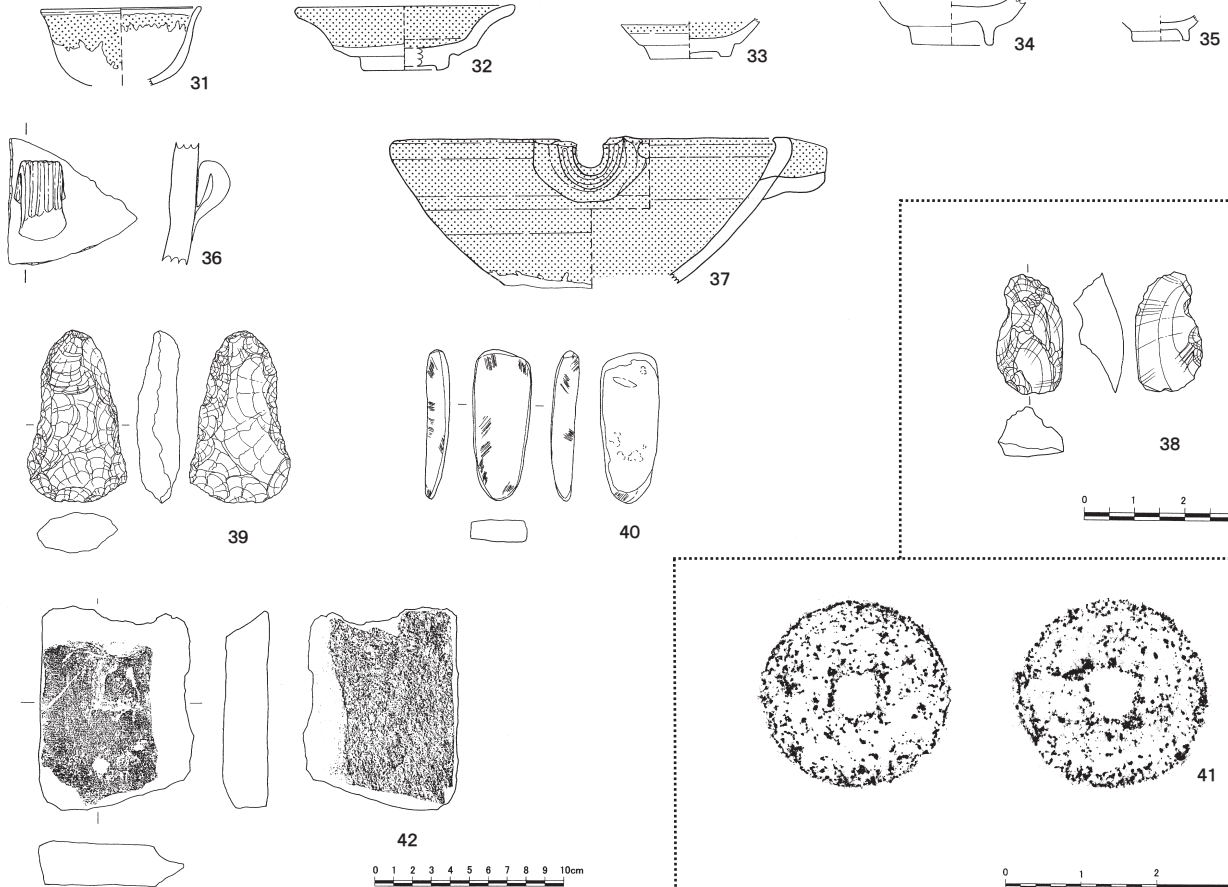
溝 3



溝 5



遺構外



第48図 川崎遺跡第30地点土坑・溝・遺構外出土遺物 (1/4・2/3・1/1)

第3章 ハケ遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

ハケ遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の東側付け根に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。遺跡の北は落差2m程度のゆるい斜面を形成し、小支谷が北から入る。標高は14～16mを測る。遺跡の範囲は南北360m、東西160m以上ある。宅地開発される遺跡中央に畑が残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の北側に旧石器、縄文、古墳～奈良・平安時代、中近世の川崎遺跡が隣接し、台地続きの南東側に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の著名な上福岡貝塚、権現山遺跡がある。

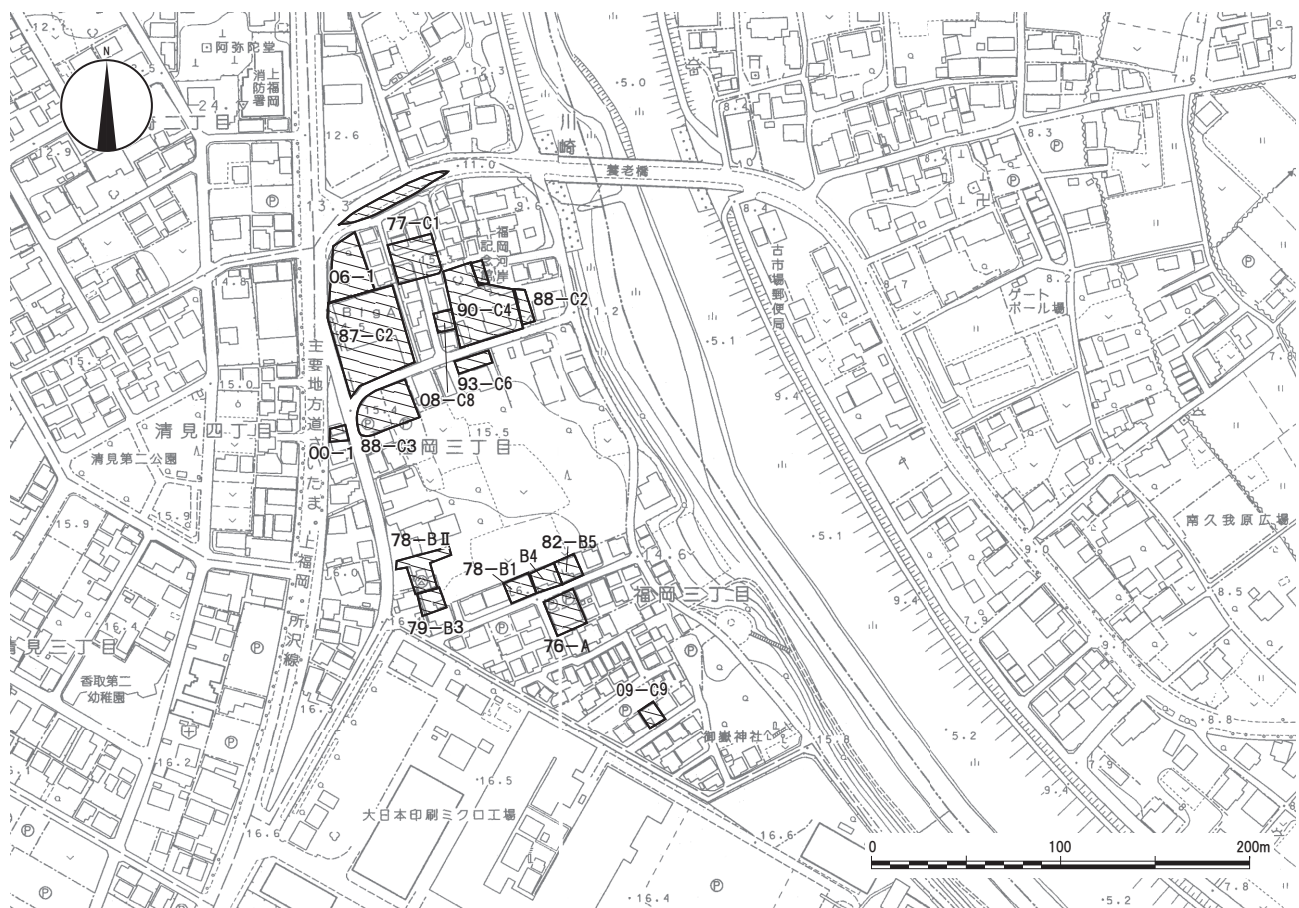
1976年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、以来13ヶ所で調査が行なわれている。主たる時代と遺構は縄文時代前期から後期の住居跡、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡、近世鍛冶遺構（旧福田屋跡）である。なお、本遺跡は便宜上東西に走る道路によって3区分され、南側からA区、B区、C区と呼称されている。

II ハケ遺跡C区第8地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅の建替えに伴うもので、原因者より2009年1月22日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡北端の台地上に立地し、南側と東側の隣接地で住居跡を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年3月17日に行なった。幅約1mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった。調査の結果、調査区全面でコンクリート片等の建築資材やローム土で盛土されていたが、さらに地山を確認するため掘り進めた結果、住居跡らしき遺構覆土を検出したので、一部掘り下げたところ、縄文時代中期の遺構跡1、奈良・平安時代の溝等を確認した。70～150cm厚の盛土があり、建築による遺構への影響がないため工事立会いとし、写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



第49図 ハケ遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第20表 ハケ遺跡調査一覧表

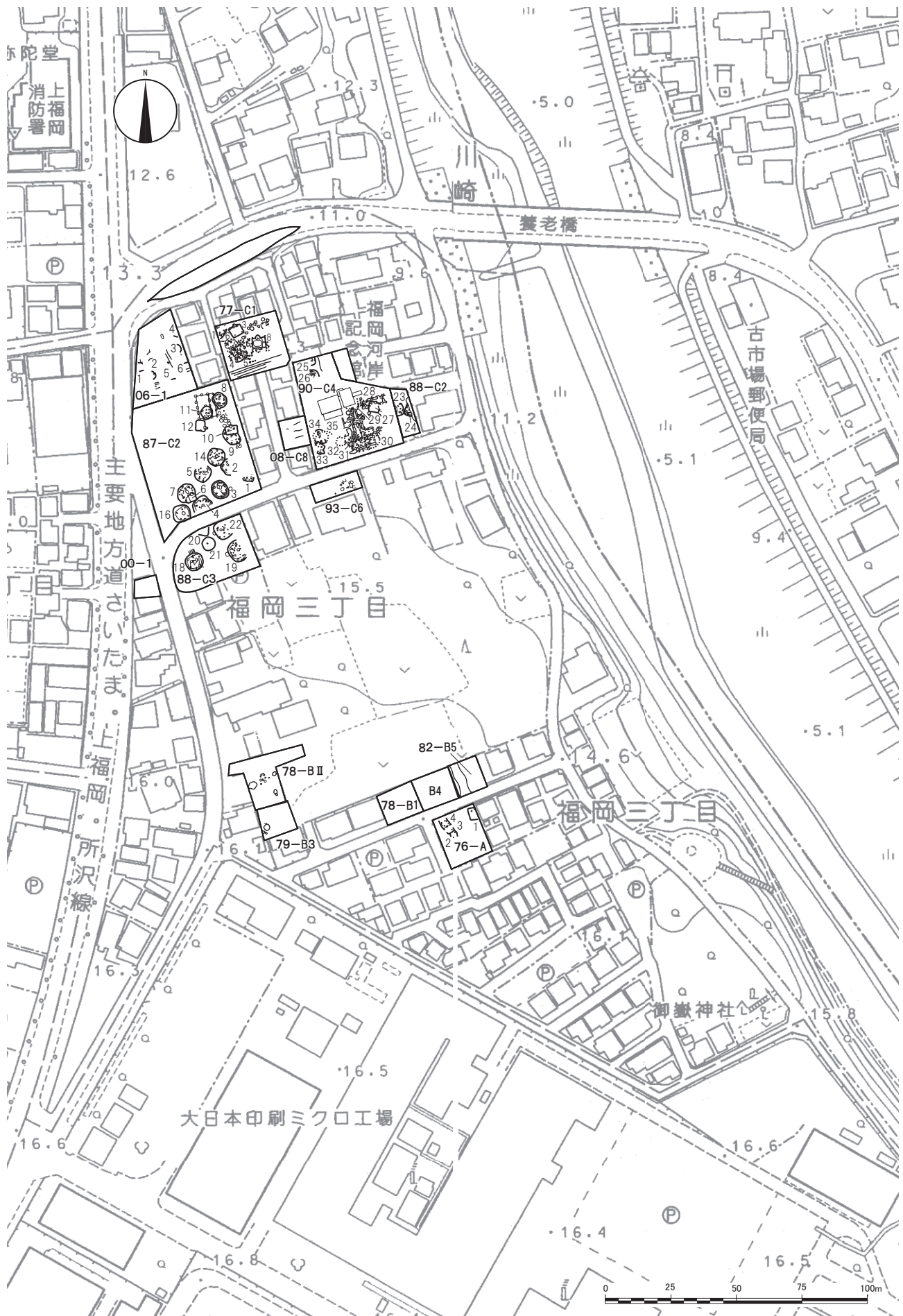
地区地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
A-1次	大字中福岡字遠見1228～2021	1976.9.11～16	306	個人住宅建設	古墳住居跡1、堅穴状遺構3、縄文土器	上福岡市遺跡調査報告書
C-1次	大字中福岡字清見1480番地	1977.8.2～27	1,794	宅地造成	縄文住居跡5、奈良平安住居跡2、堅穴状遺構、土坑、炉跡	ハケ遺跡調査会 ハケ遺跡C地区
B-1次	中福岡1228-40	1978.8.28～9.10	165	個人住宅建設	遺構無し、縄文中期土器片	埋蔵文化財の調査(I)
B-2次	中福岡1181-2	1978.9.11～25	360	貸家建設	土坑4、炉跡1、土器	埋蔵文化財の調査(I)
B-3次	中福岡1228-37	1979.7.20～31	166		土坑3、縄文土器	埋蔵文化財の調査(II)
B-5次	大字中福岡字遠見1228-46	1982.5.10～17	165		溝1、縄文中期土器	埋蔵文化財の調査(V)
C-2次	福岡3-2068の1,2	1987.4.16～5.29	1,900	倉庫付住宅改築	縄文中期住居跡11、奈良平安住居跡4、掘立1	埋蔵文化財の調査(X)
C-3次	福岡2-2-1	1988.8.15～20	627	駐車場設置	縄文中期住居跡4、平安住居跡2	埋蔵文化財の調査(11)
C-試	福岡3-4-2	1988.10.24～28	60	擁壁改修工事	縄文前期住居跡1	埋蔵文化財の調査(11)
C-4次	旧福田屋敷地内	1990.6.20～9.6	500	河岸記念館	旧福田屋柱礎石跡、鍛冶屋建物跡、(礎石・火処3・物置跡・粘土貼りつけ円形小堅穴)・江戸前期～中期長方形土坑12・溝1・平安住居跡3・縄文中期住居跡2、縄文後・晩期住居跡3	2年度教育要覧 市史資料編
C-6次	福岡3-1189,2056-2	1993.5.6～18	141	個人住宅建設	縄文中期土坑6	埋蔵文化財の調査(16)
C-4次	福岡3-2069-1の一部	1994.6.10～1.31	54	河岸記念館管理棟・庭造成工事	縄文中期住居跡5、土坑30	埋蔵文化財の調査(17)
C-試	福岡3-1184-8	2000.1.26	100	個人住宅建設	なし	埋蔵文化財の調査(22)
C-7次	福岡3-2	(2006.7.10～22)	666	宅地造成	縄文・奈良平安遺構検出	市内遺跡群3
C区8	福岡3-2069-9	(2009.3.17)	99	個人住宅建設	住居跡確認	市内遺跡群6
C区9	福岡3-1257-7,1259-1	(2010.2.2～4)	120	個人住宅建設	土坑1、風倒木1	未報告

第21表 ハケ遺跡縄文時代住居跡一覧表 (単位 cm)

住居番号	調査年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模	炉			埋篋	周溝	主軸方位	時期	備考	文献
						地床	炉体	石囲						
1	1977	C地区1号住	1/4	(円形)	600×			○				加曾利EⅡ		ハケ遺跡C地区
2	"	C地区4号住	完掘	楕円形	(600)	○						加曾利EⅠ		"
3	"	C地区5号住	完掘	(方形)	400×500	○						諸磯		"
4	"	C地区6号住	(完掘)			○						加曾利EⅢ	7住と重複	"
5	"	C地区7号住				○	○					加曾利EⅠ		"
6	1987	C地区2次1号住	1/3					○				加曾利EⅠ		埋蔵文化財の調査X
7	"	C地区2次2号住	西1/2	隅丸台形			○		○			加曾利EⅠ	連弧文土器出土	"
8	"	C地区2次3号住	完掘	楕円形	720×600			(○)	○			加曾利EⅡ	連弧文、曾利系多い	"
9	"	C地区2次4号住	北1/2					○				加曾利EⅡ		"
10	"	C地区2次5号住	ほぼ完掘	円形	620	○						加曾利EⅡ		"
11	"	C地区2次7号住	完掘	円形	700			○				加曾利EⅡ		"
12	"	C地区2次8号住	完掘	円形					○			加曾利EⅠ	2軒の住居の重複	"
13	"	C地区2次9号住	完掘	方形	720×	○		○	○			加曾利EⅡ	10住と重複	"
14	"	C地区2次11号住	完掘	円形	450×400	○						加曾利EⅡ		"
15	"	C地区2次14号住	完掘	円形	660×640		○		○			加曾利EⅡ	3度建替え	"
16	"	C地区2次16号住	完掘	隅丸台形	670×650	○		○	○			加曾利EⅡ		"
17	1988	C地区3次18号住	完掘	円形	650			○	○			加曾利EⅡ	17住と重複	"
18	"	C地区3次19号住	西2/3	円形	800と500			○	○			加曾利EⅡ	2軒の住居の重複	"
19	"	C地区3次21号住	完掘	円形	460～480				○			加曾利EⅠ	滑石製垂飾品	"
20	"	C地区3次22号住	西4/5	不整形円形	700							加曾利EⅡ		"
21	1990	C地区4次23号住	1/4	(方形)								安行1	床面から土偶	市史資料編
22	"	C地区4次24号住	西側未調査	楕円形										"
23	"	C地区4次25号住	南東隅1/4	(円形)	500							加曾利EⅡ		"
24	"	C地区4次26号住	北東隅1/4	(楕円形)	600							加曾利EⅢ古		"
25	"	C地区4次28号住										加曾利EⅢ	土器片多量出土のため住居とした	"
26	"	C地区4次29号住										加曾利EⅢ古		"
27	"	C地区4次30号住										称名寺～堀之内	土器片多量出土のため住居とした	"
28	"	C地区4次31号住										堀之内	土器片多量出土のため住居とした	"
29	"	C地区4次34号住	一部	楕円形	560					○		加曾利EⅠ		"
30	"	C地区4次35号住	一部	(円形)	(800×700)	○						加曾利EⅢ		"

第22表 ハケ遺跡古代住居跡一覧表 (単位 cm)

住居番号	調査年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模	カマド		周溝	主軸方位	時期	備考	文献
						カマドK	設置壁					
1	1976	A地区LN01	1/2	隅丸方形	440×	K	北	○		鬼高		上福岡市遺跡調査報告書
2	"	C地区3号住	完掘	長方形	470×480	K	北	○		8C 3四半期		"
3	"	C地区8号住	完掘	長方形	560×388×44	K	北	○		8C 4四半期		"
4	"	C地区2次6号住	完掘	方形	300×280	K	北			国分		"
5	"	C地区2次10号住	完掘	長方形	450×300	K	北	○		8C末		"
6	"	C地区2次12号住	完掘	長方形	400×340	K	南東	○		9C後半		"
7	"	C地区2次15号住	南東1/4					○		9C後半		"
8	"	C地区2次掘立柱建物	桁行4間×梁間2間		870×470					東面に庇	8C中葉	"
9	1988	C地区3次17号住	完掘	長方形	350×290	K	北東	○		10C初頭		埋蔵文化財の調査11と市史資料編
10	"	C地区3次20号住	南東1/6							8C 3四半期		"
11	1990	C地区4次27号住	完掘	方形	400×380		北東	○		10C初頭		"
12	"	C地区4次32号住								10C初頭	カマドの痕跡が確認されたため住居とした	"
13	"	C地区4次33号住	ほぼ完掘	方形	320×340			○		8C 3四半期	カタイ金具出土	"



第50図 ハケ遺跡遺構分布図 (1/2,000)

(2) 遺構と遺物

【住居跡】 調査区北東部に位置する。元の表土は削平されたうえ、盛土されており、覆土も削平を受ける。現地表面下 120cm で検出した。東西北方向へ覆土範囲は延長しており、南側も溝状遺構で削平される。トレンチ内では 70 × 150 cm の範囲に覆土を確認した。

縄文時代中期の土器片を検出しており、覆土の様相

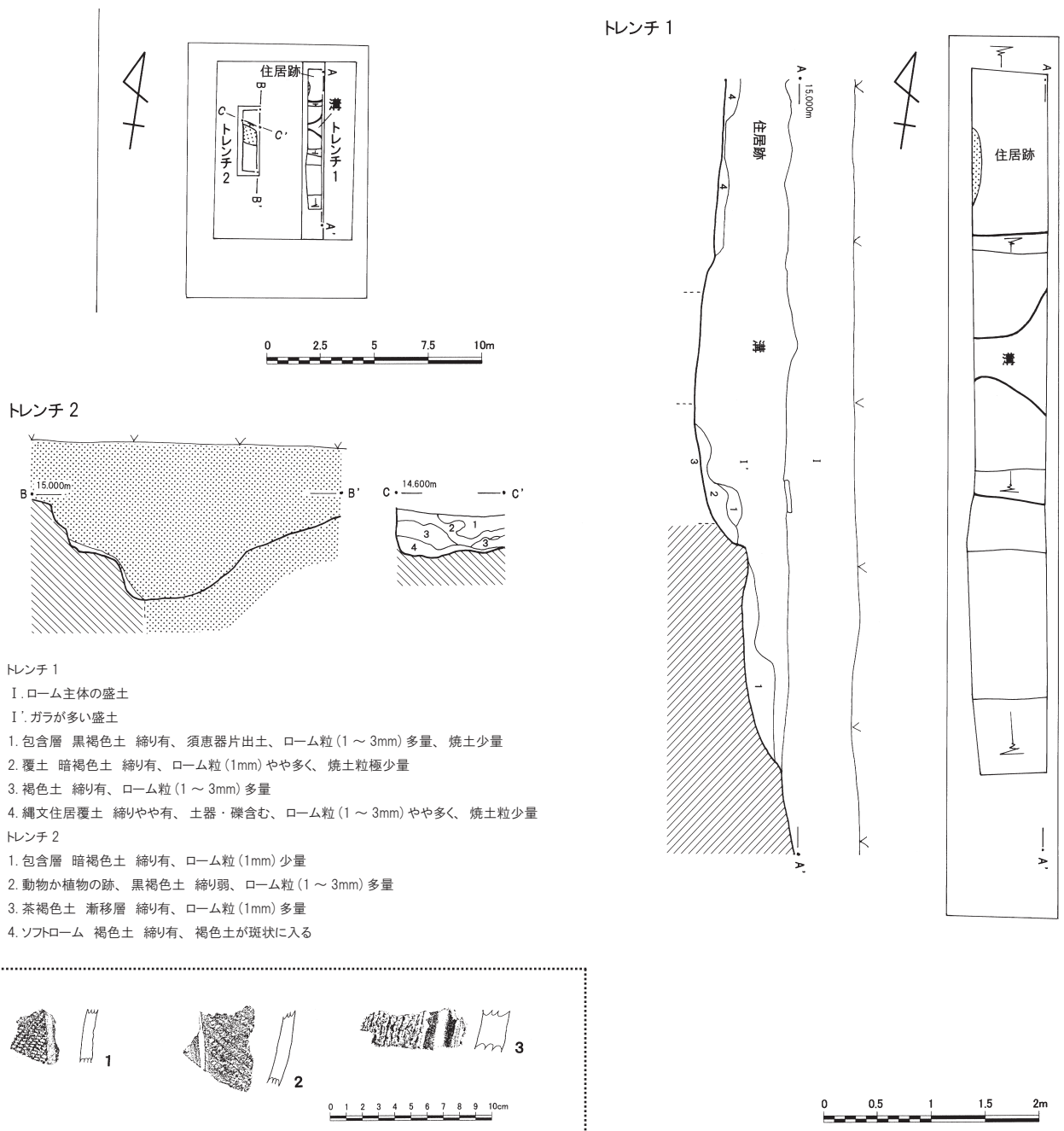
も縄文時代を示す。遺構プラン等は不明である。

【溝状遺構】 調査区東部に位置する。元の表土は削平されたうえ、盛土されており、覆土も削平を受ける。現地表面下 105cm で検出した。南側では立ち上がりをもつ。

奈良・平安時代の土器片を検出しており、覆土の様相も同時期を示す。遺構プラン等は不明である。

第 23 表 ハケ遺跡C区第8地点出土遺物観察表 (単位:cm)

図版番号	掲載番号	遺構名	種別・器種	口径・長	底径・幅	器高・厚	技法/文様/その他	石材/推定生産地	推定年代・時期	残存/備考
51 図	1	住居跡	縄文土器/鉢	-	-	-	RLR 縄文を縦位に施文後、沈線/砂粒含む/注No.1 トレNo.1		縄文中期・加曾利 E	胴部破片
	2	住居跡	縄文土器/鉢	-	-	-	RL 縄文を縦位に施文後、沈線間を磨消す/砂粒含む/注No.1 トレ		縄文中期・加曾利 E	胴部破片
	3	住居跡	縄文土器/鉢	-	-	-	燃糸文を縦位に施文後、2本組降帯を貼り付ける/砂粒多量含む/注No.1 トレ		縄文中期・加曾利 E	胴部破片



第 51 図 ハケ遺跡C区第8地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/60)、出土遺物 (1/4)

第4章 権現山遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

権現山遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の南東端部に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。また、南側は旧清水という小川が流れる低地で、やはり急傾斜の斜面を形成する。標高は16～18mを測る。遺跡の範囲は南北300m、東西300m以上ある。

周辺の遺跡は、台地続きの北側に縄文時代前期・中期・晩期、古墳時代の集落がある著名な上福岡貝塚、台地下の低地面に縄文時代早期・前期、古墳から奈良・平安時代の集落跡である滝遺跡がある。

権現山遺跡は大正6年に安部立郎氏により「権現山といふ円形古墳」(安部 1917)として紹介された。その後、1937年(昭和12年)に山内清男、関野克によって上福岡貝塚が調査された折に作成された遺構配置図には、新河岸川沿いに3群6基の古墳が記述されている。(山内 1937)戦後は『埼玉縣史』(1951)、『古墳調査報告書—入間地区—』(1961)等に古墳の記載がある。しかし、1965年に行なわれた通称「厄病塚」(権現山北古墳群2M・3M)の調査では古墳の確証が得られず、十三塚の可能性が考察されている。

一方、通称「権現山」(権現山古墳群2M)は徳川家康が鷹狩りに訪れたという伝承から、1963年に市指定文化財(上福岡市)に指定された。資料上の初見は元禄12(1699)年の「武州入間郡福岡村除地水帳」に「権現社地」の記載があり、塚の上には天保11(1840)年2月造立の「東照神祖命」の石造物が安置される。

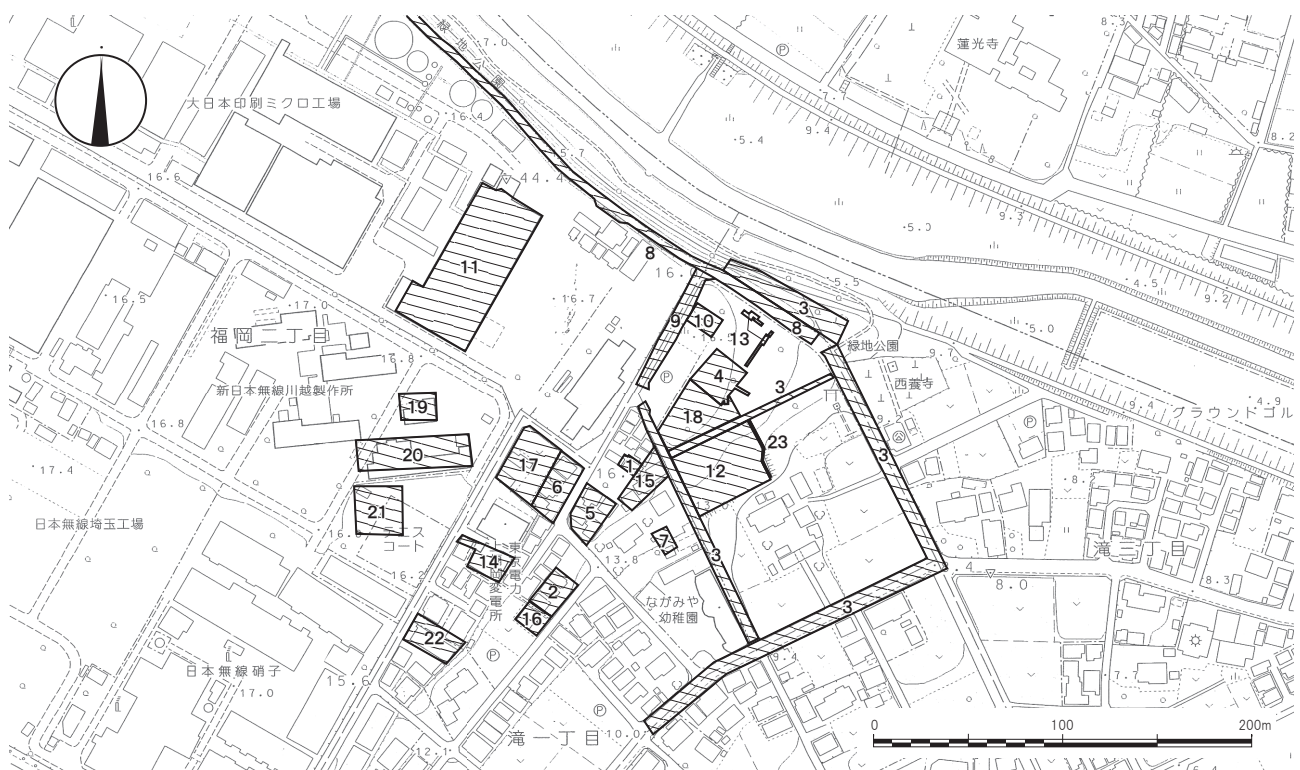
その後1982年～1993年までの6次にわたる発掘調査により、古墳時代前期の古墳群(11基)が発見され、「権現山」はいわゆる前方後方墳であることが判明し、2002年3月22日県指定文化財に指定された。

1982年以来23ヶ所で調査が行なわれている。主たる時代と遺構は縄文時代中期の集落、古墳時代前期の方形周溝墓群、古墳時代の集落、奈良・平安時代の集落である。なお、滝遺跡の第3・5・9・10次調査および、1995年と2002年の試掘は権現山遺跡の範囲に入っているため、権現山遺跡1、2、5～7、14、17地点へ変更した。

文献

安部立郎 1917「川越町付近に於ける石器時代の遺跡分布」『人類学雑誌』32巻2号

山内清男 1937「福岡構内石器時代遺跡発掘調査報告 付 関野克 住居址略報告」



第52図 権現山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第 24 表 権現山遺跡調査一覧表

地点番号	所在地	調査期間()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	収録報告書
1	滝 1-4-15	1980.6.27 ~ 7.3	76	個人住宅	古墳住居跡 1、甕 (旧滝 3 次)	埋蔵文化財の調査 (Ⅲ)
2	滝 1-3-21	1980.7.20 ~ 31	330		遺構無し、中世以降陶器片 (旧滝 5 次)	埋蔵文化財の調査 (Ⅲ)
3	滝 3-4-7	1982.1.20 ~ 2.6	50	自転車置場設置 (公共事業)	古墳方形周溝墓、壺形土器、縄文中期住居跡 1、縄文土器多数	56 年度教育要覧
	滝 1-5-4	1982.12.8 ~ 28	200	範囲確認調査	古墳方形周溝墓 6、古墳住居跡 1	埋蔵文化財の調査 (Ⅴ) / 上福岡市史資料編 1
4	滝 1-5-4	1983.5.18 ~ 6.28	100	範囲確認調査	古墳住居跡 1、方形周溝墓 1	埋蔵文化財の調査 (Ⅵ)
5	滝 1-4-4	1984.5.11 ~ 22	466	住宅建設	溝 2 (旧滝 9 次)	埋蔵文化財の調査 (Ⅶ) / 上福岡市史資料編 1
6	滝 1-3-17	1984.6.1 ~ 12	363	住宅建設	古墳住居跡 1、溝 4、土坑 3 (旧滝 10 次)	埋蔵文化財の調査 (Ⅶ) / 上福岡市史資料編 1
7	滝 1-4-2	1984.6.28 ~ 30	33	物置建設	集石 2、土坑 2 (旧滝 11 次)	埋蔵文化財の調査 (Ⅶ) / 上福岡市史資料編 1
8	大字福岡 1500	1985.1.20 ~ 2.25		市道舗装工事	方形周溝墓 2、古墳 3、須恵器・壺形土器	59 年度教育要覧 / 上福岡市史資料編 1
9	滝 1-4-8	1985.8.9 ~ 9.9	430	範囲確認調査	古墳住居跡 2、平安住居跡 2	埋蔵文化財の調査 (Ⅷ)
10	滝 1-5-9,10	1986.2.10 ~ 22	202	範囲確認調査	第 2 周溝墓の前方部の調査	埋蔵文化財の調査 (Ⅷ)
11	福岡 3-1187-4	1988.6.7 ~ 6.14	3,200	工場増築	古墳 1、奈良・平安住居跡 4	
12	滝 1-6-7	1989.2.20 ~ 3.6	2,000	農地改善工事	古墳住居跡 3、方形周溝 4、古墳溝跡 1、中世大溝跡 1、時期不明溝跡 1	埋蔵文化財の調査 (11) / 上福岡市史資料編 1
	滝 1-6-1	1989.5.8 ~	1,724	農地改善工事	方形周溝 4	H1 年度教育要覧
13	滝 1-5-4	1993.7 ~ 8		範囲確認調査	2 号墳、11 号墳のトレンチ調査	上福岡市史資料編 1
14	滝 1-3-13	1995.11.27 ~ 30	462	共同住宅	遺構・遺物無し (旧滝試掘)	埋蔵文化財の調査 (18)
15	滝 1-4-3	1996.4.15 ~ 5.7	396	個人住宅	古墳住居跡 1、溝 1 (時期不明)	埋蔵文化財の調査 (19)
16	滝 1-3-49	2002.5.29 ~ 30	165	個人住宅	遺構・遺物無し (旧滝試掘)	埋蔵文化財の調査 (25)
17	滝 1-3-16	2004.5.17 ~ 27	856	範囲確認調査	奈良堅穴住居跡 2 (16、17 号) 【調査済み】	埋蔵文化財の調査 (27)
18	滝 1-5-4	2006.4.25 ~ 27		古墳群保存整備工事		
19	字福岡 2-1500-23 (工場内)			工場増築		
20	字福岡 2-1500-23 (工場内)			工場増築		
21	字福岡 2-1500-23 (工場内)			工場増築		
22	滝 1-3-58 ~ 60			住宅建設		
23	滝 1-6-7	2008.10.23 ~ 29	1,576	古墳群保存整備工事	遺構・遺物無し	

Ⅱ 権現山遺跡第 23 地点

(1) 調査の概要

調査は古墳整備事業に伴うもので、ふじみ野市長より 2008 年 10 月 1 日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は古墳群の中にあるため、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 10 月 23 日から同月 29 日まで行なった。幅約 0.5 m のトレンチ 1 本を設定し、人力で表土除去後、表面精査を行なった。調査の結果、遺構覆土を検出したので、一部掘り下げたところ、中世以降の土坑 3 基、集石 1 基を確認した。調査地は南向きの斜面地で、南側の低地へ向かうにつれ、地山の傾斜が強くなり、南側トレンチでは地山を確認していない。建築による遺構への影響がないため工事立会いと、写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。なお、旧石器時代の確認

調査はしていない。

(2) 遺構と遺物

【土坑 1】トレンチ北側で端部を検出。覆土は軟質な茶褐色土。

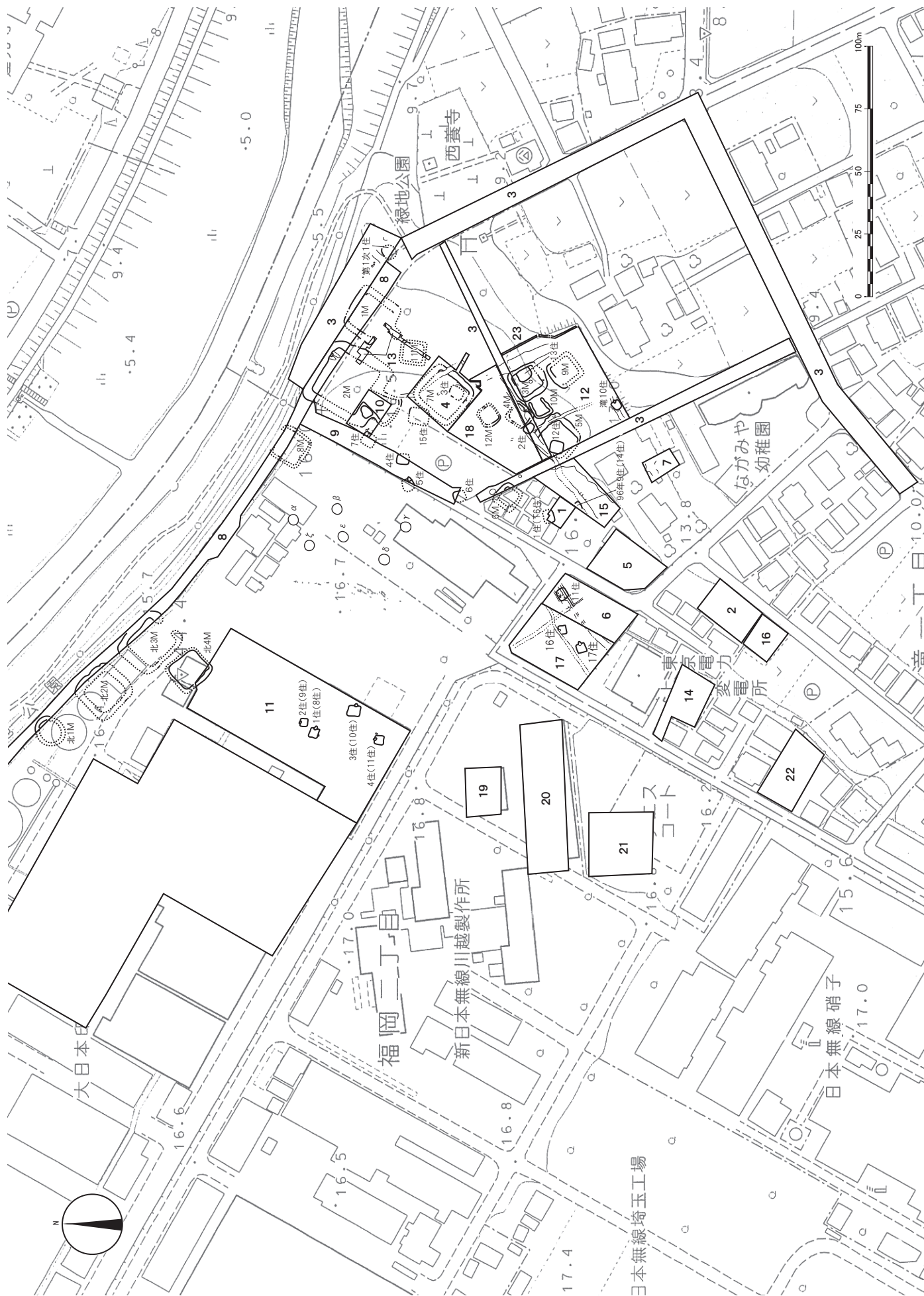
【土坑 2】トレンチやや北寄りに一部を検出。覆土は軟質な黒褐色土。

【土坑 3】トレンチ中央に検出。覆土は軟質な黒褐色土。

【集石】トレンチ中央で検出、径 1 ~ 5 cm の礫が隙間なく埋る。中世以降。

第 25 表 権現山遺跡第 23 地点遺構一覧表 (単位 cm)

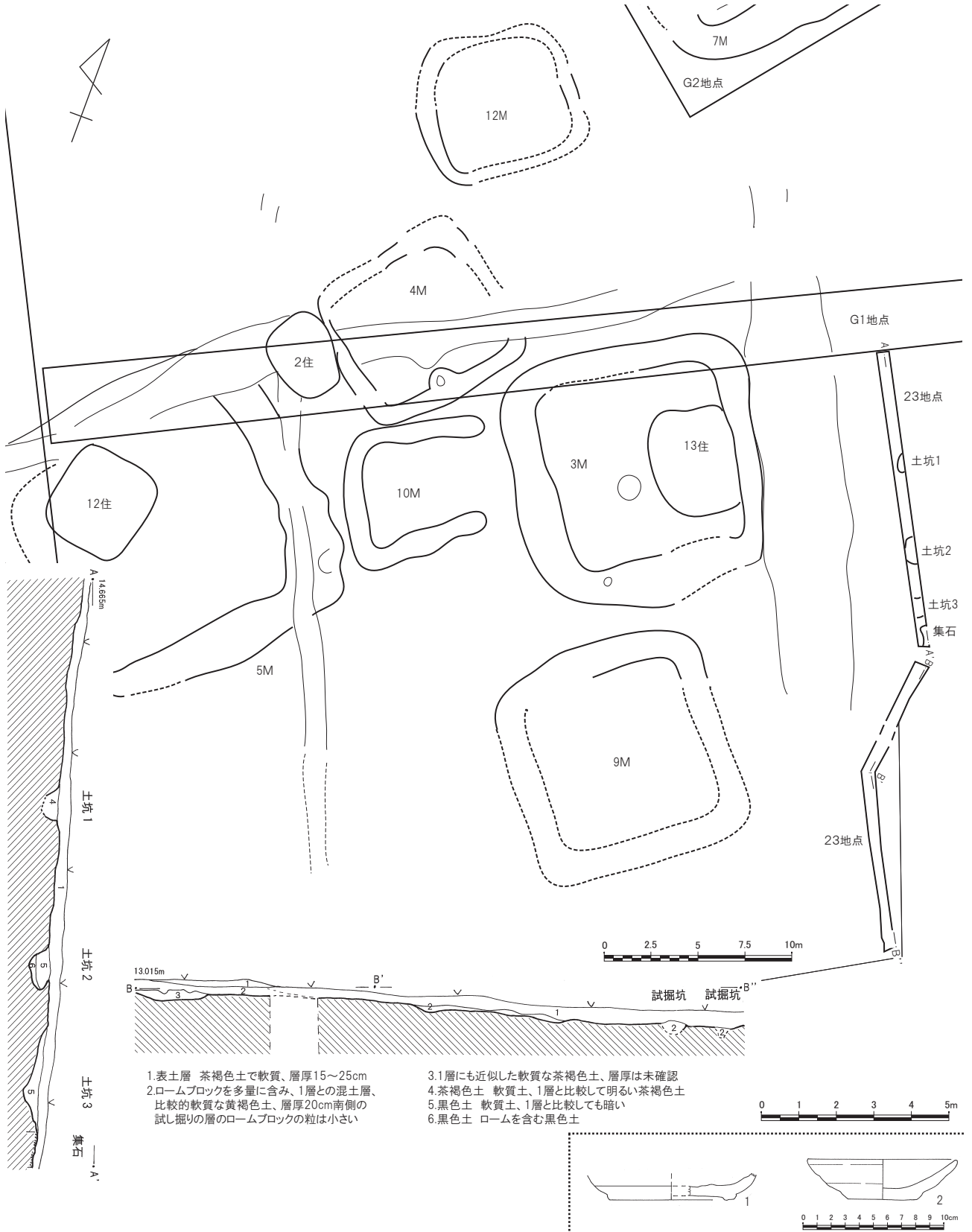
No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
土坑 1		(95) × (20)			東側へ伸びる、底は未掘
土坑 2		(95) × (40)	(75) ×	58	東西側へ伸びる
土坑 3		(260) × (40)			東西側へ伸びる、集石より古
集石		(90) × (40)			土坑 3 より新



第53図 権現山遺跡遺構分布図 (1/2,000)

第26表 権現山遺跡第23地点出土遺物観察表 (単位cm)

図版番号	掲載番号	遺構名	種別・器種	口径・長	底径・幅	器高・厚	技法/文様/その他	石材/推定生産地	推定年代・時期	残存/備考
54 図	1	北側トレンチ	須恵器・碗	—	(9.0)	—	轆轤成形。底部回転糸切後高台貼付け / 黄灰色 / 砂粒 (~ 1 mm) 少量 / 注No北側トレンチ 2		9C	底部
	2	北側トレンチ	土器・カフラケ	(10.8)	(5.0)	2.8	轆轤成形。底部回転糸切後未調整 / にぶい黄橙色 / 砂粒 (~ 0.5 mm)、赤色粒子 (~ 0.5 mm) 少量 / 注No北側トレンチ 1		16C	1/4以下残存



第54図 権現山遺跡第23地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、出土遺物 (1/4)

第5章 亀居遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

亀居遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部に位置している。標高 25 ～ 26 m で現谷底との比高差は 5 m を測る。本遺跡をのせる北側の台地は急傾斜をなすが、対岸の南側は緩やかな斜面を形成している。遺跡の時期は、旧石器時代及び縄文時代中期前葉で、特に後者は周辺では類例の少ない単一集落である。江川南遺の立地とあわせて台地の奥に形成された中期前葉の遺跡のあり方として特異な様相が窺える。遺跡周辺は、土地区画整理事業により区画道路が縦横にとりつけられ、宅地化が進んでいる。

1977 年の最初の調査から 2010 年 3 月現在まで 64 地点で調査され、縄文時代中期前半の住居跡 16 軒、屋外埋甕 2 基、集石土坑 99 基、土坑、ピット多数が確認されている。

遺物は阿玉台式、勝坂式土器が主体で一部五領ヶ台上層期の土器片も出土している。

II 亀居遺跡第 63 地点

(1) 調査の概要

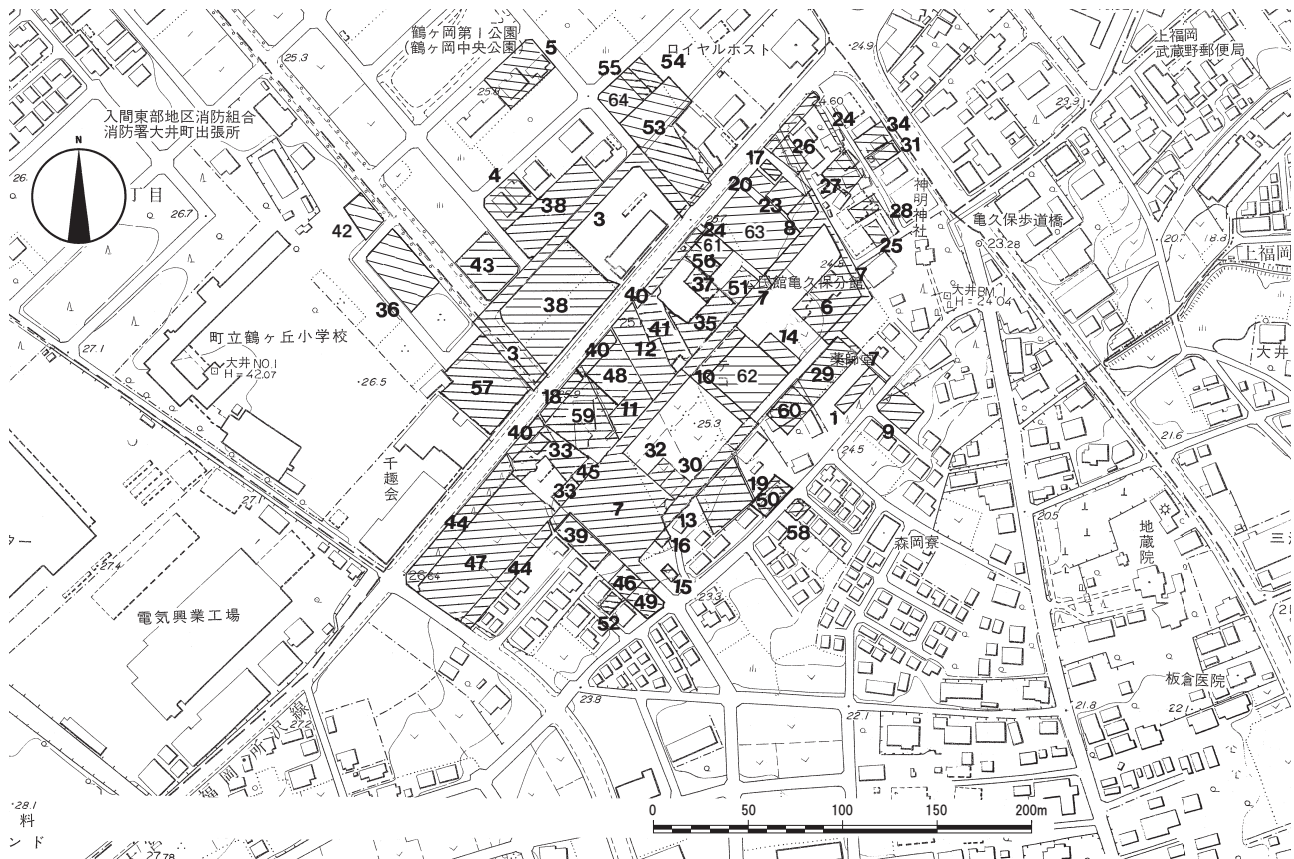
調査はモデルルームの建設に伴うもので、原因者よ

り 2008 年 7 月 11 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置し、隣接地からは縄文時代の住居跡、集石等遺構が多数検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 9 月 17 日から同年 10 月 3 日及び 10 月 14、15 日に行なった。幅約 2 m のトレンチ 5 本を設定、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、住居跡、土坑等を確認した。確認面まで 40 ～ 60 cm を測るが、建築による遺構への影響がないため工事立会いとし、写真撮影・平板測量による全測図や遺構図面作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。調査の結果検出した遺構は縄文時代中期の住居跡 2 軒、土坑 3 基、ピット 29、溝 1 条である。写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない、重機で埋め戻し調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

【16 号住居跡】西側に隣接する第 61 地点で検出した第 16 号住居跡の続きを検出した。全体の形状は東西方向に長軸を持つ楕円形を呈し、長軸 5.1 m である。



第 55 図 亀居遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第27表 亀居遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間() は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	遺構と遺物					所収報告書
					住居	集石土坑	土坑	ピット	屋外埋藏	
1	亀久保 1001	1972	155	農地転用						町史資料編1 調査会報告8集
2	亀久保 1005	1973	350	農地転用						
3	鶴ヶ岡 161-1	1979.11~12	750	区画整理	2	1	6		1	東部遺跡群I、 調査会報告8集
4	鶴ヶ岡 2-2	(1984)		区画整理						
5	鶴ヶ岡 2-4-3	(1984)		区画整理				1		
6	亀久保 1000	1985	914	区画整理		7	4	30		東部遺跡群VI
7	亀久保 999	1986.8	2,740	区画整理	2	7	84	138		調査会報告8集
8	亀久保 1001	1986.8	181	個人住宅		2	3	11		東部遺跡群VII
9	亀久保 989-1	(1986.9)		住宅建設						
10	亀久保 1010-1	1986.10	650	区画整理	1		20	17		調査会報告8集
11	亀久保 1011-3	1987.10.13 ~ 11.13	389	個人住宅		2		73		東部遺跡群VIII
12	亀久保 1011-1	1987.11.16 ~ 12.16	387	個人住宅		1		48	1	東部遺跡群VIII
13	亀久保 1007-3	1988.8	242	区画整理	2					調査会報告8集
14	亀久保 999-4	(1988.7.22 ~ 8.3)	165	個人住宅						東部遺跡群IX
15	亀久保 1007	(1989.2)		個人住宅						東部遺跡群IX
16	亀久保 1007	(1989.2)	45	個人住宅						東部遺跡群IX
17	亀居 995-3	1989.9.14~ 18	112	個人住宅			3	8		東部遺跡群X
18	県道拡幅	1990.3	210	区画整理						東部遺跡群X
19	亀居 1007	1990.3.12~ 26	613	個人住宅						東部遺跡群X
20	亀久保 1001-3	1990.5.21~ 25	118	個人住宅			1			東部遺跡群XI
23	亀久保 1001-14.15	1990.9.3~ 10	160	個人住宅				10		東部遺跡群XI
24	亀久保 995-4	1990.12	1,324	区画整理			1	3		調査会報告8集
25	亀久保 995-7	1991.3.12~ 16	162	個人住宅						町内遺跡群I
26	亀久保 1001-14	1991.2.14~31.5	259	個人住宅		2		60		町内遺跡群I
27	亀久保 995-2	1991.5	249	個人住宅				5		町内遺跡群I
28	亀久保 995-6	1991.1.24~21	475	個人住宅		6				東部遺跡群XI
29	亀久保 992-2	1991.7	925	集合住宅	1	2		36		調査会報告3集
30	亀久保 1007- 3.1008-3	1991.7	116	個人住宅						町内遺跡群I
31	亀久保 995-2.7	1991.9	197	個人住宅						町内遺跡群I
32	亀久保 1008-1	1991.12.3~ 9	115	個人住宅				6		町内遺跡群I
33	亀久保 1011-7	1991.12~ 1992.4	998	個人住宅	1	3		42		町内遺跡群II
34	亀久保 955-2	(1992.2.13)	634	個人住宅						町内遺跡群I
35	亀久保 1012-7	1993.9.28~ 11.5	470	個人住宅	1	2	7	56		町内遺跡群III
36	鶴ヶ岡 1-2-2	(1994.2.17 ~ 18)	798	礼拝所 建設			1		落とし穴 1	町内遺跡群III

地点	所在地	調査期間() は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	遺構と遺物					所収報告書
					住居	集石土坑	土坑	ピット	屋外埋藏	
37	亀久保 1003-2.6 他	1994.2.18~ 25	566	店舗併用 住宅			1	13		町内遺跡群III
38	鶴ヶ岡 2-1-1,2-2-1	(1994.8.22~30) 1994.9	3,162	店舗		37	21	29	落とし穴 2	調査会報告 8集
39	亀久保 1008-5	(1994.8.26 ~ 29)	342	駐車場 造成			1	5	炬穴 4	町内遺跡群IV
40	亀久保 1012-5 他	1995.5	380	道路築造						調査会報告8集
41	亀久保 995-23.24 他	1995.5.31~ 8.4	530	道路築造	1			66		調査会報告8集
42	鶴ヶ岡 1-3-14	(1995.7.11 ~ 18)	196	歯科医院 建設						町内遺跡群V
43	鶴ヶ岡 2-3-1	(1995.8.9~ 30)	818	店舗兼用 共同住宅		4	2			町内遺跡群V
44	亀久保 1013-1	1995.10.22 ~ 12.4	1,030	道路築造		礫群 1	7	29	炬穴 3	調査会報告8集
45	亀久保 1008- 5.1011-5	(1996.5.15 ~ 17)	619	共同住宅				5	炬穴 1	町内遺跡群VI
46	亀久保 1007-17	(1996.6.24 ~ 25)	192	分譲住宅						町内遺跡群VI
47	亀久保 1013-1 他	(1996.9.1~9.17) 1996.10.1~ 12.11	2,741	共同住宅	1	14	4	174	落とし穴 1	調査会報告8集
48	亀久保 995-19	(1997.1.20 ~ 29)	858	プレハブ 事務所			1		炬穴 1	町内遺跡群VI
49	亀久保 1007-14	(1997.11.6 ~ 10)	214	店舗併用 住宅						町内遺跡群VII
50	亀久保 1007-5	1998.2.9~22.0 (1998.2.6)	197	個人住宅	1		1			町内遺跡群VII
51	亀久保3街区4画地	1999.6.15~7.9	222	個人住宅		6	4	11		町内遺跡群IX
52	亀久保7街区14画地	(2000.2.1~2)	121	個人住宅						町内遺跡群IX
53	鶴ヶ岡 2-28-1	(2000.10.30~ 2001.1.18)	1,422	店舗			7			町内遺跡群X
54	鶴ヶ岡 2-28-17	(2001.4.24 ~ 27)	148	個人住宅						町内遺跡群XI
55	鶴ヶ岡 2-28-16	(2001.11.14 ~ 16)	148	個人住宅						町内遺跡群XI
56	亀久保 2-13-14	2002.11.5~ 21	172	個人住宅				38		町内遺跡群XII
57	鶴ヶ岡 1-1-1	2003.4.24~ 28	1,356	店舗						町内遺跡群XII
58	亀久保 2-975-19.24	(2005.4.18)	79	個人住宅						市内遺跡群 2
59	亀久保 2-10-5	(2005.8.3~31) 2005.9.1~16	1,073	共同住宅	2	1	1			調査会報告 18集
60	亀久保 2-17-7	(2005.9.16)	293	個人住宅						市内遺跡群 2
61	亀久保 2-13-4の一部	(2006.10.4) 2006.10.10~13	88	個人住宅	1	2	1	5		市内遺跡群 3
62	亀久保 2-12-3	(2007.11.12 ~ 26)	1,284	共同住宅			28	28		市内遺跡群 4
63	亀久保 2-13-5	2008.9.17~ 10.15	998	モデルルーム	1					市内遺跡群 6
64	鶴ヶ岡 2-28-19	2008.9.1,2	907	分譲住宅						市内遺跡群 6

第28表 亀居遺跡住居跡一覧表 (単位cm)

住居 番号	調査 率	平面形 ()は推定	規模()は残存値	炉			埋裏	拡張	壁溝	備考	時期	文献
				地 床	埋 設	石 囲						
1号	完掘	楕円形	680×445×40	○	②				有	テラス状入口有	阿玉台I b古	東部遺跡群I 調査会報告8集
2号	95%	楕円形	650×530×40	○	○				有	南東端未掘	阿玉台II古	調査会報告8集
3号	90%	隅丸台形	478×410×25	○	○					北東部一部未掘	阿玉台II新	調査会報告8集
4号	95%	楕円形	415×362×30	○	○					北端部区域外	阿玉台II新	調査会報告8集
5号	完掘	楕円形	415×360×30	○	○					テラス状入口有	阿玉台I b古	町内遺跡群III
6号	完掘	円形	446×425×20	○	②				有	テラス状入口有	勝坂II新	調査会報告8集
7号	98%	楕円形	(520×470)	○	○					床面全面的に削平	阿玉台I b新	調査会報告8集
8号	完掘	楕円形	(440×350)	○	○					床面北半削平	阿玉台I b新	調査会報告8集
9号	完掘	不整形	480×470×30	○	○					柱穴内埋設土器	阿玉台II古	調査会報告8集
10号	完掘	楕円形	520×445×32	○						テラス状入口有	阿玉台I b古	町内遺跡群II
11号	完掘	楕円形	482×338×30	○	○				有	テラス状入口有・貼床	勝坂II古	調査会報告8集
12号	完掘	楕円形	463×390×25	○	○						阿玉台II古	調査会報告8集
13号	30%	(円形)	(380×?×40)	○	未掘					覆土の土器量多い	勝坂I古	町内遺跡群VII
14号	完掘	楕円形	425×370×20	○	○				有		勝坂I新	調査会報告18集
15号	完掘	楕円形	486×400×30	○	○				有	床面中央部攪乱	勝坂I新	調査会報告18集
16号	25%	(楕円形)	510×?×50	○	○					埋設時に口縁はめ込む	阿玉台II古	市内遺跡群 3、6

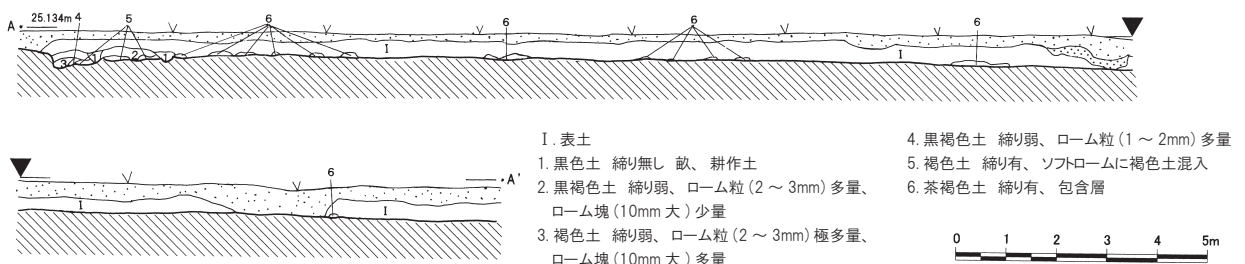
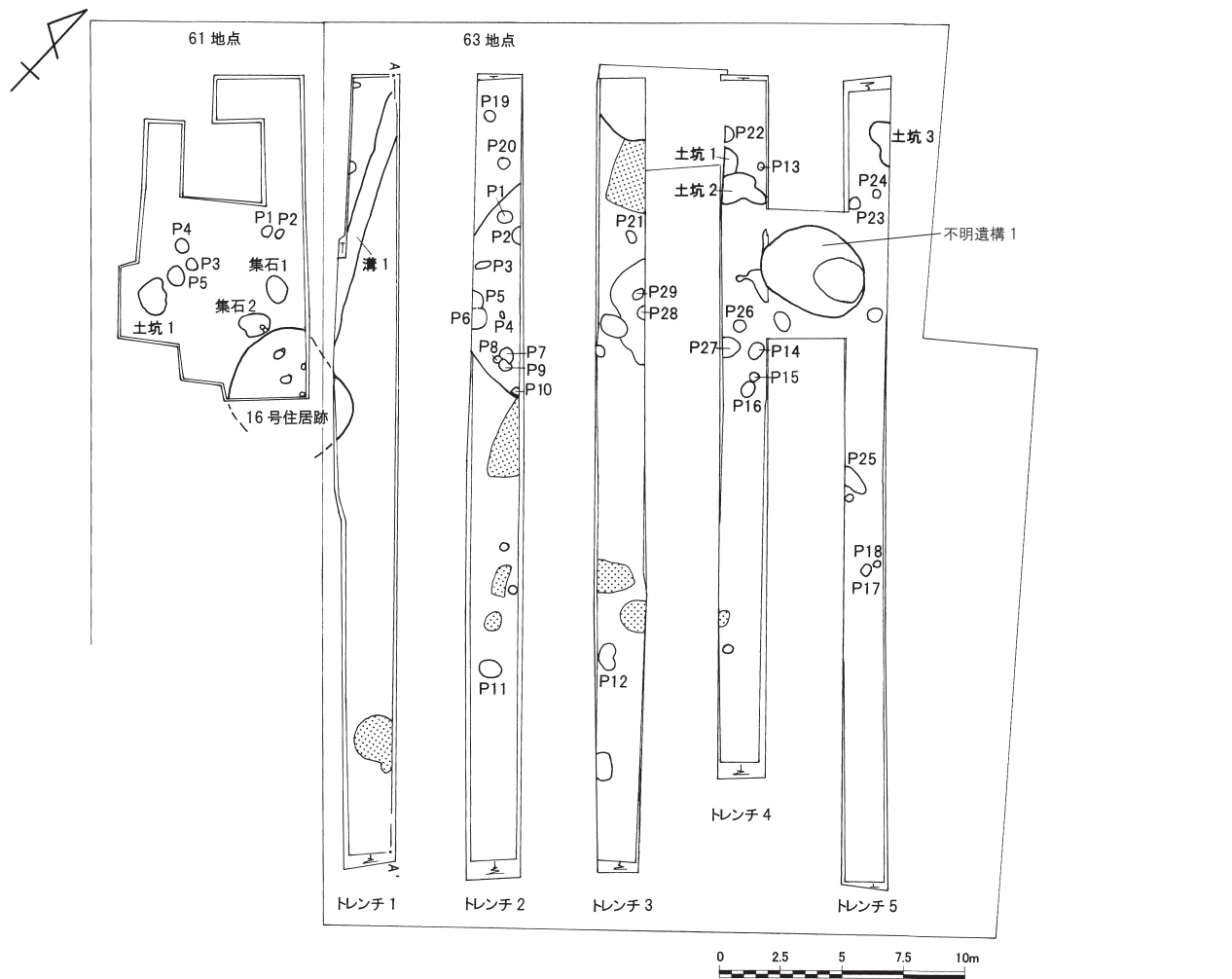
本地点で検出した部分は保護層が確保されるため未調査であるが、61地点の調査では炉体土器を検出しており、住居の時期は阿玉台Ⅱ式期である。(2008「埼玉県ふじみ野市 市内遺跡群3」参照)

【不明遺構(住居跡)】調査区北側、トレンチ4と5の中間に位置する。16号住居跡と18m、南西の4号住居跡と25m離れる。遺構プランを確認したうえで、深さを確認するため、牛蒡耕作の時に機械で掘ら

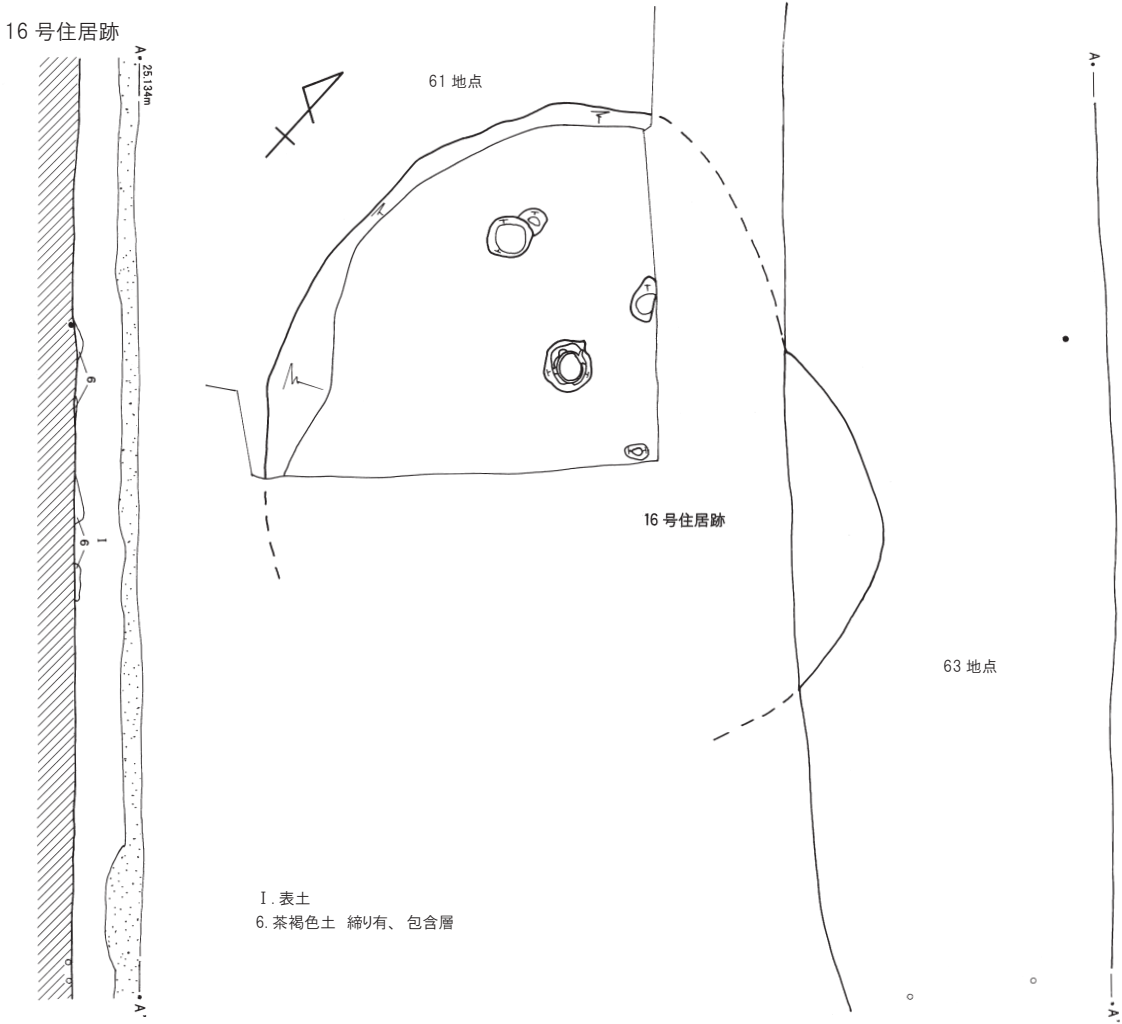
れたトレーチャー跡をサブトレンチとして掘り、調査した。全体の形状は東西方向に長軸を持つ楕円形を呈し、長軸4.1m、短軸推定3.2m、深さ16cmである。中期前半の土器破片を検出した。

【溝1】調査区北西、南北方向に位置する。区画整理前の土地境と平行しており、3m西側にある。

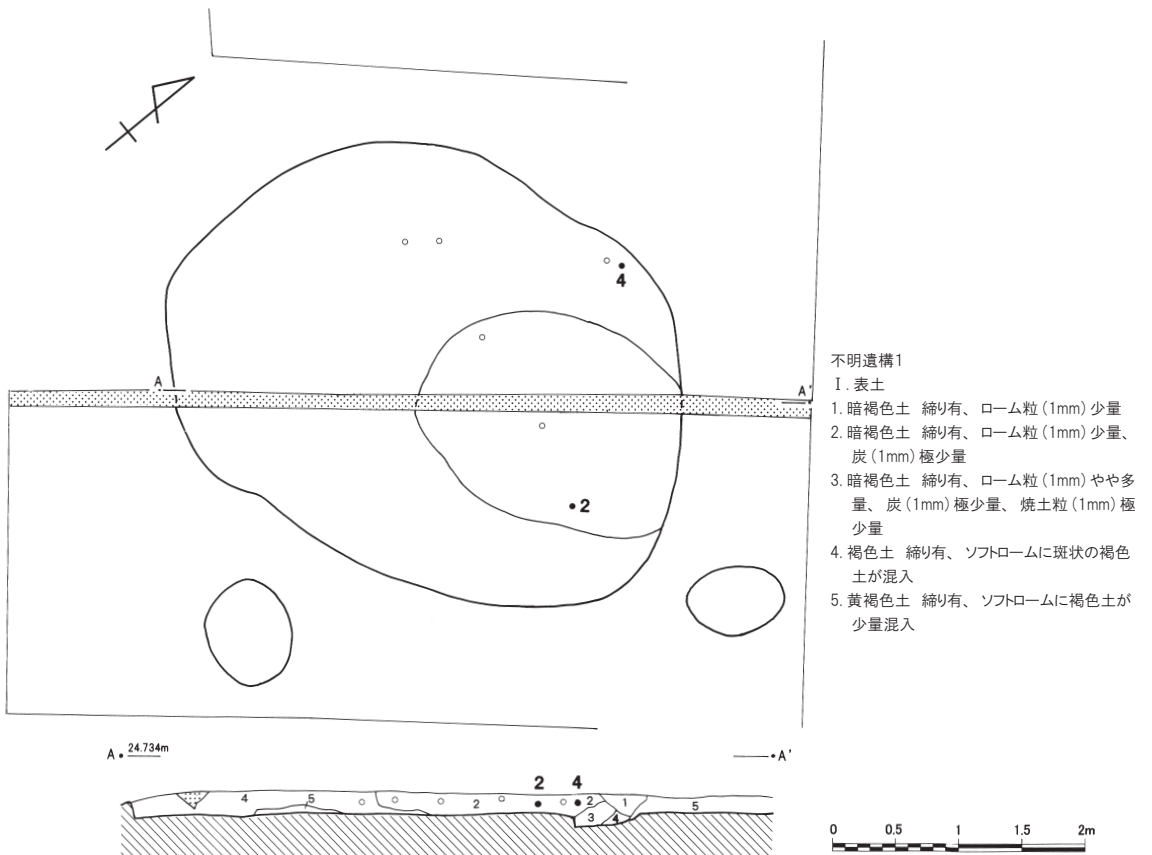
【土坑1】土坑2は焼土粒を少量含む。土坑3から土器出土。



第57図 亀居遺跡第63地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)



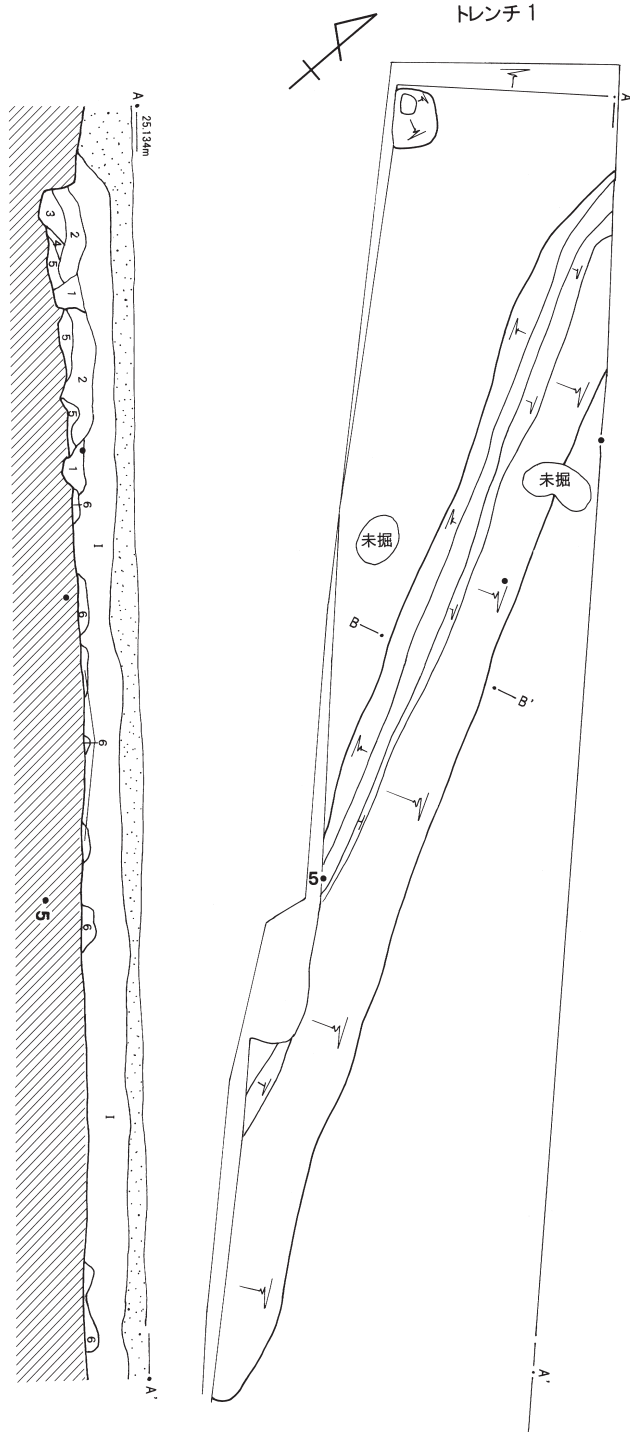
不明遺構 1



第58図 亀居遺跡第63地点16号住居跡・不明遺構 (1/60)

第29表 亀居遺跡第63地点遺構一覧表 (単位cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
溝1	南北10.0m以上の直線、北側で東に曲がる、断面「V」字、東側浅い、「片葉研」	75 ~ 80	10 ~ 16	25 ~ 31	覆土下層ローム主体、土坑1より新
土坑1	楕円形	(105) × (57)	80 ×	22	土坑2より古
土坑2	不整形	(175) ×	135 ×	15	土坑1より新、焼土粒含む
土坑3	楕円形	140 × (84)	122 × (74)	20	東へ続く、土器出土
P1	楕円形	76 × 50	34 × 14	25	土器1、2トレ
P2	楕円形	(80) × (36)	(52) × (22)	22	礫1、2トレ
P3	楕円形	65 × 42	8 × 8	17	2トレ
P4	円形	38 × 35	12 × 12	21	土器2、2トレ
P5	隅丸方形	46 × 42	20 × 16	22	2トレ
P6	楕円形	63 × 50	32 × 30	27	2トレ
P7	楕円形	64 × 45	14 × 4	35	P8と切合い、2トレ
P8	楕円形	50 × 40	20 × 18	19	P7と切合い、2トレ
P9	楕円形	36 × 25	5 × 5	23	2トレ
P10	円形	38 × 38	25 × 6	19	2トレ
P11	楕円形	127 × 96	32 × 8	63	2トレ
P12	不整形	89 × 82	25 × 10	28	3トレ
P13	隅丸方形	38 × 36	25 × 20	18	4トレ
P14	円形	65 × 62	40 × 33	22	黒曜石1
P15	円形	50 × 48	32 × 28	19	P15より新
P16	楕円形	70 × 60	52 × 40	18	P15より古
P17	円形	52 × 42	12 × 7	26	P18と同時期
P18	楕円形	55 × 45	45 × 30	11	P17と同時期
P19	円形	50 × 46	30 × 9	46	2トレ
P20	円形	60 × 48	20 × 18	21	2トレ
P21	円形	62 × 62	42 × 35	22	土器2,3トレ
P22	(楕円形) 半円	72 × (35)	56 × (30)	19	礫1、4トレ
P23	(楕円形)	(52) × 42	(42) × 16	25	5トレ
P24	円形	30 × 30	18 × 15	35	5トレ
P25	楕円形	105 × 65	×	27	礫1、5トレ
P26	楕円形	60 × 45	44 × 32	15	4トレ
P27	(楕円形)	76 × (58)	63 × (52)	12	4トレ
P28	楕円形	60 × 45	34 × 25	43	不明遺構内、3トレ
P29	(楕円形) 半円	60 × (28)	18 × (18)	34	不明遺構内、3トレ

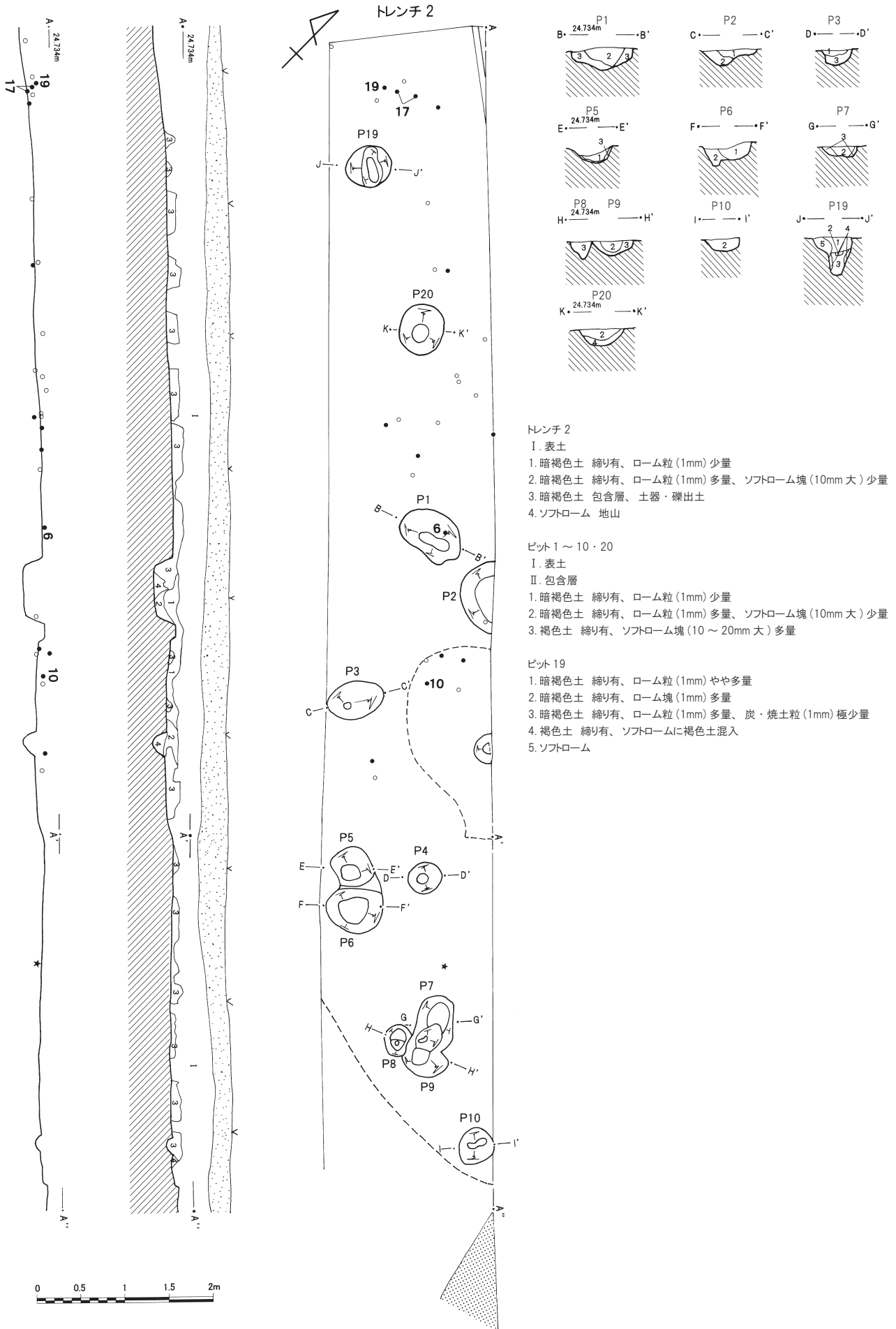


I. 表土

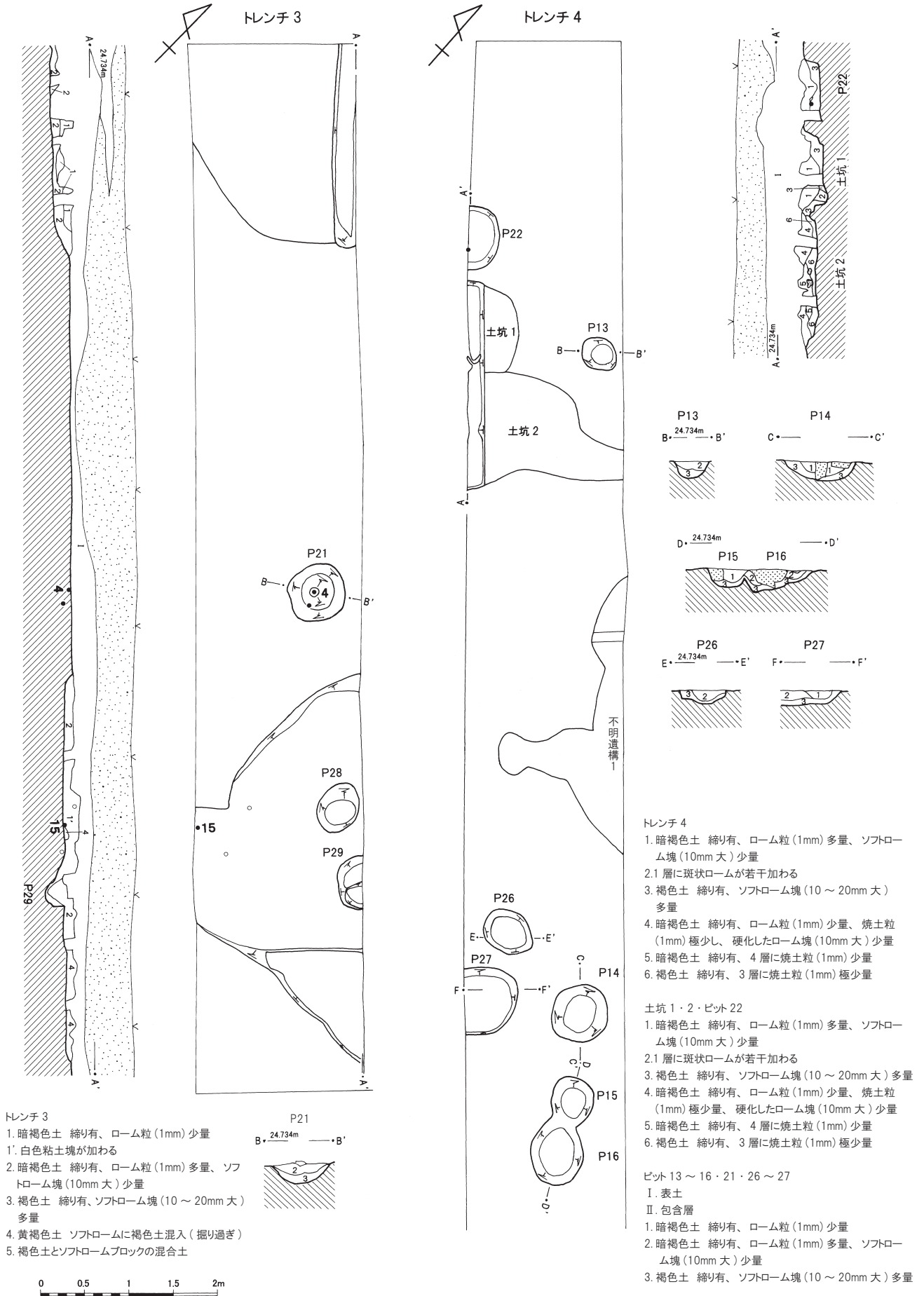
1. 黒色土 締り無、畝、耕作土
2. 黒褐色土 締り弱、ローム粒(2~3mm)多量、ローム塊(10mm大)少量
3. 褐色土 締り弱、ローム粒(2~3mm)極多量、ローム塊(10mm大)多量
4. 黒褐色土 締り弱、ローム粒(1~2mm)多量
5. 褐色土 締り有、ソフトロームに褐色土混入
6. 茶褐色土 締り有、包含層



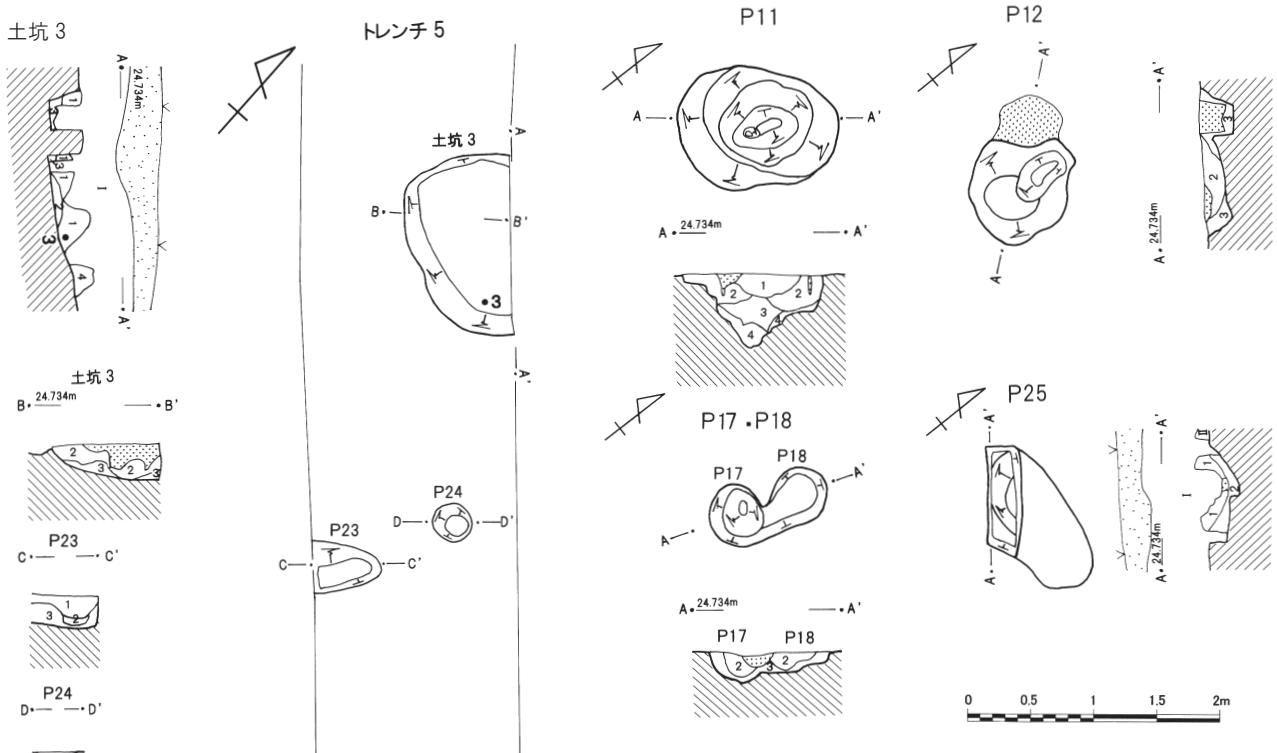
第59図 亀居遺跡第63地点トレンチ1溝 (1/60)



第60図 亀居遺跡第63地点トレンチ2ピット (1/60)



第61図 亀居遺跡第63地点トレンチ3・4ピット(1/60)

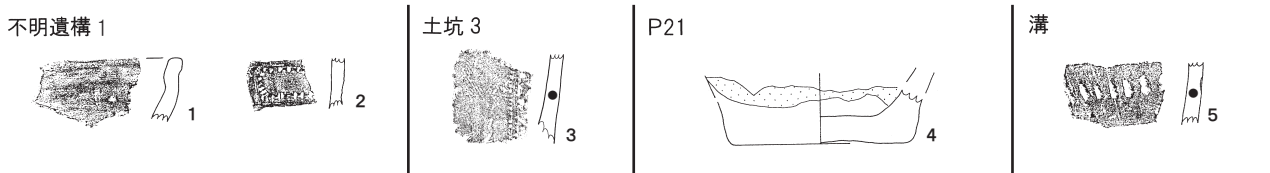


トレンチ 5・土坑 3

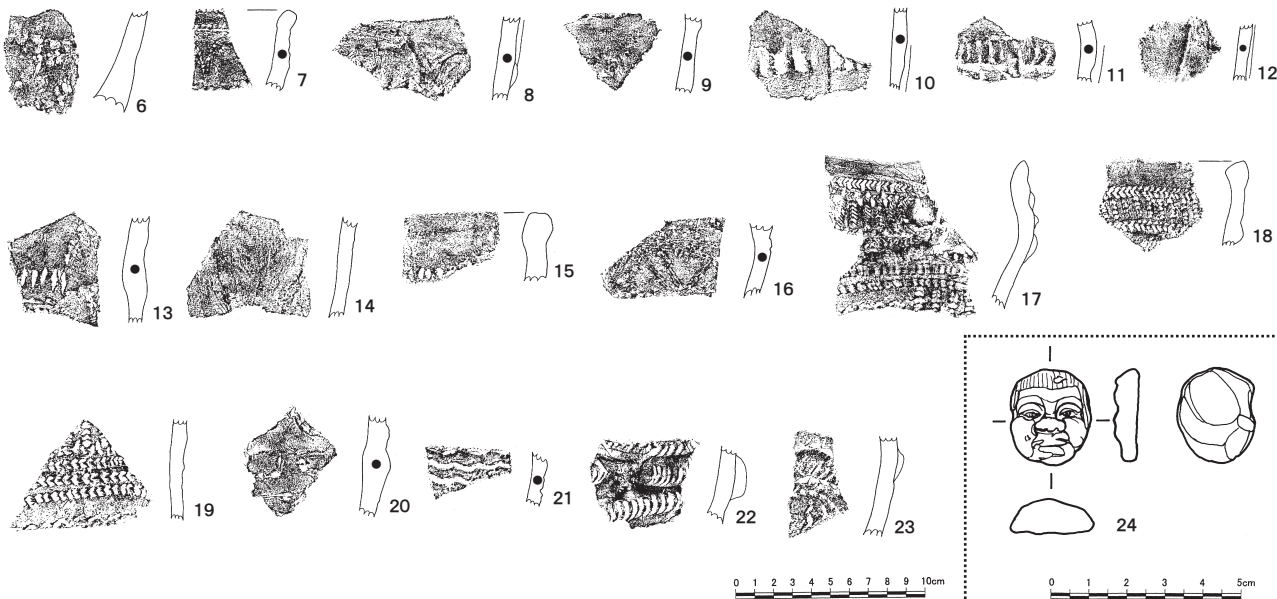
- I. 表土
 1. 暗褐色土 締り有、ローム粒(1mm)少量
 2. 褐色土 締り有、ローム粒(2~3mm)少量、ソフトローム塊(1~20mm大)斑状に少量
 3. 黄褐色土 締り有、ソフトロームに褐色土が混入
 4. 茶褐色土 包含層、II層
- ピット 11
 1. 暗褐色土 締り有、ローム粒(1mm)やや多量、炭(1mm)少量、黒色土斑状に入る
 2. 褐色土 締り有、ローム粒(1~2mm)多量、炭(1mm)少量
 3. 褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)多量
 4. 褐色土 締り弱、ローム粒(1~3mm)極多量、ローム塊(10~20mm)少量

ピット 11・12・17・18・23~25

- I. 表土
 II. 包含層
 1. 暗褐色土 締り有、ローム粒(1mm)少量
 2. 暗褐色土 締り有、ローム粒(1mm)多量、ソフトローム塊(10mm大)少量
 3. 褐色土 締り有、ソフトローム塊(10~20mm大)多量



遺構外



第 62 図 亀居遺跡第 63 地点トレンチ 5 ピット (1/60)、不明遺構 1・土坑・ピット・溝・遺構外出土遺物 (1/4・1/2)

第30表 亀居遺跡第63地点出土遺物観察表 (単位cm)

図版 番号	掲載 番号	遺構名	種別・器種	口径・ 長	底径・ 幅	器高・ 厚	技法 / 文様 / その他	石材 / 推定 生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
62 図	1	不明遺構	縄文土器・鉢	—	—	—	輪積み成形 / 無文 / 砂粒多量 / 注No.SX-2 No.4		縄文中期	口縁部片
	2	不明遺構	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 長方形区画の半隆帯内側へ刻目を巡らす / 砂粒少量 / 注No.SX-2 No.1		縄文中期・勝坂I	胴部片
	3	土坑3	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 細い竹管による波状の角押文と直線の角押文、同一工具による交互刺突で作り出された蛇行文が平行に並ぶ / 砂粒、雲母多量含む / 注No.3D		縄文中期・勝坂I	胴部片
	4	P21	縄文土器・深鉢	—	9.5	—	輪積み成形 / 輪積み部分にヒダ状指頭圧痕 / 砂粒、橙色粒子多量含む / 注No.P 21 No.1		縄文中期・阿玉台I b	底部片
	5	溝	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 輪積み部分に幅広の刻目列を施文 / 砂粒、雲母多量含む / 注No.M No.3		縄文中期・阿玉台II	胴部片
	6	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 無文 / 砂粒多量 / 注No.2 トレNo.21		縄文中期	胴部片
	7	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 先端斜めの半載竹管による連続押しき文で、半円文様を描く。口縁隆帯下も押しき文 / 砂粒、雲母多量含む / 注No.2 トレ2		縄文中期・阿玉台I b	口縁部片
	8	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 輪積み部分にヒダ状指頭圧痕を強く施文。断面三角形の隆帯を貼付ける / 砂粒、雲母多量含む / 注No.3 トレ1		縄文中期・阿玉台I b	胴部片
	9	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 輪積み部分にヒダ状指頭圧痕。断面三角形の隆帯を貼付ける / 砂粒、雲母多量含む / 注No.3 トレ1		縄文中期・阿玉台I b	胴部片
	10	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 輪積み部分にヒダ状指頭圧痕を強く施文。断面三角形の隆帯を貼付ける / 砂粒、雲母多量含む / 注No.2 トレNo.26		縄文中期・阿玉台I b	胴部片
	11	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 輪積み部分にヒダ状指頭圧痕を強く施文。断面三角形の隆帯を貼付ける / 砂粒、雲母多量含む / 注No.2 トレ2		縄文中期・阿玉台I b	胴部片
	12	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 輪積み部分にヒダ状指頭圧痕。断面三角形の隆帯を貼付ける / 砂粒、雲母多量含む / 注No.1 トレカクラン		縄文中期・阿玉台I b	胴部片
	13	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 輪積み部分に爪形の刻目列を施文 / 砂粒、雲母多量含む / 注No.3 トレ3		縄文中期・阿玉台II	胴部から口縁部片
	14	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯を貼り付ける / 砂粒多量含む / 注No.2 トレ1		縄文中期・阿玉台	胴部片
	15	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 爪形の刻目列を施文 / 砂粒多量含む / 注No.3 トレー-SX No.3		縄文中期・阿玉台II	口縁部片
	16	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / ベン先形の半載竹管による角押文。2列単位で三角形文様を描く。口縁隆帯下も押しき文 / 砂粒、雲母多量含む / 注No.2 トレ2		縄文中期・阿玉台I b	口縁部片
	17	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 波状口縁。隆帯による楕円区画脇を、矢羽状工具による三角押文で押さえ、区画内も縦列の三角押文で充填する。楕円区画下は幅広押しき文と三角押文で押さえ、縦列の三角押文と波状角押文を施文する / 砂粒多量含む / 注No.2 トレNo.4、6		縄文中期・勝坂I (新道)	口縁部片
	18	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯脇を、矢羽状工具による三角押文で押さえ、区画内も縦列の三角押文で充填する / 砂粒多量含む / 注No.5 トレ2		縄文中期・勝坂I (新道)	口縁部片
	19	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 矢羽状工具による三角押文や波状沈線文を巡らせ、縦列の三角押文で充填する / 砂粒多量含む / 注No.2 トレNo.3		縄文中期・勝坂I (新道)	胴部片
	20	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / やや雑な押しき文を弧状に巡らす / 砂粒、雲母多量含む / 注No.1 トレカクラン		縄文中期・阿玉台II	胴部から口縁部片
	21	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 弧状の沈線文を巡らす / 砂粒、雲母多量含む / 注No.3 トレ1		縄文中期・阿玉台II	胴部片
	22	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯区画内や隆帯脇を幅広の爪形連続刺突文で押さえる / 砂粒多量含む / 注No.3 トレ2		縄文中期・勝坂II (藤内)	胴部片
	23	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 楕円形区画の隆帯脇を幅広の連続刺突文で押さえ、その内側も平行結節沈線文 / 注No.を巡らせる。楕円区画内は波状沈線を横位に施文 / 砂粒多量含む / 注No.1 トレカクラン		縄文中期・勝坂II (藤内)	胴部片
	24	遺構外	土製品・泥面子	2.5	2.2	0.8	型押し成形 / 裏面に指頭圧痕 / 砂粒少量含む / 注No.5 トレ1		1790年代～1890年代	完形

Ⅲ 亀居遺跡第64地点

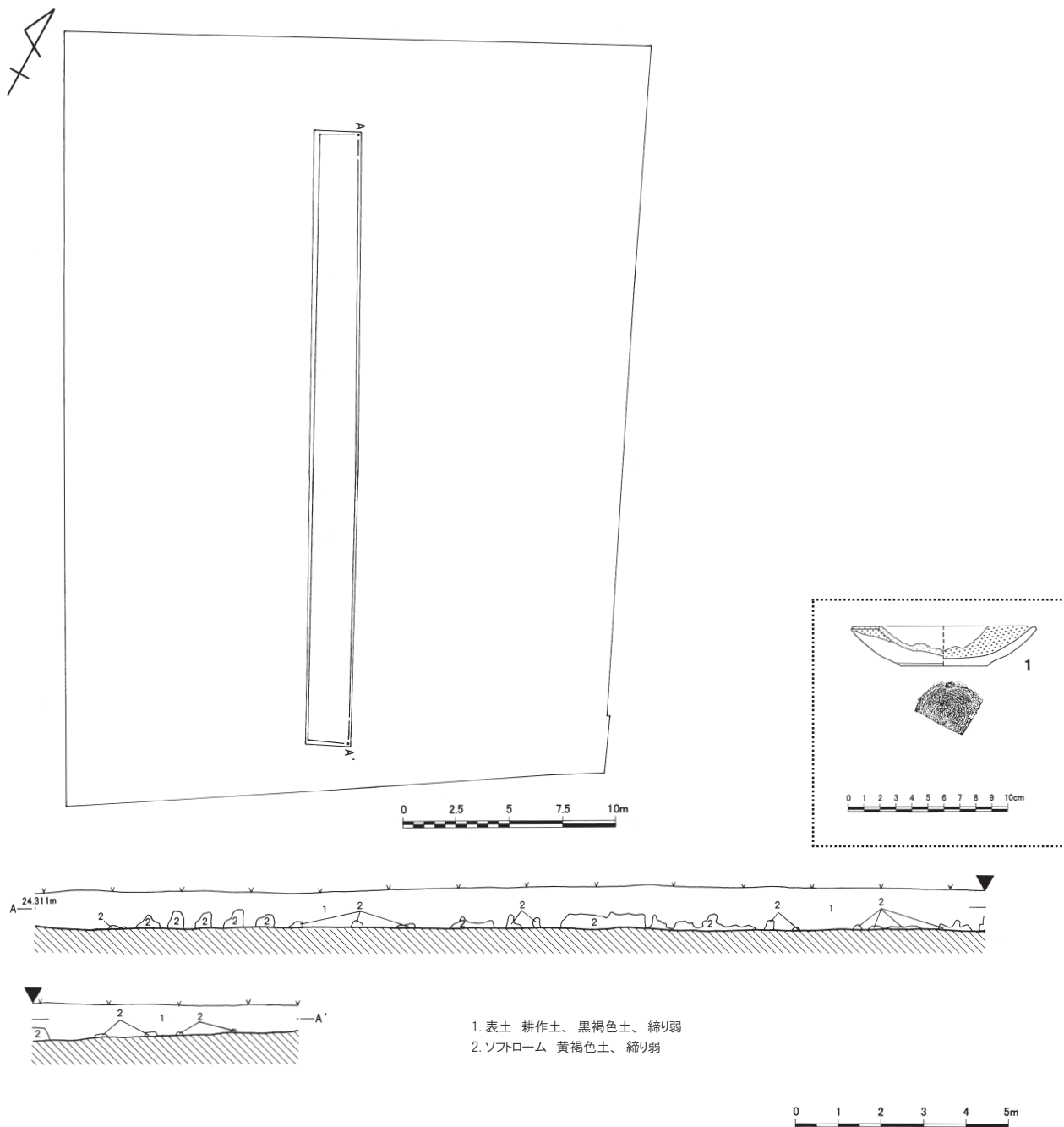
(1) 調査の概要

調査は分譲住宅の宅地造成に伴うもので、原因者より2008年8月12日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北端に位置し、近隣地からは縄文時代の集石・土坑等遺構が多数検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年9月1、2日に行なった。幅約2mのトレンチ1本を設定、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とし、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。確認面まで100cmを測る。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

第31表 亀居遺跡第64地点出土遺物観察表 (単位cm)

図版番号	掲載番号	遺構名	種別・器種	口径・長	底径・幅	器高・厚	技法/文様/その他	石材/推定生産地	推定年代・時期	残存/備考
63図	1	遺構外	陶器・皿	(11.8)	(5.6)	2.4	轆轤成形/灰釉。外面無釉/淡黄色/注No.1トレ	京都・信楽	19C	1/4



第63図 亀居遺跡第64地点調査区域図 (1/300)、土層図 (1/150)、出土遺物 (1/4)

第6章 松山遺跡の調査

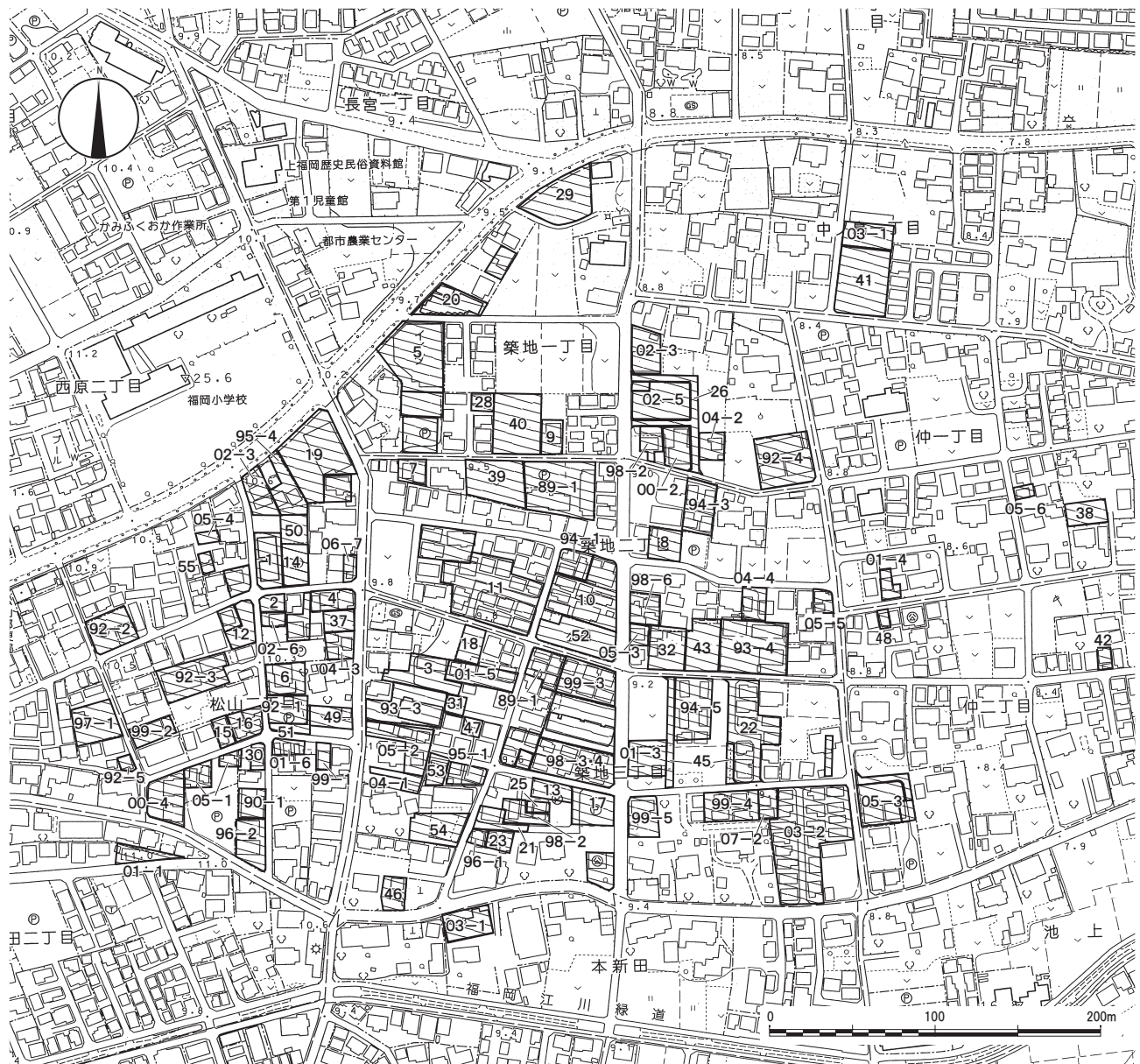
I 遺跡の立地と環境

松山遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の左岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地している。東側は荒川低地の沖積地と接し、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北500m、東西600m以上ある。宅地開発されるが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、すぐ北側に縄文時代早期～後期、飛鳥時代および中近世にわたる長宮遺跡、福岡江川を挟んだ対岸には福岡新田遺跡、同じく対岸の250m南東側には、縄文時代前期集落の鷺森遺跡がある。奈良・平安時代、中近世の松山遺跡が接する。また、西方

350m前後に比高差9mを持ってそびえる台地の南東崖面には富士見台横穴墓群が望まれる。

1978年の宅地造成に伴う緊急調査で奈良時代の住居跡を検出したのをはじめ、宅地造成などにより105ヶ所で調査が行なわれている。主たる時代と遺構は、長宮遺跡と接した北寄りに飛鳥時代の住居跡、遺跡中央の東西240m、南北210m程度の範囲に奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡、中近世以降の溝・井戸跡などである。特に溝・井戸等の中近世の遺構は東側の低地へも広がりを見せており、遺跡範囲の変更増補を行なった。

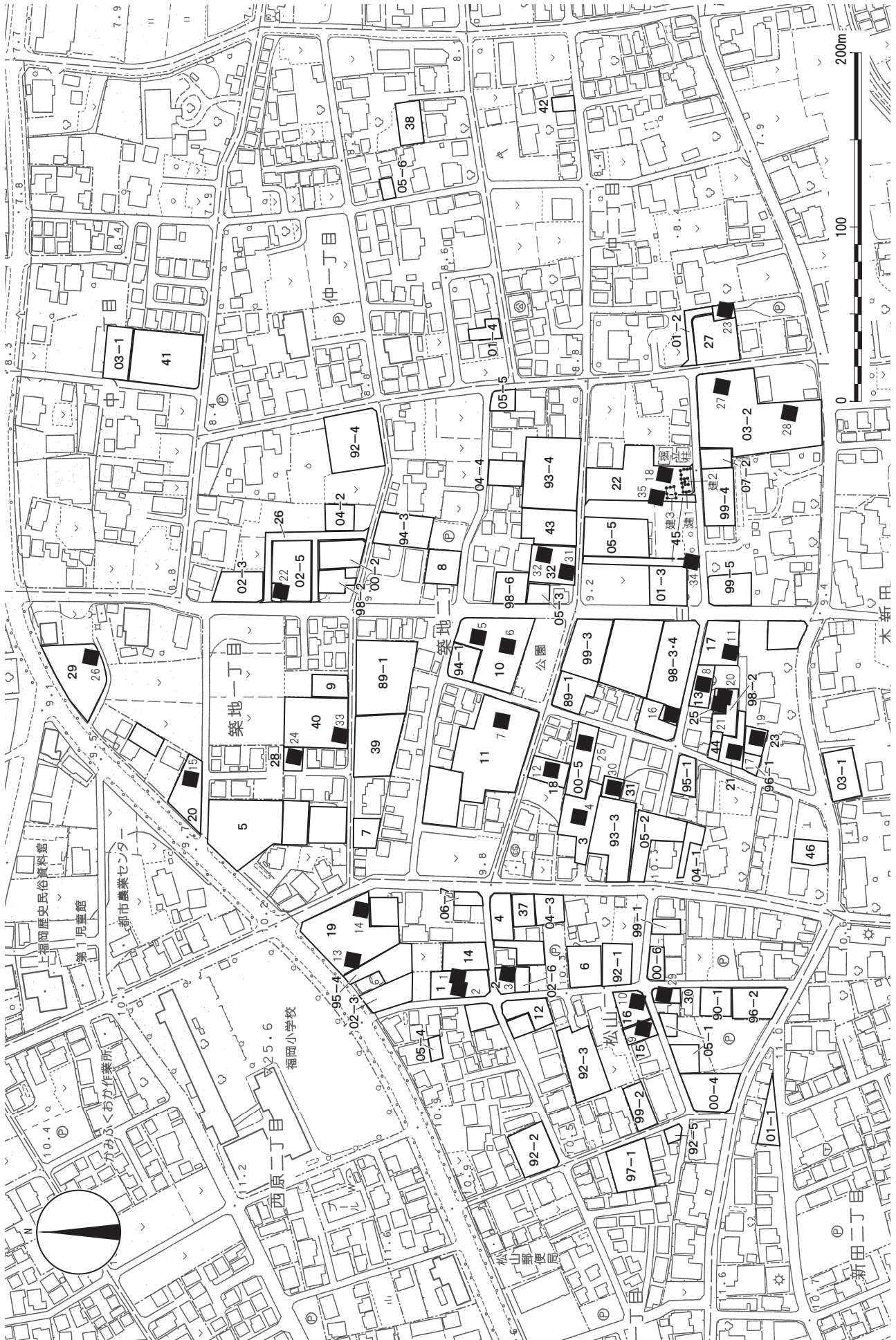


第64図 松山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第 32 表 松山遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と 遺物	所収報告書
1次	松山2-5-4	1978.10.14～11.6	479		住居跡2	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)
2次	松山2-6-7	1979.4.26～5.1	161		住居跡1、土師器	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
3次	築地3-1-20	1979.8.7～16	733		住居跡1、土器	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
4次	松山2丁目6-9	1982.9.13～24	277		遺構無し、平安土器	埋蔵文化財の調査(Ⅴ)
5次	築地1丁目1-16	1983.4.20～28	1,461	住宅建設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅵ)
6次	松山2-6-16	1984.8.13～28	330	住宅建設	溝1、土坑5	埋蔵文化財の調査(Ⅷ)
7次	築地2-3-19	1986.1.13～21	237	個人住宅	溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅷ)
8次	築地2-4-12	1986.7.1～8	319	個人資材置場	平安土器散布地	埋蔵文化財の調査(Ⅹ)
9次	築地1-1-50	1987.10.1～3	288	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅹ)
1988年度 試掘	築地3-3-4	(1989.1.9.10)	370	住宅建設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅺ)
1989年度 試掘	築地2-3-11	(1989.6.27 ～30)	1,342	共同住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅻ)
1990年度 試掘	松山2-2-9	(1990.9.7～12)	304	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅼ)
10次	築地2-2-6	1991.10.14～18	450	個人住宅	平安住居跡(図分期)2、溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
11次	築地2-1-10	1991.10.18～21	2,029	宅地造成	平安住居跡(図分期)1、溝1、土坑2、井戸状遺構1	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
1992年度 試掘(Ⅰ)	松山2-6-22.23	(1992.4.17～24)	567	駐車場	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅾ)
1992年度 試掘(Ⅱ)	松山2-4-7	(1992.5.6～11)	571	駐車場	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅾ)
12次	松山2-3-11	1992.5.12～20	393	宅地造成	平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅾ)
13次	築地3-2-18	1992.5.18～30	234	宅地造成	平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅾ)
14次	築地2-5-17	(1992.5.21～30)	432	宅地造成	中世住居跡2	埋蔵文化財の調査(Ⅾ)
1992年度 試掘(Ⅲ)	松山2-3-31.13	(1992.6.12～18)	871	宅地造成	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅾ)
1992年度 試掘(Ⅳ)	築地1-3-17	(1992.6.3～11)	998	共同住宅	溝遺構、井戸状遺構	埋蔵文化財の調査(Ⅾ)
1992年度 試掘(Ⅴ)	松山1-4-32	(1992.10.30)	78	共同住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅾ)
1993年度 試掘(Ⅰ)	松山2-3-1	(1993.4.5～16)	509	宅地造成	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅿ)
15次	松山2-3-41	1993.4.19～28	148	個人住宅	平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅿ)
17次	築地3-2-19	1993.5.10～24	597	駐車場	古墳末期住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅿ)
16次	松山2-3-43.44	1993.7.2～15	156	個人住宅	平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅿ)
1993年度 試掘(Ⅲ)	築地3-1-17.31	(1993.10.15 ～20)	994	共同住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅿ)
1993年度 試掘(Ⅳ)	築地2-5-2 の一部	(1993.10.22 ～26)	1,246	共同住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅿ)
18次	築地3-1-16	1993.12.1～7	290	駐車場	奈良末～平安住居跡1	5年度教育要覧
19次	松山2-5-9	1994.1.17～2.3	1,531	貸店舗	平安住居跡2、溝1	遺跡調査報告書第3集 松山遺跡第19次調査結果
1994年度 試掘(Ⅰ)	築地2-2-3	(1994.5.30)	310	分譲住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅰ)
20次	築地1-2-4	1994.6.24～7.1	559	共同住宅	古墳末期住居跡1、土師器、須恵器破片	埋蔵文化財の調査(ⅰ)
1994年度 試掘(Ⅲ)	築地2-4-7	(1994.8.3～12)	532	宅地造成	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅰ)
1995年度 試掘(Ⅰ)	築地3-1-9.10	(1995.5.10～19)	303	宅地造成	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅱ)
1995年度 試掘(Ⅱ)	築地3-3-2	(1995.5.22 ～6.15)	542	宅地造成	古墳末期住居跡1	埋蔵文化財の調査(ⅱ)
1995年度 試掘(Ⅲ)	築地3-2-23	(1995.10.17～20)	153	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅱ)
21次	築地3-2-23	1995.10.17～20	378	市道敷設	古墳末期住居跡1	埋蔵文化財の調査(ⅱ)
1995年度 試掘(Ⅳ)	松山2-5-8.16	(1995.12.22)	413	宅地造成	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅱ)
1996年度 試掘(Ⅱ)	松山2-2-1	(1996.7.22～24)	489	宅地造成	溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
1997年度 試掘(Ⅰ)	松山1-4-17	(1997.9.11～18)	591	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
22次	築地3-4-15.23	1997.12.15 ～24	419	個人住宅	平安初期住居跡1、奈良末 期独立住居跡3、縄文系 石土坑7、土師器、須恵器、 甌土器、黒土器	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
1998年度 試掘(Ⅰ)	築地3-2-13.24	(1998.4.16)	240	宅地造成	23次調査参照	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
1998年度 試掘(Ⅱ)	築地3-2-23 外2番	(1998.4.17、 5.20～22)	450	宅地造成	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
1998年度 試掘(Ⅲ)	築地3-3-1	(1998.4.20 ～5.20)	922	宅地造成	中近世溝地	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
23次	築地3-2-24	1998.5.11～14	120	個人住宅	奈良後半住居跡1	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
1998年度 試掘(Ⅴ)	築地1-3-18	(1998.7.1)	167	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
24次	築地3-2-4の一部	1998.9.8～21	50	農地改良	飛鳥住居跡1	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
1998年度 試掘(Ⅵ)	築地2-5-6	(1998.9.1～4)	363	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
25次	築地3-2-23外2番	1999.3.3～12	240	個人住宅	奈良初期住居跡2	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
1999年度 試掘(Ⅰ)	松山2-1-10	(1999.4.16)	166	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
1999年度 試掘(Ⅱ)	松山2-3-3	(1999.5.6～12)	340	宅地造成 (土地分譲)	溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
1999年度 試掘(Ⅲ)	築地3-3-14.15	(1999.6.22～24)	778	宅地造成 (土地分譲)	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
1999年度 試掘(Ⅳ)	築地3-5-15.27 の一部	(1999.8.2～6)	745	宅地造成 (土地分譲)	ビッド5(平安?)	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
1999年度 試掘(Ⅴ)	築地3-5-28	(1999.8.26～9.1)	331	個人住宅	溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
26次	築地1-3-21	2000.5.15～6.2 (2000.4.27～5.12)	627	市道設置	井戸2、竪穴住居跡1、土 師器、須恵器、陶磁器片	埋蔵文化財の調査(ⅳ)
2000年度 試掘(Ⅱ)	1-3-5、25.27.35	(2000.5.17～25)	687	共同住宅	土坑1	埋蔵文化財の調査(ⅳ)
27次	仲2-10の一部	2000.6.12～7.3 (2000.5.22～6.8)	912	共同住宅建設 及び市道設置	奈良竪穴住居跡1、土師 器、須恵器、陶磁器片	埋蔵文化財の調査(ⅳ)
2000年度 試掘(Ⅳ)	松山2-2-5	(2000.10.30)	592	共同住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅳ)
28次	築地1-1-28	2001.2.8～21	165	個人住宅	奈良住居跡1	埋蔵文化財の調査(ⅳ)
2000年度 試掘(Ⅴ)	築地3-1-28	(2001.2.2～13)	614	宅地造成 (土地分譲)	飛鳥～奈良住居跡1	埋蔵文化財の調査(ⅳ)
2000年度 試掘(Ⅵ)	松山2-1-8.17	(2001.3.21)	174		遺構・遺物無し	12年度教育要覧

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と 遺物	所収報告書
2001年度 試掘(Ⅰ)	新田2-450-1	(2001.4.12～13)	204	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2001年度 試掘(Ⅱ)	仲2-1-10	(2001.5.8.9.17.18)	168	地区計画道路	近代以降溝3	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2001年度 試掘(Ⅲ)	築地3-4-10	(2001.5.10～15)	434	共同住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2001年度 試掘(Ⅳ)	仲1-1-2.3.14	(2001.9.12)	694	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2002年度 試掘(Ⅰ)	築地1-2-8	(2002.5.20～23)	978	遺構の 所在確認	竪穴住居跡1	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2002年度 試掘(Ⅱ)	築地3-5-35.36	(2002.7.11)	248	宅地造成 (土地分譲)	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
29次	築地1-2-8の一部	2002.7.2～8.9	36	個人住宅	竪穴住居跡1	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2002年度 試掘(Ⅲ)	松山2-5-7	(2002.8.5)	358	宅地造成 (土地分譲)	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2002年度 試掘(Ⅳ)	築地1-3-28	(2002.8.20～21)	479	共同住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2002年度 試掘(Ⅴ)	築地1-3-22.25.30	(2002.8.22～28)	640	遺構の所在 確認	竪穴住居跡1 【盛土保存】	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2002年度 試掘(Ⅵ)	松山2-6-5	(2002.9.9)	147	個人住宅建設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2003年度 試掘(Ⅰ)	本新田1-2-3	(2003.4.16～21)	1,080	共同住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2003年度 試掘(Ⅱ)	築地3-5-3 他6番	(2003.8.19～20)	2,578	宅地造成	飛鳥竪穴住居跡2 【盛土保存】	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
30次	松山2-2-3	2003.10.3～10	142	個人住宅	奈良竪穴住居跡1 【調査実施】	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2004年度 試掘(Ⅰ)	築地3-1-16.32	(2004.4.22～23)	976	宅地造成	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2004年度 試掘(Ⅱ)	築地1-3-37	(2004.4.26)	165	個人住宅建設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2004年度 試掘(Ⅲ)	松山2-6-11	(2004.6.16)	309	宅地造成	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2004年度 試掘(Ⅳ)	築地2-5-14.25.27	(2004.8.5)	280	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2004年度 試掘(Ⅴ)	築地3-4-12	(2004.9.6～8)	911	宅地造成	溝1	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2005年度 試掘(Ⅰ)	松山2-2-4の 一部	(2005.4.6～7)	313	土地分譲	遺構・遺物無し	市内遺跡群1
2005年度 試掘(Ⅱ)	築地3-1-32.34.43	(2005.4.19～21)	549	土地分譲	遺構・遺物無し	市内遺跡群1
2005年度 試掘(Ⅲ)	築地2-5-32	(2005.4.28)	132	個人住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡群1
31次	築地3-1-69	2005.6.14～23 (2005.6.9～13)	120	個人住宅	古墳住居跡1	市内遺跡群1
2005年度 試掘(Ⅳ)	築地2-5-3	(2005.8.30～ 9.13)	567	宅地造成	平安住居跡1	市内遺跡群1
32次	築地2-5-3の 一部	2005.9.8～13 (2005.8.30～9.7)	132	個人住宅	平安住居跡2	市内遺跡群1
2005年度 試掘(Ⅴ)	築地2-5-36	(2005.10.31)	125	個人住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡群1
2005年度 試掘(Ⅵ)	松山2-4-23	(2005.10.20～21)	161	個人住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡群1
2005年度 試掘(Ⅶ)	仲1-4-26	(2005.11.14)	108	個人住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡群1
2005年度 試掘(Ⅷ)	松山2-5-21	(2006.2.28)	100	個人住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡群2
37	松山2-6-10.13	(2006.4.13)	228	個人住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡群3
38	仲1-4.39.12.13.24	(2006.5.29)	2,176	宅地造成	遺構・遺物無し	市内遺跡群3
39	築地2-3-10	(2007.1.10～20)	937	宅地造成	遺構・遺物無し	市内遺跡群3
40	築地1-1-5	2007.2.21～3.9 (2007.2.2～8)	1,047	宅地造成	奈良住居跡1、中 世遺構検出	市内遺跡群3
41	中ノ島1-2-5	2007.2.21～3.5 (2007.2.7～9)	1,281	宅地造成	中世遺構検出	市内遺跡群3
42	仲2-3-15	(2007.2.13)	108	個人住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡群3
43	築地2丁目5 番2	(2007.4.11～24)	668	分譲住宅	溝跡1、土坑1、 旧石器ナイフ1点	市内遺跡群4
44	築地3-2-10.14	(2008.6.9～11)	132	個人住宅建設	遺構・遺物なし	市内遺跡群6
45	築地3-4-7の 一部外	2008.10.1～23 (2008.9.4～30)	390	道路(上下水 道含む)築造	奈良～平安時代竪穴住 居跡2、独立柱建物跡2、 竪穴遺構1、時期不明 の溝10、土坑、ビッド	市内遺跡群6
46	築地3-1-33の 一部	(2009.2.17)	309	個人住宅建設	遺構・遺物なし	市内遺跡群6
47	築地3-1-52	(2009.5.11.12)	121	個人住宅建設	ビッド	未報告
48	仲2-2-34	(2009.7.1)	67	個人住宅建設	遺構・遺物なし	未報告
49	松山2-6-11.4.22 の一部	2009.10.27～ 11.18 (2009.10.17～22)	449	宅地造成	平安時代竪穴住居 跡1(住居内竪穴治 検出)、土坑1、 溝1、ビッド1	未報告
50	松山2-5-3.17	(2009.11.27～12.1)	797	分譲住宅	溝1、ビッド7	未報告
51	松山2-6-22.23.28 の一部	(2010.5.10～13)	360	分譲住宅 (3区画)	遺構・遺物無し、 慎重工事	未報告
52	築地2-2-1	(2010.8.26～9.3)	694	分譲住宅	溝1、落とし穴1、 工事立会	未報告
53	築地3-1-11	(2010.9.10～21)	205	個人住宅	近代以降溝3、 アナグラ、慎重工事	未報告
54	築地3-1-6.76 ～83	2010.10.4～11.5 (2010.9.21～10.1)	540	宅地造成	奈良～平安住居跡3軒 確認、西側1軒の住居 については盛土保存、 他2軒は本調査	未報告
55	松山2-4-24の 一部	2011.1.18～31 (2011.1.17)	226	個人住宅	奈良平安時代の住居 跡1、独立柱建物跡1、 本調査	未報告



第65図 松山遺跡遺構分布図 (1/3,000)

第33表 松山遺跡古代住居跡一覧表 (単位 cm)

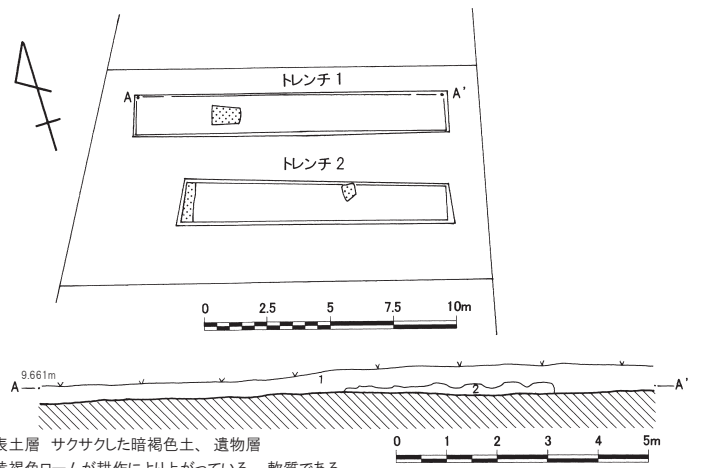
住居番号	調査年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模	炉		カマド 規模 cm	周溝	主軸方位	時期	備考	文献
						カマド K	設置壁						
1	1978	第1次1号住居	完掘	正方形	390×380	K	東	110×75	○		国分前半		埋蔵文化財の調査 I
2	"	第1次2号住居	完掘	台形	360×320	K	東	120×85	○		国分前半		"
3	1979	第2次3号住居	2/3	(方形)	350×10	K	東		一部		国分後半		埋蔵文化財の調査 II
4	"	第3次4号住居	完掘	方形	530×475	K	北	200×100	○	N-14-E	国分後半		"
5	1991	第10次5号住居	完掘	長方形	230×350	K	北→東		○		9C 2半期		埋蔵文化財の調査 14
6	"	第10次6号住居	2/3	方形	340×300	K	東		○		9C 2半期		"
7	"	第11次7号住居	完掘	正方形	400×400				○		8C 4半期		"
8	1992	第13次8号住居	3/4	(方形)	400×					N-10-E	8C 3半期		埋蔵文化財の調査 15
9	1993	第15次9号住居	完掘	長方形 長方形 方形	440×350 420×310 260×300	K	東→北	210×210 210×210 80×65	○		9C 1半期	鉄鉢型須恵器出土	埋蔵文化財の調査 16
10	"	第16次10号住居	1/3	正方形	560×560	K	北	130×80	○		8C 4半期		"
11	"	第17次11号住居	完掘	方形	600×600	K	北		○		7C 4半期	黒色土師器出土	"
12	"	第18次12号住居	完掘	方形	400×320	K	北		(○)		8C 4半期		"と市史
13	1994	第19次13号住居	完掘	長方形	450×300	K	北		○	N-5-E	9C 1半期		松山遺跡第19次調査概要
14	"	第19次14号住居	完掘	長方形	450×500	K	東→北		○	N-5-E	9C 1半期	土鍾出土	"
15	"	第20次15号住居	完掘	長方形	370×470	K	北西	70×70	○		7C 4半期		松山遺跡第20次の調査
16	1995	7年試掘(2)16号住								N-20-W	6C		未報告
17	"	第21次17号住	完掘	長方形	480×400	K	北		○		7C 4半期		埋蔵文化財の調査 19
18	1997	第22次18号住	完掘	長方形	240×460	K	東	90×60	○	N-50-E	8C末		埋蔵文化財の調査 20
	"	第22次1号掘立	部分	長方形	東西5間 南北3間						8C末~9C初		"
	"	第22次2号掘立	部分	長方形	東西2間 南北2間						8C末~9C初		"
	"	第22次3号掘立	部分	長方形	(東西2間) 南北3間						8C末~9C初		"
19	1998	第23次19号住	4/5	長方形	260×290				○	N-30-W	8C後半	土鍾6点出土	埋蔵文化財の調査 21
20	1999	第25次20号住									8C初頭	暗紋土師器	市史通史編
21	"	第25次21号住									8C初頭		未報告
22	2000	第26次22号住	完掘		360×	K	北		○		7C後半	14年度完掘、焼失住居	埋蔵文化財の調査 23
23	"	第27次23号住	完掘	台形	600×720	K	北		○		8C半ば		"
24	2001	第28次24号住	1/2		340×	K	北西		○		8C中葉		埋蔵文化財の調査 24
25	2000	12年度試掘5	2/3				遺存状態悪い						埋蔵文化財の調査 23
26	2002	第29次26号住	完掘	長方形	420×360	K	北		○		7C後半		埋蔵文化財の調査 25
27	2003	15年度試掘27号住	一部		(盛土保存)							プランのみ確認	埋蔵文化財の調査 26
28	"	15年度試掘28号住	1/2		(盛土保存)							プランのみ確認	"
29	"	第30次29号住	完掘	長方形	360×420	K	東		○		9C前半		"
30	2005	第31次30号住	完掘	長方形	360×600	K	北		○			土鍾出土	市内遺跡群 1
31	"	第32次31号住	完掘	長方形	380×330×	K	東		○	S-65-E	9C中葉		"
32	"	第32次32号住	1/2	長方形	東西4m× 南北3m以上	K	東		○	S-85-E			"
33	2006	40地点 H33号住	完掘	方形	455×420	K	北	98×154	○	N-5-E	8C後半		市内遺跡群 3
34	2008	45地点 H34号住	完掘	方形	364×361	K	東	122×125	○	N-96-E			市内遺跡群 6
35	2008	45地点 H35号住	1/2	(方形)	504×(222)				○			焼失住居	市内遺跡群 6

II 松山遺跡第44地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2008年4月9日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南側に立地し、南側と東側の隣接地で奈良・平安時代の住居跡を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年6月9日から同11日まで行なった。幅約2mのトレンチ2本を設定、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とし、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。確認面まで40~60cmを測る。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



1. 表土層 サクサクした暗褐色土、遺物層
2. 黄褐色ロームが耕作により上がっている、軟質である

第66図 松山遺跡第44地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)

Ⅲ 松山遺跡第 45 地点

(1) 調査の概要

調査は道路築造及び上下水道敷設工事に伴うもので、ふじみ野市長より 2008 年 3 月 14 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央に立地し、東側の隣接地で奈良・平安時代の掘立柱建物跡と住居跡を検出しているため、都市計画課と協議の結果、遺跡の範囲と遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 9 月 4 日から同 9 月 30 日まで行った。調査区は西側の道路予定地を 45 地点 A 区、東側の道路予定地を 45 地点 B 区とした。敷地内に残土置き場を確保しながら重機により表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、奈良・平安時代の遺構・遺物を確認した。また、表土より頁岩製の剥片を 1 点検出したので、旧石器時代の確認調査のため 2 × 2m のグリッドを 6 カ所設定し、調査を行なったが遺構・遺物の検出はなかった。確認面まで 50cm を測る。写真撮影・平板による全測量図及び遣り方測量による遺構図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

【H 34 号住居跡】調査区 A の南端に位置し、遺跡全体の分布では南東部に位置する。溝状遺構(イモビツ)に北側部分を壊されている。

主軸方位は N - 96° - E、東壁南寄りに竈を備える。平面形態は方形、規模は主軸方位の東西が 3.61 m、南北 3.64 m、確認面からの深さ 0.43m である。

竈は粘土を貼り付け、竈の左右両壁奥および底部、煙道の一部が焼けて赤化する。奥壁には煙道が径 12 cm の横穴として残っていた。竈覆土からは土師器甕が 1 個体分破片の状態出土した。

住居中央部には小ピットが 4 箇所集中し、北側壁際にも 1 箇所ある。

周溝は東壁の竈の北側を除き壁際に巡る。

床面は全体に硬化し平坦である。壁は垂直に立ち上がる。掘方は、四隅が深くなる以外ほぼ平坦に掘られている。

【H 35 号住居跡】調査区 B の北端に位置し、遺跡全体の分布では南東部に位置する。南側に 3 棟の掘立柱建物跡がある。

住居跡の南側半分の検出で、北側は道路崩壊の恐れがあり拡張できず、未調査である。竈も未検出である。

東西 5.04 m、確認面からの深さ 0.39m である。東西の軸方位は N - 95° - E である。

床面直上に炭化材が多量に出土した。南西隅から中央に向って出土した幅 10cm 前後、長さ 2.2m の炭化材は垂木か梁の部材と思われる。樹種同定の結果は「クリ」である。また、「イネ科」の炭化材も並列した塊の状態を検出した。屋根や壁の部材として使用されたとと思われる。

住居南側の壁際に焼土が散在していた。特に南側中央には径 40 cm 前後、厚さ 8 cm の焼土塊を検出したが、床面は焼けておらず、炭化材の出土とあわせて、住居焼失時に伴うものと思われる。

周溝は壁際に巡る。

床面は全体に硬化し平坦である。壁は垂直に立ち上がる。掘方は、周辺が深くなるが、中央部にも一部窪みがある。

【1 号掘立柱建物跡】調査区 B の南端に位置し、遺跡全体の分布では南東部に位置する。平成 9 年度の 22 次調査で検出した 5 間 × 3 間の 1 号掘立柱建物跡の西側柱穴列にあたる。今回検出した柱穴 3 基のうち、P 2、P 3 は前回調査済みで、P 1 のみ今回初検出である。

東西の軸方位は N - 96° - E である。東西 12.3 m、南北 5.8m を測る。

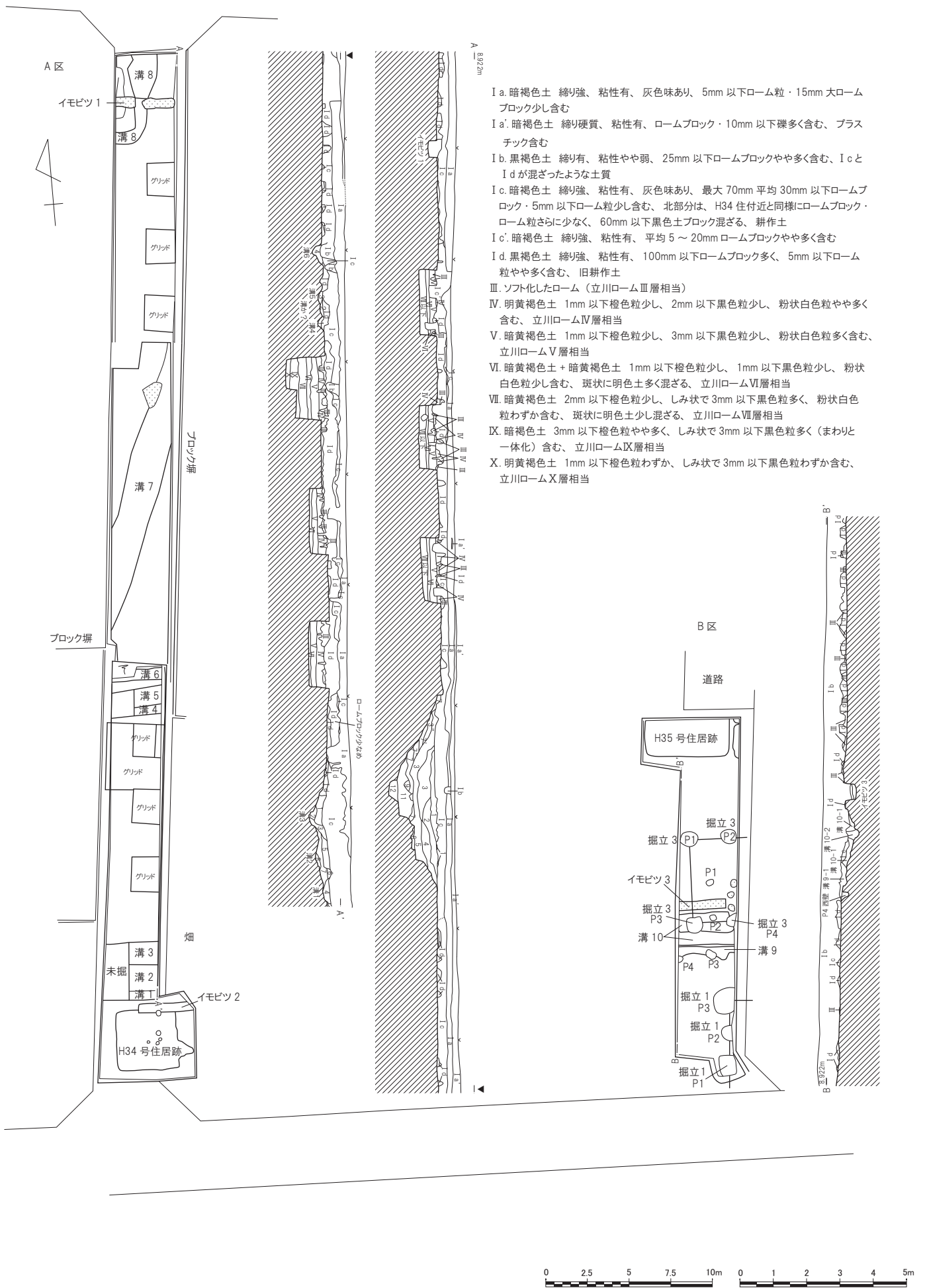
暗褐色土とロームを交互に埋め版築されている。柱穴の芯心間は P 1 - P 2 が 1.7m、P 2 - P 3 が 2.0 m である。

【3 号掘立柱建物跡】調査区 B の中央に位置し、遺跡全体の分布では南東部に位置する。平成 9 年度の 22 次調査で検出した 3 号掘立柱建物跡の西側柱穴列にあたる。今回検出した柱穴は、暗褐色土とロームを交互に埋め版築した中に径 20 ~ 32 cm の柱跡が残る。

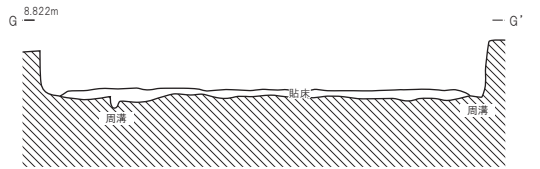
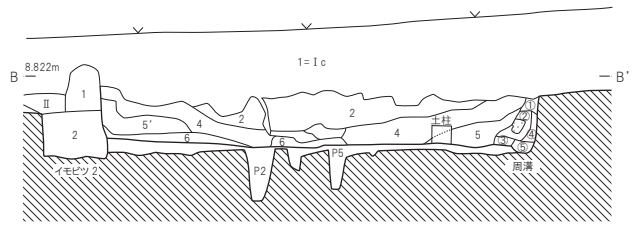
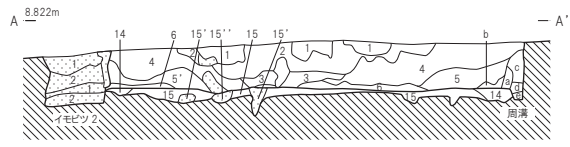
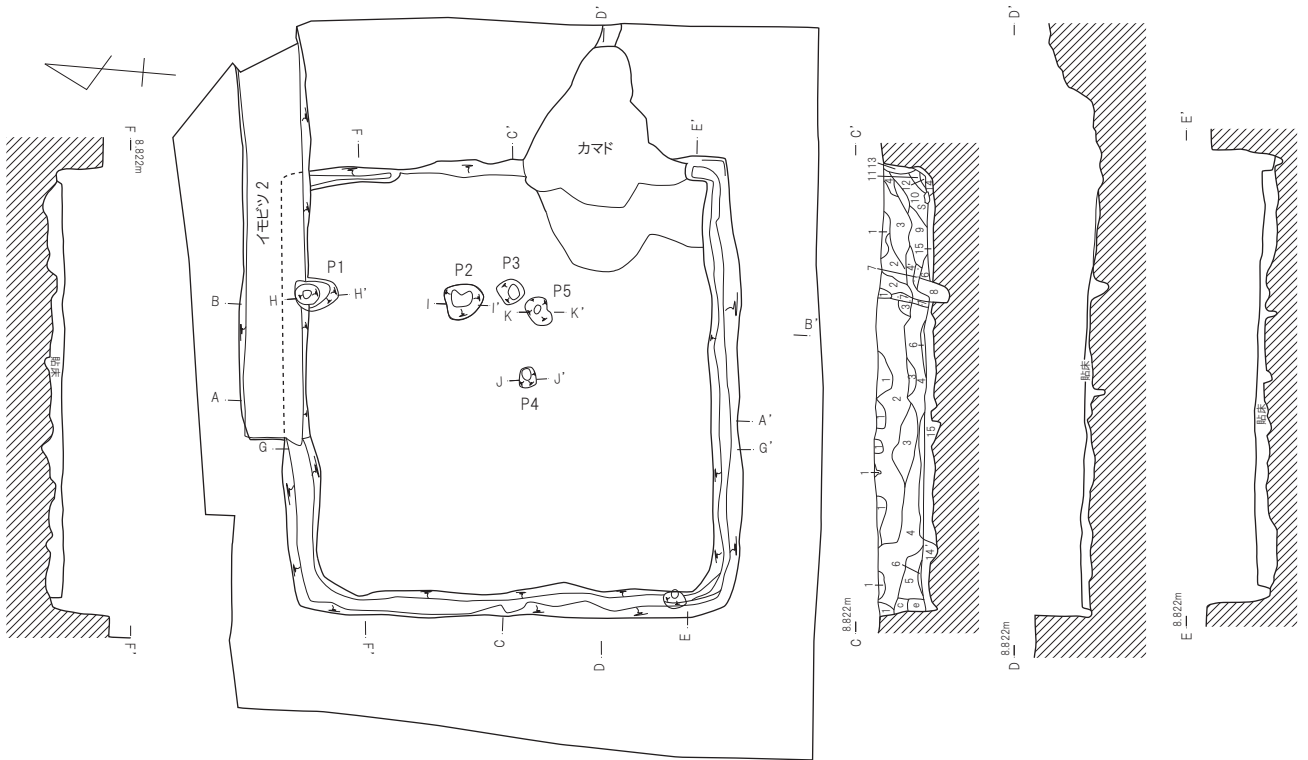
東西の軸方位は N - 96° - E である。柱穴の芯心間は P 1 - P 2 間と P 3 - P 4 間がともに 2.45m、南北方向は P 1 - P 3 が 5.16 m、P 2 - P 4 が 5.08 m である。

【溝】溝 1 ~ 3、4 ~ 6 は東西方向の溝で A 区検出。ほぼ併行関係にあり、溝 1 ~ 3 と 4 ~ 6 は 13.5 m 離れる。また、溝 8・9 も東西方向の溝で、溝 1 ~ 3 の 30 m 東の延長線上に位置する。

溝 7 は A 区で検出した南北方向の溝で幅 2 m 前後、深さ 1.4 m の深い薬研堀で一度埋没後に掘り返しが認められる。本調査区西の平成 13 年度調査 (3) や平



第 67 図 松山遺跡第 45 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)



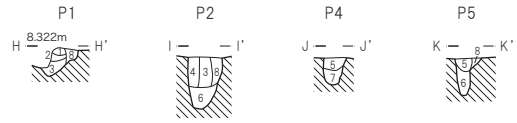
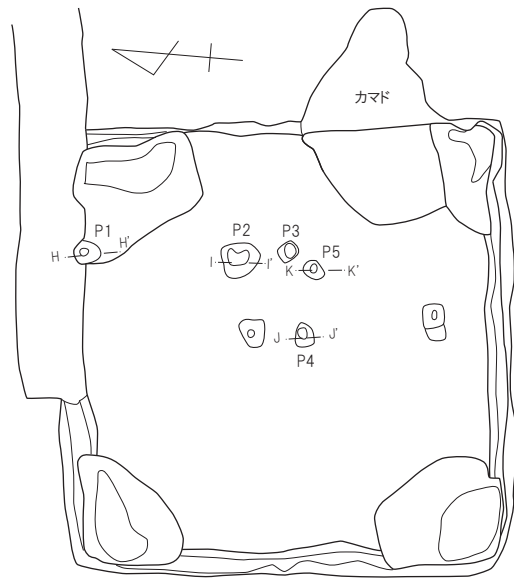
- A-A' · B-B' · C-C'
1. 暗褐色土（灰色味のある黒褐色土）締り強、粘性有、1mm以下ローム粒少し含む表土
 2. 黒色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒均一に少し含む
 - 2' 2層より若干ローム粒多い
 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒やや多く含む
 4. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒やや多く含む、H34住居土の主体
 5. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒やや多く含む（根カランのソフトローム混入目立つ）
 - 5'. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒多く含み色調明るい、しみ状に黒褐色土含む
 6. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒多く斑状に黒褐色土も多く含む
 7. 黒褐色土 締り弱、粘性無、根のあと
 8. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒多量、10mm以下ローム粒極少量
 9. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒やや多量、2mm以下焼土粒極少量
 10. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒極多量、1mm以下炭少量 .カマドスノ部の土の影響有
 11. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒多量、1mm以下粘土粒少量 .カマドスノ部の土の影響有
 12. 黒褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒少量、カマドスノ部の土の影響有
 13. 褐色土 締り硬い、粘性有、2mm以下ローム粒主体、暗褐色土混入
 14. 暗黄褐色土 締り強、粘性有、ソフトローム土主体、5～25mmロームブロック少し含む
 - 14'. 暗黄褐色土 締り強、粘性有、ソフトローム土主体、5～25mmロームブロックやや多く、5mm以下黒色土粒少し含む
 15. 黄褐色土 締り硬い、粘性有、50mm以下ハードロームブロック主体、暗褐色土まじりのソフトロームがすきまを埋める斑状に黒褐色土が混入する
 - 15'. 黒褐色土含む
 - 15''. 暗黄褐色土・ロームブロック含む

- イモピツ2 B-B'
1. 暗褐色土ベース 締り有、粘性有、30mm以下ロームブロック多く含む
 2. 暗褐色土 締り有、粘性やや弱、ローム混じりの黒褐色土で色調明るい、20mm以下ロームブロック・5mm以下ローム粒多く含む
- ベルト A-A' · C-C'
- 周溝部分（埋没過程で何かが残存していたような堆積）
- a. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒・ローム土を多く含む
 - b. 暗褐色土 締り強、粘性有、10mm大黒褐色土を斑状に多く含む
 - c. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒多く含む、根攪乱のローム土目立つ
 - d. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒・ローム土多く含み色調明るい
 - e. 黒褐色土 締り硬い、粘性有、ハードロームブロック（A-A'）、ソフトロームブロック（C-C'）含む、5mm以下ローム粒も少し含む
- 周溝部分 B-B'
- ①. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒わずかに含む
 - ②. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒・ローム土多く含み、色調明るい、3mm以下ハードローム粒少し含む、ベルト A-A'a'に対応
 - ③. 暗褐色土 締り強、粘性有、10mm大黒褐色土を斑状に多く、しみ状にソフトローム土含む、ベルト A-A'b'に対応
 - ④. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒・ローム土を多く含むが、②層より少なく、色調暗い、ベルト A-A'cd'に対応
 - ⑤. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒多量



第 68 図 松山遺跡第 45 地点 H34 号住居跡 (1/60)

掘方



H34 号住居跡内ピット

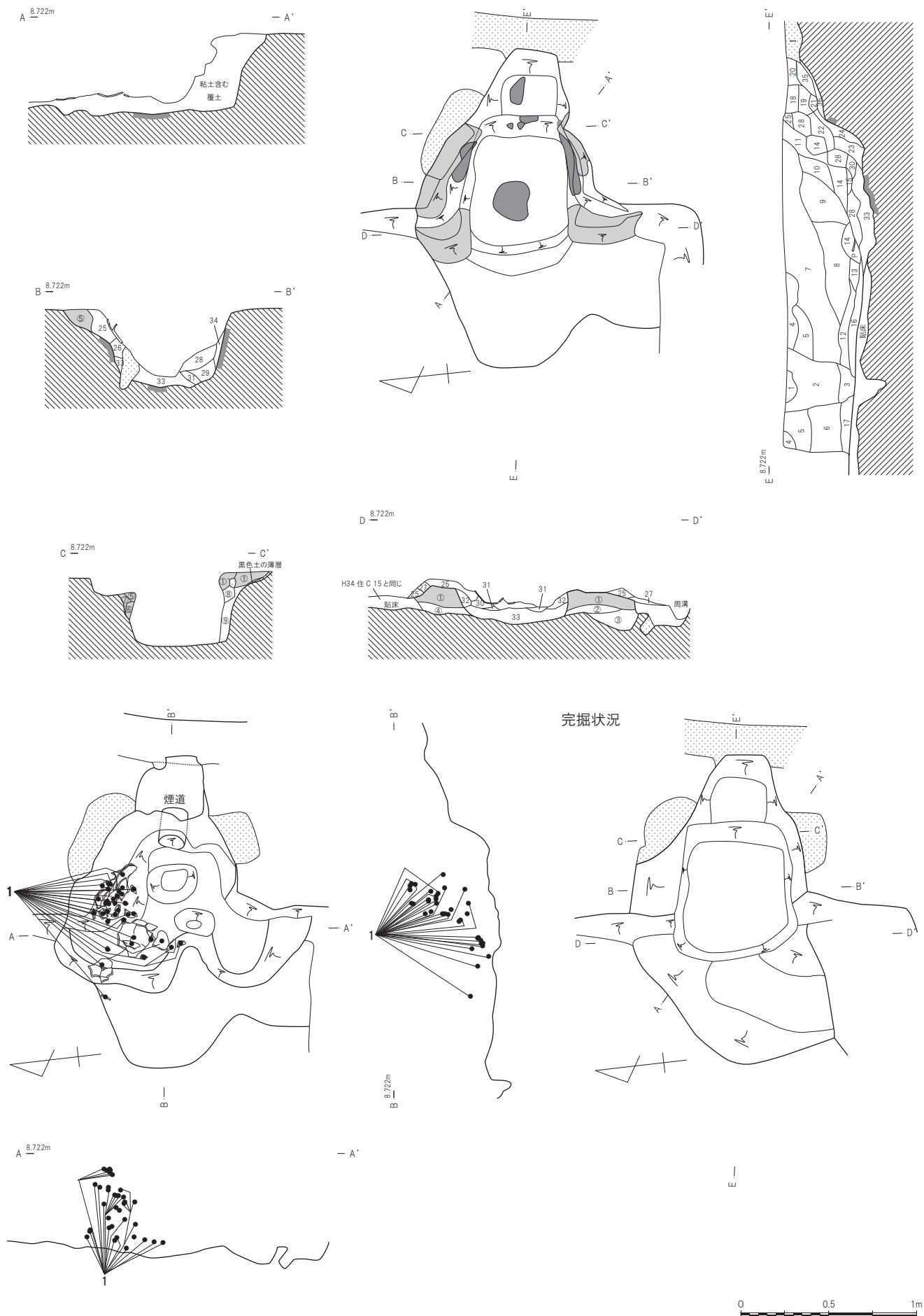
1. 黒褐色土 締り硬化、粘性有、1mm以下ローム粒少し含む
2. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm以下ソフトローム粒少し含む
3. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒少し含む
4. 暗褐色土 締り有、粘性有、黒褐色土含み、色調暗い、2mm以下ローム粒やや多く含む
5. 暗褐色土 締り硬化、粘性有、平均3mm以下ローム粒多く含む
6. 黒褐色土 締り有、粘性有、ソフト質のローム土やや多く含み色調明るめ
7. 暗褐色土 締り強、粘性有、ソフトローム多く含む
8. 黒褐色土 締り有、粘性有、15mm以下ロームブロック・2mm以下ローム粒やや多く含む



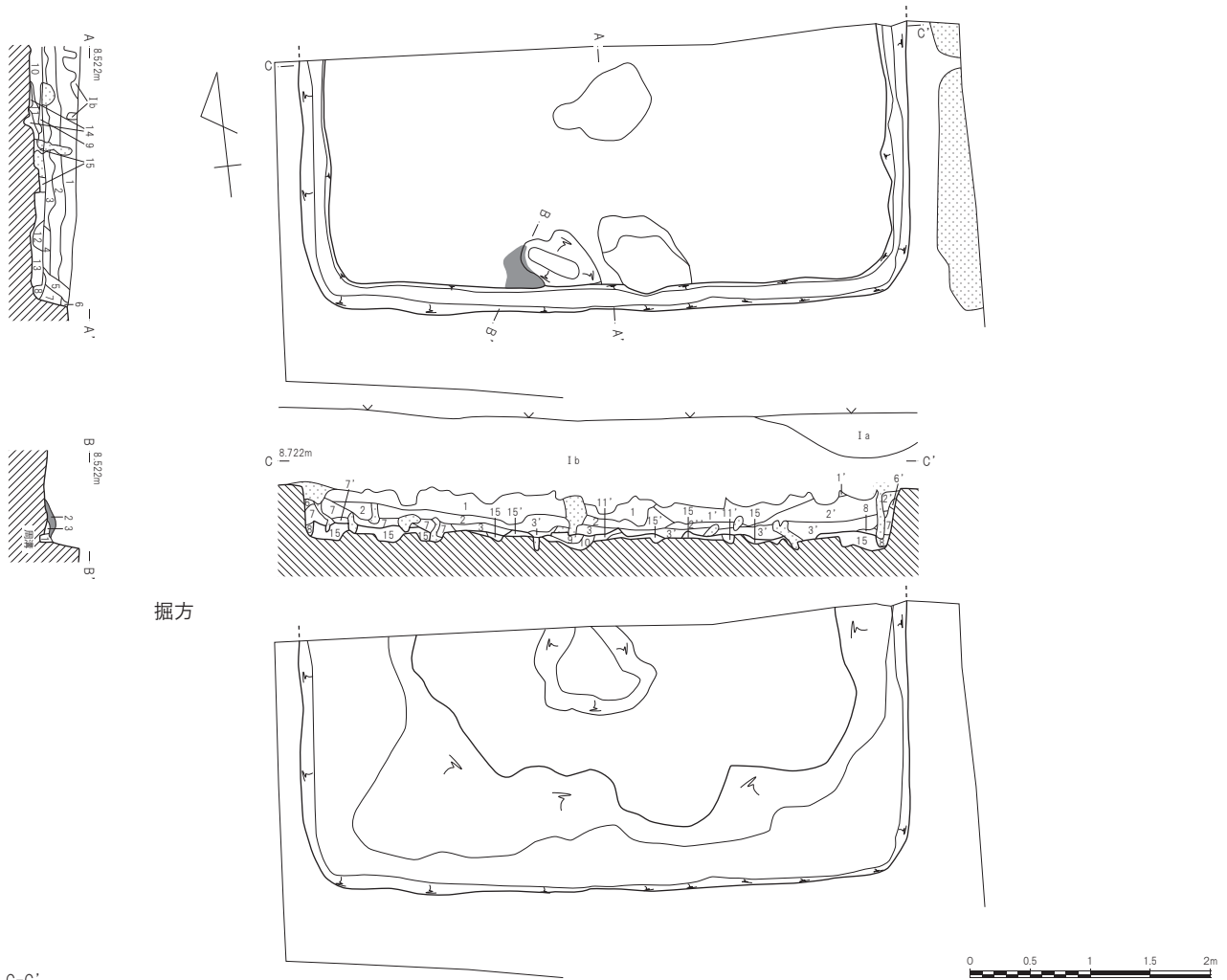
H34 号住居跡カマド

- I. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm以下ソフトローム粒少し含む
1. 黒褐色土 締り無、根のあと
2. 黒褐色土 締り有、粘性有、1mm以下ローム粒少量
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒多量
4. 暗褐色土（灰色味のある黒褐色土）締り強、粘性有、SPA・Bの1層
5. 黒色土 締り強、粘性有、SPA・B・Cの1層
6. 暗褐色土 締り強、粘性有、SPA・B・Cの4層
7. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒少量、1mm以下焼土粒極少量
8. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒やや多量、1mm以下焼土粒極少量
9. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒多量、1mm以下焼土粒極少量
10. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒やや多量、粘土粒少量
11. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒少量、粘土粒やや多量
12. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒多量
13. 暗褐色土（明）締り強、粘性有、1mm以下ローム粒多量、焼土粒少量
14. 黄灰褐色土 締り強、粘性強、粘土粒に暗褐色土混入、焼土粒（1mm以下）少量、カマド粘土の溶け出したもの
15. 黄灰褐色土 締り強、粘性強、14層に焼土粒（2mm以下）多量
16. 褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒多量、ローム塊（1cm大）少量
17. 暗褐色土 締り強、粘性有、SPA・B・Cの6層
18. 暗褐色土 締り有、粘性有、2mm以下焼土少し含む
19. 黒褐色土 締り弱、粘性有、2mm以下焼土少し、但20mm大焼土ブロック含む
20. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ソフト化した焼土を少し、5mm以下灰色粘土少し含む
21. 暗褐色土 締り有、粘性有、ソフト化した焼土やや多く、1mm以下ローム粒少し含む
22. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm焼土・2mm以下粘土粒をやや多く含む
23. 黒褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、5mm以下焼土・1mm以下粘土粒をやや多く含む
24. 暗褐色土 締り強、粘性有、5～10mm焼土多く含む、2mm以下粘土粒・3mm以下炭化物少し含む
25. 黒褐色土 締り有、粘性、30mm以下白色粘土ブロック多く、10～50mmロームブロック少し、3mm以下焼土・炭化物少し含む
26. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm以下焼土少し含む（粘土含まない）
27. 暗褐色土 締り有、粘性有、20mm以下白色粘土が多く混ざり、白色味呈する、15～1mm焼土少し、2mm以下炭化物少し含む（白色粘土集中するが、基本的に25層の1部）
28. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm以下焼土、炭化物やや多く含む、白色粘土分多く含み、白色味あり、2mm以下粒状の粘土も多く含む
29. 暗褐色土 締り強、粘性有、焼土混じりの粘土分を含み、赤灰色味がある、5mm以下焼土と粒状の白色粘土（1～5mm）を多く含む
30. 暗褐色土 締り強、粘性有、28層より粘土分少なく、色調暗い、5mm以下焼土やや多く含む
31. 暗褐色土 締り強、粘性やや弱、5mm以下焼土多く含む、5mm以下ローム粒・炭化物少し含む
32. 暗褐色土 締り強、粘性有、白色粘土分を含み、色調白色味あり、3mm以下粒状の粘土も多く含む、5mm以下焼土・2mm以下炭化物やや多く含む
33. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm以下焼土多く、3mm以下炭化物少し含む、粘土粒は少なく、1mm以下わずかに含む
34. 赤褐色土 締り有、粘性余やや弱、粘土混じりの暗褐色ベースに5mm以下焼土主体
35. 暗褐色土 締り硬い、粘性有、2mm以下焼土少し含む、茶褐色味強い（20mm以下焼土を伴う黒褐色土が貫入する）
36. 暗褐色土 締り強、粘性有、焼土面下の堆積、ソフト粒で3mm以下ローム粒多く、焼土少し含む
- ① 灰色粘土 締り強、粘性強、5mm以下白色粘土粒やや多く、2mm以下黒色土粒・5mm以下焼土少し、5mm以下ローム粒わずかに含む
- ①' 白色粘土 締り強、粘性強、5mm以下焼土少し含む
- ② 黒灰色土 締り強、粘性有、粘土を含み、灰色味が強い、10～30mmロームブロックやや多く、2mm以下黒色土・1mm以下焼土わずかに含む
- ③ 黒褐色土 締り有、粘性有、ソフトローム土がまざり、色調明るめ、5～10mmロームブロック少し、2mm以下ローム粒やや多く含む
- ④ 暗黄褐色土 締り強、粘性有、ソフトローム主体、5～30mmロームブロックやや多く含む、貼床14層（SPC-C）と同じ
- ⑤ 灰色粘土 締り強、粘性有、ローム分を含み、黄褐色味がある、2mm以下白色粘土・黒色土粒少し含む、カマド構築土
- ⑥ 灰色粘土 締り有、粘性有、しみ状に焼土を含み、桃褐色味がある、5層より白っぽい
- ⑦ 灰色粘土 締り有、粘性有、⑥と同質だが、焼土を含まない、5mm以下ローム粒わずかに含む、5層より白っぽい
- ⑧ 暗褐色土 締り強、粘性強、粘土を含み灰色味がある、しみ状で桃褐色の焼土を多く、1mm以下黒色土粒少し含む
- ⑨ 黄褐色土 締り有、粘性有、ローム土主体で3mm以下焼土・白色粘土粒やや多く含む、2mm以下黒色土少し含む

第69図 松山遺跡第45地点 H34 号住居跡掘方（1/60）



第70図 松山遺跡第45地点H34号住居跡竈 (1/30)



掘方

A-A'・C-C'

- I a. 暗褐色土 締り強、粘性有、盛土・ローム土多く含む
- I b. 暗褐色土 締り強、粘性有、表土・耕作土、灰色味がある、2mm 以下ローム粒少し含む
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、1mm 以下ローム粒均一に少し、3mm 以下焼土わずかに含む
- 1'. 黒褐色土 締り強、粘性有、1層より色調明るめ、2mm 以下ローム粒少し、5～10mm ロームブロック・3mm 以下焼土・5mm 大炭化物わずかに含む
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒1層よりやや多く含む、ベースの土の色調は1層より暗い
- 2'. 黒褐色土 締り強、粘性有、1層より色調明るめ、1mm 以下ローム粒やや多く、1mm 以下焼土・1～10mm 炭化物少し含む
- 2''. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm ローム粒少し、2～5mm 炭化物少し含む
- 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム土混じりの黒褐色土、2mm 以下細かなローム粒多く含む、炭化物・5mm 以下焼土少し含む
- 3'. 暗褐色土 締り強、粘性有、しみ状にソフト質のロームブロック・5mm 以下ハードローム粒やや多く、5mm 以下焼土・最大 60mm・平均 2～15mm 炭化物も比較的の多く含む
- 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～10mm ロームブロック少し、1mm 以下ローム粒やや多く、炭化物・5mm 以下焼土少し含む
- 5. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm 以下細かなローム粒やや多く、1mm 以下焼土少し含む
- 6. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒多く含む
- 6'. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm 以下ローム粒少し含む
- 7. 暗褐色土 締り強、粘性有、5～30mm 被熱したロームブロック・2mm 以下ローム粒・2mm 以下焼土やや多く含む
- 7'. 暗褐色土 締り強、粘性有、7層土ベース、しみ状に黒色土・最大 10mm、平均 2mm 以下焼土多く含む
- 8. 暗褐色土 締り強、粘性有、ソフト質のローム土多く含む、色調明るめ、1mm 以下ローム粒多く、1mm 以下焼土少し含む
- 9. 暗褐色土 締り強、粘性有、灰色粘土混じり、5mm 以下ローム粒やや多く、3mm 以下焼土・炭化物少し含む
- 9'. 黄褐色土 締り強、粘性有、灰色粘土を伴う10層を覆うように堆積、40mm 以下ロームブロック・ローム土主体、しみ状の暗褐色土含む
- 10. 黄褐色土 締り硬い、粘性有、50mm 以下ロームブロック主体、20mm 以下灰色粘土ブロックやや多く含む、3mm 以下焼土少し含む
- 11. 灰色土 締り硬い、粘性有、灰色粘土主体、3mm 以下ローム粒・炭化物少し含む
- 11'. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm 以下ローム粒多く含む色調明るめ、1mm 以下炭化物・焼土少し含む
- 12. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム土多く含む
- 13. 黄褐色土 締り硬い、粘性有、ソフトロームベースに50mm 以下ロームブロック主体、南壁中央付近に特徴的に見られた
- 14. 黄褐色土 締り硬い、粘性有、しみ状の灰色粘土やや多く含む
- 15. 黄褐色土 締り硬い、粘性有、ソフトロームベースにロームブロック多く含む
- 15'. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体、しみ状の黒褐色土やや多く、2mm 以下炭化物少し含む

B-B'

- 1. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ロームやや多
- 2. 赤褐色土 締り硬い、粘性有、20mm 以下焼土ブロック主体、黄灰色土やや多く、黒褐色土少し含む
- 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、黄灰色味があるローム土主体、3mm 以下焼土やや多く含む

第71図 松山遺跡第45地点 H35号住居跡・掘方 (1/60)

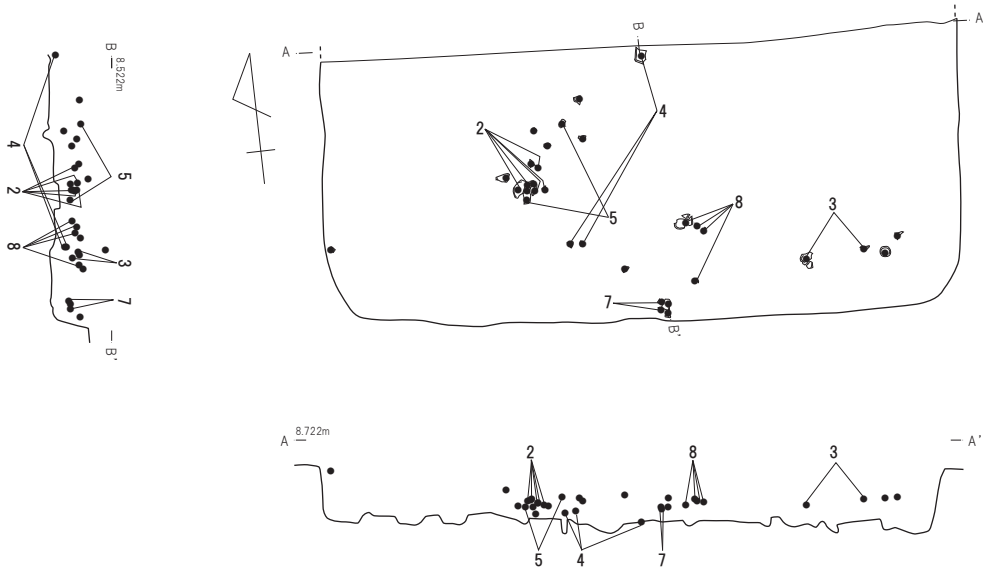
成11年度調査(5)でも延長部分と思われる同様な溝が検出されている。

溝8は南北方向から東西方向へL字形に曲がる。

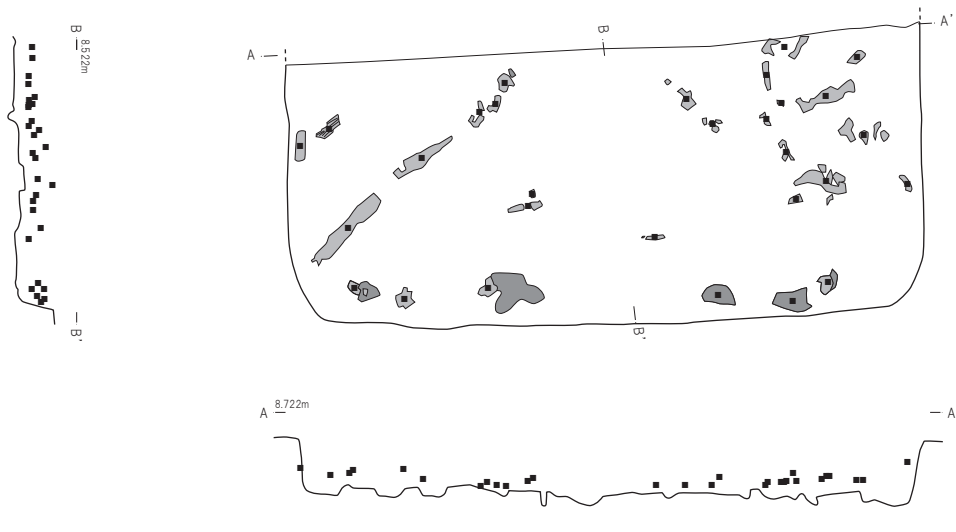
いずれの溝も出土遺物はなく、時期不明である。

【溝状遺構】調査区南端で、断面「□」の長方形土坑を検出した。いわゆるイモ類を貯蔵する「イモビツ」と思われる。

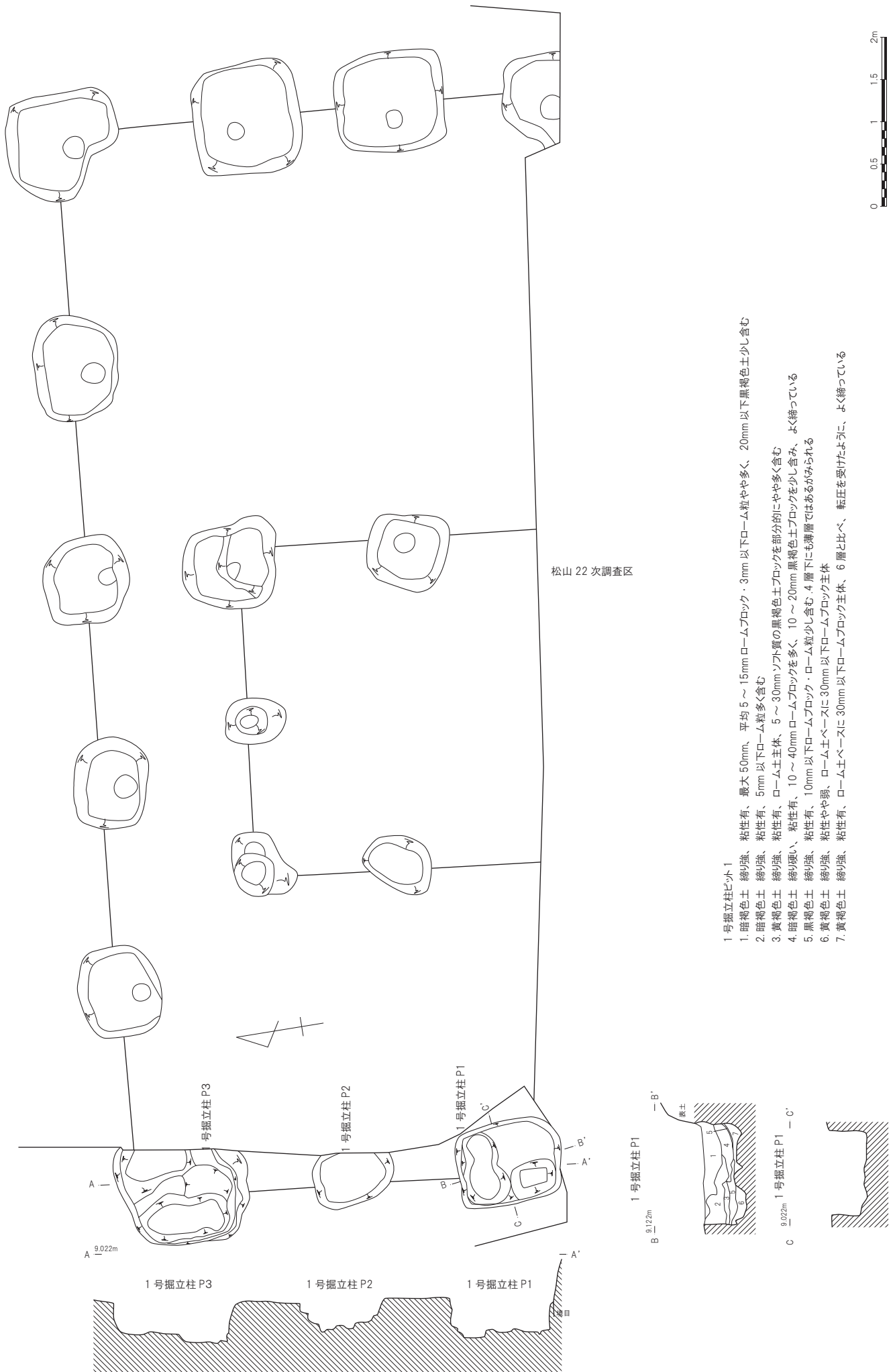
遺物



炭化物

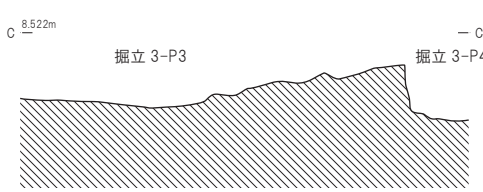
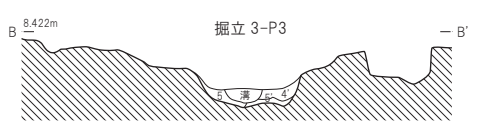
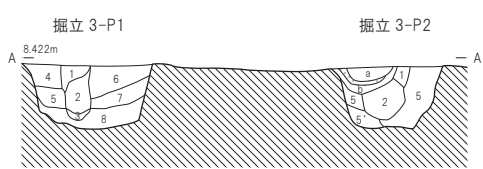
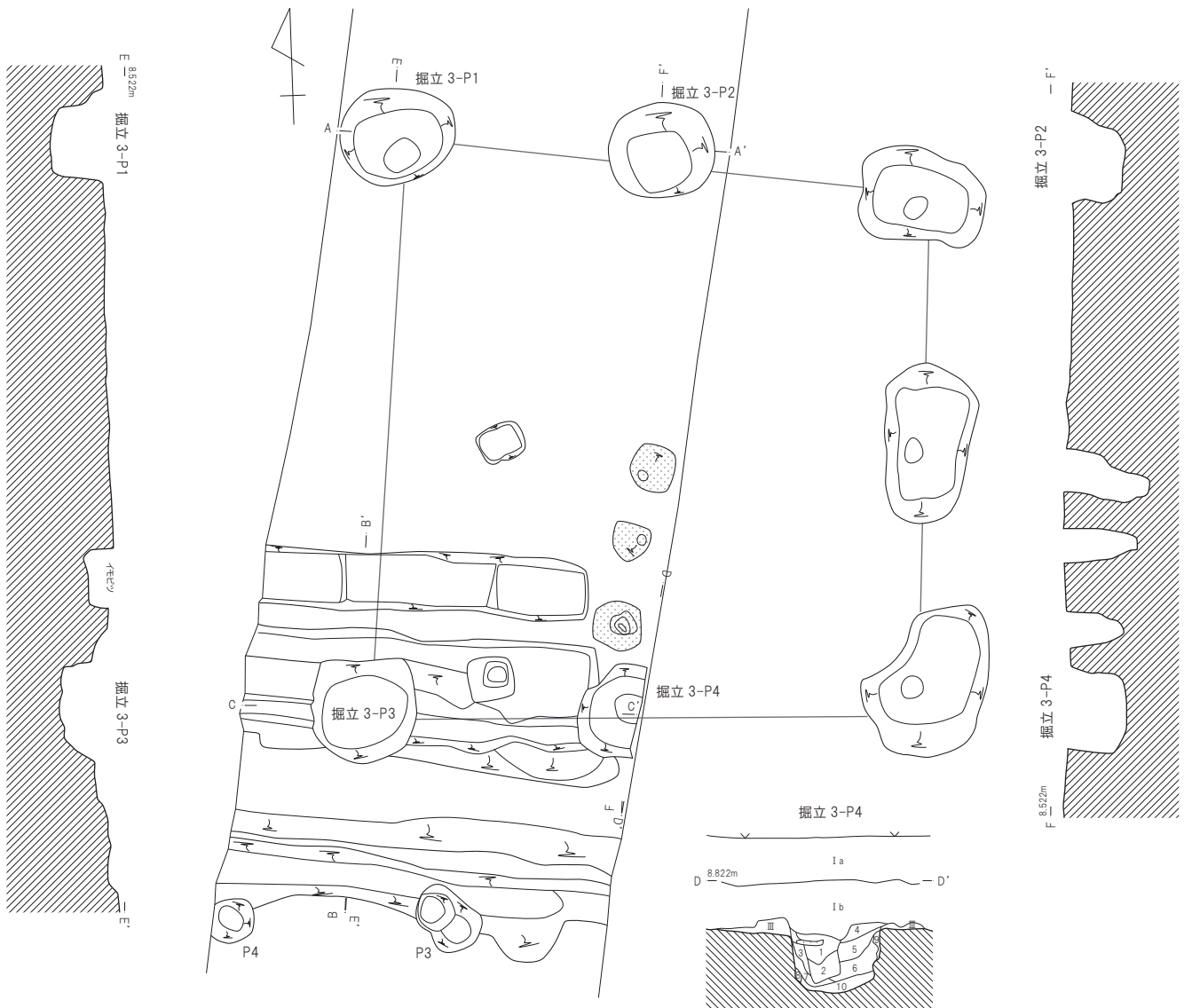


第72図 松山遺跡第45地点 H35号住居跡遺物・炭化物出土状況図(1/60)



- 1. 暗褐色土 粘り強、粘性有、最大 50mm、平均 5 ~ 15mm ロームブロック・3mm 以下ローム粒やや多く、20mm 以下黒褐色土少し含む
- 2. 暗褐色土 粘り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多く含む
- 3. 黄褐色土 粘り強、粘性有、ローム土主体、5 ~ 30mm ソフト質の黒褐色土ブロックを部分的にやや多く含む
- 4. 暗褐色土 粘り強、粘性有、10 ~ 40mm ロームブロックを多く、10 ~ 20mm 黒褐色土ブロックを少し含む、よく締っている
- 5. 黒褐色土 粘り強、粘性有、10mm 以下ロームブロック・ローム粒少し含む・4 層下に黒褐色土主体
- 6. 黄褐色土 粘り強、粘性有、ローム土ベースに 30mm 以下ロームブロック主体、6 層と比べ、転圧を受けたように、よく締っている
- 7. 黄褐色土 粘り強、粘性有、ローム土ベースに 30mm 以下ロームブロック主体、6 層と比べ、転圧を受けたように、よく締っている

第 73 図 松山遺跡第 45 地点 1 号掘立柱建物跡 (1/60)



3号掘立柱建物跡ピット1～3

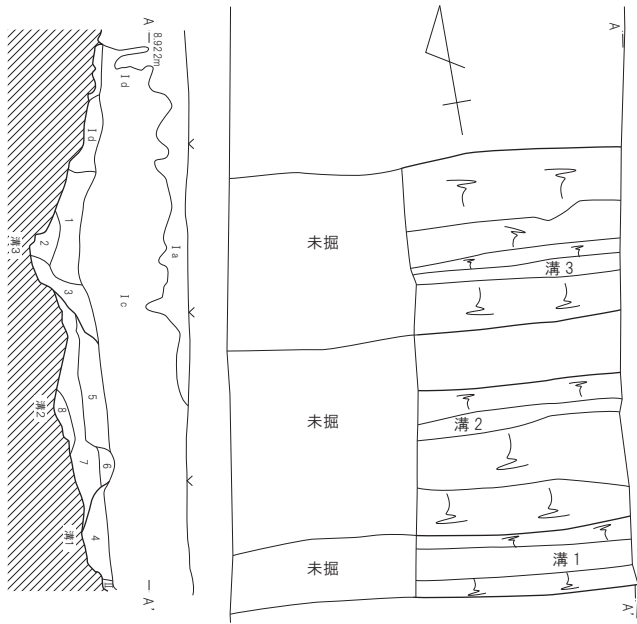
- a. 暗褐色土 締り強、粘性有、最大40mm、平均5～10mmロームブロック少し、3mm以下ローム粒や多く含む
- b. 暗褐色土 締り強、粘性有、5～10mmロームブロック少し、2mm以下ソフト質のローム粒 多く含む
- 1. 黒褐色土 締り有、粘性有、1～5mmローム粒少し含む、3～10mm灰色粘土をしみ状に含む (P2は、ロームブロックやが多い)
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～10mmロームブロック少し、2mm以下ローム粒やや多く含む (中心にローム粒を多く含む根クラク)、1～20mm灰色粘土をしみ状に含む
- 3. 暗褐色土 締り硬い、粘性有、8層土をベースに黒褐色土やや多く混ざり、転圧を受けたような堆積
- 4. 黒褐色土 締り極強、粘性有、10～30mmロームブロック、2mm以下ローム粒少し含む
- 4'. 黒褐色土 締り強、粘性有
- 5. 黒褐色土 締り極強、粘性有、5～30mmロームブロック、3mm以下ローム粒やや多く含む
- 5'. 黒褐色土 締り極強、粘性有、3～10mmロームブロック粒少し含む
- 6. 黄褐色土 締り極強、粘性有、ローム土主体、斑状に動植物によると思われる黒褐色土少し含む
- 7. 黒褐色土 締り極強、粘性有、20mm以下ソフト質のロームブロック・ローム粒やや多く含む
- 8. 黄褐色土 締り極強、粘性有、ローム土主体、部分的に黒褐色土層、もしくは5～15mm黒褐色土ブロックを含む

3号掘立柱建物跡ピット4

- I a 表土、暗褐色土 締り強、上部にローム土多く、下部に灰色砂礫多く含む
- I b 表土、耕作土 締り有、10mm以下ロームブロック、ローム粒2mm少し含む
- 1. 暗褐色土 (粘土混じり、黒褐色土) 締り強、粘性有、5mm大ロームブロック・2mm以下ローム粒少し含む、しみ状に灰色粘土やや多く含む
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒少し、1～5mm灰色粘土しみ状に含む
- 3. 黒褐色土 締り極強、粘性有、上部にソフトロームブロック含むが、それ以外は2mm以下ローム粒少し含む
- 4. 暗褐色土 締り強、粘性有、5～10mmソフトロームブロック・2mm以下ローム粒やや多く含む
- 5. 黒褐色土 締り極強、粘性有、灰色味がかかる、5～20mmロームブロック・3mm以下ローム粒・3mm以下灰色粘土粒やや多く含む
- 5. 黒褐色土 締り硬い、粘性有、10～60mmハードロームブロック・3mm以下ローム粒やや多く、10mm以下灰色粘土やや多く含む
- 7. 黒褐色土 締り極強、粘性有、10～20mmソフトロームブロック・3mm以下ローム粒・3mm以下灰色粘土やや多く含む (6層より灰色味強い)
- 8. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm大ロームブロック少し、3mm以下ローム粒やや多く含む
- 9. 黒褐色土ベース 締り有、粘性有、5mm以下ローム粒多く含む

第74図 松山遺跡第45地点3号掘立柱建物跡 (1/60)

溝1～3

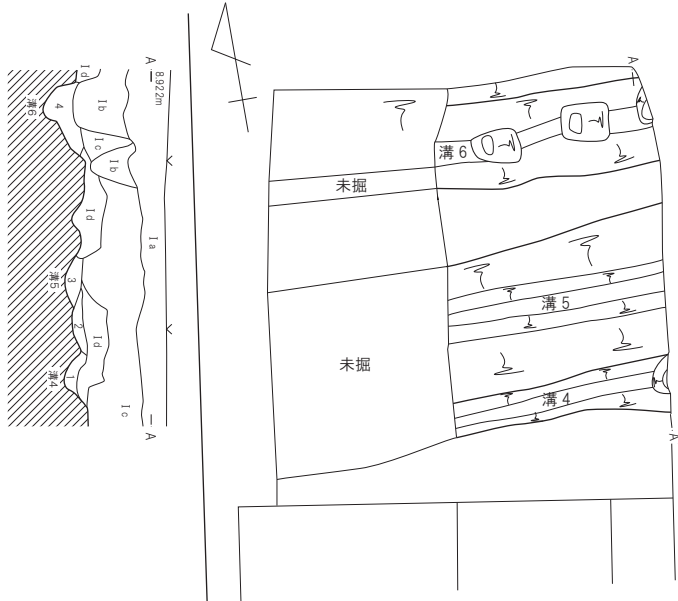


- I a. 暗褐色土 締り強、粘性有、灰色味あり、5mm以下ローム粒・15mm大ロームブロック少し含む
- I b. 黒褐色土 締り有、粘性やや弱、25mm以下ロームブロックやや多く含む、I cとI dが混ざったような土質
- I c. 暗褐色土 締り強、粘性有、灰色味あり、最大70mm、平均30mm以下ロームブロック・5mm以下ローム粒少し含む、北部分は、H31住付近と同様にロームブロック・ローム粒さらに少なく、60mm以下黒色土ブロック混ざる。耕作土
- I d. 黒褐色土 締り強、粘性有、100mm以下ロームブロック多く、5mm以下ローム粒やや多く含む、旧耕作土

溝1～3

- 溝3 1. 黒褐色土 締り有、粘性有、10mm以下ロームブロック・ローム粒少し含む (別掘り込み)
- 溝3 2. 暗褐色土 締り有、粘性やや弱、平均5～10mmロームブロック少し含む
- 溝3 3. 暗褐色土 締り有、粘性やや弱、最大90mm、平均25mm以下ロームブロック・ローム粒やや多く含む、溝2覆土より色調暗い
- 溝1 4. 黒褐色土 締り有、粘性有、ソフトローム質で10mm以下のロームブロック・ローム粒やや多く含む
- 溝2 5. 暗褐色土 締り有、粘性有、20mm大ロームブロック少し、5mm以下ローム粒多く含む
- 溝2 6. 暗褐色土 締り有、粘性有、5mm以下ソフトローム粒やや多く含む、黒褐色土含む
- 溝2 7. 黒褐色土ベース 締り有、粘性有、5～25mmロームブロック、5mm以下ローム粒多く含む
- 溝2 8. 黒褐色土ベース 締り有、粘性有、2mm以下ローム粒やや多く含む

溝4～6



溝4～6

- 溝4 1. 黒褐色土 締り有、粘性有、10～50mmハードロームブロック多く含む
- 溝4 2. 暗褐色土 締り有、粘性有、5～10mmロームブロックやや多く含む、ベースの土はローム土を含み、色調明るめ、底面の起伏著しい
- 溝5 3. 暗褐色土 締り有、粘性有、20～50mmロームブロックやや多く、5mm以下ローム粒少し含む
- 溝6 4. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む、南北壁際にロームブロック混ざる



第75図 松山遺跡第45地点溝1～6 (1/60)